

多摩市

子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査報告書

平成31年3月

多 摩 市

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 実施要領	3
3. 報告書の見方	3
II 調査結果の分析	5
第1章 未就学児保護者対象調査結果（未就学児）	7
1. 回答者の属性	7
2. 家族の状況等	8
3. 暮らし向きについて	11
4. 保護者の就労状況	13
5. 保護者の育児休業	16
6. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況.....	19
7. 子どもが病気になったときの対応	26
8. 地域の子育て支援事業の利用状況	27
9. 不定期の教育・保育事業や「一時預かり」等の利用.....	35
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方	37
11. 発達や医療的ケアについて	38
12. 子育ての悩みや相談相手	40
13. 出産や子育てに関するサポート・情報	44
第2章 就学児保護者対象調査結果（小学生）	47
1. 回答者の属性	47
2. 家族の状況等	48
3. 暮らし向きについて	51
4. 保護者の就労状況	53
5. 放課後の過ごし方	56
6. 土曜・休日の学童クラブ・児童館の利用	58
7. 子どもが病気になったときの対応	60
8. 不定期の教育・保育事業や「一時預かり」等の利用.....	61
9. 地域の子育て支援事業の利用状況等	64
10. 子どもの発達について	69
11. 子育ての悩みや相談相手	70
12. 子育てに関するサポート・情報	74

第3章 中・高生世代調査結果	77
1. 回答者の属性	77
2. 家族の状況等	78
3. 日頃の行動について	79
4. 放課後、休日の過ごし方	83
5. 施設の利用状況	85
6. 地域活動やボランティア活動	90
7. 交友関係や悩みごと	95
8. スマートフォンやインターネットの利用	99
9. 情報の入手先	102
10. 結婚や子育ての意見	105
11. 生きがいや将来	108
12. 市への意見や要望	112
13. 生活への意識	113
第4章 ひとり親世帯保護者調査結果	115
1. 回答者の属性	115
2. 家族の状況等	116
3. 健康や食事について	118
4. 暮らし向きについて	120
5. 就労状況	123
6. 各種支援制度の利用状況	126
7. 子育ての悩みや相談相手	127
8. お子さんの教育や生活について	128
第5章 ひとり親世帯 中・高生世代調査結果	131
1. 回答者の属性	131
2. 家族の状況等	132
3. 日頃の行動について	133
4. 放課後、休日の過ごし方	137
5. 施設の利用状況	138
6. 地域活動やボランティア活動	141
7. 交友関係や悩みごと	146
8. スマートフォンやインターネットの利用	148
9. 情報の入手先	151
10. 結婚や子育ての意見	152
11. 生きがいや将来	154
12. 市への意見や要望	158
13. 生活への意識	159

第6章 若者の意識・生活に関する調査結果	161
1. 回答者の属性	161
2. 家族の状況等	162
3. 人との関わりや居場所	164
4. 就労や外出の状況	167
5. 悩みや困りごと	172
6. 健康や自身のことについて	173
7. 子ども・若者育成支援機関について	174
第7章 子ども・若者育成支援施策のための支援者調査結果	175
1. 回答者の属性	175
2. 貧困の状況にある子どもや親の状態について	175
3. 貧困の状況にある子どもや親に対する支援	176
4. 支援に関する記述式回答	181
第8章 各調査の主な自由意見（抜粋）	179
III 参考資料	203
1. 調査票	205

I 調査の概要

1. 調査の目的

本市では、平成 27 年度から本格施行されている「子ども・子育て支援新制度」に合わせて、「かがやけ！多摩市子ども・子育て・わくわくプラン（多摩市子ども・子育て支援事業計画）」を策定し、子育て・子育てのための様々な支援に取り組んでいます。

平成 32 年 4 月の計画改定にあたっては、全ての子ども・若者が健やかに成長し、社会生活を円滑に営むことができるようにするための支援等を推進するために、「子ども・若者育成支援推進法」に基づく「子ども・若者計画」を子ども・子育て支援事業計画に包含するものとし、庁内組織の「多摩市子育て・若者支援推進本部」、学識経験者や市民委員等からなる「多摩市子ども・子育て会議」等を通じて協議を進めているところです。

本調査は、多摩市子ども・子育て支援事業計画の改定に係る基礎資料として、就学前児童・小学生の保護者、中高生世代に加え、若者世代、ひとり親世帯や関係機関を対象に、子育て状況、教育・保育ニーズ、子育て支援サービスの利用状況、若者の意識、暮らし向きや困窮状況等について幅広く現状を把握するため実施しました。

2. 実施要領

調査地域：多摩市全域

調査対象：・多摩市内在住の「未就学児」のいる世帯・保護者（未就学児童保護者対象調査）
・多摩市内在住の「小学 2 年・4 年生」のいる世帯・保護者（就学児童保護者対象調査）
・多摩市内在住の「12～17 歳」の方（中・高生世代調査）
・多摩市内在住の「児童扶養手当受給者」世帯の保護者（ひとり親世帯保護者調査）
・多摩市内在住の「児童扶養手当受給者」世帯の中高生世代（ひとり親世帯中・高生世代調査）
・多摩市内在住の「15～39 歳」の方（若者の意識・生活に関する調査）
・多摩市内外の「子どもに関する支援機関」職員（子ども・若者育成支援施策のための支援者調査）

調査期間：・平成 30 年 10 月 9 日～10 月 19 日（就学児童保護者対象調査）
・平成 30 年 10 月 11 日～11 月 9 日（就学児童保護者対象調査以外）

調査方法：・「未就学児童保護者対象調査」、「中・高生世代調査」、「若者の意識・生活に関する調査」については住民基本台帳を基に対象者・対象児童のいる世帯を無作為抽出し、郵送配布・郵送回収
・「就学児童保護者対象調査」については学校を通し配布・回収
・「ひとり親世帯保護者調査及び中・高生世代調査」については、児童扶養手当受給者（他の調査票重複者を除く）を対象に、郵送配布・郵送回収
・「子ども・若者育成支援施策のための支援者調査」については、関係機関を対象に、郵送又は直接配布・郵送又は直接回収

標本数、回収率：

区分	標本数	有効回収数	有効回収率
未就学児童保護者対象調査	1,150	650	56.5%
就学児童保護者対象調査	2,352	1,767	75.1%
中・高生世代用調査	1,200	472	39.3%
若者の意識・生活に関する調査	2,340	700	29.9%
ひとり親世帯保護者調査	592	201	34.0%
ひとり親世帯中・高生世代調査	352	105	29.8%
子ども・若者育成支援施策のための支援者調査	96	79	82.3%

3. 報告書の見方

- ・回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第1位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ・図表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- ・グラフ及び表の「N数 (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- ・未就学児童の年齢定義は、調査において誕生日の年月を回答いただいているため、下表による学齢区分により集計を行っています。

学齢区分	該当する生年月
0歳	平成29年4月以降
1歳	平成28年4月～平成29年3月
2歳	平成27年4月～平成28年3月
3歳	平成26年4月～平成27年3月
4歳	平成25年4月～平成26年3月
5歳	平成24年4月～平成25年3月

※ 調査期間である平成30年度における学齢区分

Ⅱ 調査結果の分析

第 1 章 未就学児童保護者対象調査結果（未就学児）

1. 回答者の属性

問 1 調査票記入者 問 29 調査票記入者の年齢

問 30 調査票記入者の配偶者の有無

○回答者は「母親」が約 9 割を占め、年齢は調査時点（平成 30 年 10 月時点）で 10 歳代から 50 歳～54 歳の方が回答しており、そのうち「35 歳～39 歳」が最も多い。

○配偶者の有無は「配偶者がいる」が 9 割台半ばを超えている。

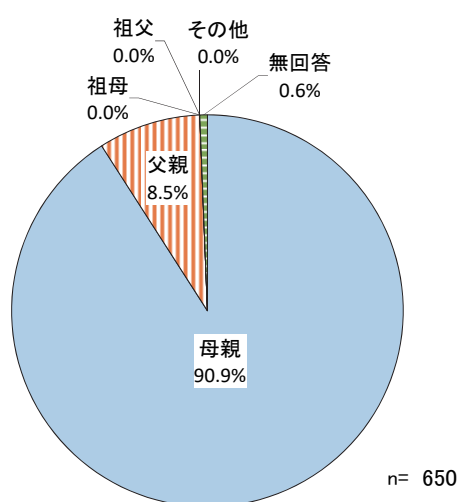


図 調査票記入者

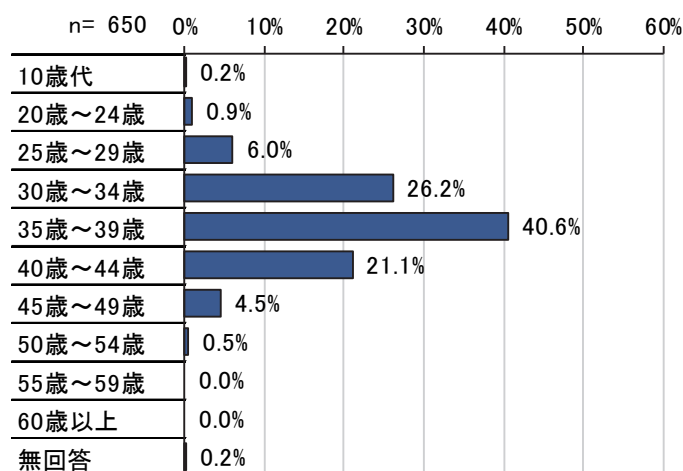


図 記入者の年齢

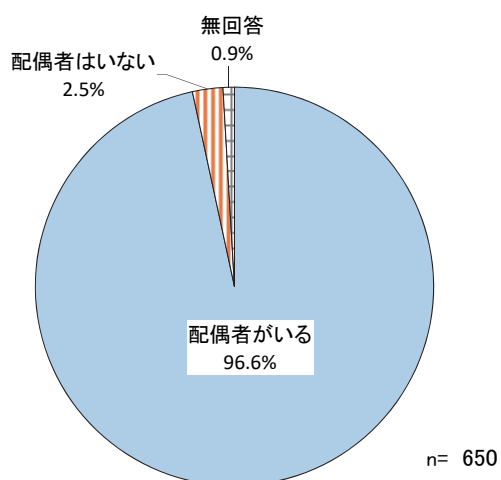


図 調査票記入者の配偶者の有無

2. 家族の状況等

問2 子どもの年齢（生年月日から算出した学齢）

○子どもの年齢は調査時点（平成30年10月時点）で0歳から5歳となっている。

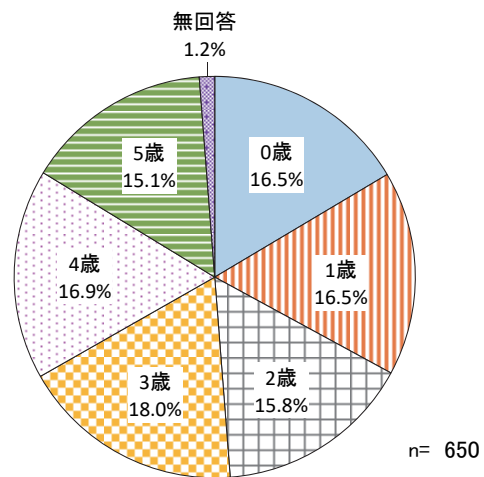


図 子どもの年齢

問 31 子どもの人数及び末子の年齢（生年月日から算出した学齢）

○子どもの人数は「2人」が5割近くを占め最も高くなっている。

○前回調査と比較すると、「3人」が減少している。

○子どもが2人以上の場合の末子の年齢は「0歳」、「1歳」の順に多くなっている。

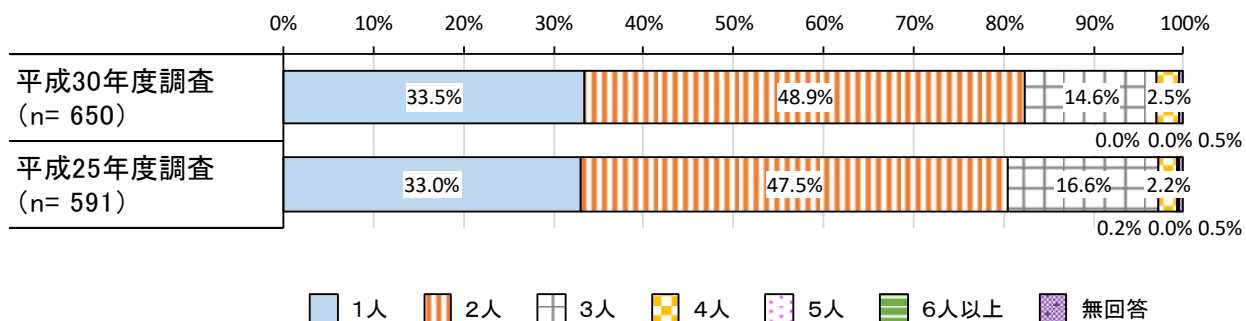


図 子どもの人数

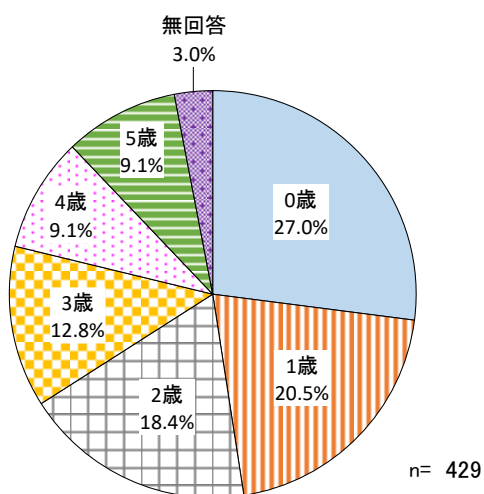


図 末子の年齢

問 32 子どもの子育て（教育を含む）を主に行っている人

○子育てを主に行っているのは、「母親」が5割台半ばを超え、最も高くなっている。

○「両親ともに」は4割近くとなっている。

○前回調査と比較すると、「両親ともに」が減少し、「母親」が増加している。

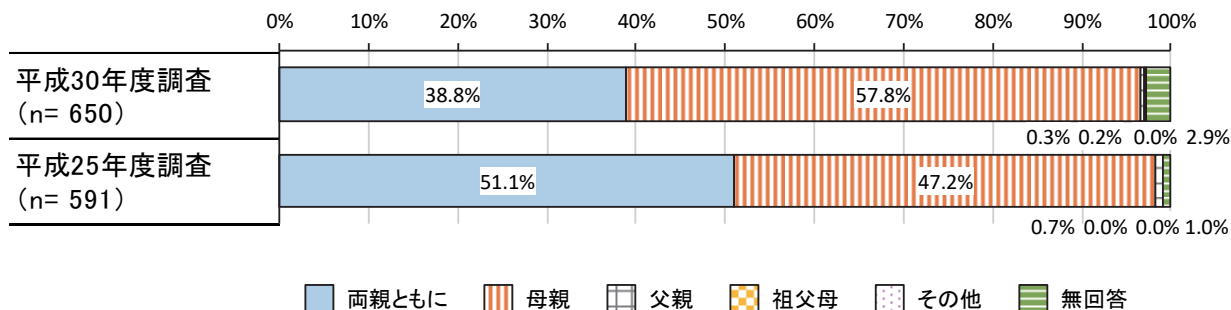


図 子育てを主に行っている人

問 33 居住地区

○回答者の住まいの地区は「落合、鶴牧、南野地区」が2割台半ばを占める。

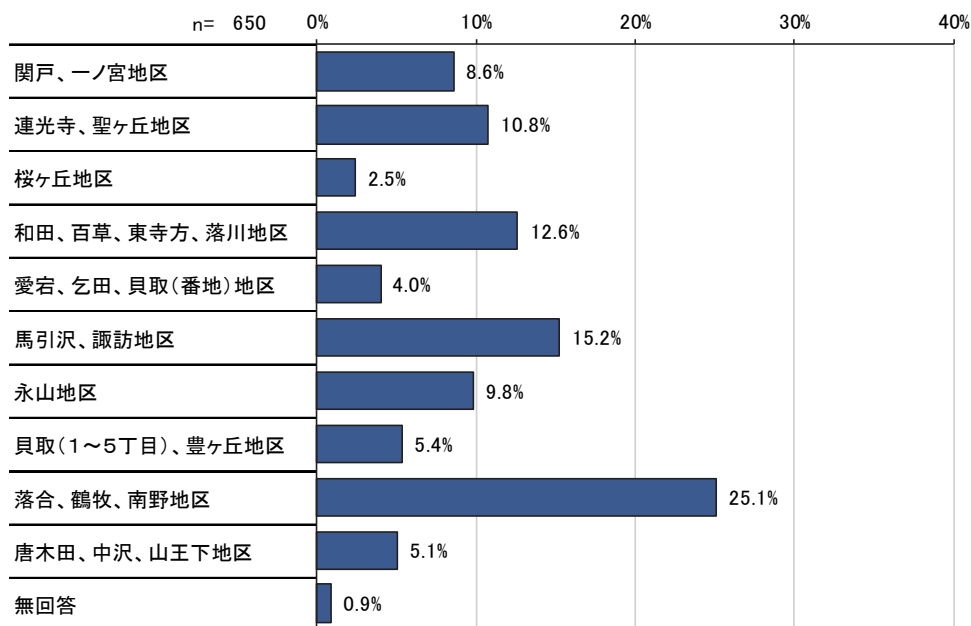


図 居住地区

3. 暮らし向きについて

問 21 世帯収入 問 22 暮らしの経済的な実感

○世帯収入は「800万円以上」が最も高く、「500～599万円」、「600～699万円」と続いている。

○暮らしの経済的な実感は、「普通」が4割台半ばを超え最も高く、次いで「やや苦しい」が3割台半ば近くとなっている。

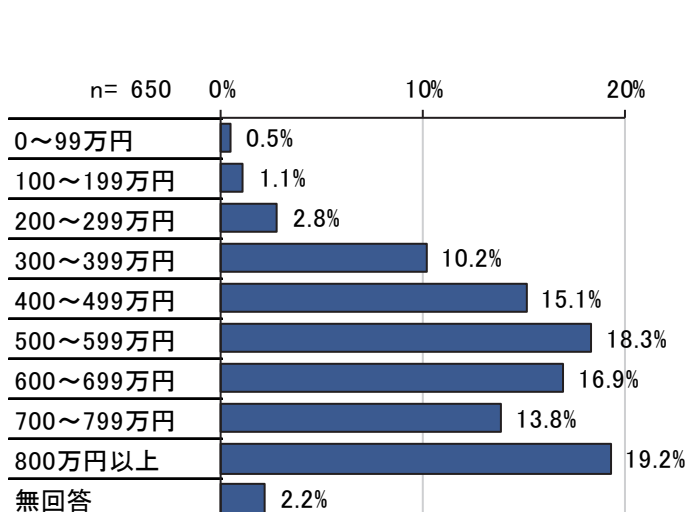


図 世帯収入

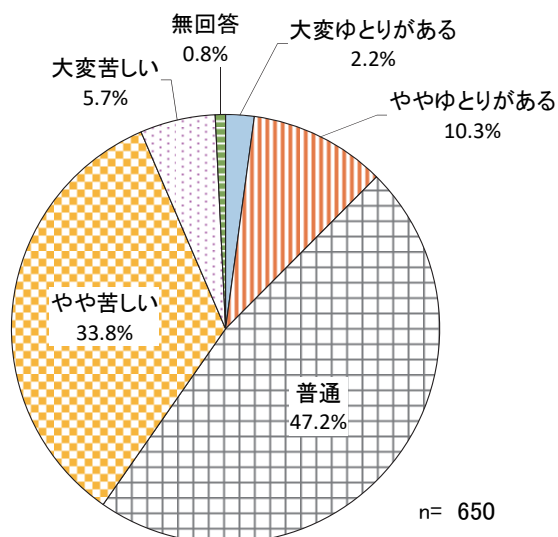


図 暮らしの経済的な実感

問 23 生活の中で負担に感じる費用（複数回答）

○生活の中で負担に感じる費用は、「住宅費」が5割台半ばと最も高く、次いで「教育費」が3割台半ばを超え、「食費」が3割強となっている。

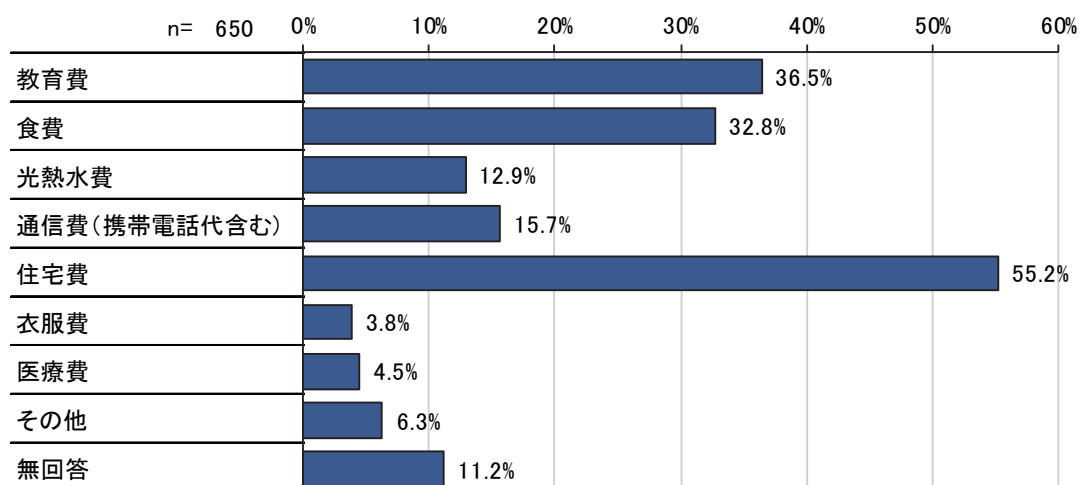


図 生活の中で負担に感じる費用

問 24 生活必需品が買えない経験の有無

- 生活必需品が買えない経験の有無については、全ての項目で「まったくなかった」が最も高くなっている。
- 「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合計すると、「食料」で 11.0%、「衣類」で 18.3%、「光熱水費」で 6.3%となり、「衣類」が最も高くなっている。

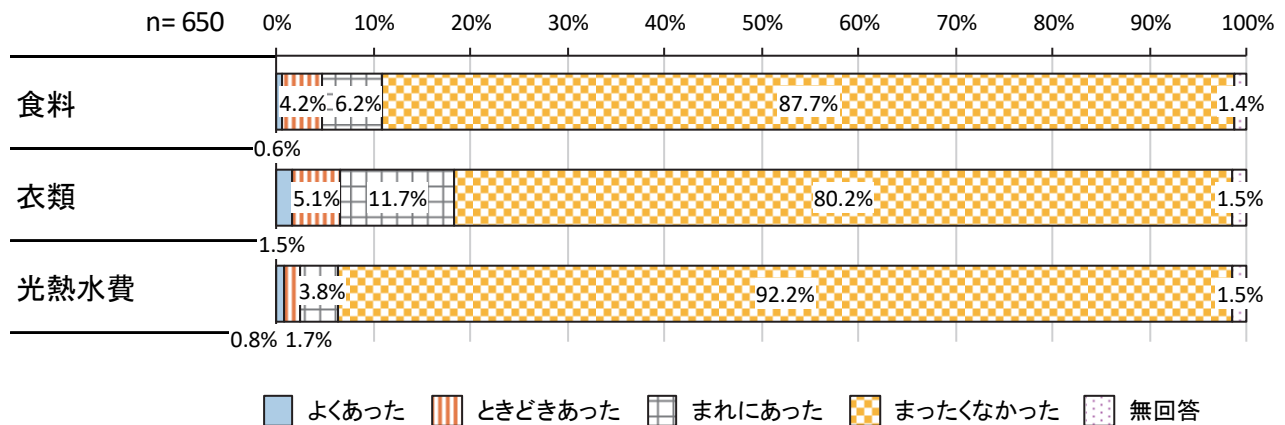


図 生活必需品が買えない経験の有無

4. 保護者の就労状況

問6 父親、母親の現在の働き方・フルタイムへの転換希望・就労希望

(1) 働き方

- 父親は9割強がフルタイム就労である。
- 母親は「以前は就労していたが現在は就労していない」が3割台半ばと最も高く、次いで「フルタイムで就労している」、「パート・アルバイト等で就労している」と続いている。
- 母親では「フルタイムで就労している」や「フルタイムで就労しているが、育休・介護休暇中」は調査毎に増加しており、「以前は就労していたが現在は就労していない」は減少している。

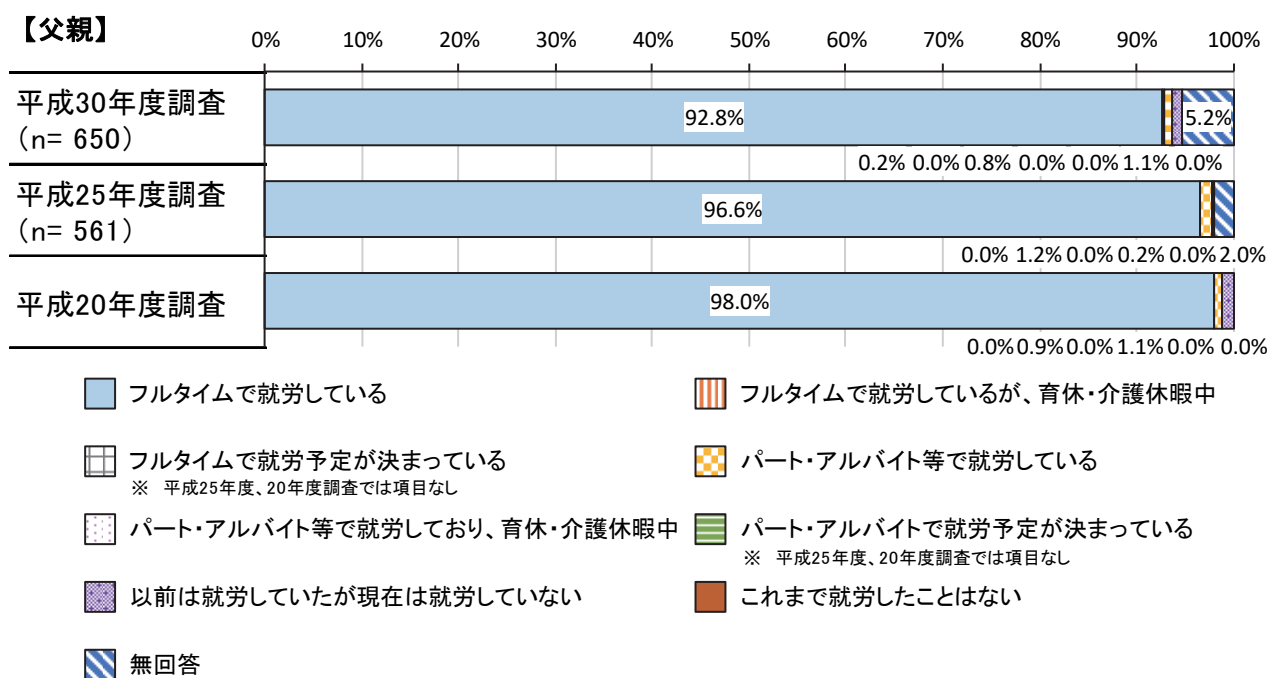


図 父親の働き方

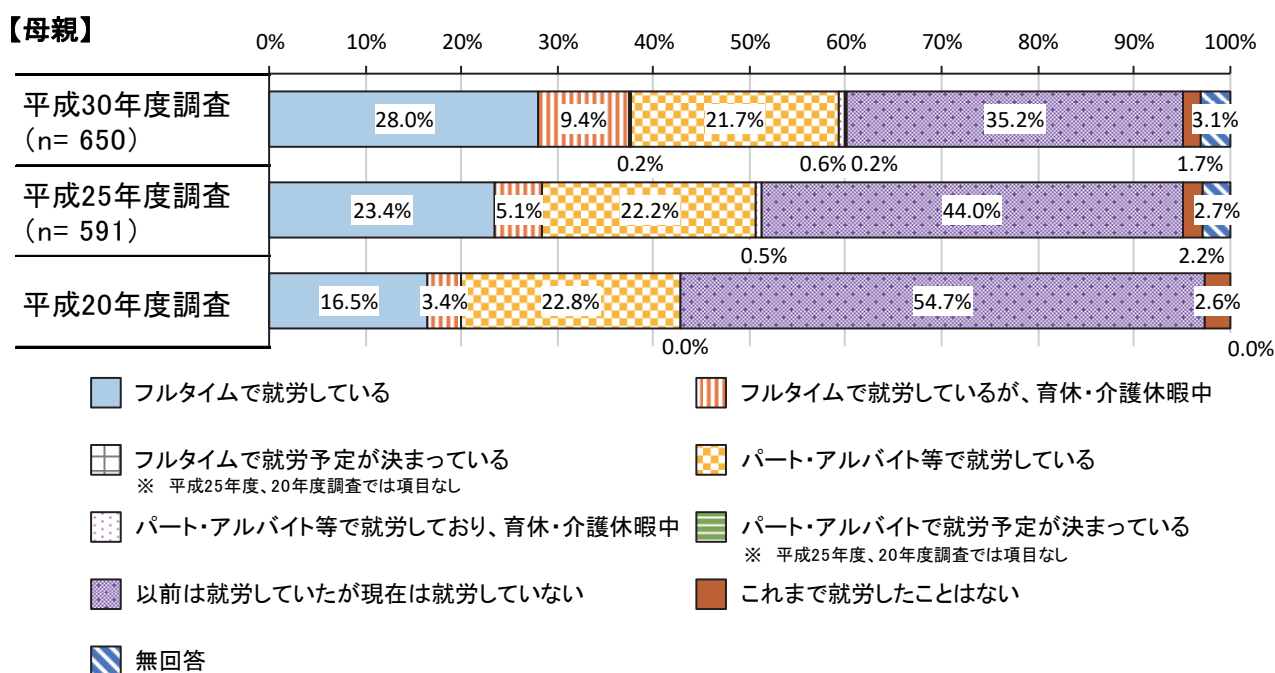


図 母親の働き方

(2) フルタイムへの転換希望

- パート・アルバイトで勤務している方のフルタイムへの転換希望は、父親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が8割と最も高くなっている。
- 母親も「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が約5割と最も高く、「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は約3割を占めている。

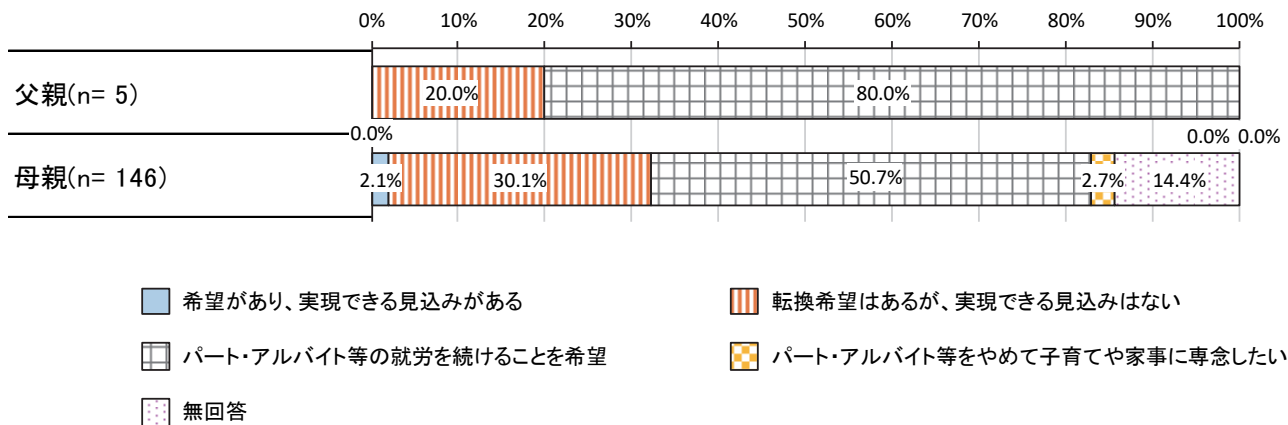


図 フルタイムへの転換希望

(3) 就労希望と就労時期

○現在就労していない方の就労希望は、父親では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が5割台半ばを超え最も高くなっている。

○母親では「1年よりも先に就労したい」が5割強となっており、就労を希望する時期は子どもが「6～7歳」の時が最も高く、次いで「2～3歳」、「4～5歳」と続いている。

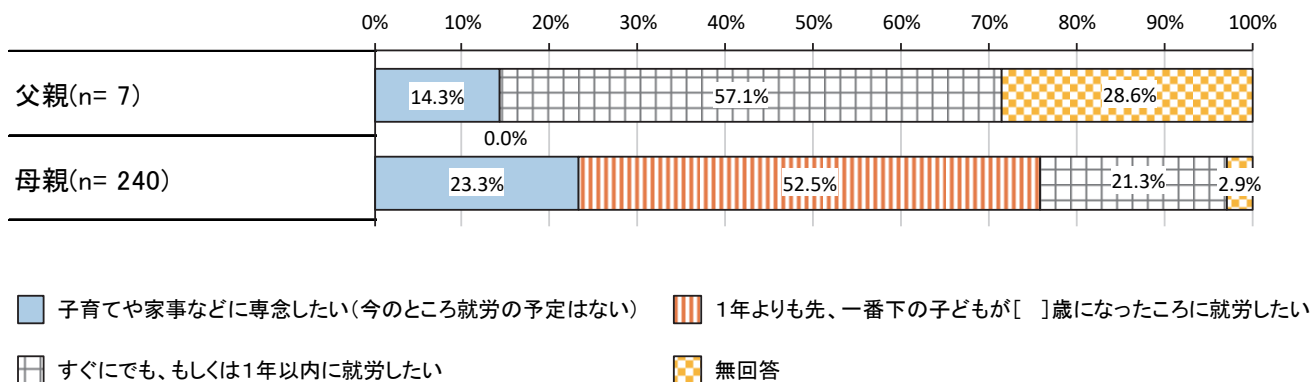


図 就労希望と就労時期

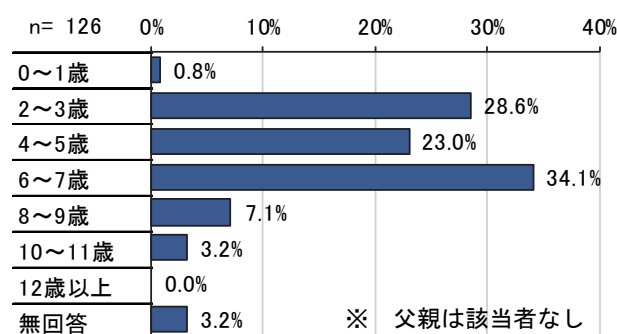


図 就労を希望する時の子の年齢（母親）

(4) 希望する就労形態

○すぐに就労したいと答えた方の希望就労形態は、父親では「フルタイム」が7割台半ばと最も高くなっている。

○母親では「パート・アルバイト」が8割強を占め最も高くなっている。

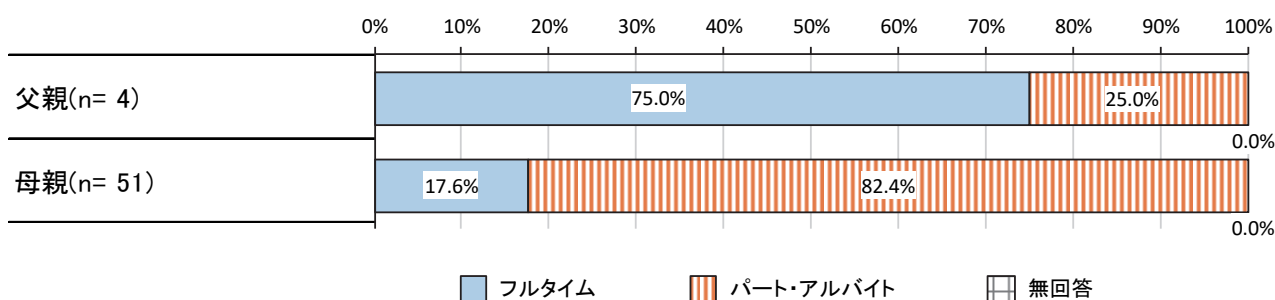


図 希望する就労形態

5. 保護者の育児休業

問7 育児休業の取得状況

問7-1 取得しなかった理由（複数回答）

- 「両親とも取得していない」が5割弱と最も高くなっているが、前回調査からは減少している。
- 「母親が取得した」は4割弱と前回から増加している。
- 取得しなかった理由は、父親では「仕事が忙しかった」が最も高く、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の順に続いている。
- 母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が4割強で最も高くなっている。

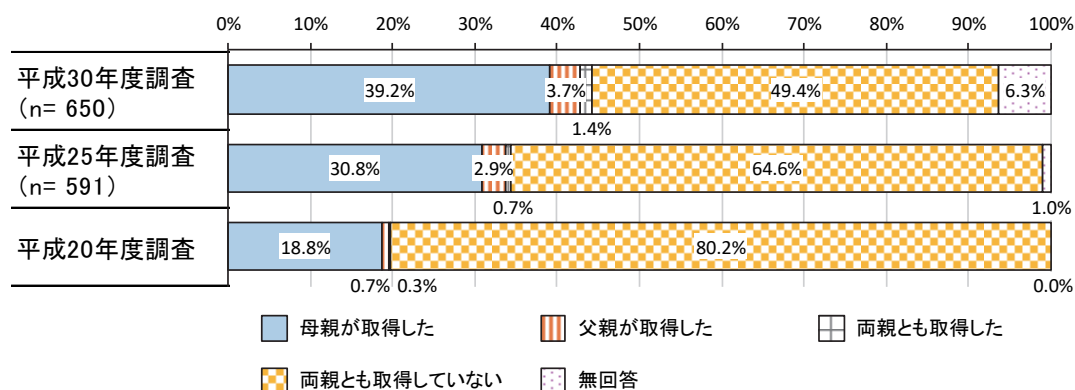


図 育児休業の取得状況

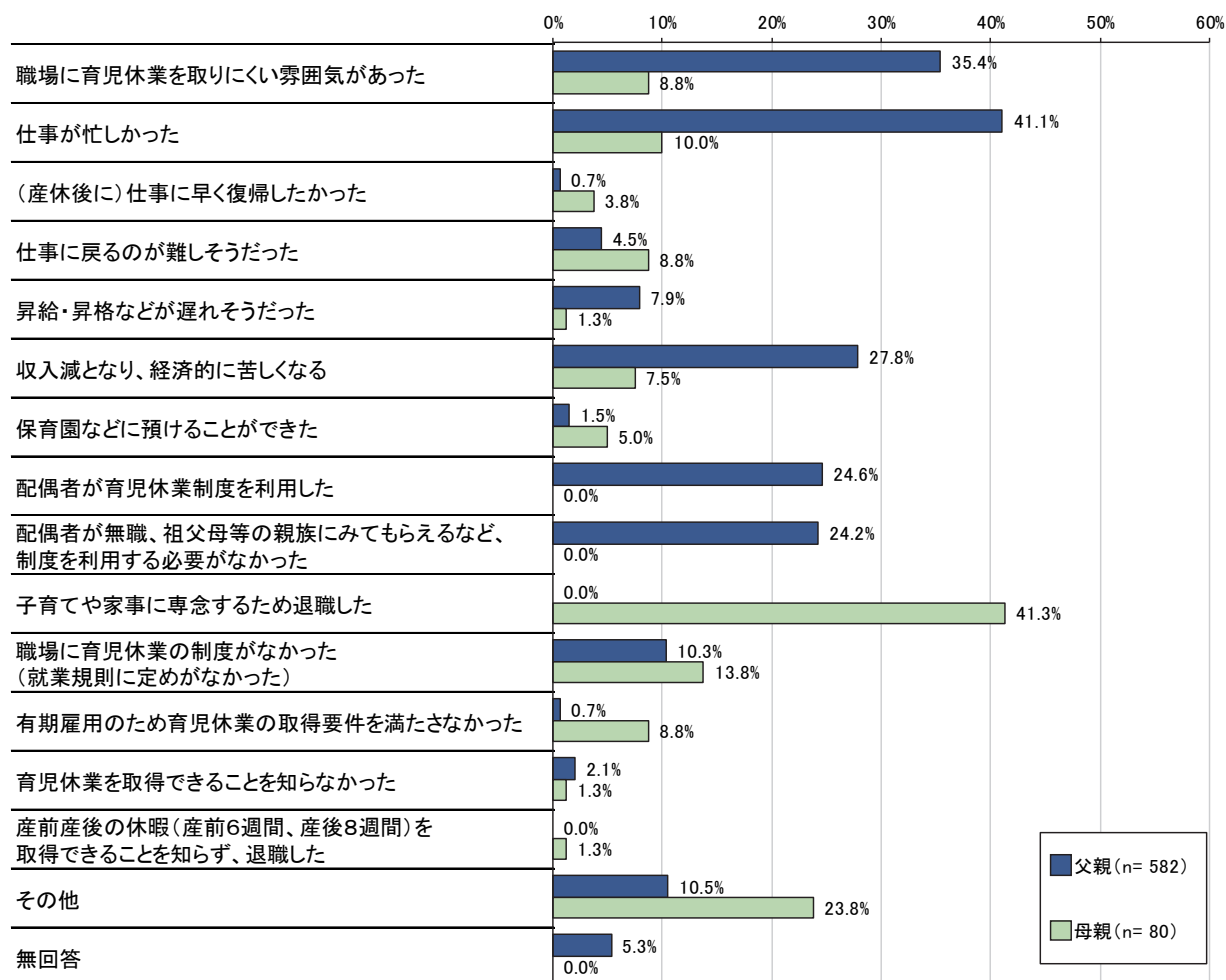


図 取得しなかった理由

問 7-2 育児休業取得後の職場復帰

○職場への復帰は、父親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が9割台半ば近くを占める。
 ○母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が6割台半ばを超え、「育児休業中に離職した」は5.4%となっている。

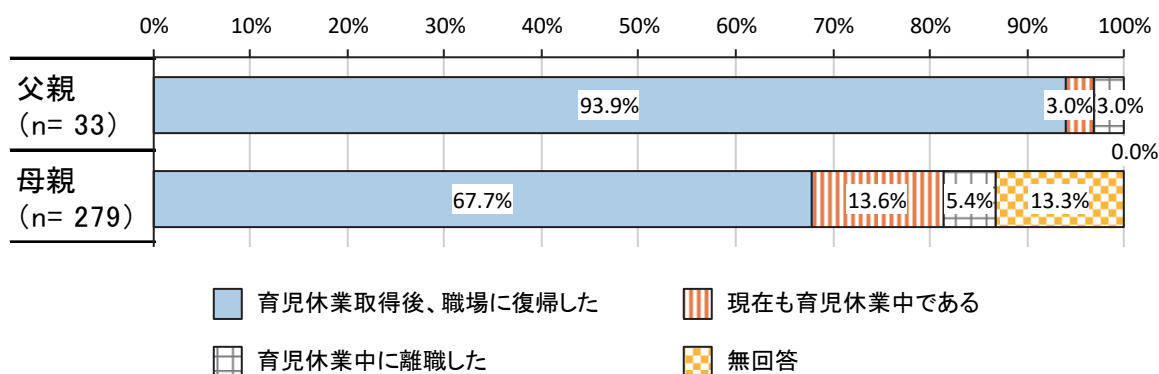
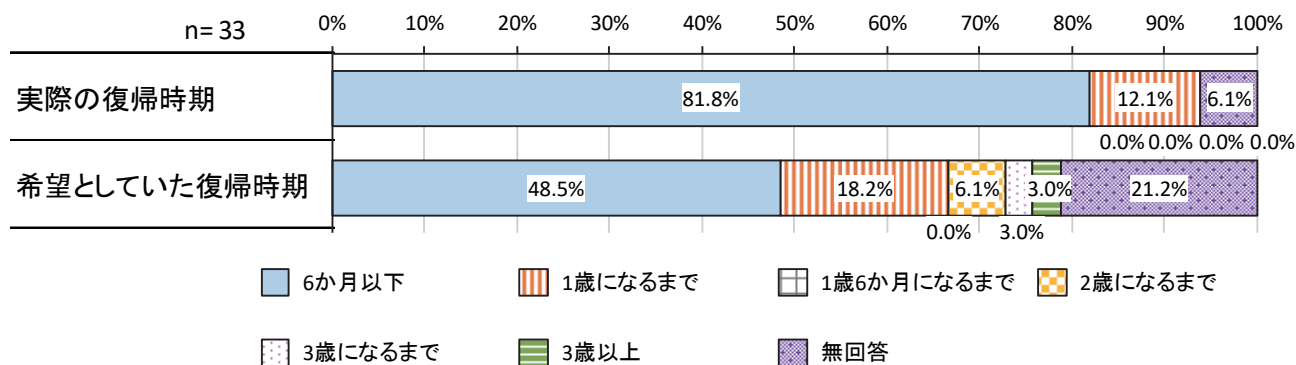


図 育児休業取得後の職場復帰

問 7-3 育児休業取得後の職場復帰の時期（実際と希望）

○職場復帰の時期は、父親の実際では子どもが「6か月以下」が8割強を占める。
 ○母親の実際、希望の復帰時期ともに、「1歳になるまで」が最も高く、次いで「1歳6か月になるまで」となっている。

(1) 父親



(2) 母親

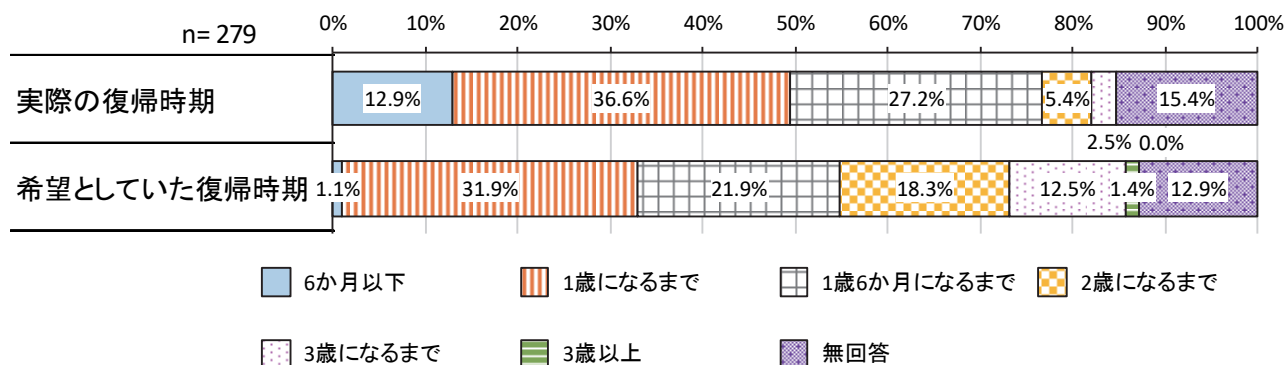


図 育児休業取得後の職場復帰の時期（実際と希望）

問 7-4 希望と実際の復帰時期が異なる理由（複数回答）

○希望と実際の復帰時期が異なる理由は、「希望する保育所等に入るため」が6割台半ば近くと最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が2割弱となっている。

○母親の希望より早く復帰した理由では、「希望する保育所等に入るため」が最も高く、希望より遅く復帰した理由は「入所申請した保育所等に入れなかったため」が最も高くなっている。

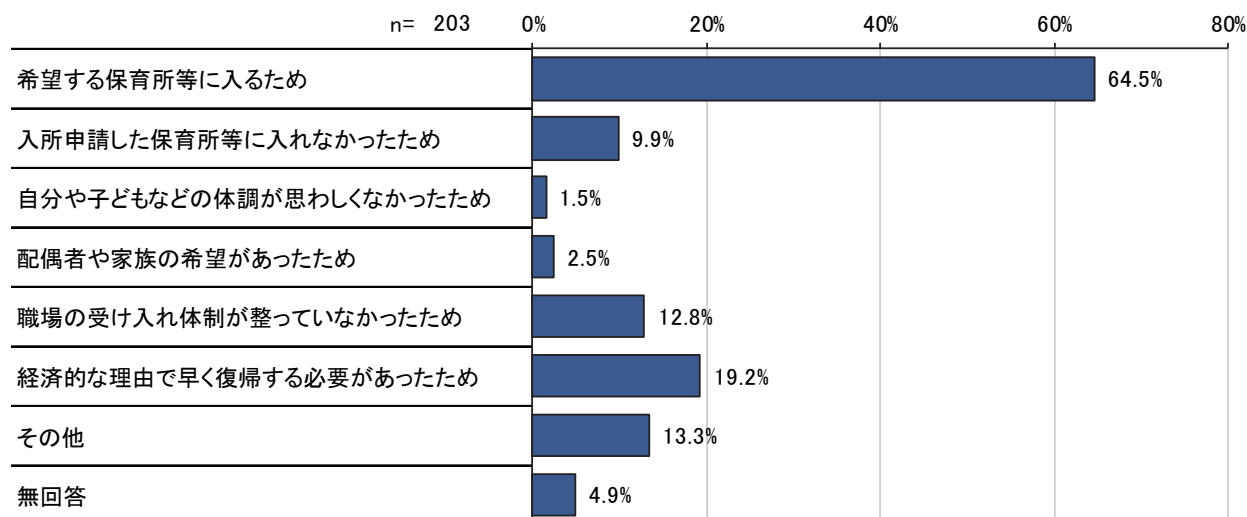


図 希望と実際の復帰時期が異なる理由

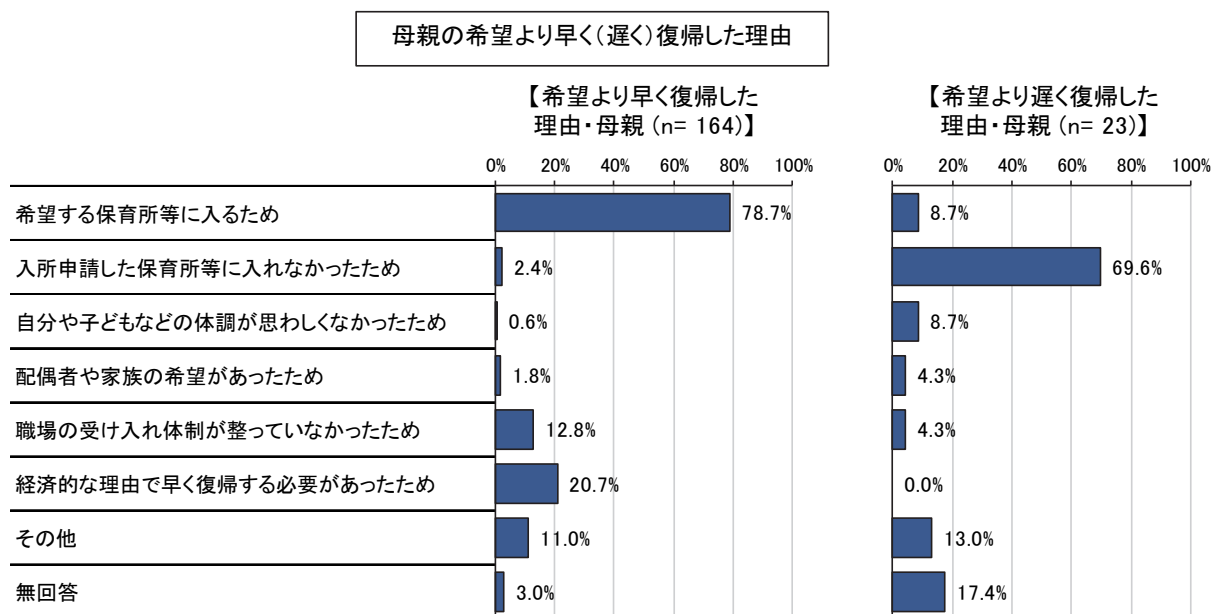


図 希望と実際の復帰時期が異なる理由（母親）

6. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問8 幼稚園や保育園などの利用状況

- 定期的な教育・保育の事業を「利用している」方が7割台半ば近くを占める。
 ○前回調査とほぼ同様の傾向となっている。
 ○年齢別では、学齢が進むほどに「利用している」が高くなっている。

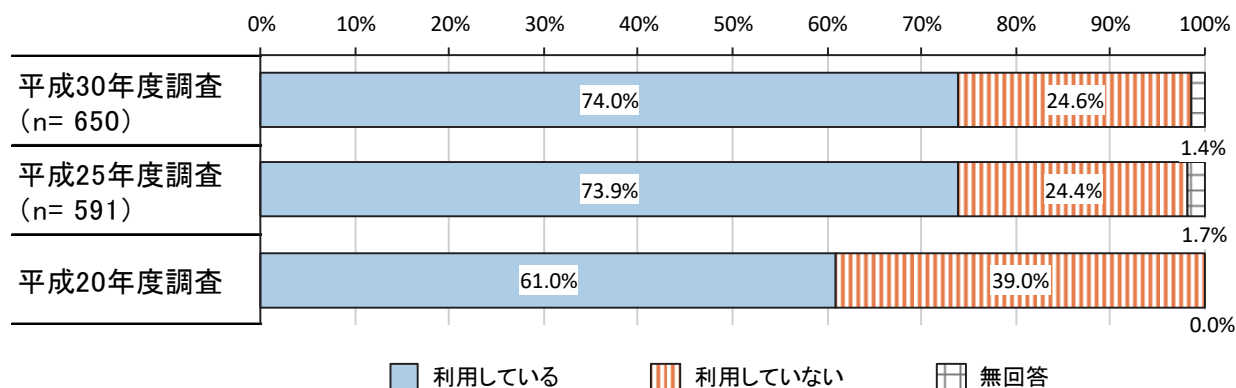


図 幼稚園や保育園などの利用状況

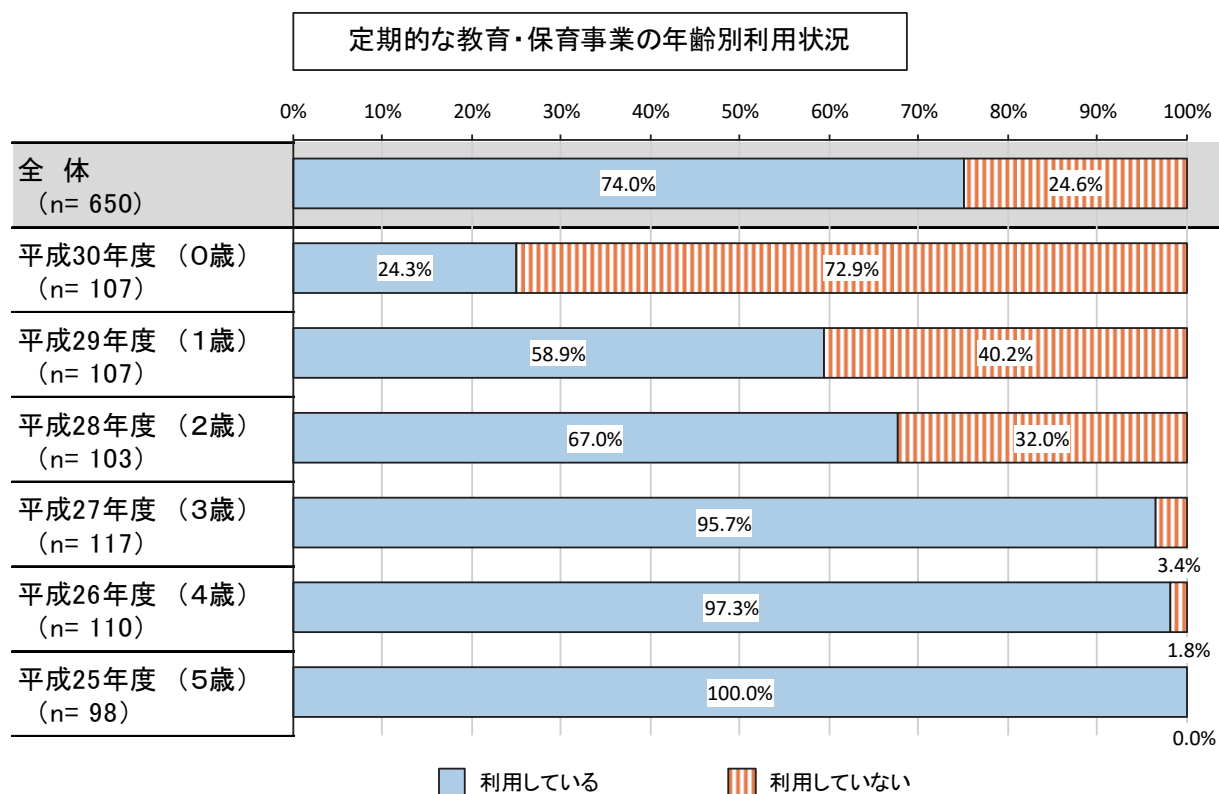


図 幼稚園や保育園などの利用状況（年齢別）

問 8-1 定期的な教育・保育事業の利用状況

(1) 定期的に利用している事業（複数回答）

- 定期的に利用している事業は、「認可保育園」が最も高く、次いで「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」と続いており、「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」は減少、「認可保育園」は増加している。
- 「認可保育園の一時保育」は微減しており、「認定こども園」、「東京都認証保育所」は増加している。

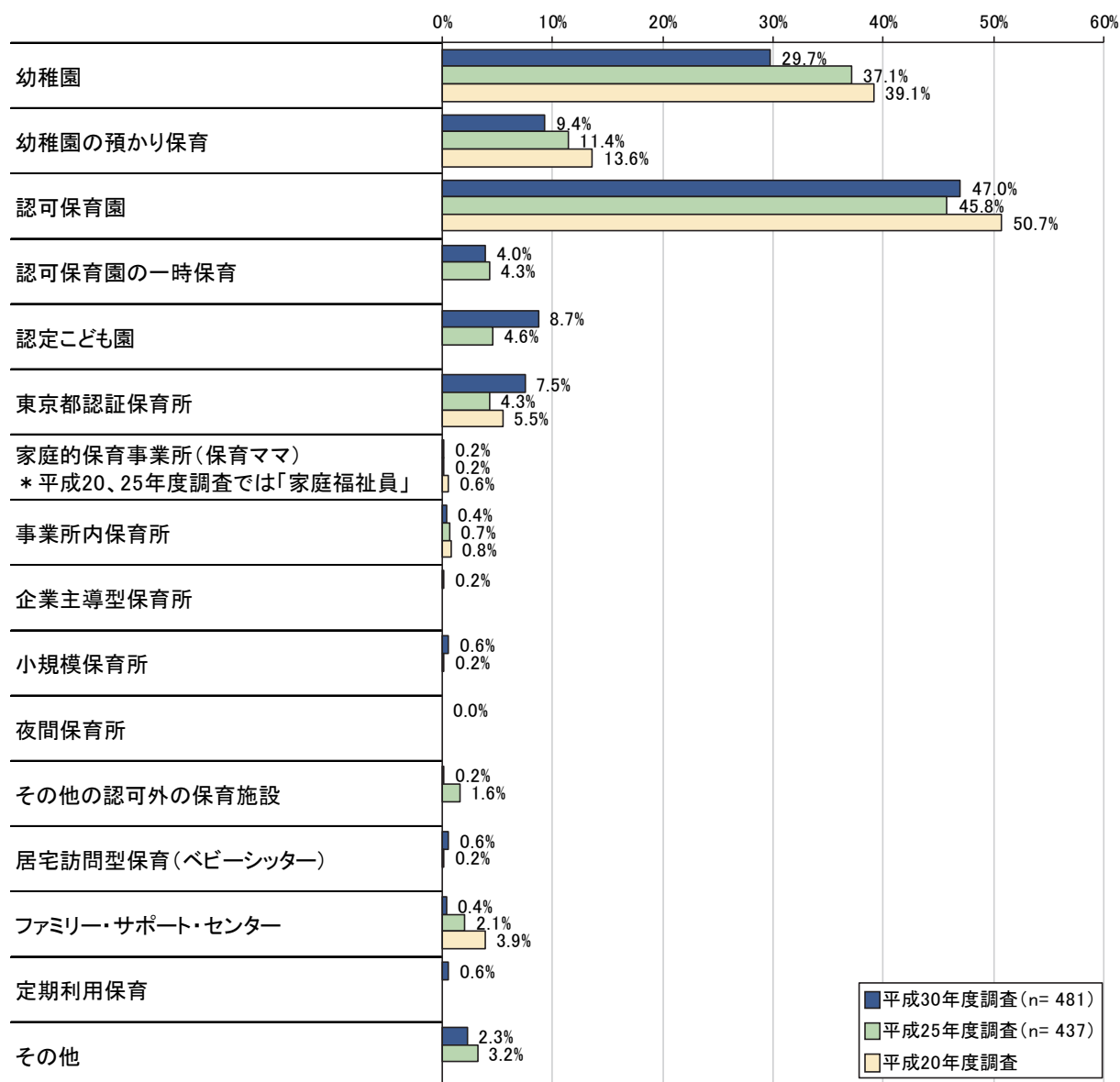


図 定期的に利用している事業

(2) 最も多く利用している事業・場所

○最も多く利用している事業は「認可保育園」、「幼稚園」、「認定こども園」の順となっており、その利用場所は、「多摩市内」が8割台半ば近くを占めている。

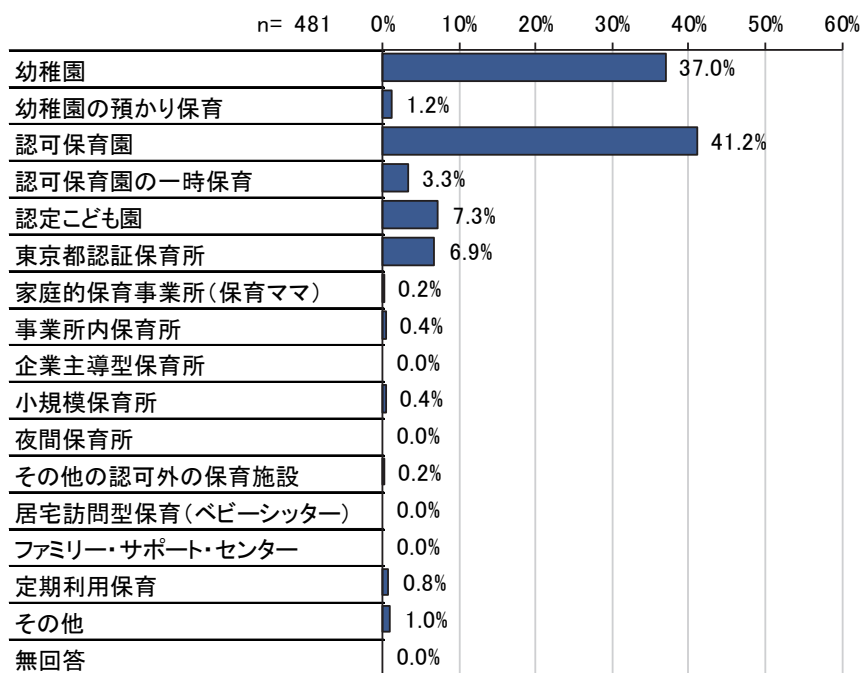


図 最も多く利用している事業

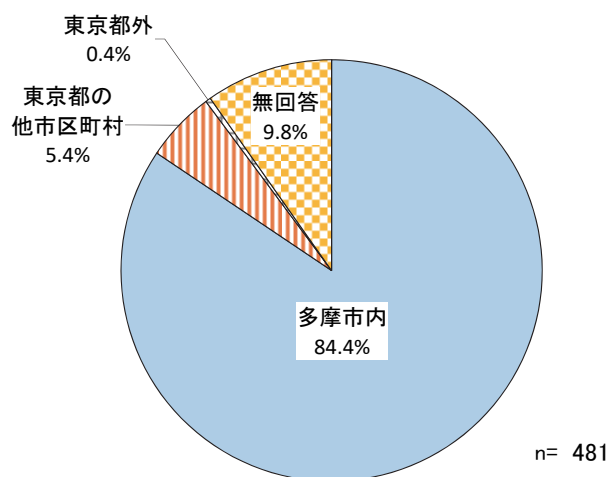


図 最も多く利用している事業の利用場所

(3) 利用日数・利用している理由(複数回答)

○教育・保育事業の利用日数は「週5日」が最も高く8割台半ばを超えている。

○事業を利用している理由は、「現在働いている(または育児休業中である)」が6割台半ばを超え最も高く、次いで「子どもの教育のため」が3割近くとなっている。

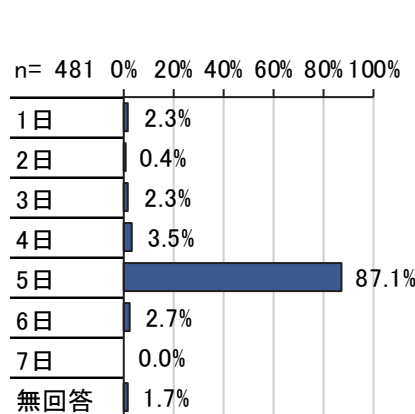


図 利用日数

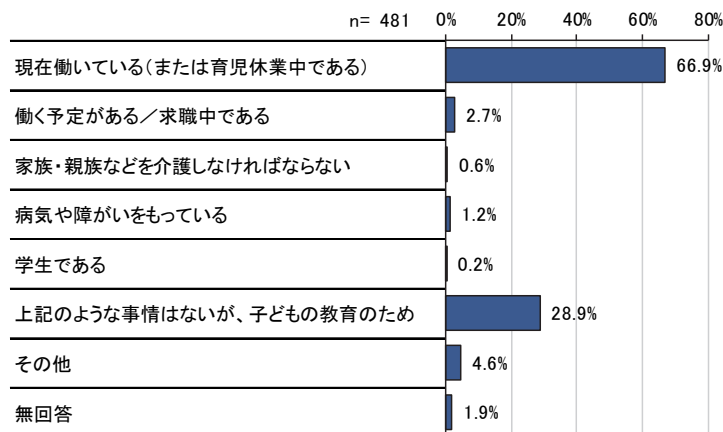


図 利用している理由

問 8-2 利用していない理由(複数回答)

○利用していない理由は「必要がない」が約5割を占め、次いで「まだ幼いため」が4割台半ば近く、「預けたいが、教育・保育の事業に空きがない」が約2割と続いている。

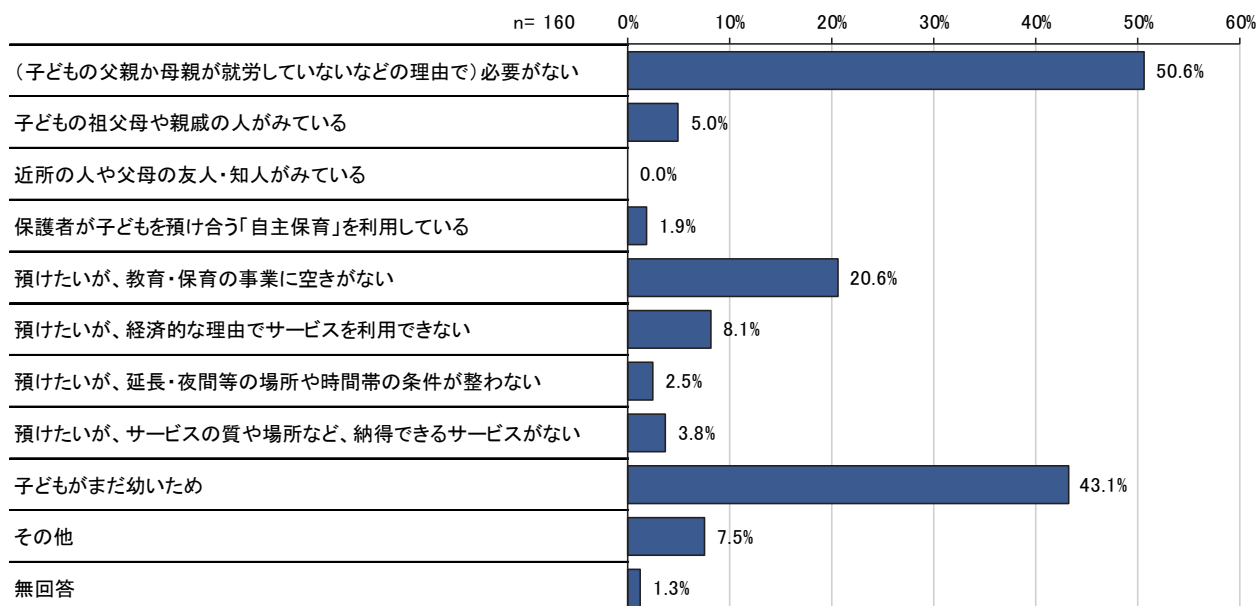


図 利用していない理由

問9 定期的な教育・保育事業の利用希望

(1) 利用を希望する事業(複数回答)

- 利用を希望する事業では「認可保育園」が5割強と最も高く、次いで「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」、「認定こども園」と続いている。
- 前回調査との比較では、「認定こども園」が大幅に増加している。
- 「認可保育園」や「東京都認証保育所」も増加していることから、保育に対するニーズがさらに高まっていると考えられる。平成28年度より制度が始まった「企業主導型保育所」は3.1%となっている。

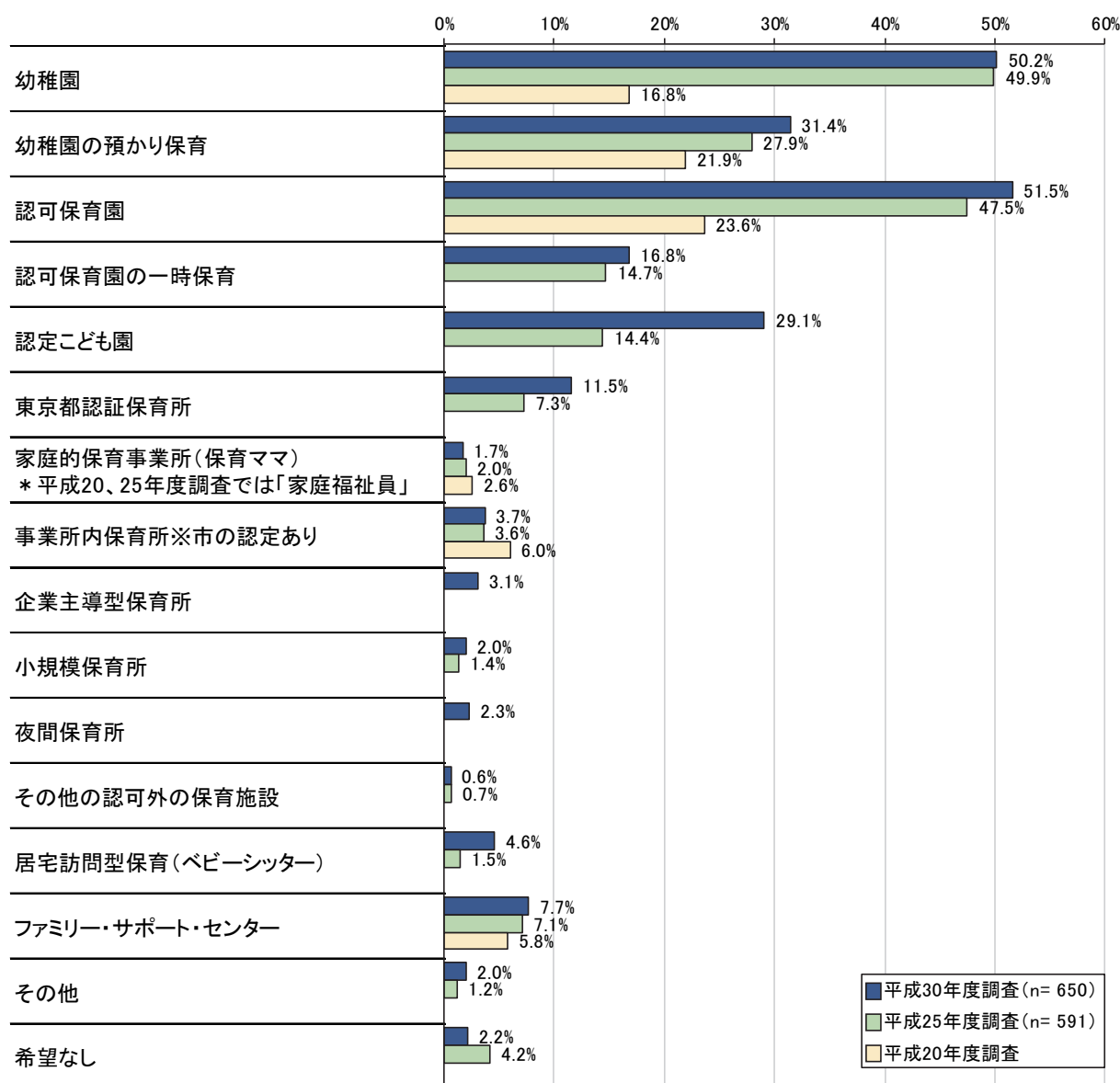


図 平日の教育・保育事業の利用希望

(2) 特に希望する事業・利用場所

○特に希望する事業では「幼稚園」、「認可保育園」、「認定こども園」の順となっており、その希望利用場所は9割近くが「多摩市内」となっている。

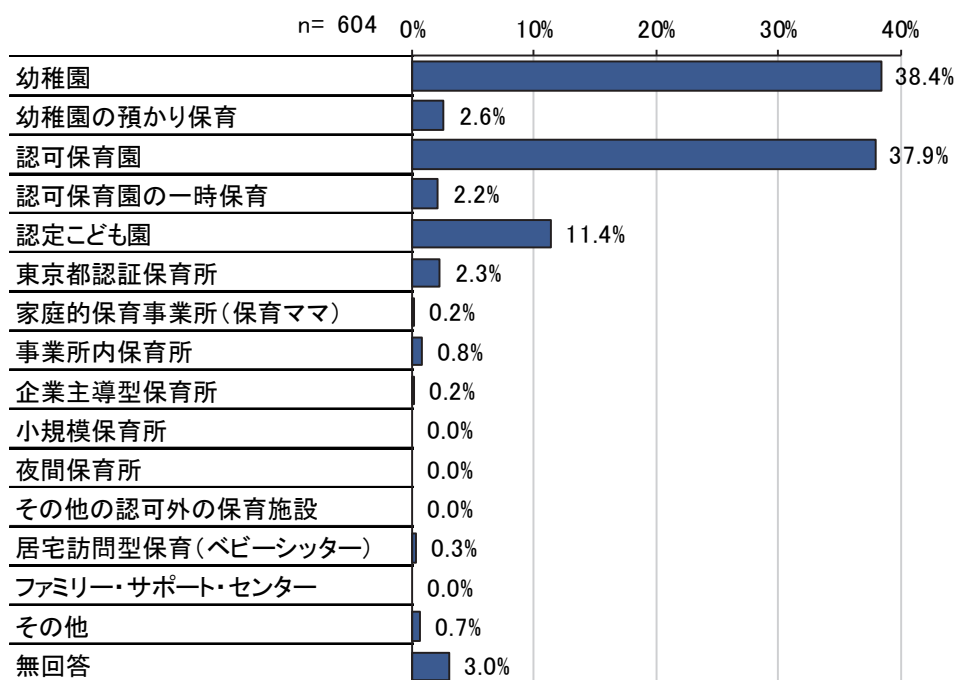


図 特に希望する事業

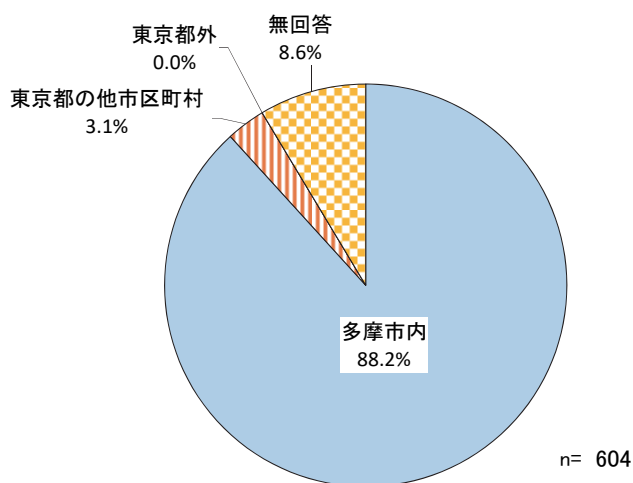


図 特に希望する事業の利用場所

(3) 利用したい日数

○希望する事業の利用したい日数は「週5日」が8割台半ば近くを占めている。

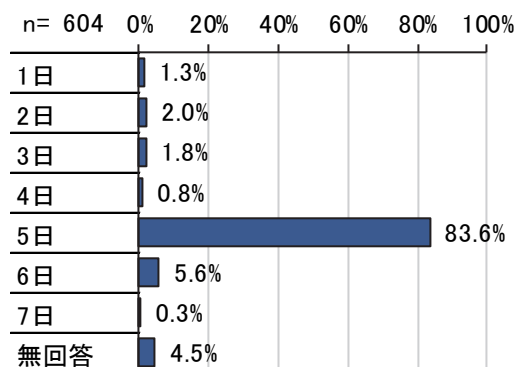


図 利用したい日数

問 10 送迎保育ステーション*の利用意向・利用を希望する年齢

○送迎保育ステーションがあった場合の利用意向は「利用したい」と「子どもが[]歳になったら、利用したい」を合わせた“利用したい”は34.5%、「利用したいとは思わない」、「わからない」は共に3割強となっている。

○利用を希望する年齢は、「3歳になるまでの間に利用したい」が最も高く、次いで「5歳以上になったら」となっている。

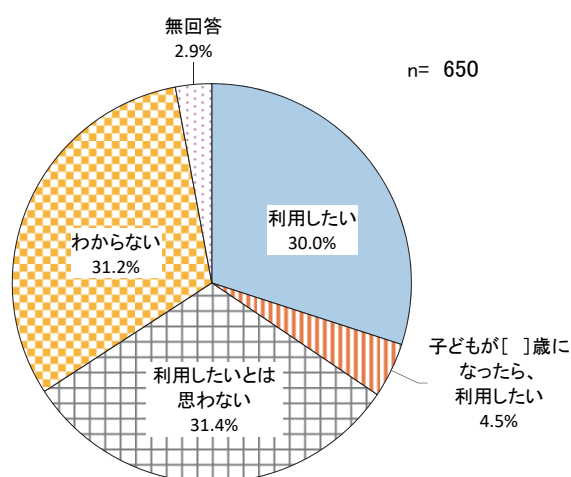


図 送迎保育ステーションの利用意向

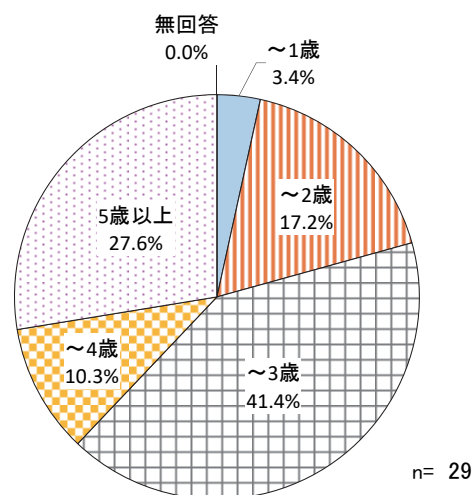


図 利用を希望する年齢

※ 対象の子どもを一時的に預かる拠点（送迎保育ステーション）を駅前等に設置し、拠点と利用保育所の間でバスを運行し、子どもの送迎を行うサービス。

7. 子どもが病気になったときの対応

問 12 保育園等の病欠の有無

○保育園、幼稚園等を休まなければならなかったことが「あった」が8割台半ばで最も高く、「なかった」は8.1%にとどまっている。

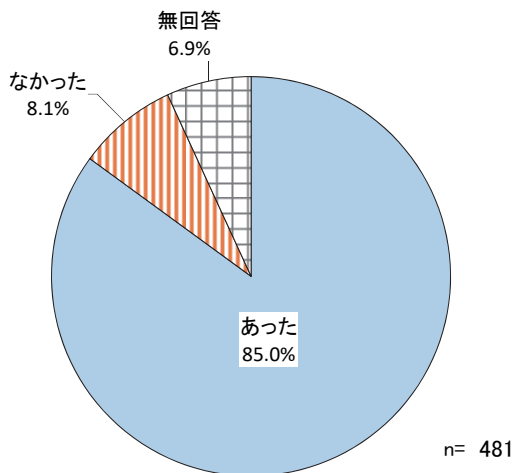


図 保育園等の病欠の有無

問 12-1 休んだときの対処（複数回答）

問 12-2 病児・病後児のための保育施設等の利用希望

○休んだときの対処は「母親が休んだ」が7割近くで最も高く、次いで「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」、「父親が休んだ」と続いている。

○「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は3割台半ば近くにとどまっている。

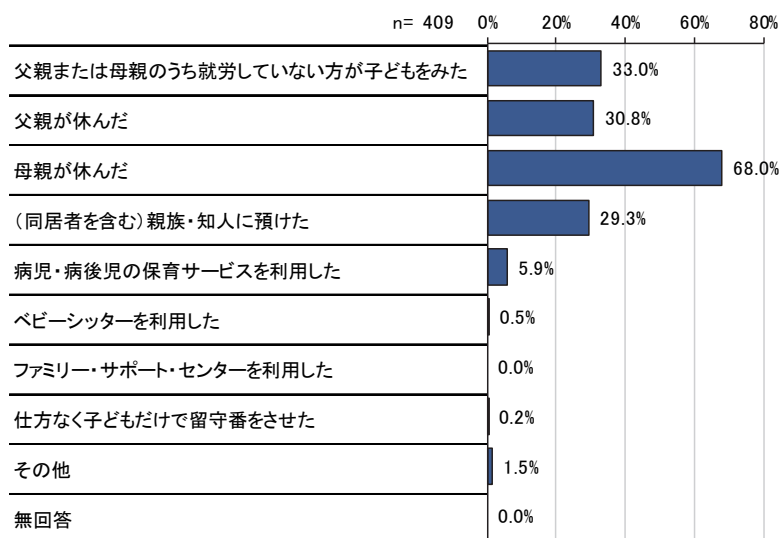


図 休んだときの対処

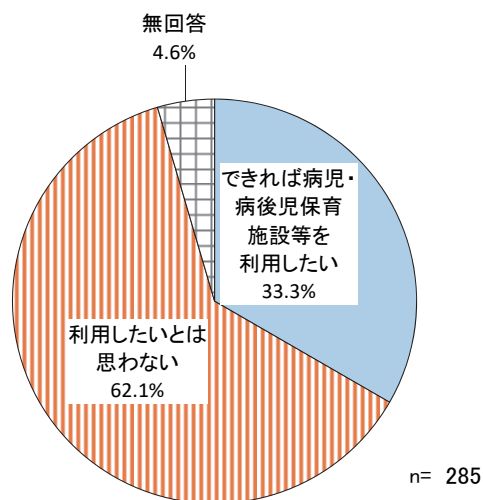


図 病児・病後児のための保育施設等の利用希望

8. 地域の子育て支援事業の利用状況

問 13 子育て支援事業の認知度、利用状況

(1) 事業の認知度

○事業や取り組みについて、「知っている」が8割以上の認知度が高い項目は、「パパママ（両親）学級」、「妊婦健診事業」、「新生児訪問事業」、「保育園の一時保育」、「保育園の延長保育」、「子育て総合センターたまっこ子育てひろば」となっている。

○反対に「知らない」が6割以上の認知度が低い項目は、「子どもショートステイ事業」、「教育センター（教育相談）」、「子育て応援とうきょうパスポート事業（東京都）」となっている。

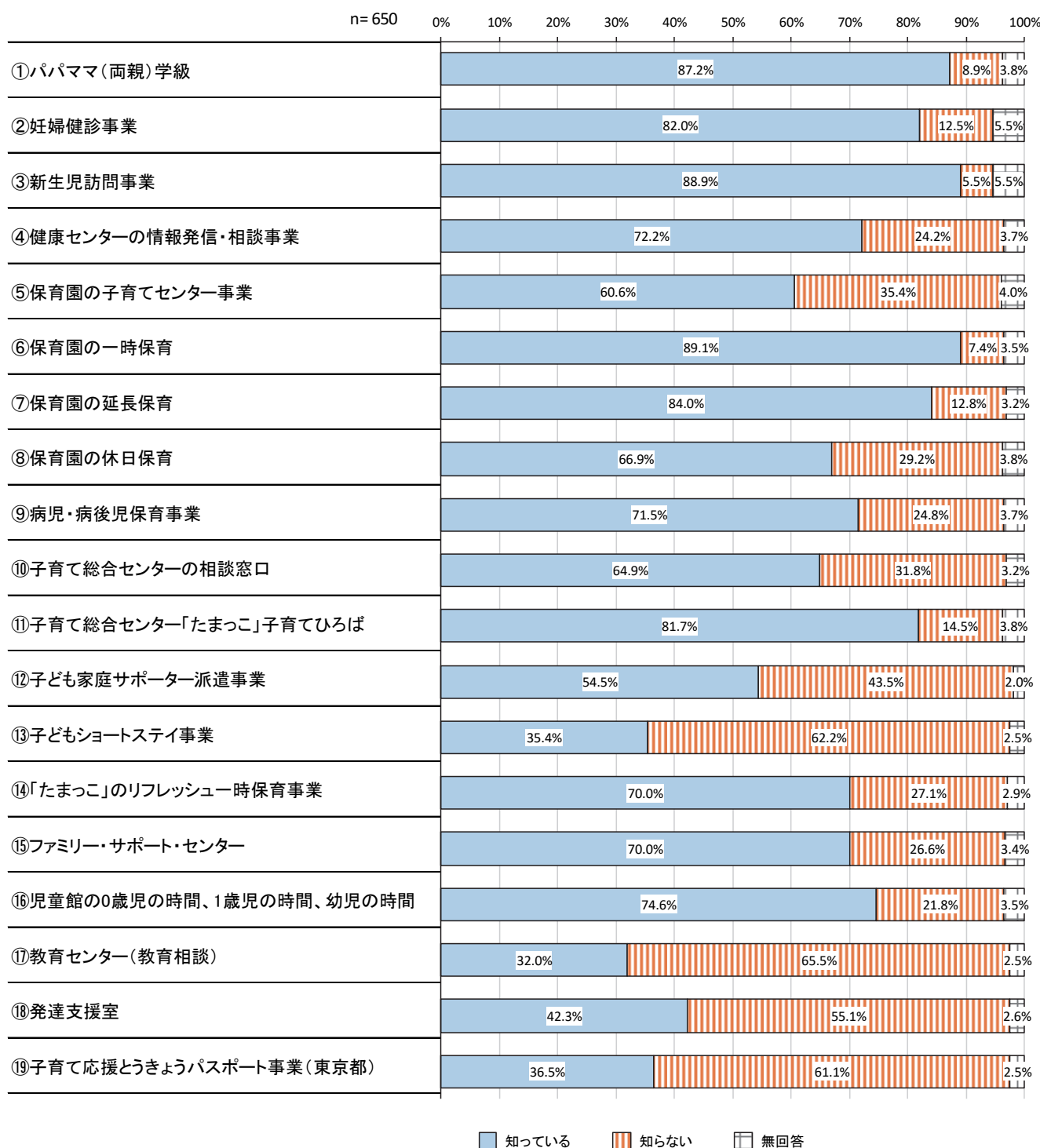


図 事業の認知度

(2) 利用状況

○事業や取り組みの利用状況についてみると、「利用したことがある」は「新生児訪問事業」、「妊婦健診事業」、「児童館の0歳児の時間、1歳児の時間、幼児の時間」の順で高くなっている。

○反対に「利用したことがない」は「子どもショートステイ事業」、「ファミリー・サポート・センター」、「子ども家庭サポーター派遣事業」の順で高くなっており、いずれも8割を超えている。

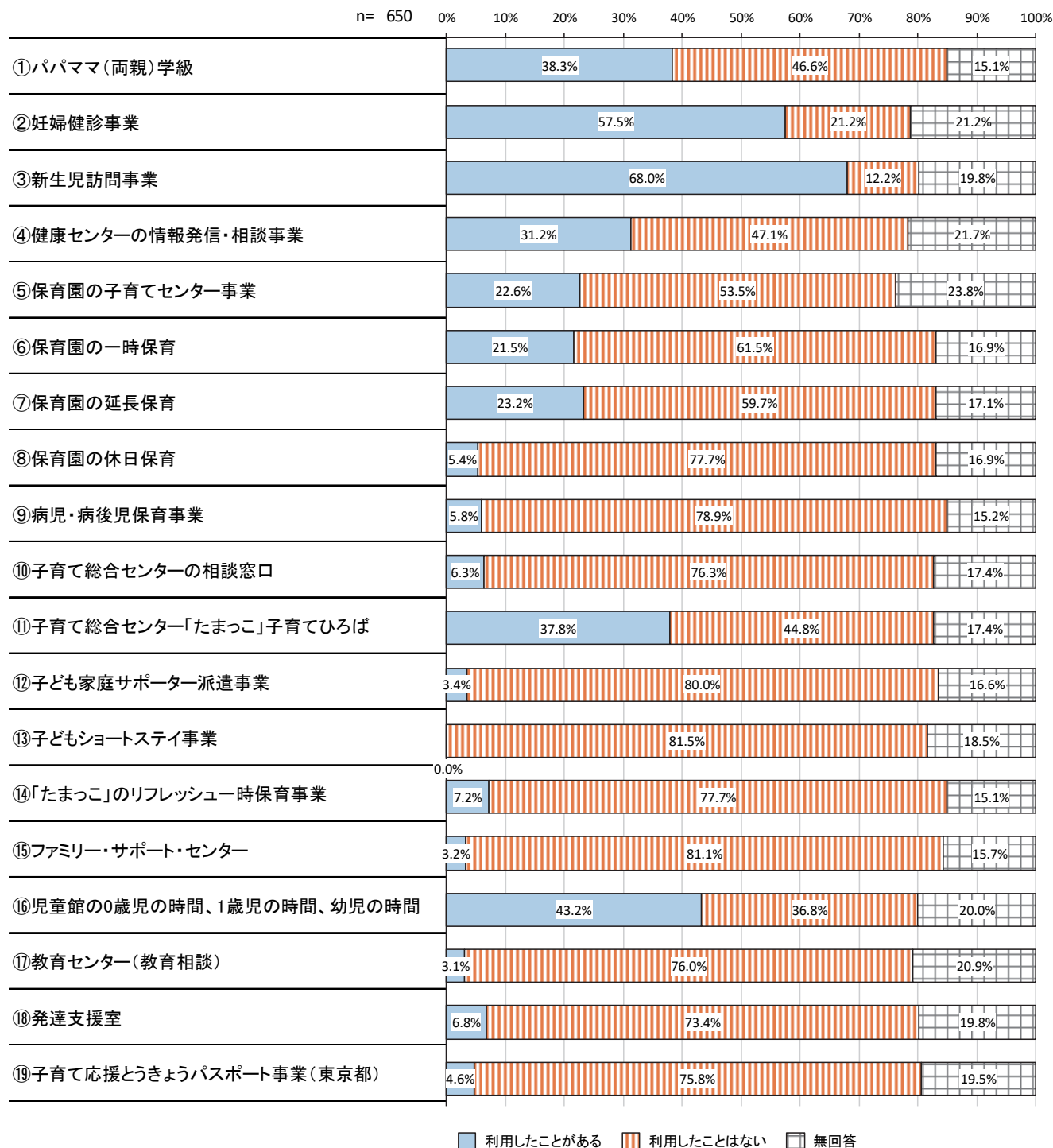
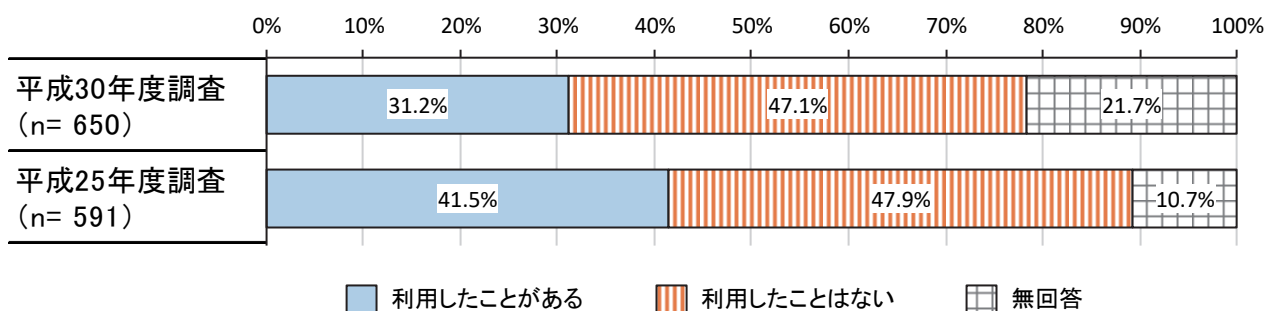


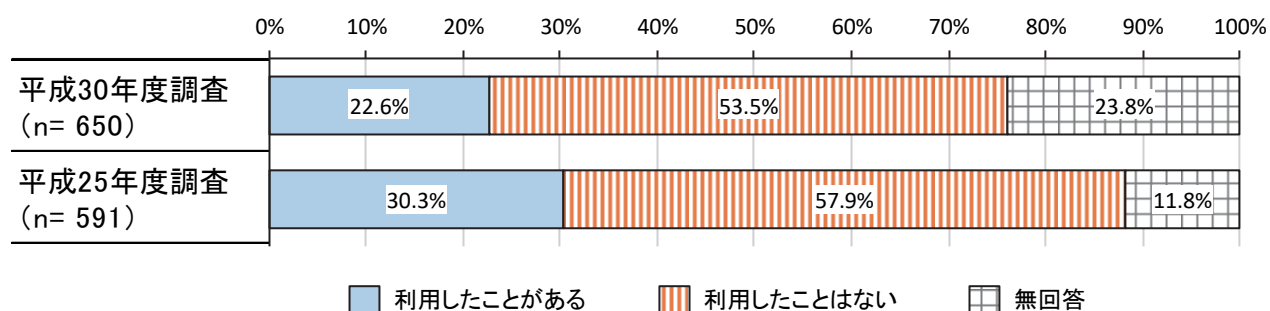
図 事業の利用状況

○前回調査と比較すると、「健康センターの情報発信・相談事業」、「保育園の子育てセンター事業」、「保育園の一時保育」などで「利用したことがある」が減少し、「病児・病後児保育事業」、「子育て総合センターたまっこ子育てひろば」、「たまっこのリフレッシュ時保育事業」では増加している。

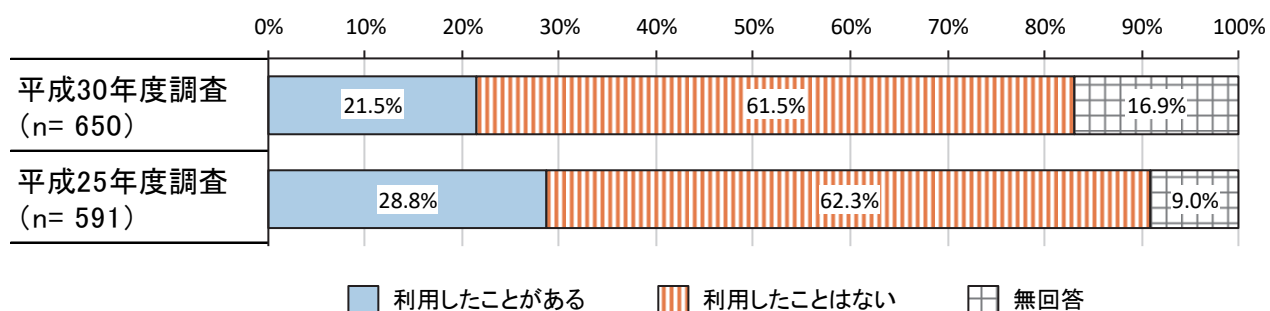
④ 健康センターの情報発信・相談事業



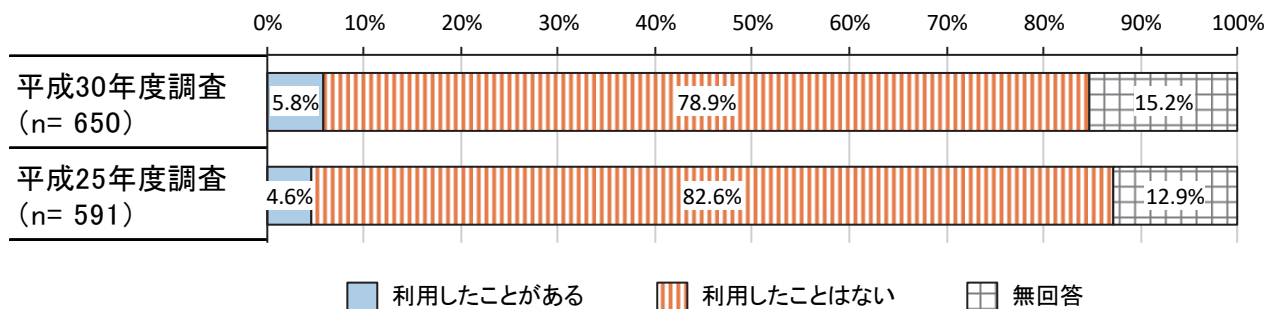
⑤ 保育園の子育てセンター事業



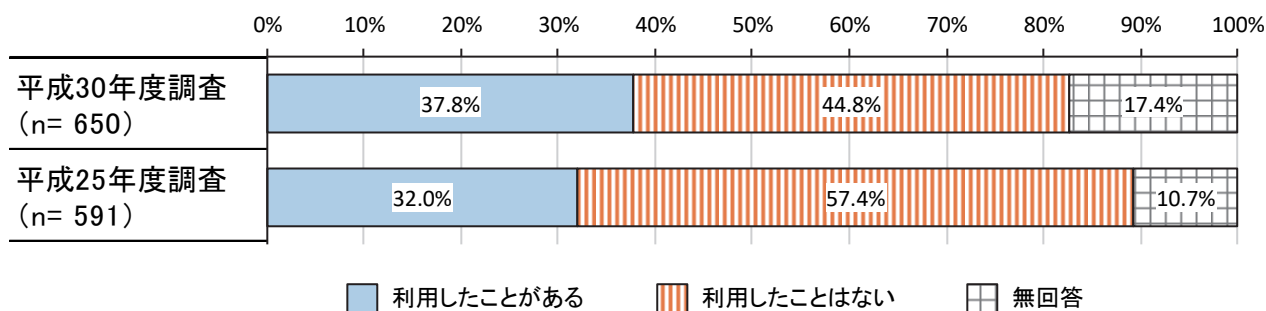
⑥ 保育園の一時保育



⑨ 病児・病後児保育事業



⑪ 子育て総合センター「たまっこ」子育てひろば



⑭ 「たまっこ」のリフレッシュ時保育事業

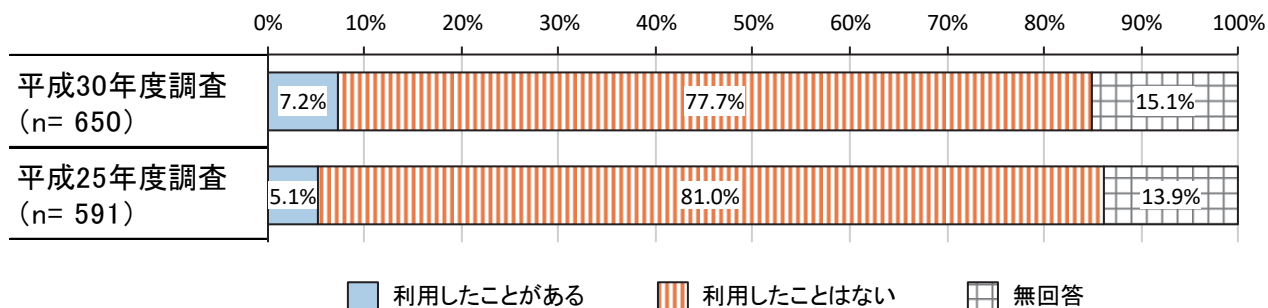


図 利用状況（前回調査との比較）

(3) 満足度

○利用した方の満足度についてみると、「パパママ（両親）学級」、「妊婦健診事業」、「新生児訪問事業」、「子育て総合センターたまっこ子育てひろば」では「満足」が8割を超えている。

○反対に「不満」では「子育て応援とうきょうパスポート事業（東京都）」が3割台半ばを超え最も高く、次いで「発達支援室」、「子育て総合センターの相談窓口」と続いている。

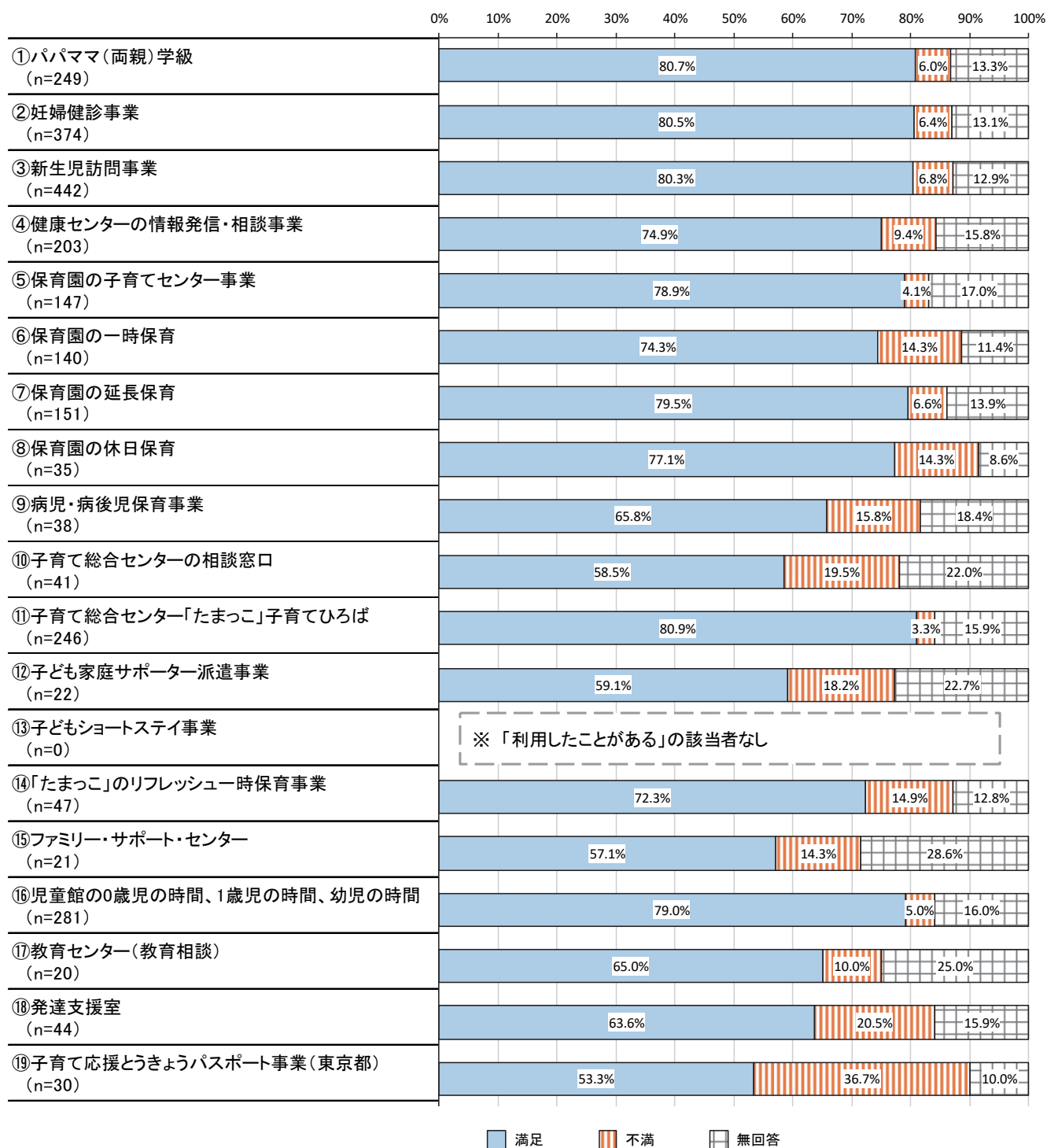


図 事業の満足度

(4) 利用意向

○今後の利用意向についてみると、「今後利用したい」では「子育て応援とうきょうパスポート事業（東京都）」が5割強と最も高く、次いで「子育て総合センターたまっこ子育てひろば」で4割強、「児童館の0歳児の時間、1歳児の時間、幼児の時間」で4割弱の順になっている。

○反対に「利用したいと思わない」は「子どもショートステイ事業」で6割強と最も高く、次いで「子ども家庭サポーター派遣事業」で6割弱、「ファミリー・サポート・センター」で5割強となっている。

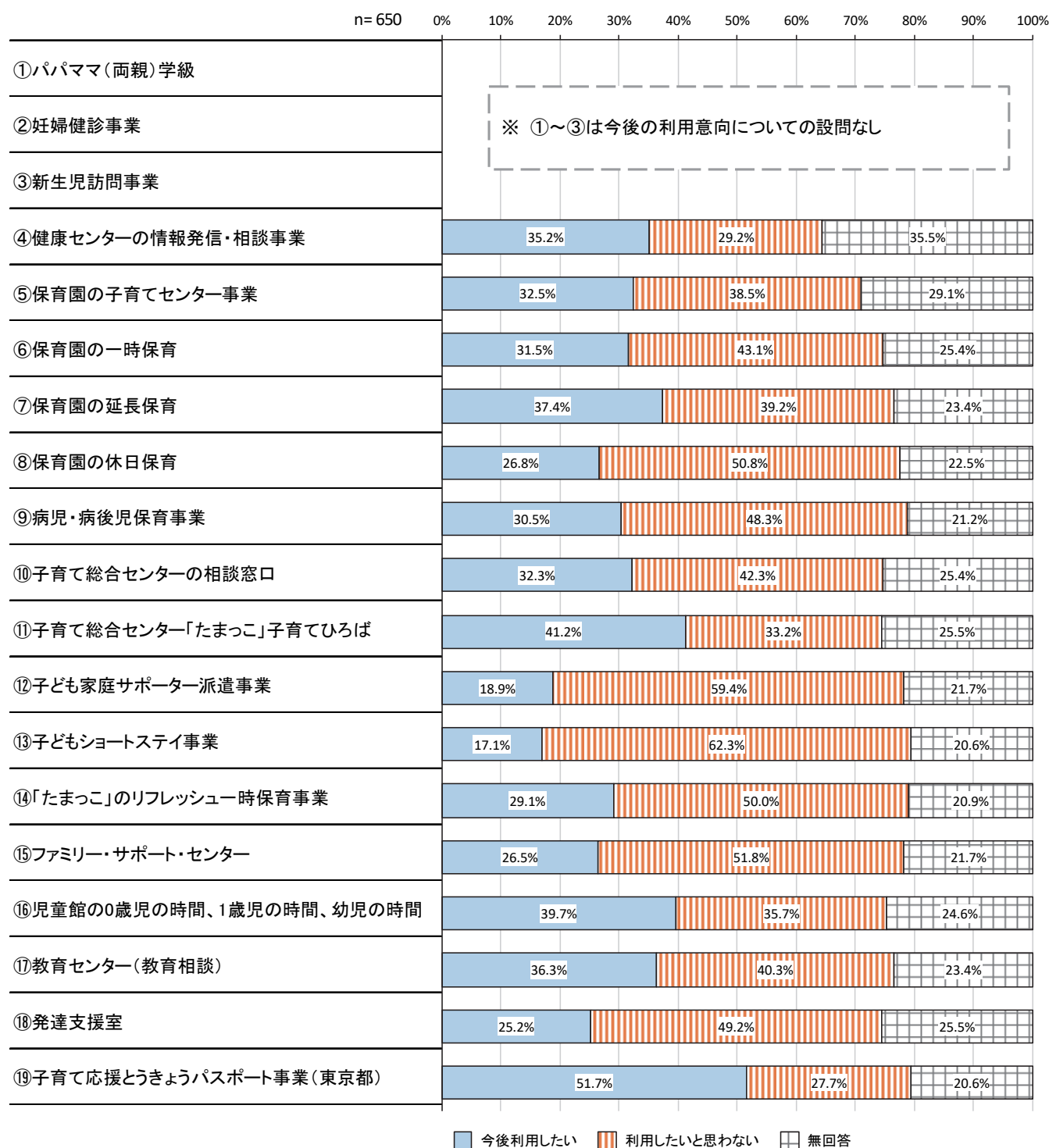


図 今後の利用意向

問 14 地域子育て支援拠点「子育てひろば」の利用状況

(1) 利用状況

○子育てひろばの利用状況は、「利用していない」が約6割を占めている。

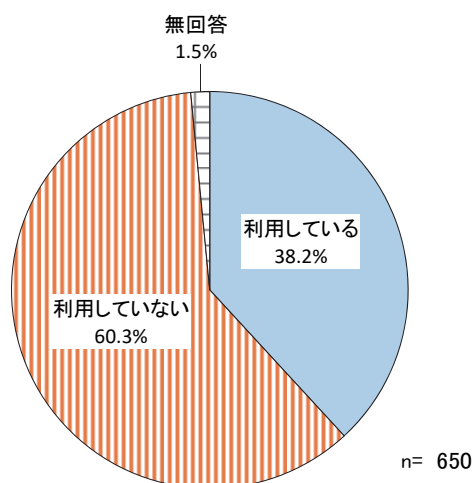


図 子育てひろばの利用状況

(2) 利用者・不利用者の今後の利用意向

○現在子育てひろばを利用している方の今後の利用意向は、「今後利用日数を増やしたいとは思わない」が約5割、「今後利用日数を増やしたい」は4割台半ば近くとなっている。

○利用していない方の今後の利用意向は、「今後利用したいと思わない」が5割台半ば近く、「今後利用したい」が3割台半ば近くとなっている。

【現在子育てひろばを利用している】

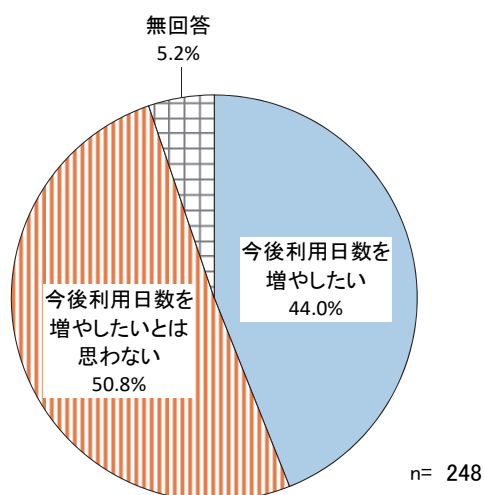


図 利用者の今後の利用意向

【子育てひろばを利用していない】

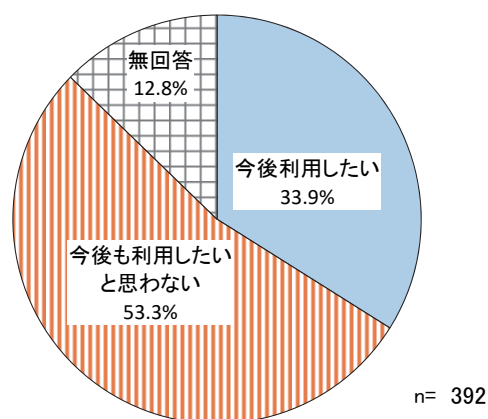


図 不利用者の今後の利用意向

（３）子育てひろばでの相談や情報提供を受けた経験

○子育てひろばで相談や情報の提供を受けた経験は「ない」が７割強、「ある」が２割台半ば近くとなっている。

○相談や情報の提供を受けた経験がない方の今後の利用希望は、「相談したいと思わない」が４割近く、「今後相談してみたい・情報提供を受けたい」で２割強となっている。

【相談や情報提供を受けた経験の有無】

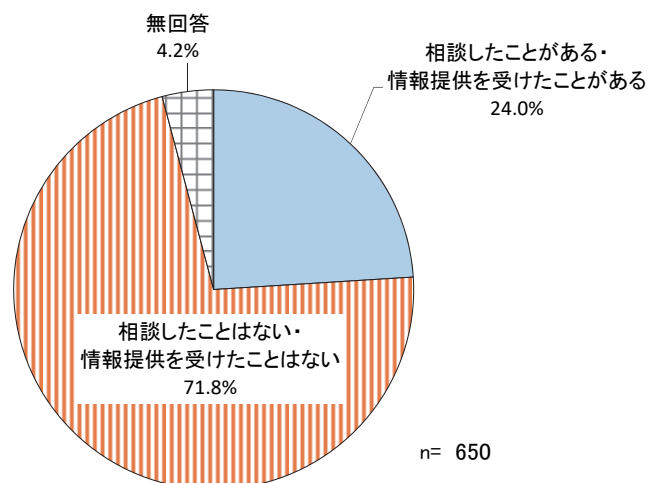


図 相談・情報提供の経験

【相談や情報提供を受けた経験がない方の今後の利用希望】

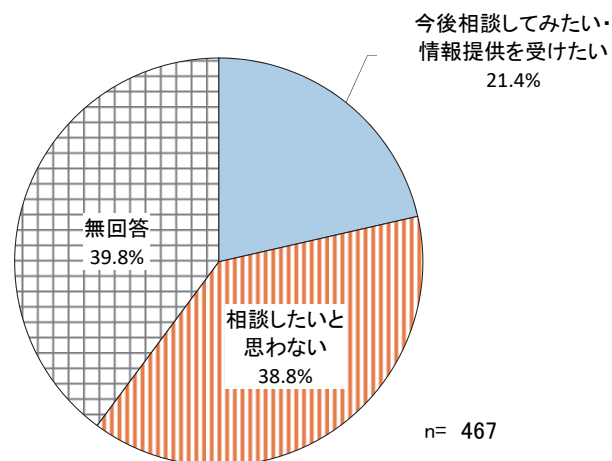


図 今後の希望

（４）子育てひろばで相談したいこと・知りたい情報（複数回答）

○子育てひろばで相談したいことや知りたい情報については、「イベント情報」が６割弱と最も高く、次いで「幼稚園・保育園情報」、「基本的な生活習慣」の順になっている。

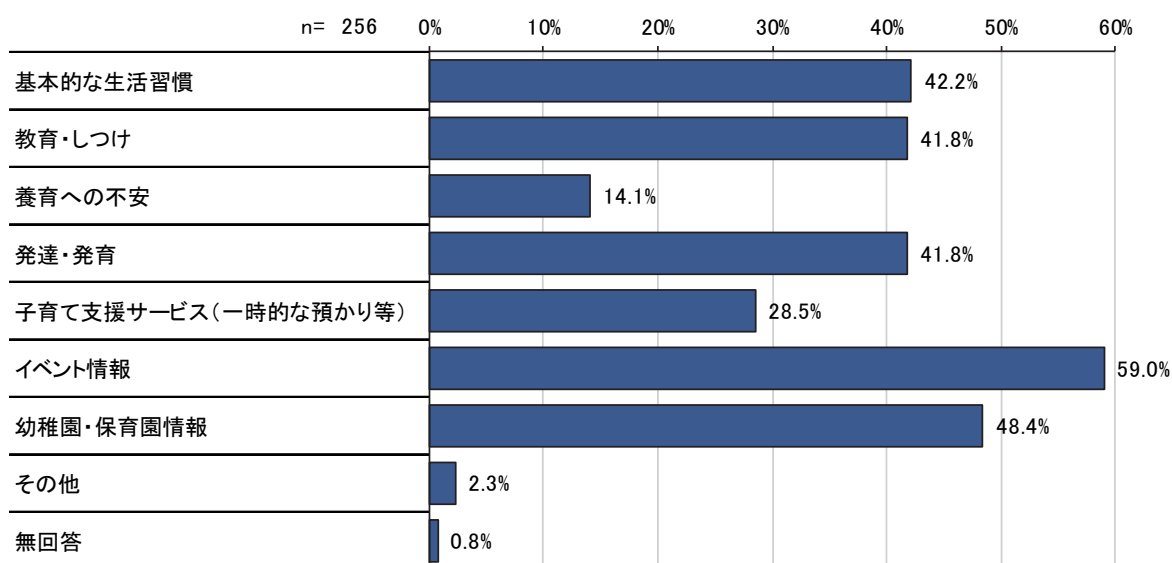


図 相談したいこと・知りたい情報

9. 不定期の教育・保育事業や「一時預かり」等の利用

問 15 不定期に利用している事業

○一時預かり等の利用状況は「利用していない」が約7割を占めている。

○利用している事業では「幼稚園の預かり保育」、「保育園の一時保育」、「たまっこのリフレッシュ一時保育」の順に高くなっている。

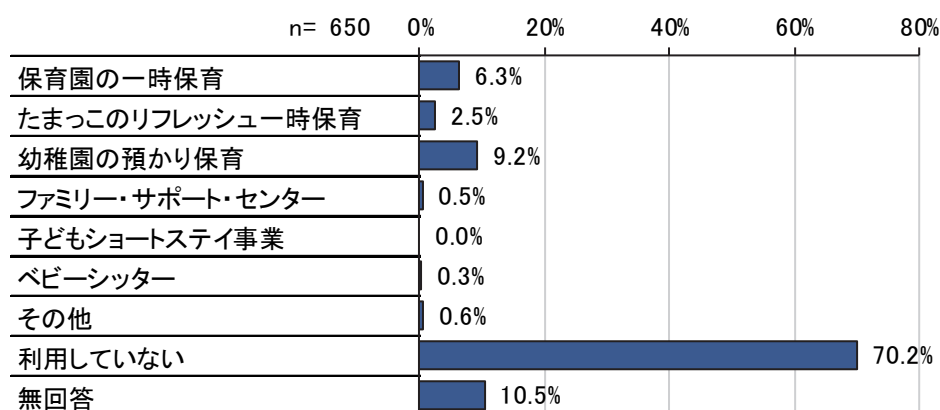


図 不定期に利用している事業

問 16 不定期な事業の利用希望・理由（複数回答）

○一時預かり等の利用希望は、「利用する必要性はない」が5割近くを占める。

○利用したい理由では、「買い物、子ども（兄弟姉妹含む）や親の習い事、リフレッシュなどの目的」が7割台半ばで最も高い。

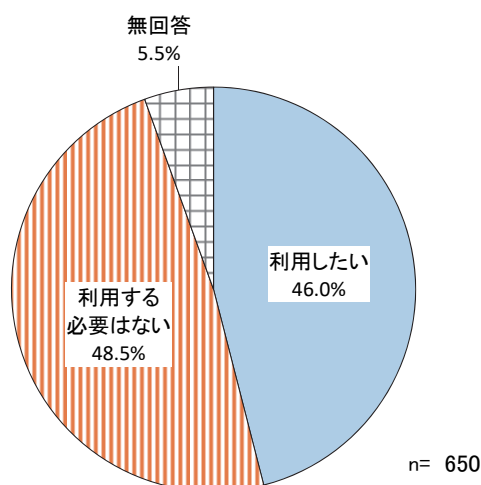


図 不定期な事業の利用希望

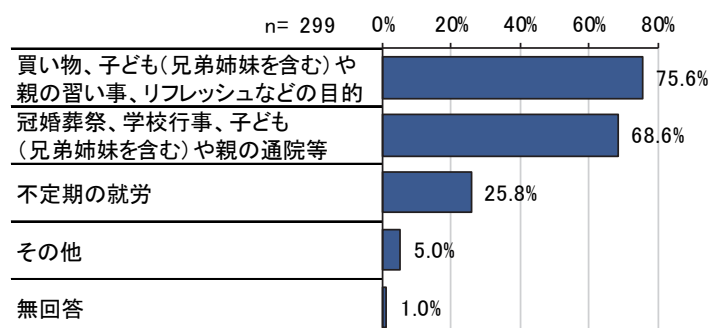


図 不定期な事業の希望理由

問 17 宿泊を伴う一時預かりの有無、その対処法（複数回答）

○宿泊を伴う一時預かりの有無は、「なかった」が8割近くを占めている。

○その対処法は「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が9割弱と最も高く、「仕方なく子どもを同行させた」は1割台半ば近くとなっている。

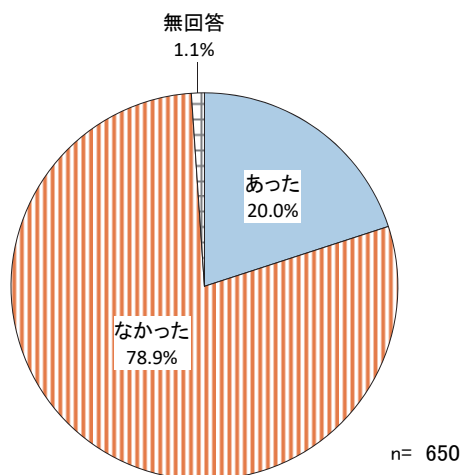


図 宿泊を伴う一時預かりの有無

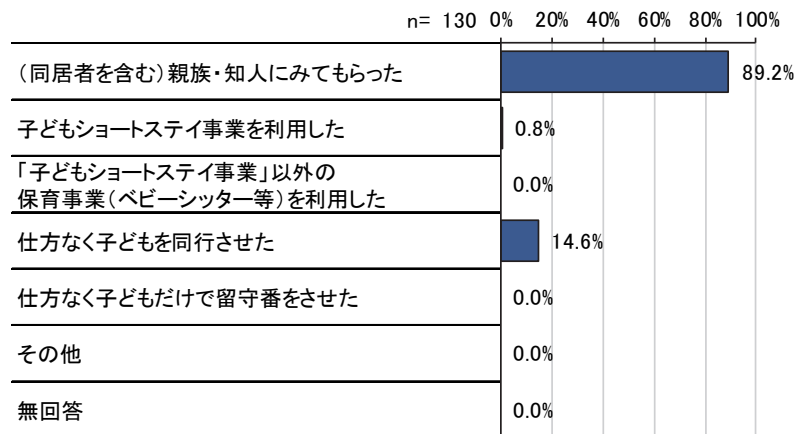


図 対処方法

問 17-1 親族・知人を見つける難易度

○預かってくれる親族・知人を見つけるのは「特に困難ではなかった」が7割近くを占め、「どちらかといえば困難だった」は2割台半ば、「非常に困難だった」は6.0%にとどまる。

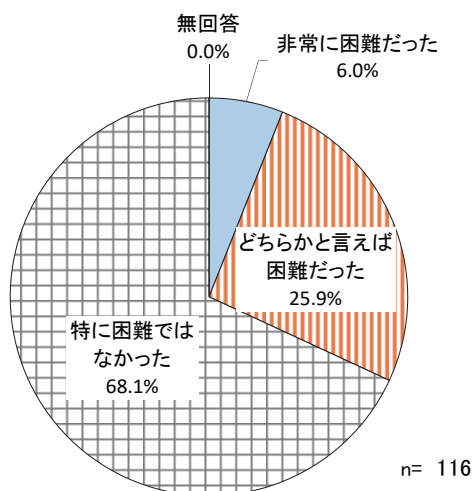


図 親族・知人を見つける難易度

10. 小学校就学後の放課後の過ごし方

問 11 小学校就学後の学童クラブ（学童保育）利用希望・希望日数

○小学校入学を控える子どもの保護者の学童クラブ利用希望は、「利用したい」が5割台半ばを超えている。

○学童クラブの1週当たりの利用希望日数は「5日」が7割台半ばを超え最も高くなっている。

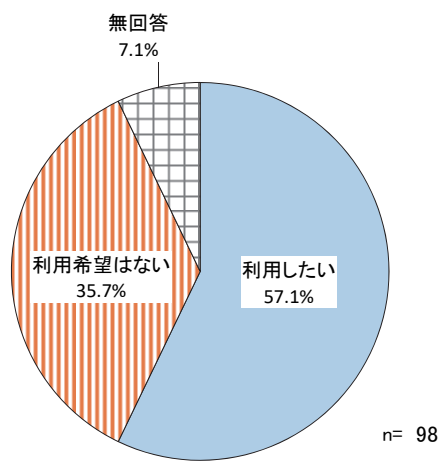


図 小学校就学後の学童クラブ（学童保育）利用希望

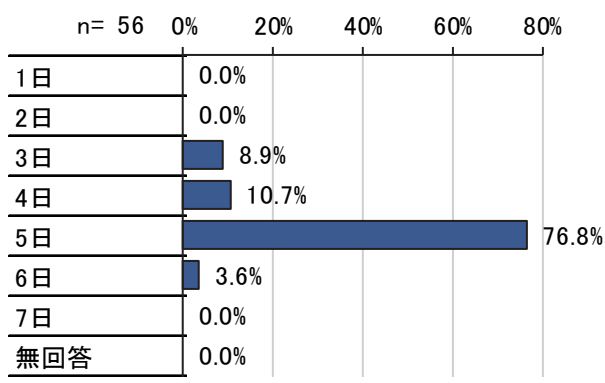


図 1 週当たりの利用希望日数

11. 発達や医療的ケアについて

問 18 日常的な医療的ケア*の必要性

○お子さんへの日常的な医療的ケアの必要性は「必要ではない」が9割台半ばを超え、「必要である」は1.2%となっている。

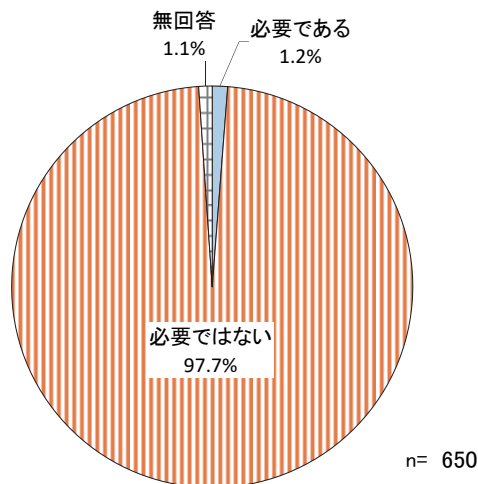


図 日常的な医療的ケアの必要性

※ 病院以外の場所で行う「酸素吸入」や「たんの吸引」、「チューブを使って胃に直接栄養を送る経管栄養」など、日常生活上で必要な医療的援助のこと。

問 19 健診や保育所等での発達に関する指摘

○健診や保育所等で発達に関する指摘を受けた経験は、「言われたことはない」が8割強、「言われたことがある」が1割台半ばを超えている。

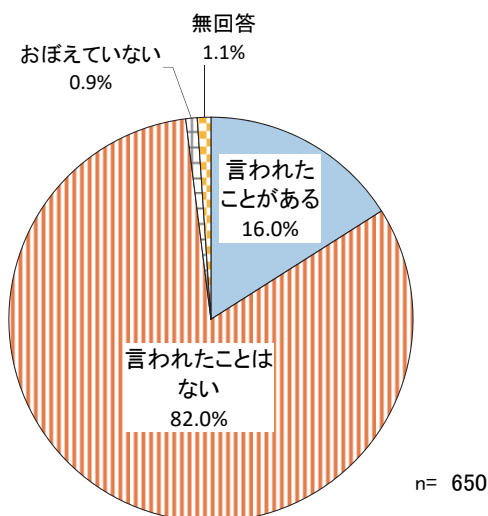


図 健診や保育所等での発達に関する指摘

問 20 子どもの発達に不安を感じた経験の有無（複数回答）

○子どもの発達に不安を感じた経験の有無は、「不安を感じることは特にない」が7割台半ば近くとなっている。

○不安を感じた内容では、「落ち着きがない、こだわりが強いなどの気になる行動が見られること」、「年齢に対して言葉が遅れていること」、「乱暴、気持ちの切り替えができないなど、感情のコントロールが苦手」の順に高くなっている。

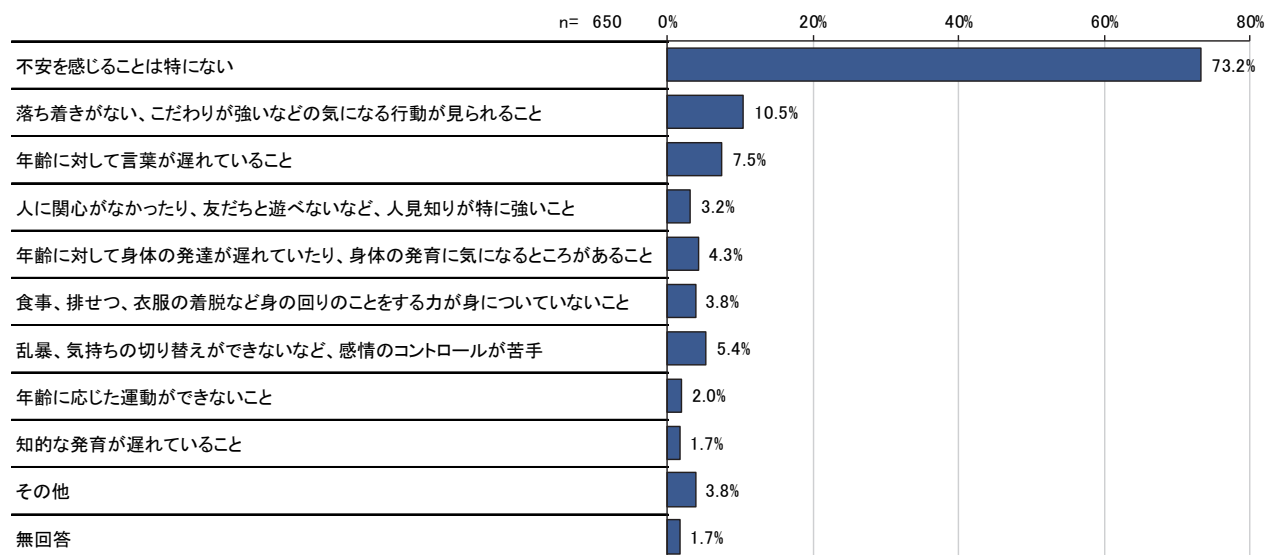


図 子どもの発達に不安を感じた経験の有無

問 20-1 発達に関する不安を感じた際の相談先（複数回答）

○発達に関する不安の相談先は、「配偶者・パートナー」が8割強と最も高く、次いで「自分や配偶者の親族」、「保育所・幼稚園」、「友人」、「健康センター」と続いている。

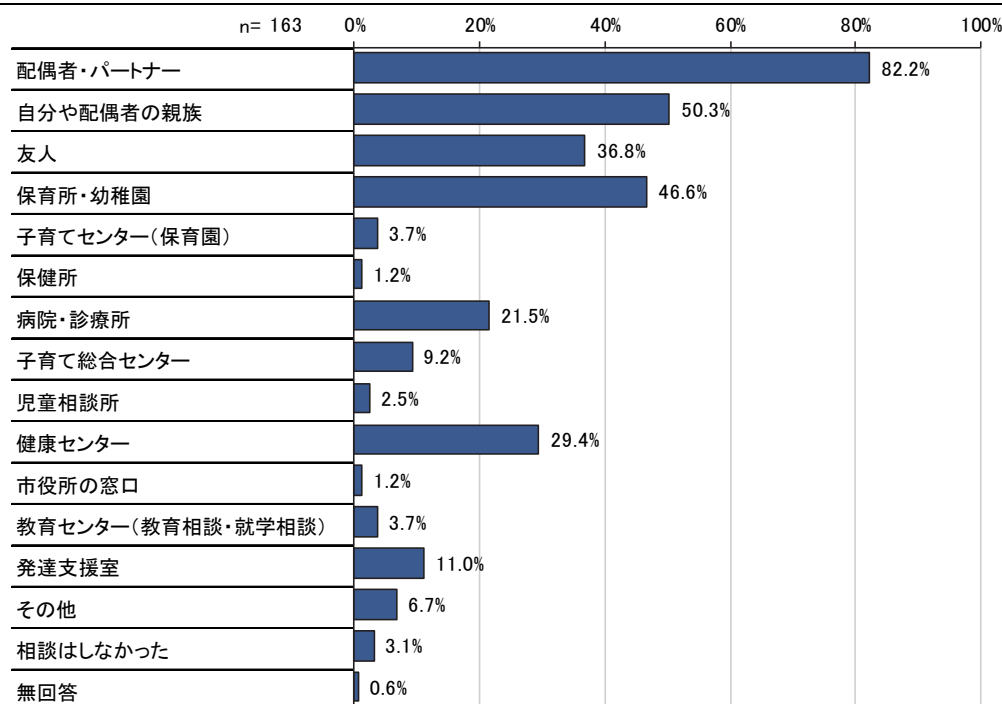


図 発達に関する不安を感じた際の相談先

12. 子育ての悩みや相談相手

問 25 子育てについての不安や負担

- 子育てについての不安や負担は「何となく感じる」が3割台半ば近くで最も高くなっている。
- 「非常に感じる」と「何となく感じる」を合わせた『感じる』は4割台半ば近くと、前回調査と大きな変化はないが、「あまり感じない」と「まったく感じない」を合わせた『感じない』は平成20年度調査から若干ではあるものの、増加傾向である。
- 経済的な状況別では、経済的な状況が苦しくなるほど子育てに関する不安や負担を感じていることがうかがえ、「大変苦しい」では56.7%の方が『感じる』と回答している。

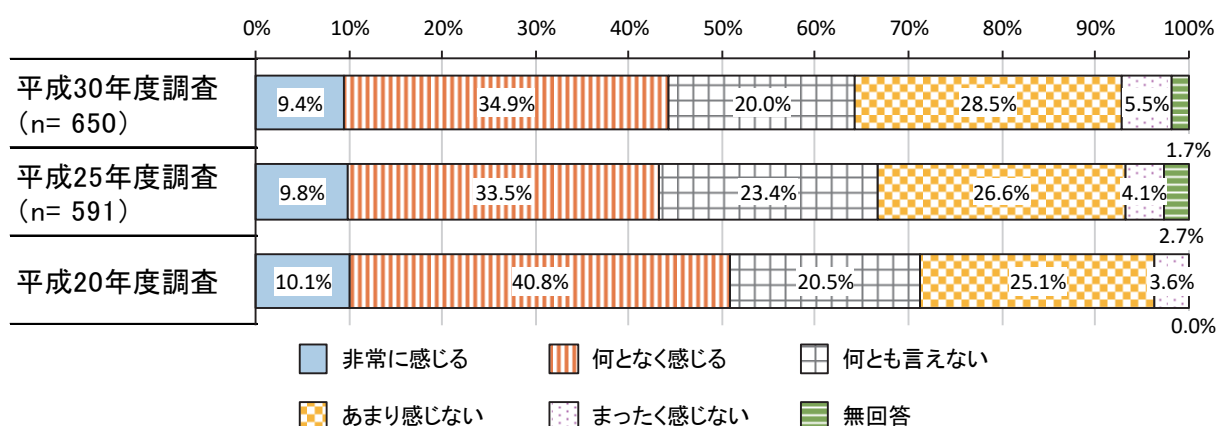


図 子育てについての不安や負担

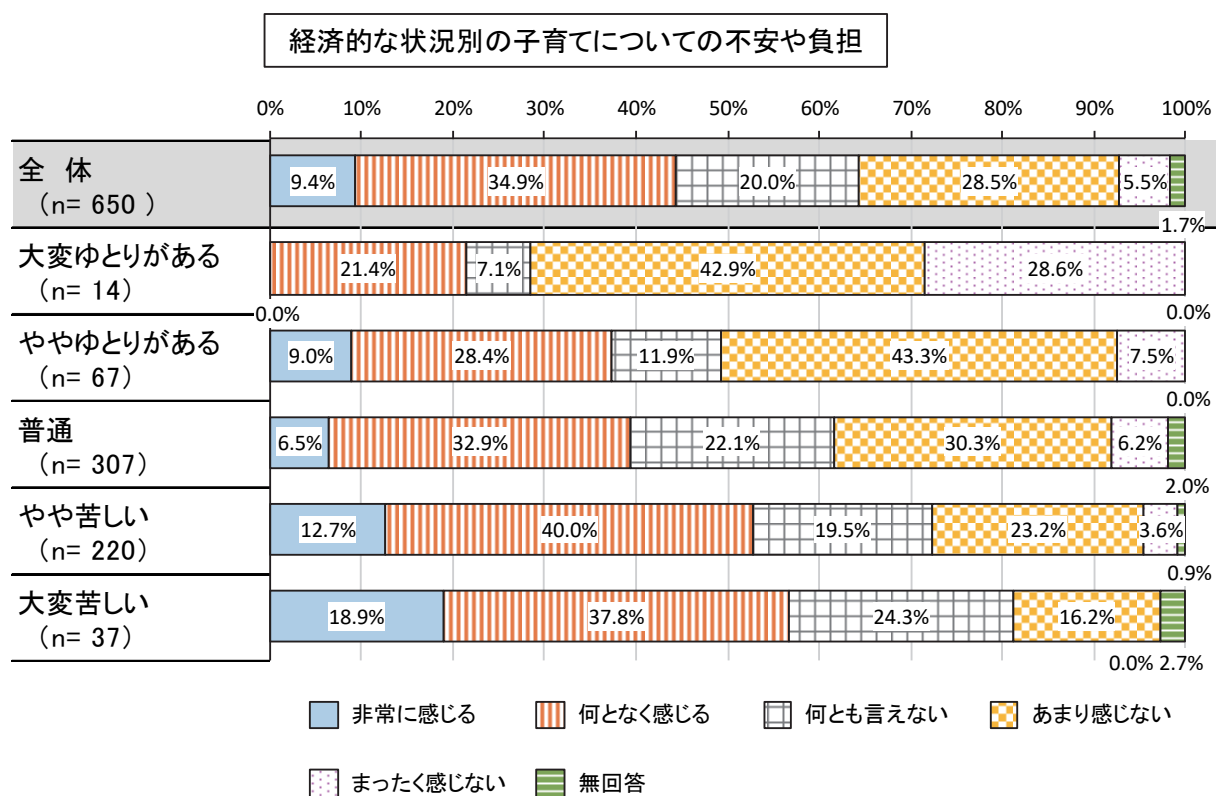


図 子育てについての不安や負担（経済的な状況別）

問 25-1 具体的な不安や負担（複数回答）

- 具体的な不安や負担は「心身の疲れ」が6割強で最も高く、次いで「自由な時間がない」が5割台半ば、「出費などの経済的不安」が5割強と続いている。
- 前回調査から比較すると「自由な時間がない」が大幅に増加している。
- 「配偶者・パートナーの理解・協力不足」や「配偶者・パートナー以外に手伝ってくれる人がいない」、「子どもとの接し方、育児の方法がわからない」が増加しており、相談相手や協力者が不足していることがうかがえる。

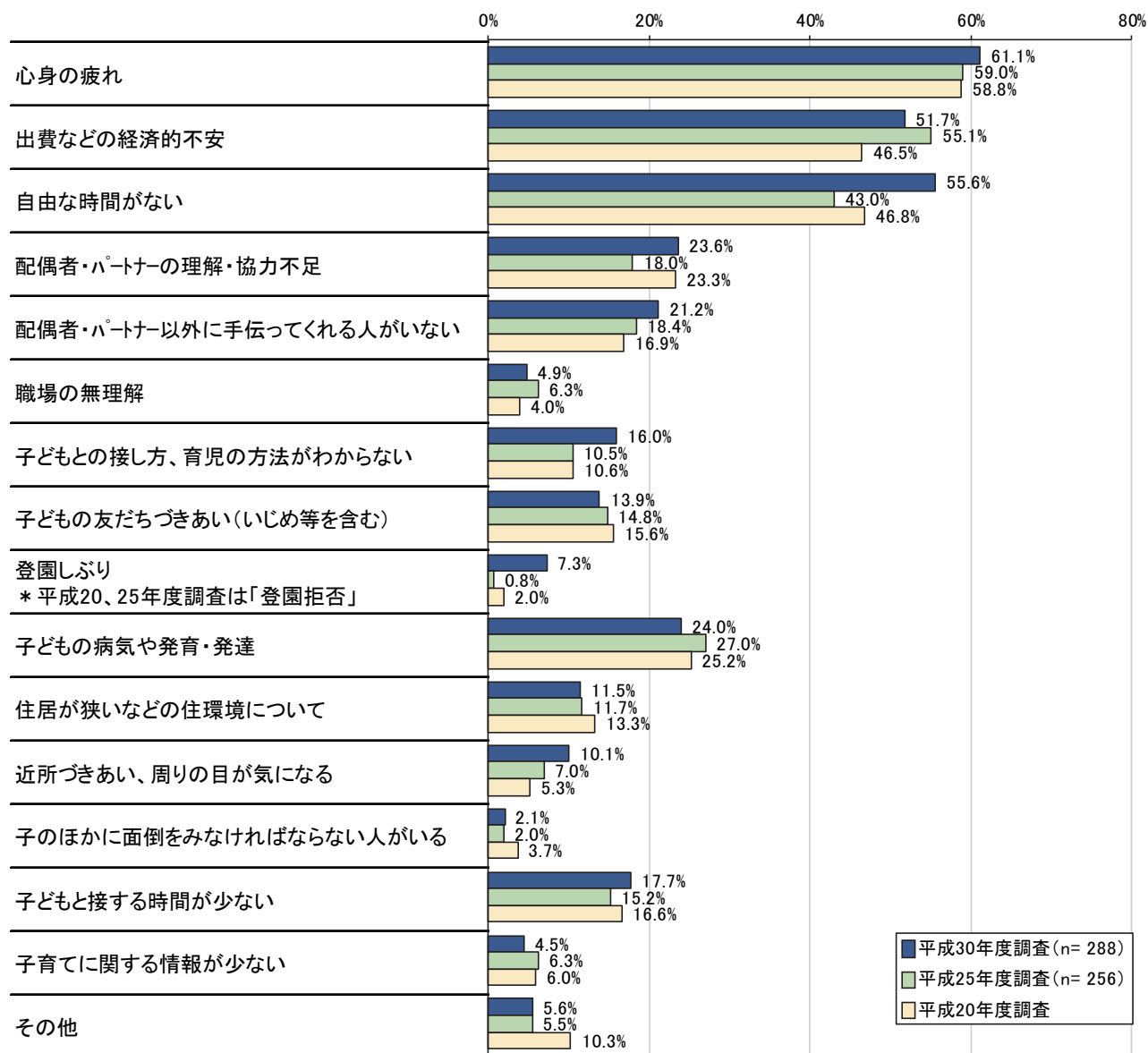


図 具体的な不安や負担

問 25-2 子育ての中での経験の有無（複数回答）

- 「感情がコントロールできなくなったことがある」が５割近くで最も高く、次いで「子どもが傷つくような言葉を向けたことがある」が３割台半ばを超え、「そのようなことをしそうになったががまんした」が３割近くとなっている。
- 前回調査と比較すると、「その他、子どもに対して不適切なことをしたことがある」が微増しているものの、他の項目は減少しており、「しそうになったが、がまんした」が増加している。

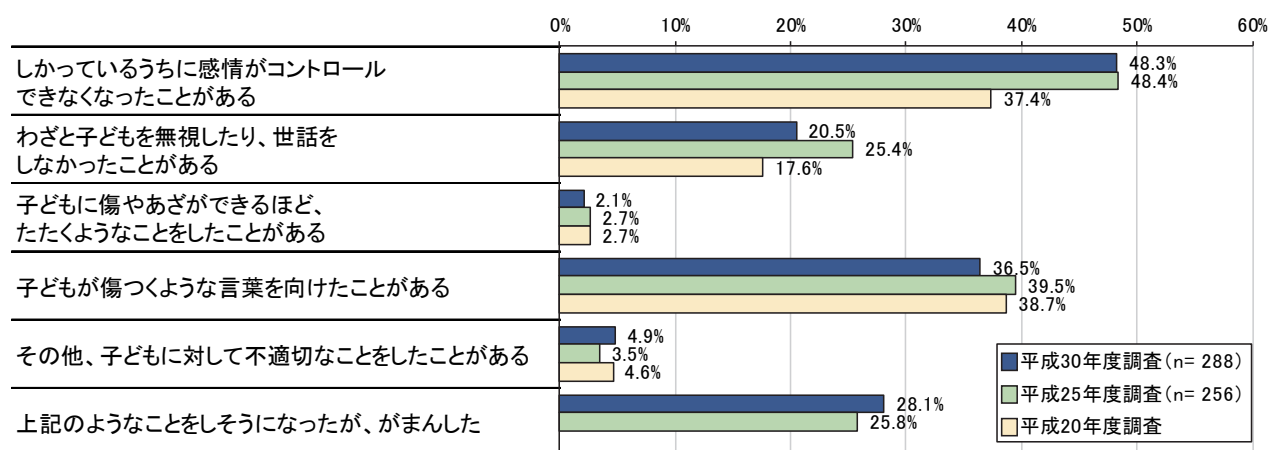


図 子育ての中での経験

問 26 気軽に相談できる人や場所の有無

- 子育てや教育の悩み・不安の相談先は、「いる／ある」が９割台半ば近くを占めている。
- 平成 20 年度調査と比較すると、「いない／ない」は半数以下になっている。

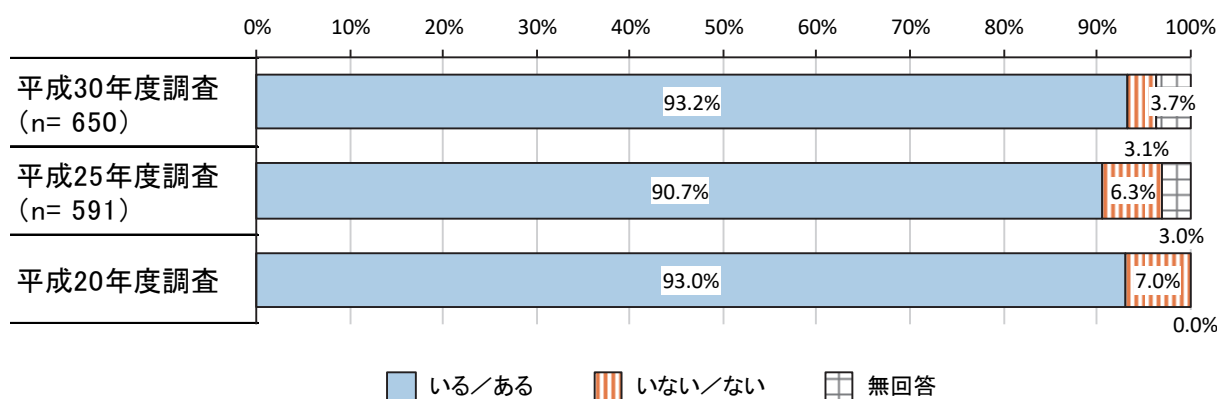


図 相談先の有無

問 26-1 気軽に相談できる人・場所（複数回答）

○子育てや教育に関する相談先は「配偶者・パートナー」が8割台半ばを超え最も高く、次いで「自分や配偶者の親族」が7割台半ば、「友人・知人」が7割近くとなっている。

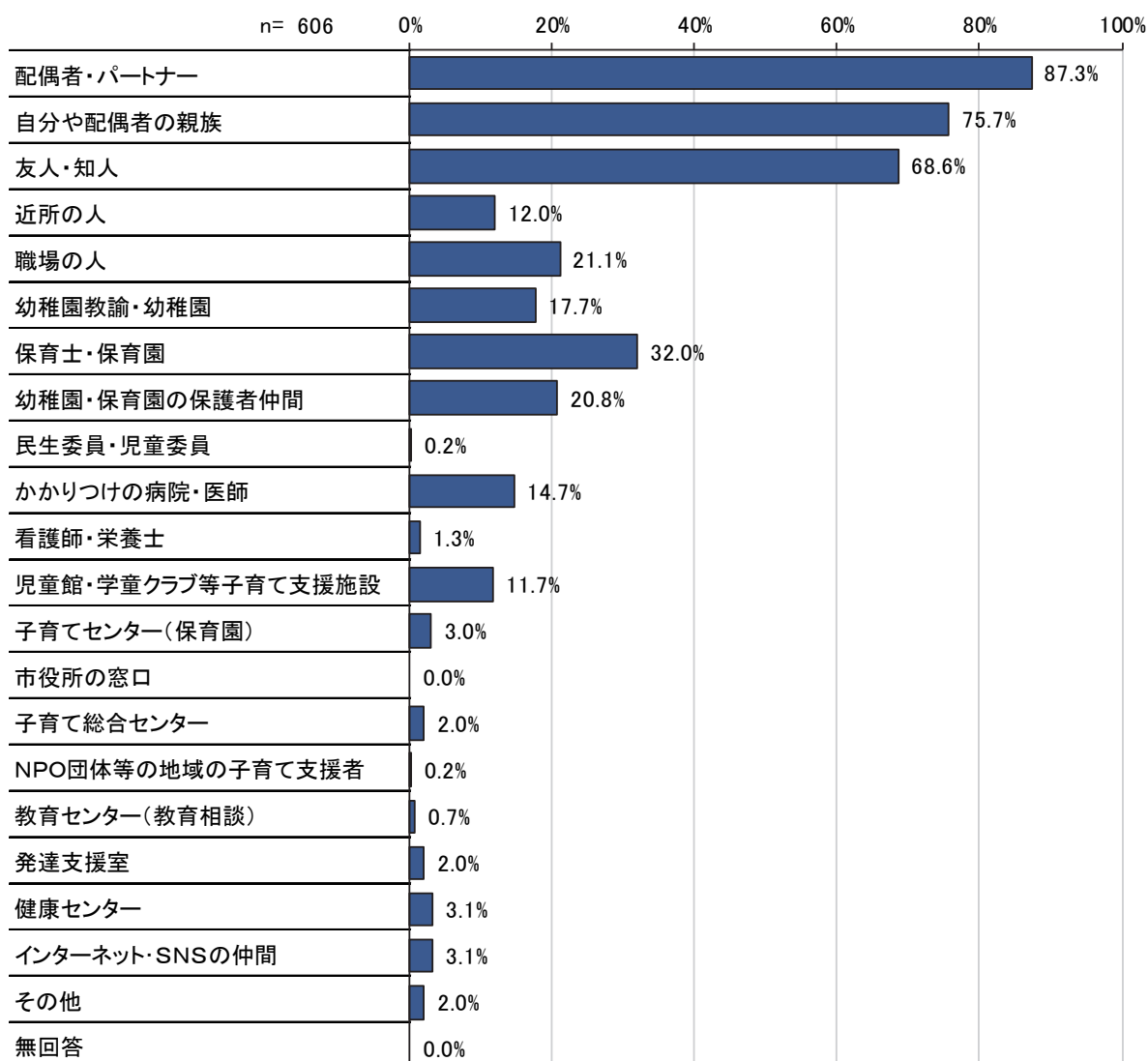


図 気軽に相談できる人・場所

13. 出産や子育てに関するサポート・情報

問3 ゆりかごTAMA※で相談したいこと（複数回答）

○ゆりかごTAMAで相談したいことは、「子育て支援サービスについて」が6割弱と最も高く、次いで「子育て支援情報について」、「育児方法について」、「妊娠に伴う体やこころの変化・体調等について」と続いている。

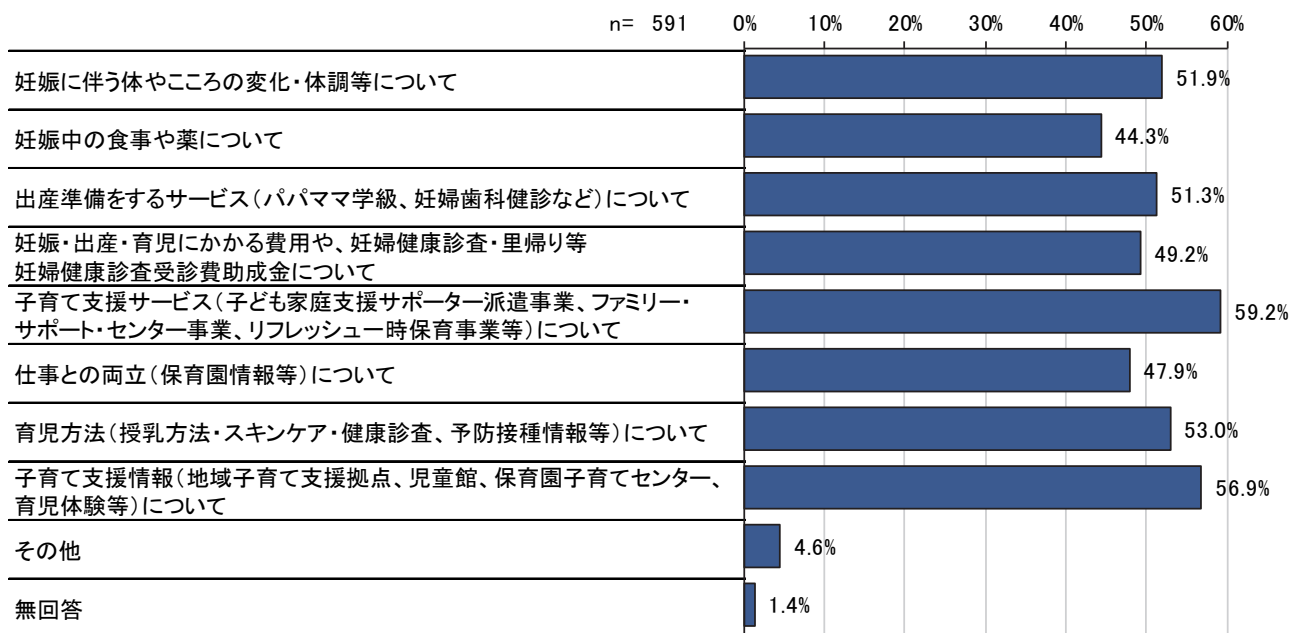


図 ゆりかごTAMAで相談したいこと

※ 多摩市にお住まいの妊婦の方を対象に、保健師が面接をして体調や気持ち、子育て環境などをうかがい、安心して出産を迎えられるようサポートする妊婦面接。（平成29年4月より実施）

問 4 妊娠中・出産後に必要と感じたサポート（複数回答）

○妊娠中・出産後に必要と感じたサポートは、「経済的な助成」が5割強と最も高く、次いで「母乳相談」、「育児や発達、離乳食、歯についてなど育児相談」、「育児サポート」と続いている。

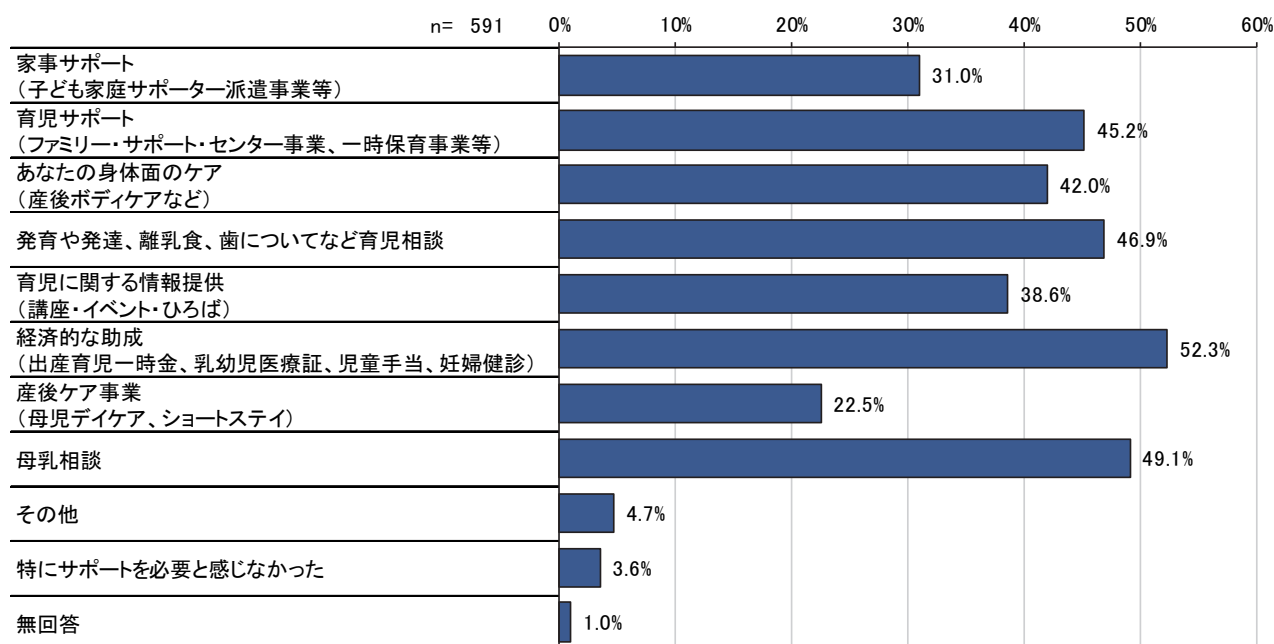


図 妊娠中・出産後に必要と感じたサポート

問 27 子どもをもうけたい、育てたいと思えるようになるために必要な条件

○子どもをもうけたい、育てたいと思えるようになるために必要な条件は、「子育てや教育にかかる経済的負担の軽減」が3割台半ば近くと最も高く、次いで「配偶者・パートナーの理解」、「職場の理解」、「出産に関する経済的支援」と続いている。

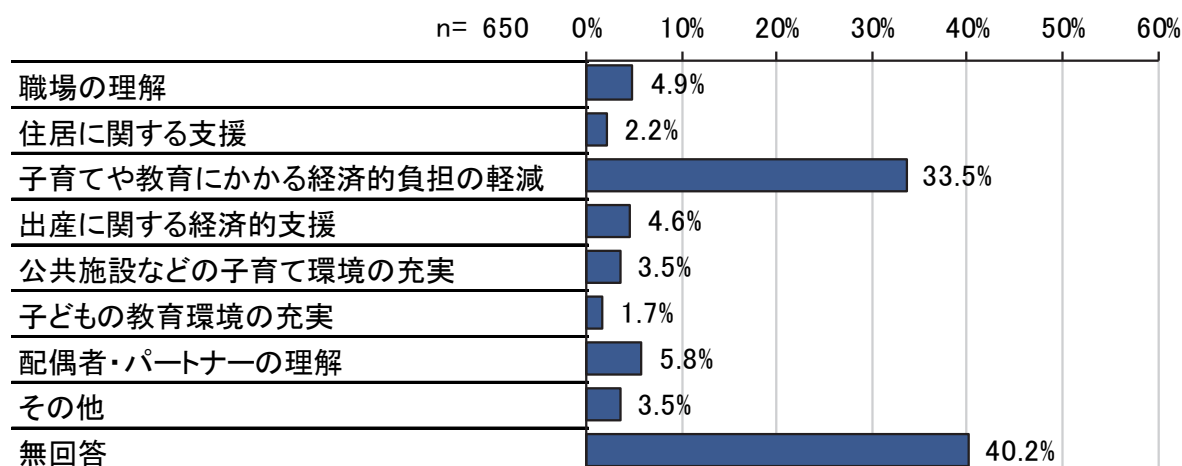


図 子どもをもうけたい、育てたいと思えるようになるために必要な条件

問5 市の発行物や情報で子育てに役立ったもの（複数回答）

○子育てに役立つものは「母子健康手帳」が4割強で最も高く、次いで「たま広報」、「児童館だより」がともに4割弱、「乳幼児健康診査」が3割強と続いている。

○前回調査と比較すると減少している項目が多く見られるが、「児童館だより」、「妊婦面接・新生児訪問事業」では増加している。

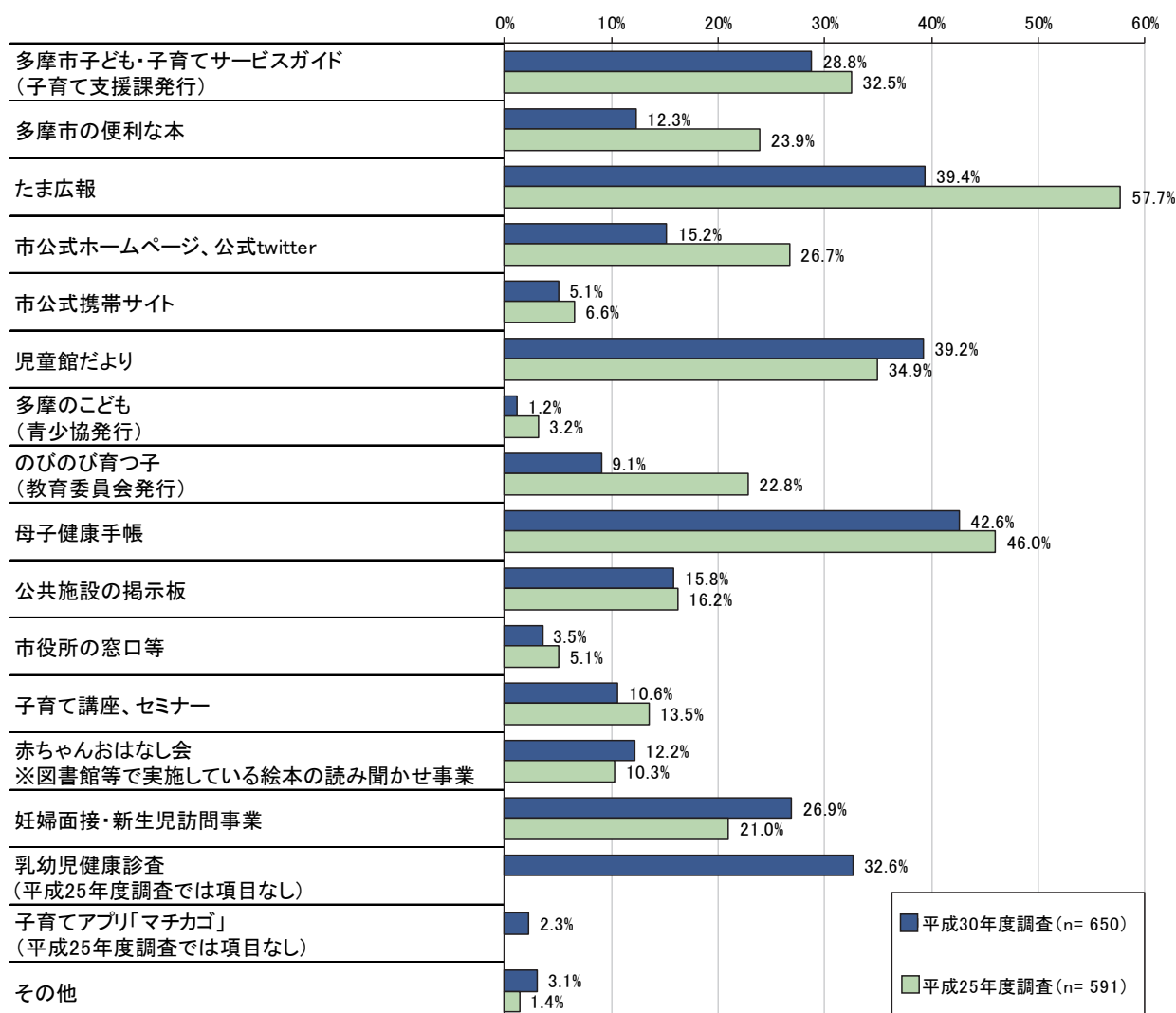


図 子育てに役立ったもの

第2章 就学児童保護者対象調査結果（小学生）

1. 回答者の属性

問1 調査票記入者 問23 調査票記入者の年齢

問24 調査票記入者の配偶者の有無

○回答者は「母親」が9割強を占め、年齢は調査時点（平成30年10月時点）で20歳代から60歳以上の方が回答しており、そのうち「40歳～44歳」が最も多い。

○配偶者の有無は「配偶者がいる」が9割弱を占めている。

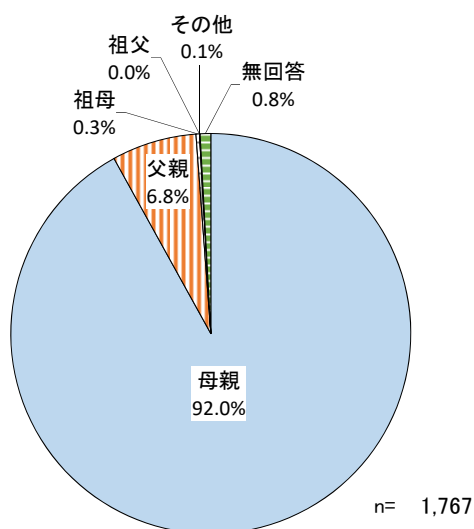


図 調査票記入者

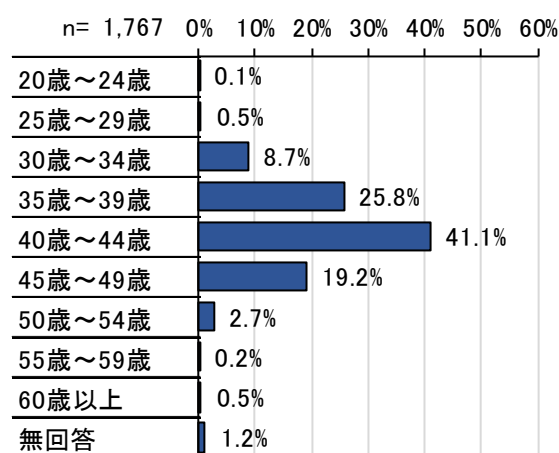


図 記入者の年齢

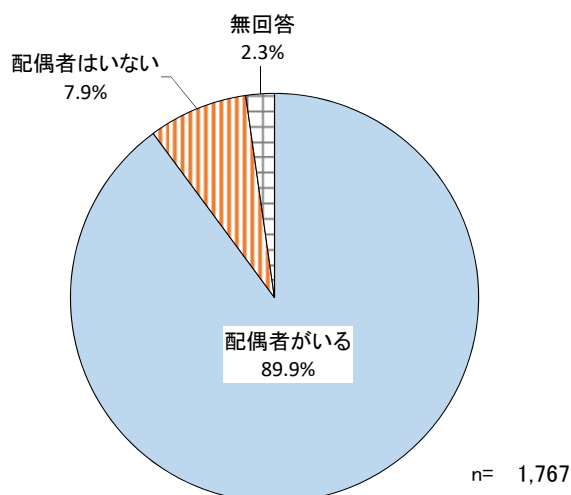


図 調査票記入者の配偶者の有無

2. 家族の状況等

問2 子どもの学年

○子どもの学年は「2年生」、「4年生」で各5割近くとなっている。

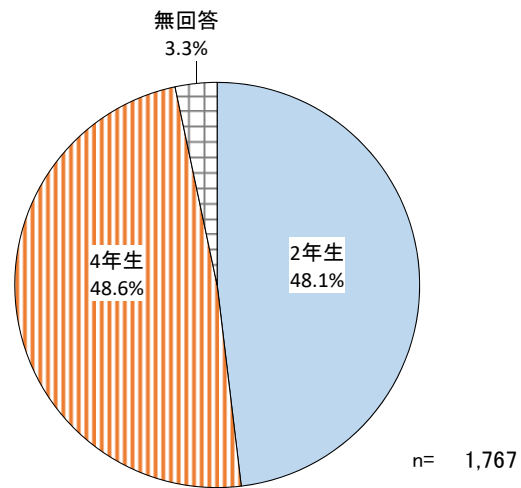


図 子どもの学年

問 25 子どもの人数及び末子の年齢

- 子どもの人数は「2人」が5割台半ばを占め最も高くなっている。
- 前回調査と比較すると、「1人」が増加し、「2人」「3人」「4人」は減少している。
- 子どもが2人以上の場合の末子の年齢は「6～7歳」、「8～9歳」の順に多くなっている。

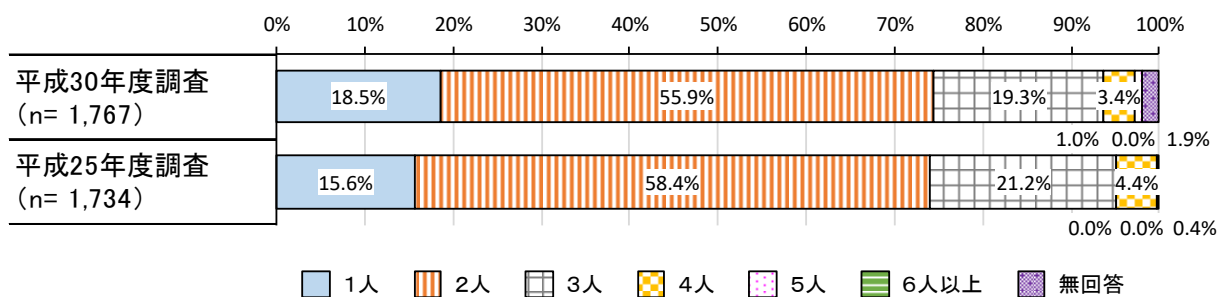


図 子どもの人数

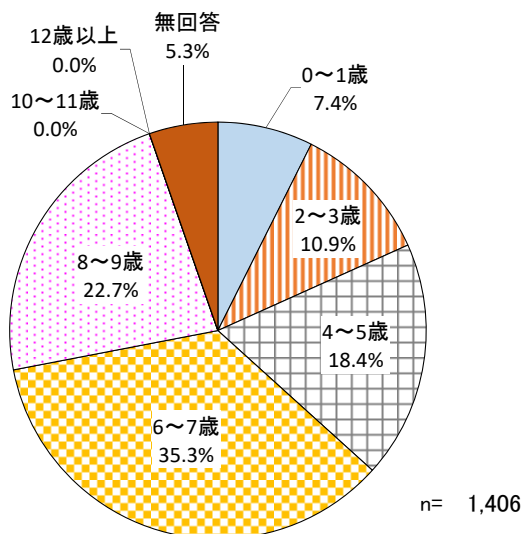


図 末子の年齢

問 26 子どもの子育て（教育を含む）を主に行っている人

○子育てを主に行っているのは、「母親」が5割強と最も高くなっている。

○「両親ともに」は4割台半ば近くとなっている。

○前回調査と比較すると、「母親」が増加している。

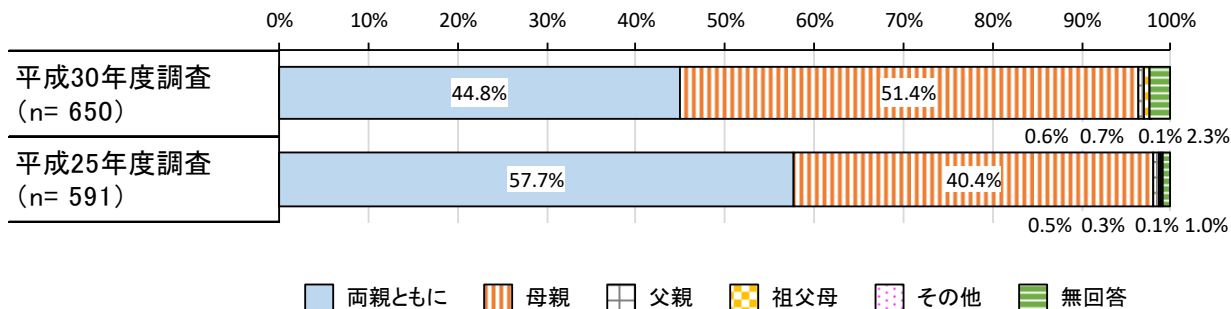


図 子育てを主に行っている人

問 27 居住地区

○回答者の住まいの地区は「落合、鶴牧、南野地区」が2割台半ば近くを占める。

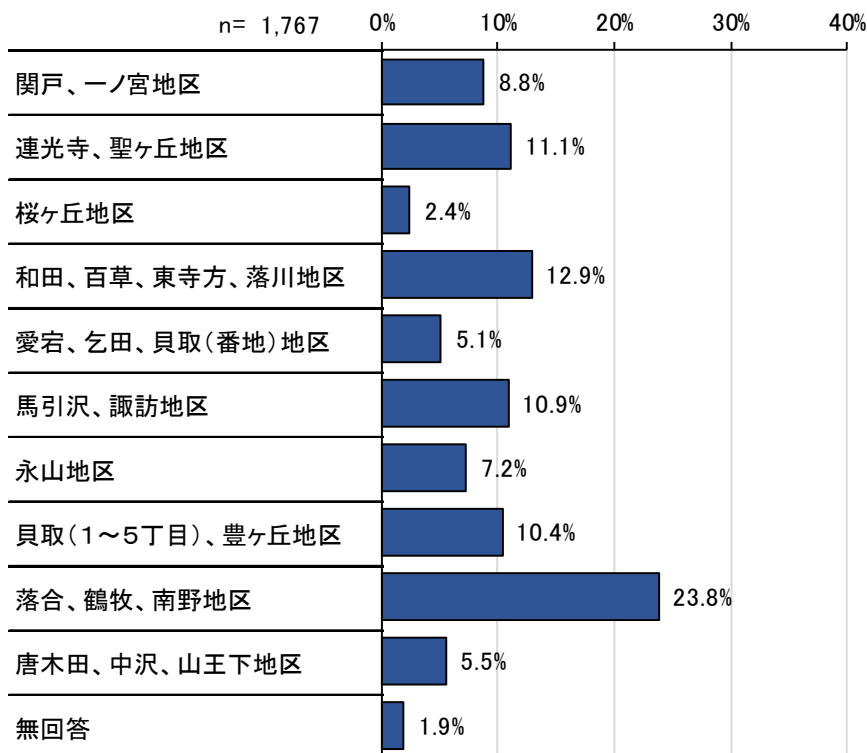


図 居住地区

3. 暮らし向きについて

問 17 世帯収入 問 18 暮らしの経済的な実感

○世帯収入は「800万円以上」が最も高く、「600～699万円」、「500～599万円」と続いている。
 ○暮らしの経済的な実感は、「普通」が4割台半ば近くと最も高く、次いで「やや苦しい」が3割強となっている。

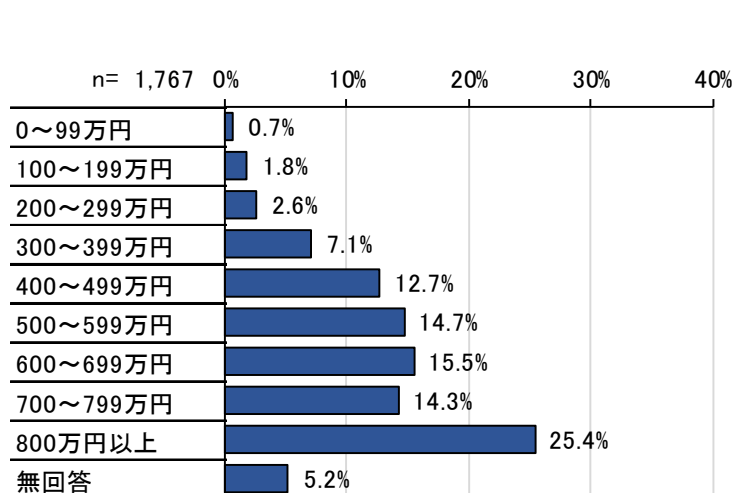


図 世帯収入

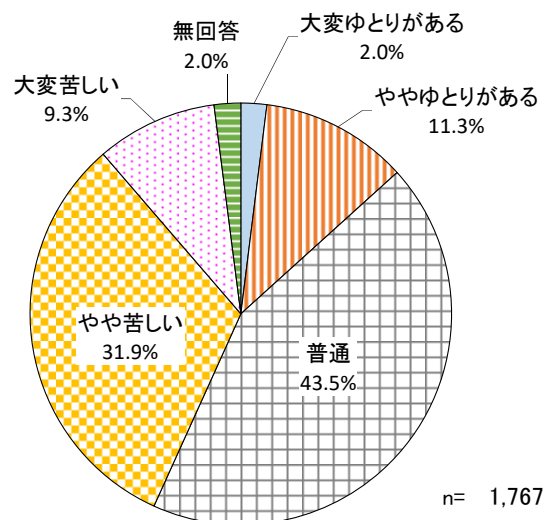


図 暮らしの経済的な実感

問 19 生活の中で負担に感じる費用（複数回答）

○生活の中で負担に感じる費用は、「教育費」が4割台半ばを超え最も高く、次いで「住宅費」が約4割、「食費」が3割強となっている。

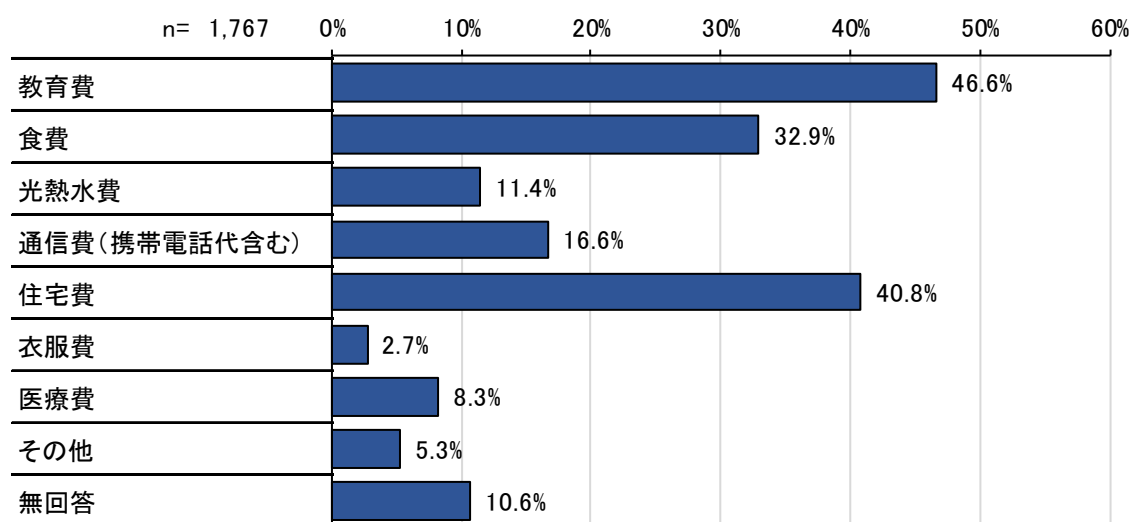


図 生活の中で負担に感じる費用

問 20 生活必需品が買えない経験の有無

○生活必需品が買えない経験の有無については、全ての項目で「まったくなかった」が最も高くなっている。

○「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合計すると、「食料」で 12.9%、「衣類」で 19.4%、「光熱水費」で 7.4%、「習い事」15.6%となり、「衣類」が最も高くなっている。

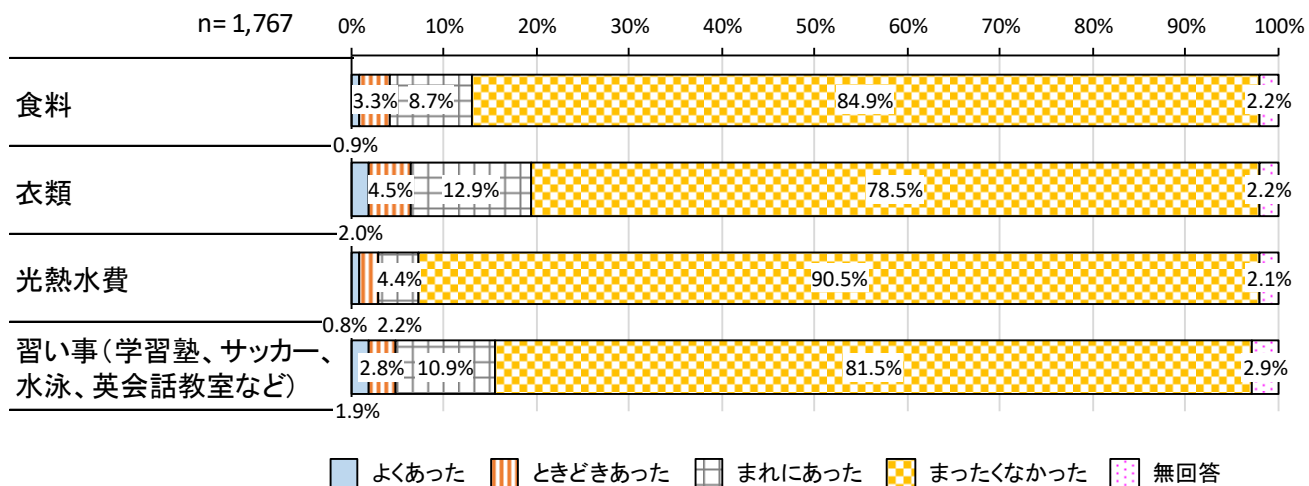


図 生活必需品が買えない経験の有無

4. 保護者の就労状況

問4 父親、母親の現在の働き方・フルタイムへの転換希望・就労希望

(1) 働き方

- 父親は9割弱がフルタイム就労である。
- 母親は「パート・アルバイト等で就労している」が4割強と最も高く、次いで「フルタイムで就労している」、「以前は就労していたが現在は就労していない」と続いている。
- 前回調査と比較すると、母親では「フルタイムで就労している」が増加し、「以前は就労していたが現在は就労していない」「これまで就労したことはない」は減少している。

【父親】

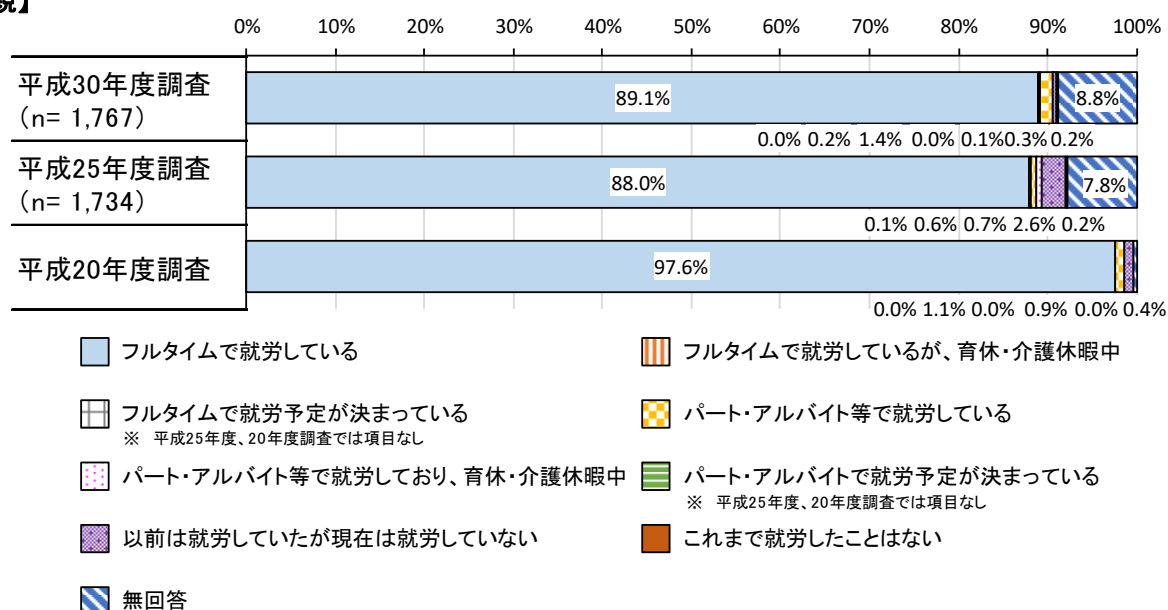


図 父親の働き方

【母親】

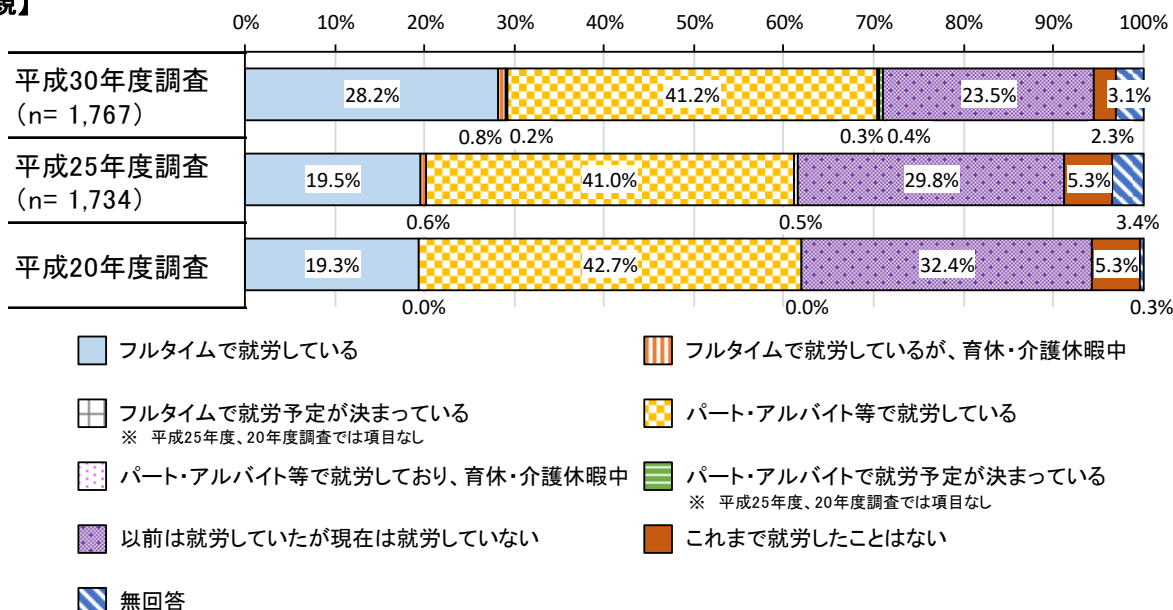


図 母親の働き方

(2) フルタイムへの転換希望

○パート・アルバイトで勤務している方のフルタイムへの転換希望は、父親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が5割近くと最も高くなっている。

○母親も「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が5割台半ばを超え最も高く、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」は2.7%に留まっている。

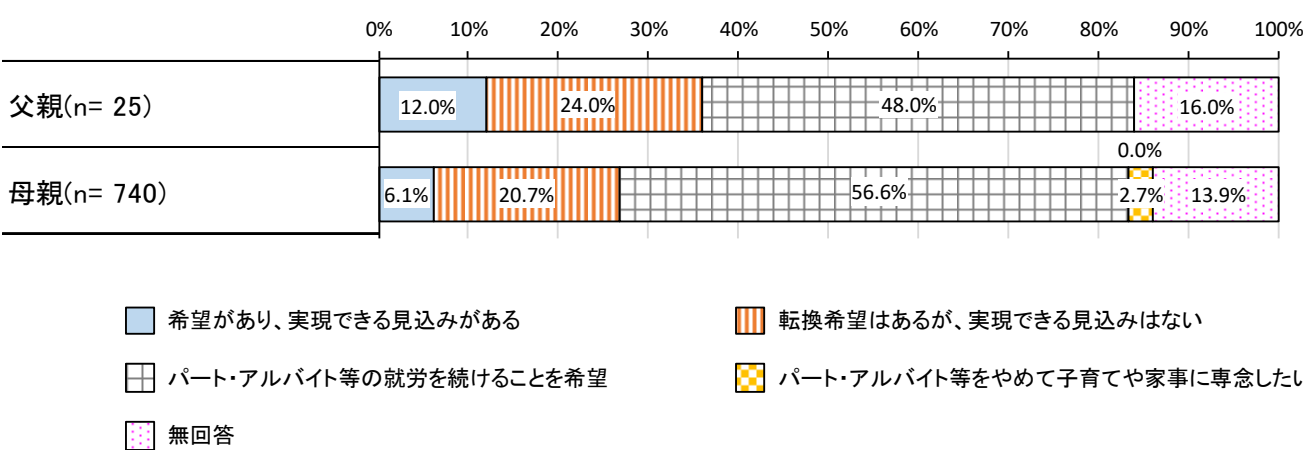


図 フルタイムへの転換希望

(3) 就労希望と就労時期

○現在就労していない方の就労希望は、父親では「子育てや家事などに専念したい（今のところ就労の予定はない）」が5割台半ばで最も高くなっている。

○母親では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」、「子育てや家事などに専念したい（今のところ就労の予定はない）」がともに3割強を占めている。

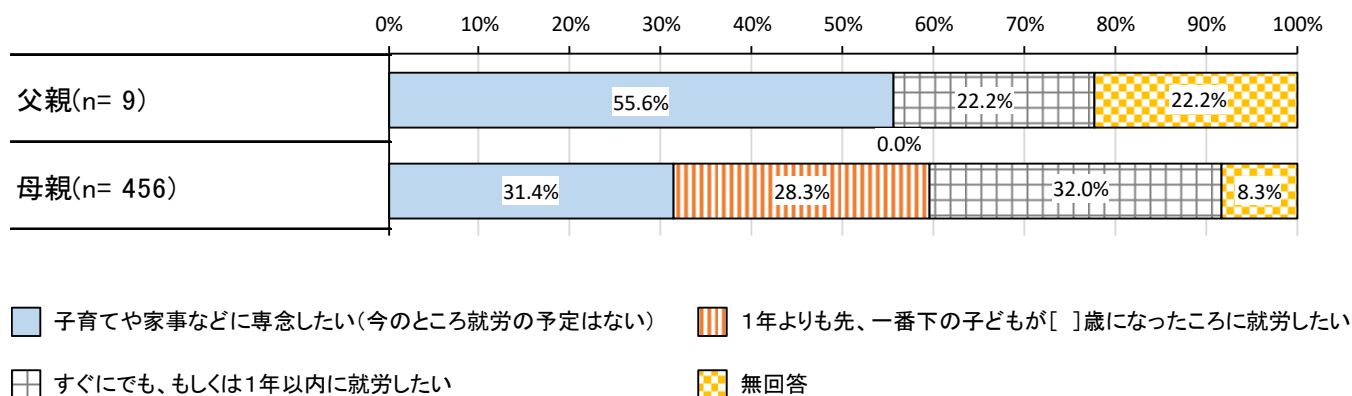


図 就労希望と就労時期

(4) 希望する就労形態

○すぐに就労したいと答えた方の希望就労形態は、父親では全ての方が「フルタイム」を希望している。

○母親では「パート・アルバイト」が9割台半ば近くを占めている。

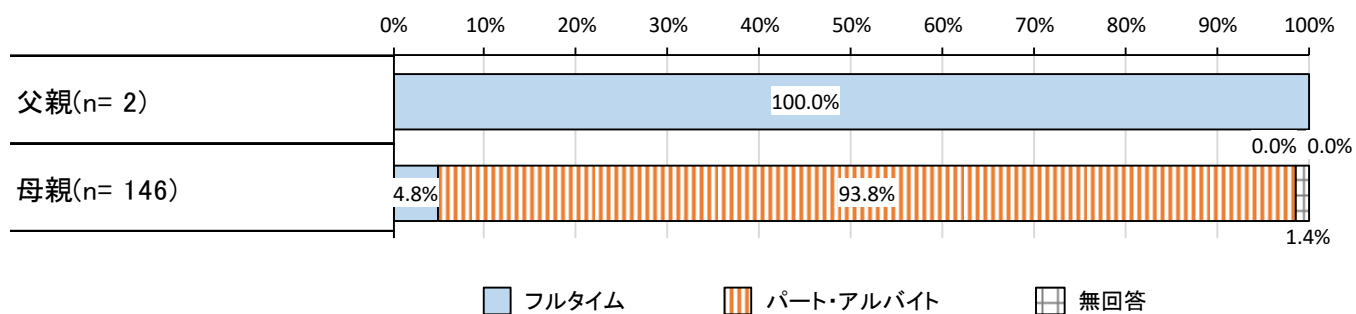


図 希望する就労形態

5. 放課後の過ごし方

問5 小学校低学年（１～３年生）の希望する放課後の過ごし方（複数回答）

○小学校低学年の希望する放課後の過ごし方は、「習い事」が７割強と最も高く、次いで「自宅中心」が５割台半ば、「学童クラブ」は４割台半ばを超えている。

○前回調査と比較すると、多くの項目で増加しているが、特に「児童館」や「放課後子ども教室」、「学童クラブ」が大幅に増加している。

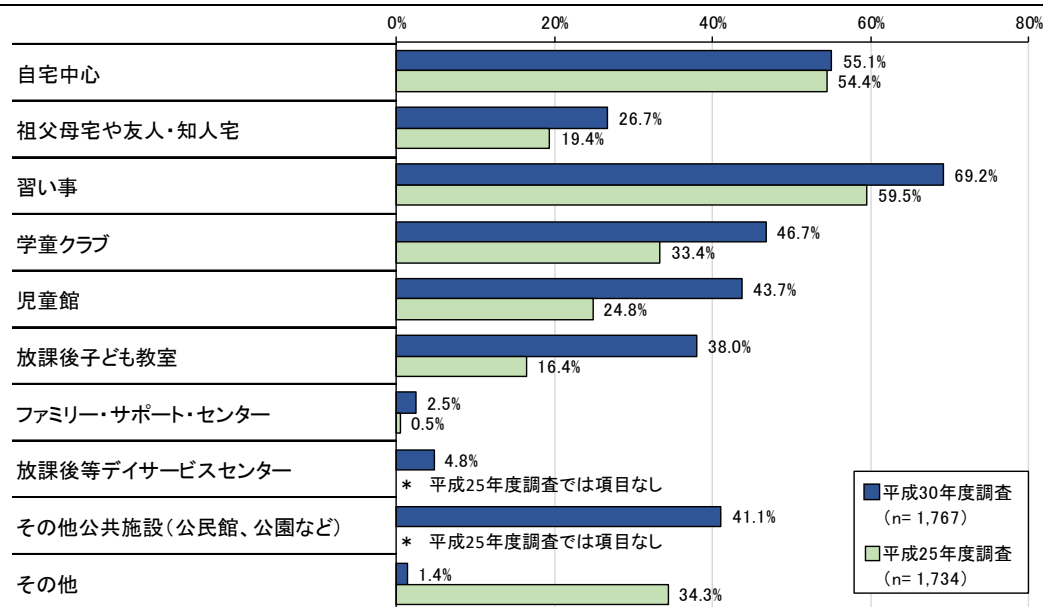


図 小学校低学年の希望する放課後の過ごし方

問5-1 希望する場所で過ごさせたい理由（複数回答）

○問5で希望する場所を選んだ理由では、「働いているから」が５割強と最も高く、次いで「子どもが希望しているから」が４割強、「子どもの教育によいと考えたから」４割近くと続いている。

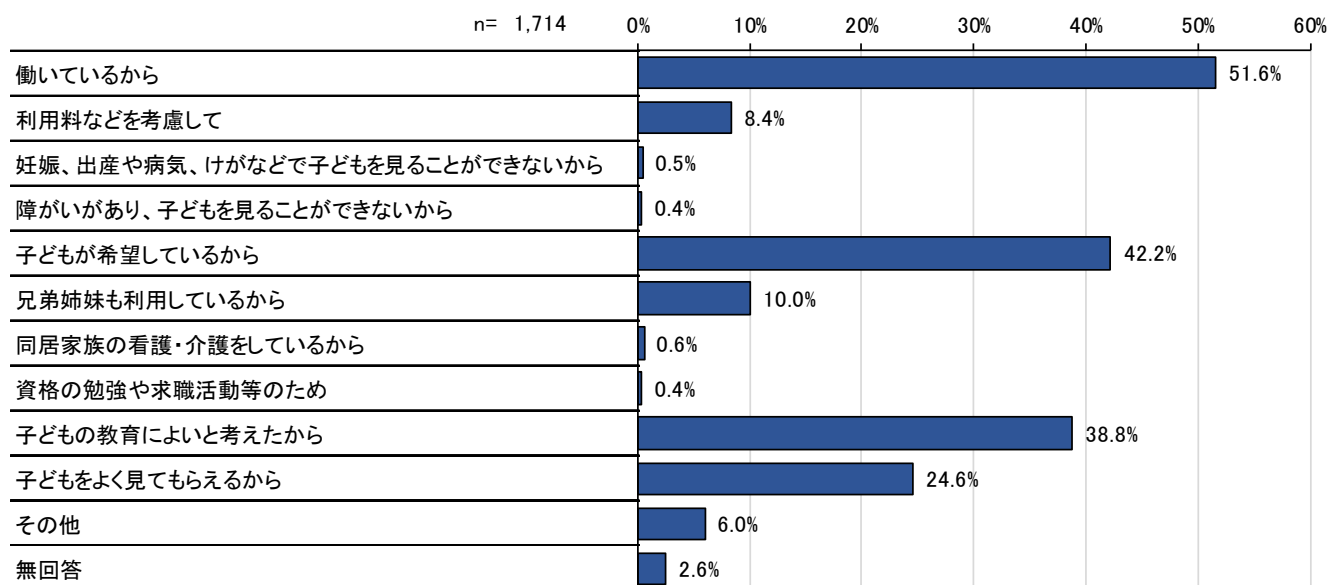


図 希望する場所で過ごさせたい理由

問6 小学校高学年（4～6年生）の希望する放課後の過ごし方（複数回答）

○小学校高学年の希望する放課後の過ごし方は、「習い事」が7割台半ばを超え最も高く、次いで「自宅中心」が7割近く、「児童館」は4割台半ばを超えている。

○前回調査との比較では、「児童館」、「放課後子ども教室」が大幅に増加している。

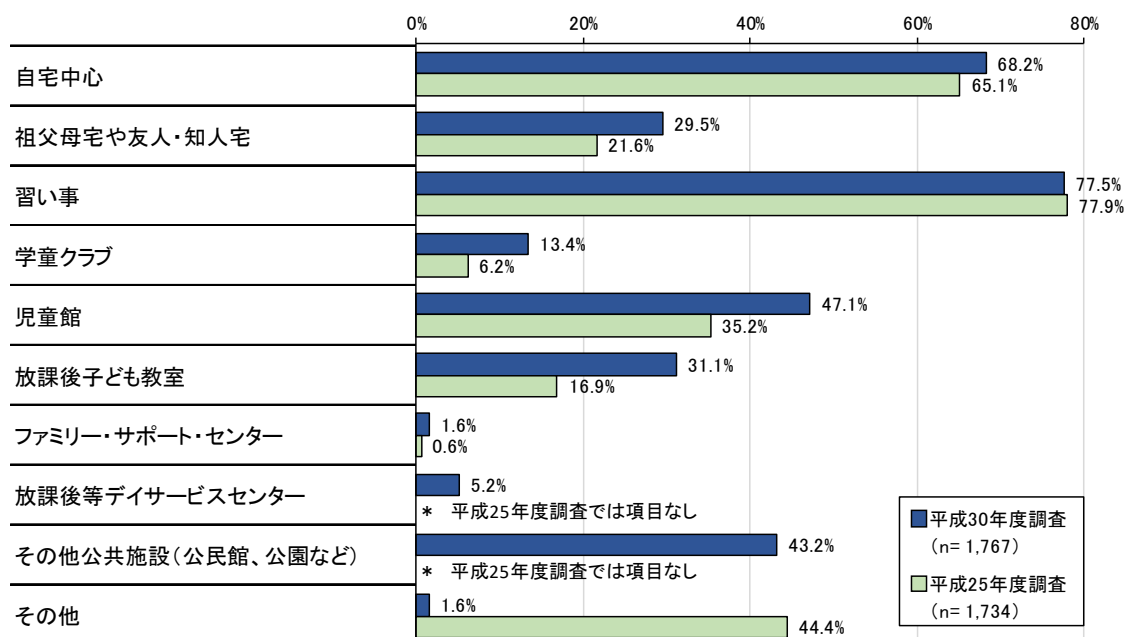


図 小学校高学年の希望する放課後の過ごし方

問6-1 希望する場所で過ごさせたい理由（複数回答）

○問6で希望する場所を選んだ理由では、「子どもが希望しているから」が最も高く、次いで「働いているから」、「子どもの教育によいと考えたから」と続いており、それぞれ4割台半ばを超えている。

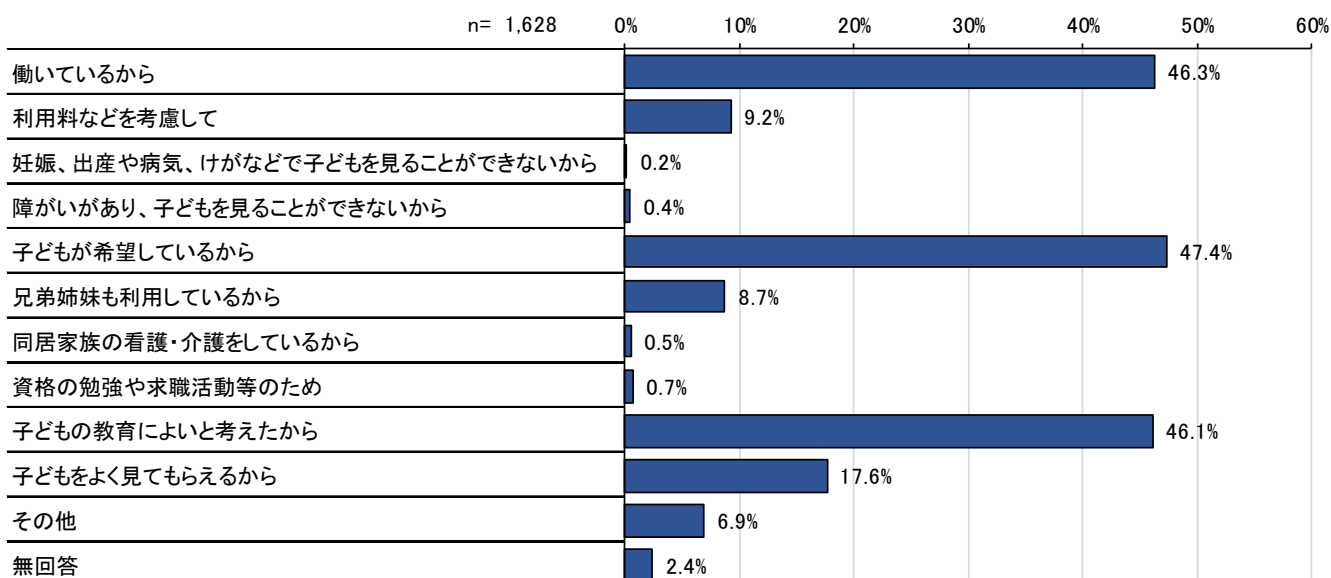


図 希望する場所で過ごさせたい理由

6. 土曜・休日の学童クラブ・児童館の利用

問7 土曜日・休日の学童クラブ・児童館の利用希望

(1) 学童クラブ 土曜日

○学童クラブの土曜日の利用については「利用する必要はない」が8割強を占めており、前回とほぼ同様の傾向となっている。

○利用意向のある、「ほぼ毎週利用したい(している)」と「月に1～2回は利用したい(している)」を合計すると12.8%となっている。

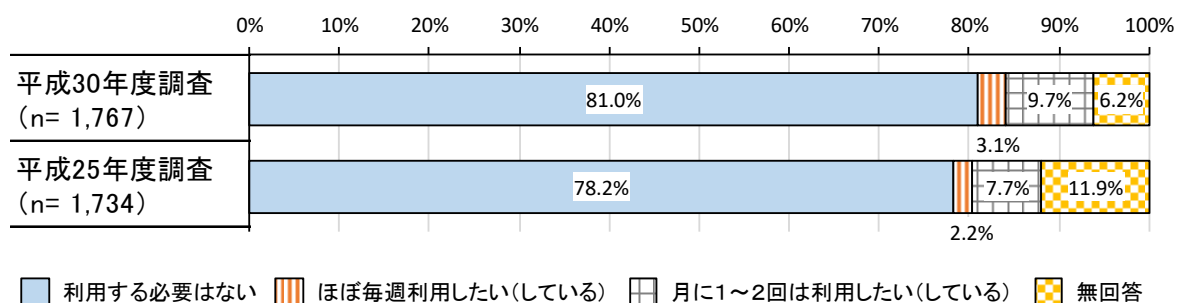


図 学童クラブ（土曜日）の利用希望

(2) 児童館 土曜日、日曜日・祝日

○児童館の利用については、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」が最も高くなっている。

○前回調査と比較すると、土曜日、日曜日・祝日ともに「月に1～2回は利用したい(している)」が増加している。

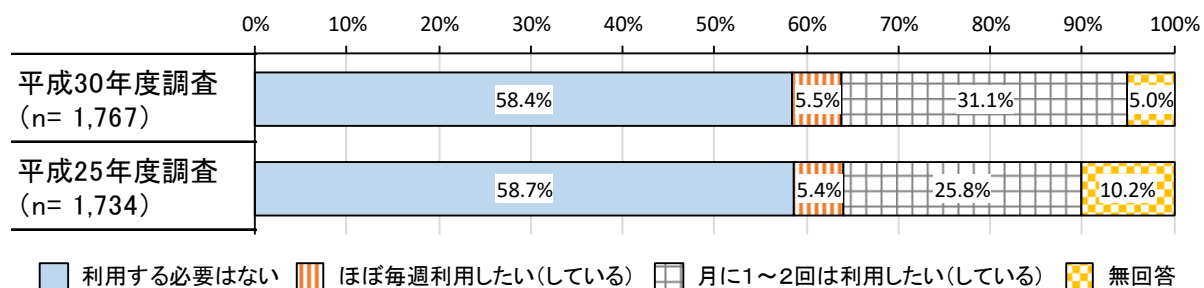


図 児童館（土曜日）の利用希望

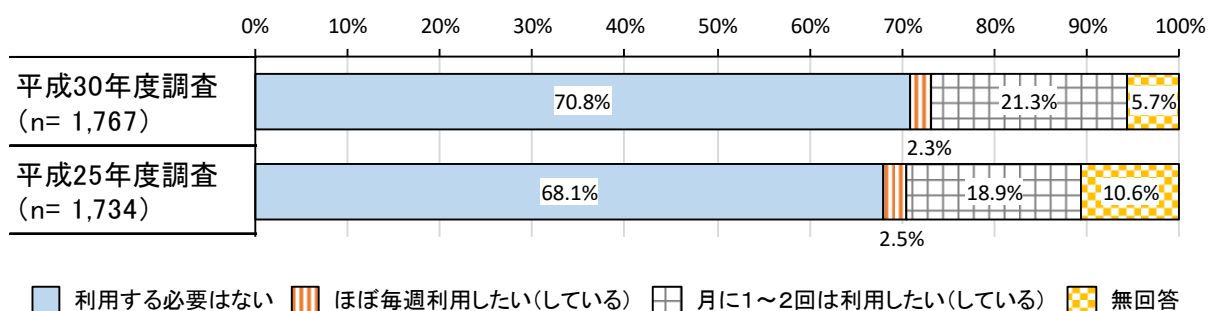


図 児童館（日曜・祝日）の利用希望

問8 長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望・利用したい理由（複数回答）

- 長期の休暇期間中の学童クラブの利用は、「利用する必要はない」が5割強を占めている。
- 前回調査と比較すると、「利用する必要はない」が減少し、「休みの期間中ほぼ毎日利用したい（している）」が増加している。
- 長期期間中、毎日ではなく数日利用したい理由については、「週に数回仕事が入るため」が7割弱を占めている。

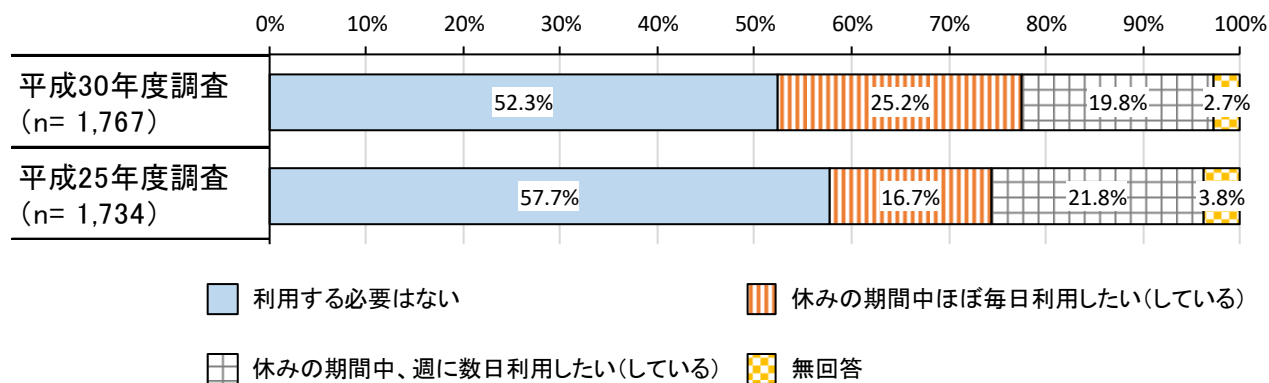


図 学童クラブ（長期の休暇期間中）の利用希望

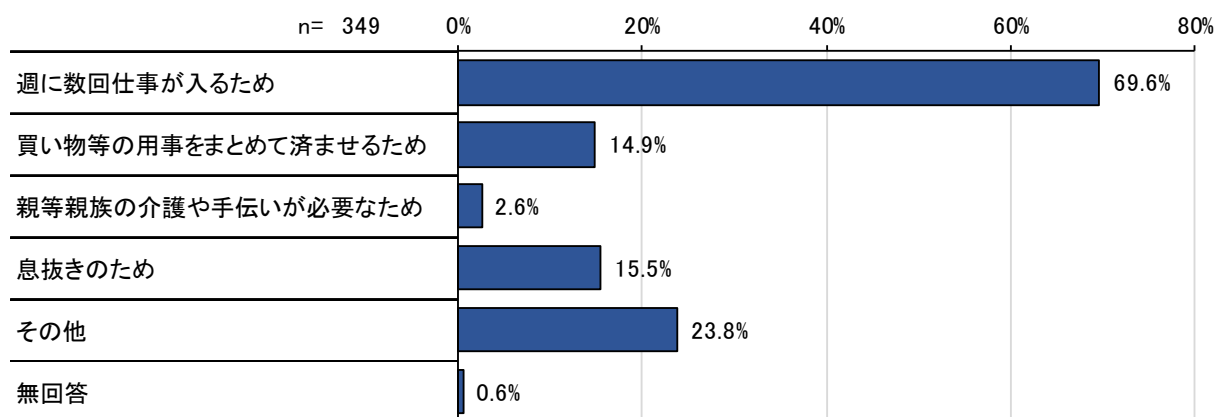


図 毎日ではなく数日利用したい理由

7. 子どもが病気になったときの対応

問9 学校や学童クラブの病欠の有無

○学校や学童クラブを休まなければならなかったことは、「あった」が6割台半ば近くを占めている。

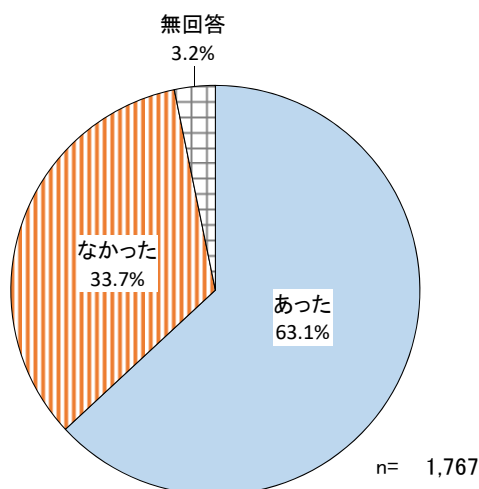


図 学校や学童クラブの病欠の有無

問9-1 休んだときの対処（複数回答）

問9-2 病児・病後児のための保育施設等の利用希望

○休んだときの対処は「母親が休んだ」が約6割で最も高く、次いで「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」、「親族・知人に預けた」と続いている。

○「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」は2割強にとどまる。

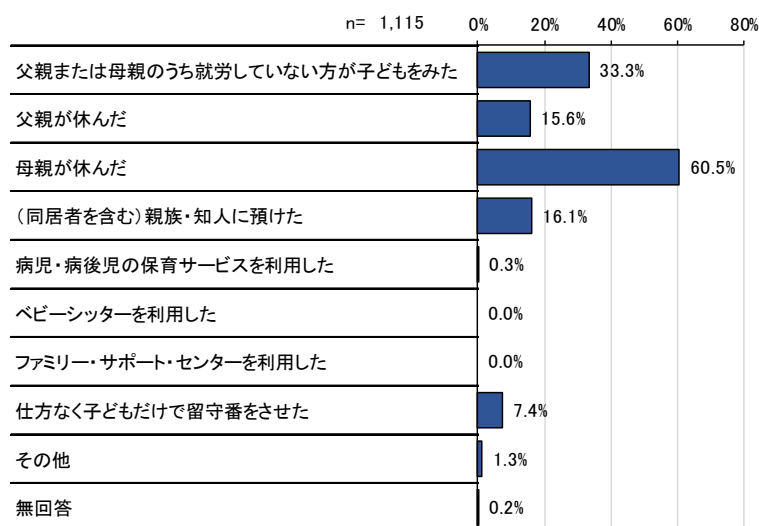


図 休んだときの対処

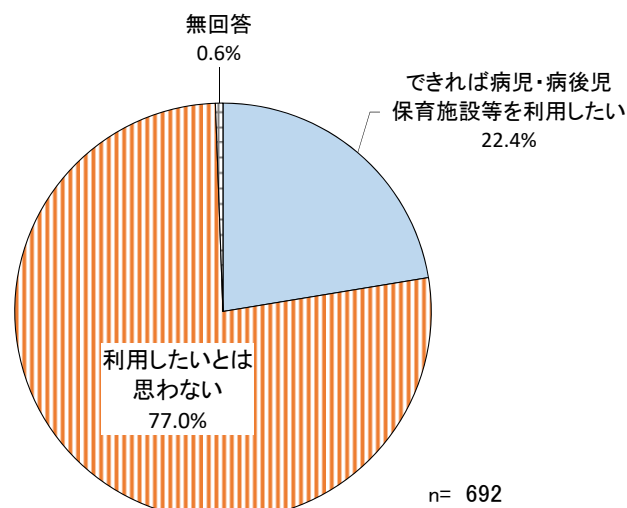


図 病児・病後児のための保育施設等の利用希望

8. 不定期の教育・保育事業や「一時預かり」等の利用

問 10 一時的に子どもを預けた経験の有無

○一時的に子どもを預けた経験の有無は「あった」が2割弱、「なかった」は7割台半ばを超えている。

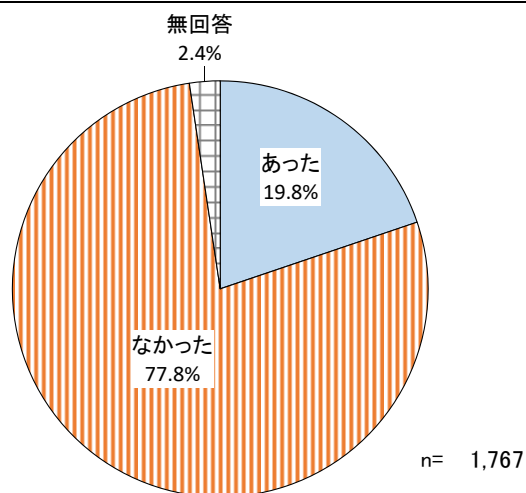


図 一時的に子どもを預けた経験の有無

問 10-1 子どもを一時的に預けた理由（複数回答）

○一時預かりの理由は、「仕事」が4割台半ばと最も高く、次いで「買い物、習いごと、リフレッシュ」、「保護者・家族の病気」となっている。

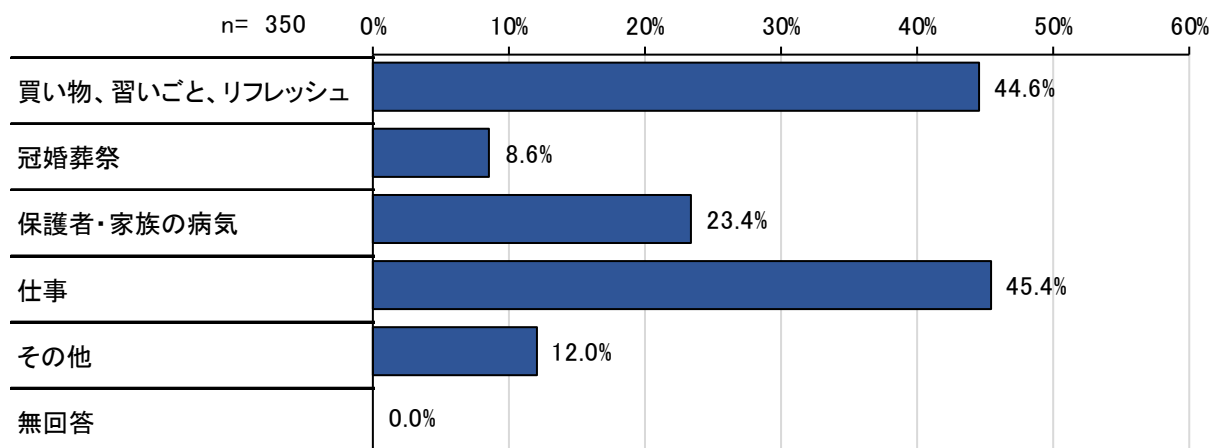


図 子どもを一時的に預けた理由

問 11 私用等による事業の利用希望・目的（複数回答）

○私用等による事業の利用希望は「利用したい」が2割台半ばを超え、「利用する必要はない」が6割台半ばを超えている。

○利用の目的は「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が6割台半ば近くと最も高くなっている。

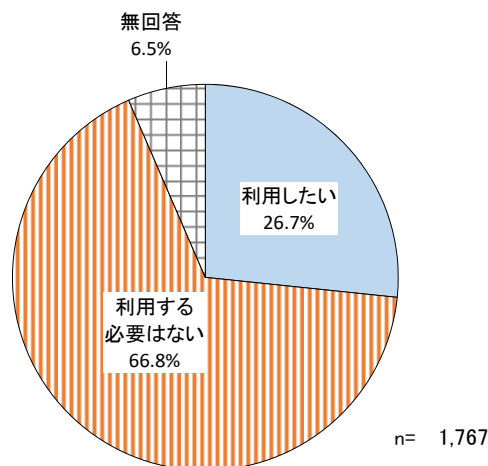


図 私用等による事業の利用希望

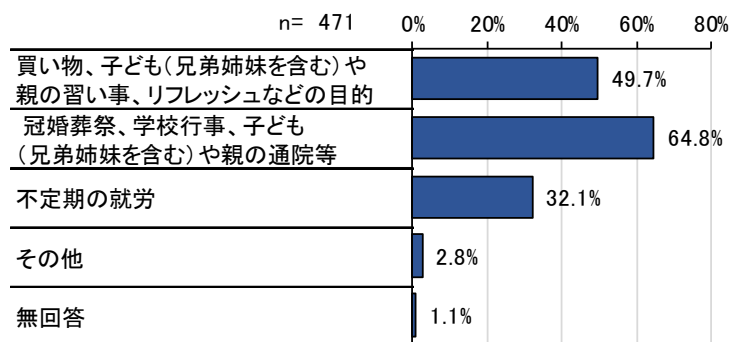


図 利用目的

問 12 宿泊を伴う一時預かりの有無、その対処法（複数回答）

○宿泊を伴う一時預かりの有無については、「あった」が1割台半ばを超え、「なかった」は8割強を占めている。

○対処法は、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が9割弱を占め、次いで「仕方なく子どもを同行させた」、「仕方なく子どもだけで留守番させた」と続いている。

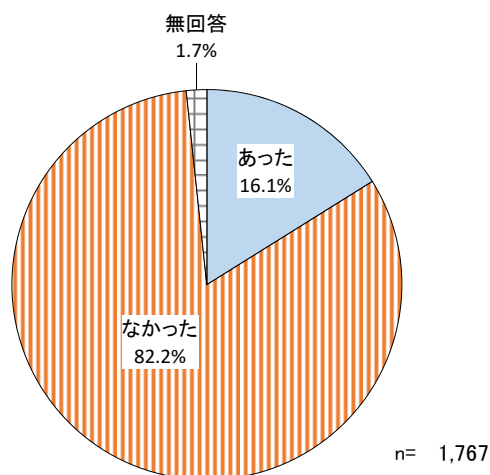


図 宿泊を伴う一時預かりの有無

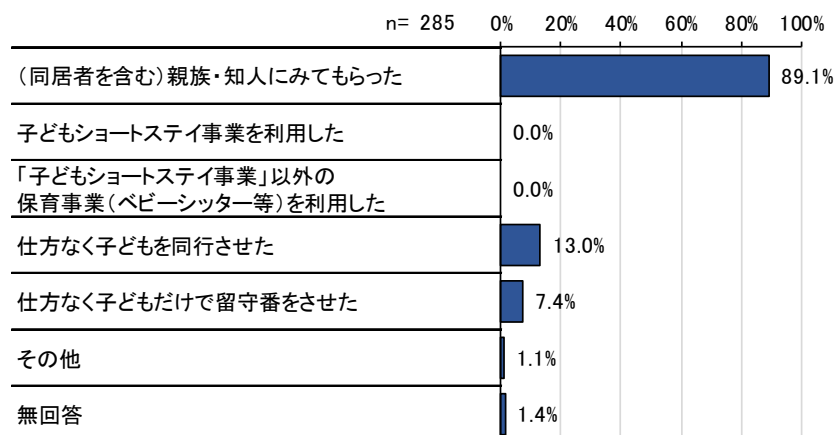


図 対処方法

問 12-1 預け先の親族・知人を見つける困難度

○親族・知人に預けたと答えた方の預け先を見つける困難度は、「特に困難ではなかった」が7割弱を占め、「非常に困難だった」は3.5%にとどまっている。

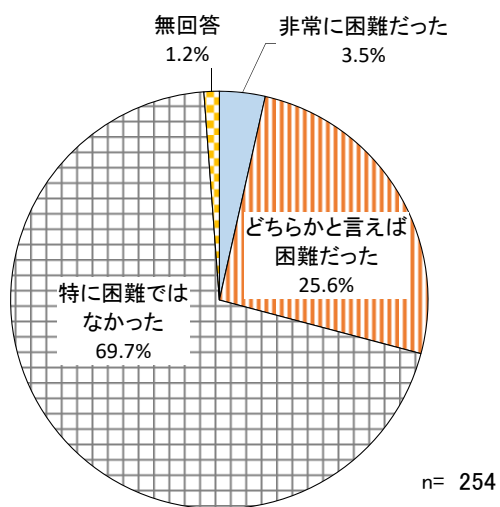


図 預け先の親族・知人を見つける難易度

9. 地域の子育て支援事業の利用状況等

問 13 （１）事業の認知度

○事業や取り組みについて、「知っている」が９割以上の認知度が高い項目は、「児童館」、「学童クラブ」となっており、「放課後こども教室」も８割を超えている。

○反対に「知らない」が８割以上の認知度が低い項目は、「子育て応援とうきょうパスポート事業」となっており、「家庭教育に関する学級・講座」も７割を超えている。

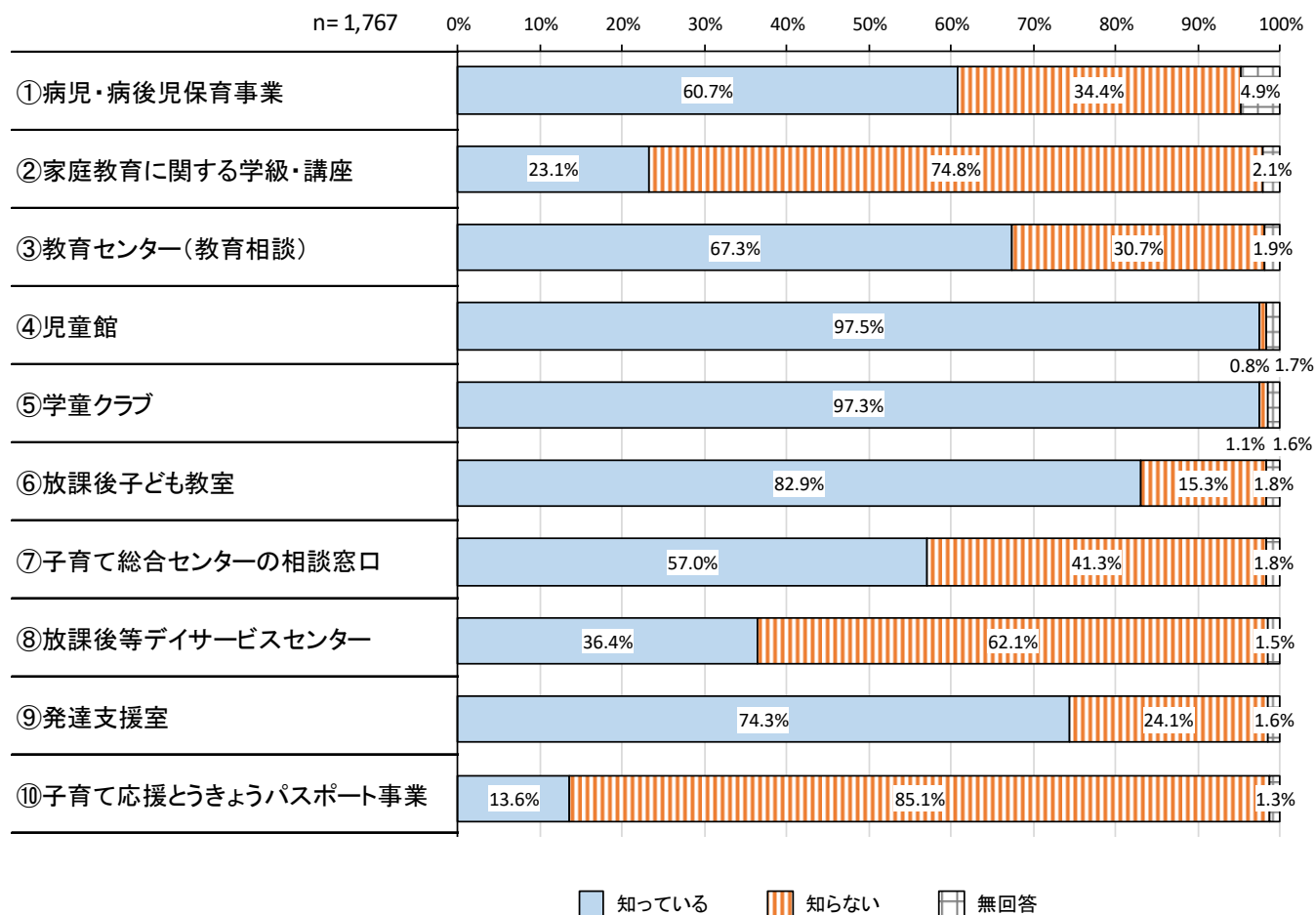


図 事業の認知度

(2) 利用状況

- 各事業や取り組みを知っている方の利用状況についてみると、「利用したことがある」は「児童館」で8割台半ばを超え最も高く、次いで「放課後子ども教室」が6割強、「学童クラブ」が5割弱となっている。
- 反対に「利用したことがない」が9割以上を占める利用状況が低い項目は、「病児・病後児保育事業」、「放課後等デイサービスセンター」となっており、「家庭教育に関する学級・講座」、「子育て総合センターの相談窓口」、「子育て応援とうきょうパスポート事業」でも8割を超えている。
- 前回調査と比較すると、「放課後子ども教室」では「利用したことがある」が7.9ポイント増加し、「病児・病後児保育事業」は20ポイント減少している。

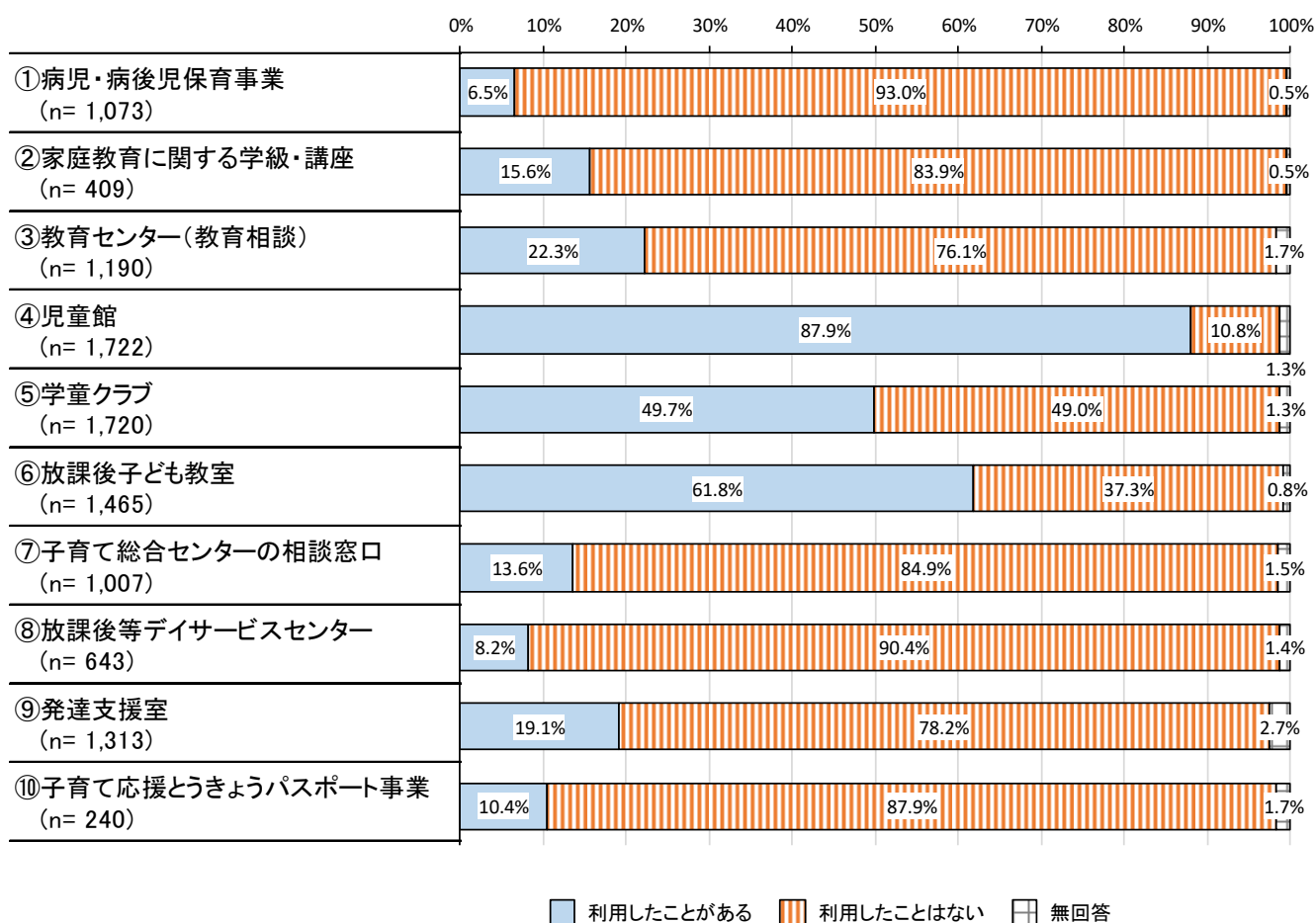
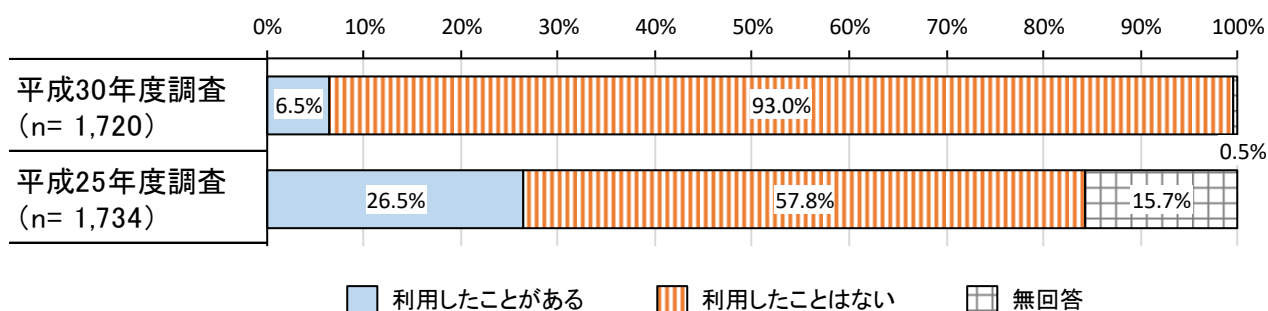
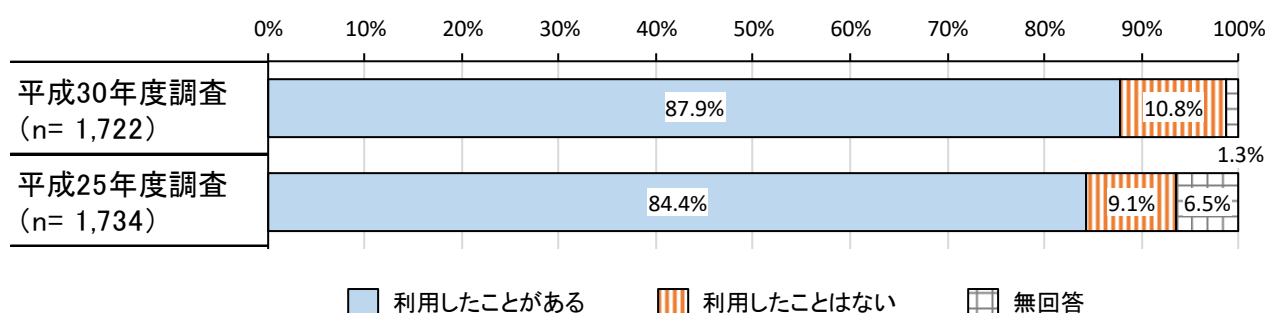


図 利用状況

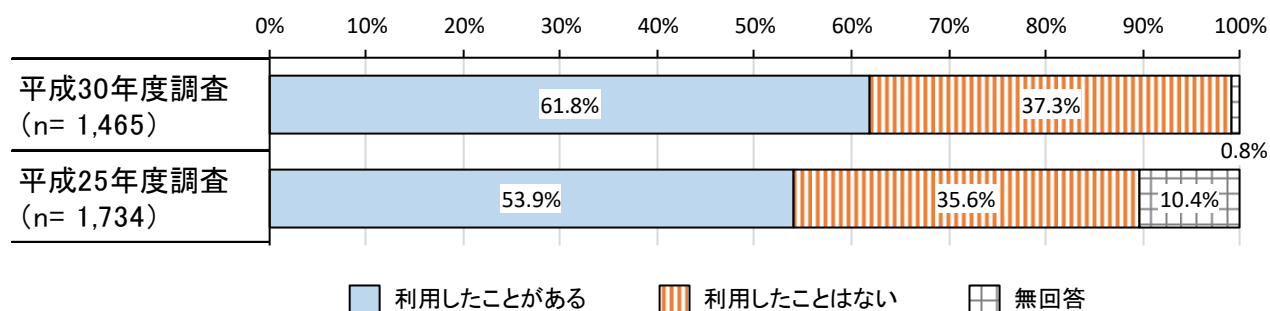
① 病児・病後児保育事業



④ 児童館



⑥ 放課後子ども教室



⑦ 子育て総合センターの相談窓口

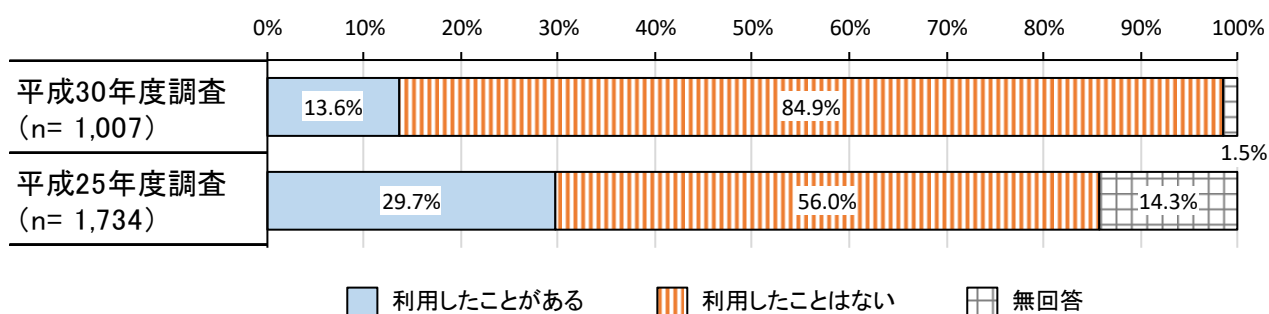


図 利用状況（前回調査との比較）

(3) 満足度

○利用した方の満足度についてみると、全ての項目で「満足」が7割以上を占めている。
○特に満足度の高い項目は、「児童館」、「学童クラブ」、「放課後等デイサービスセンター」で9割を超えている。

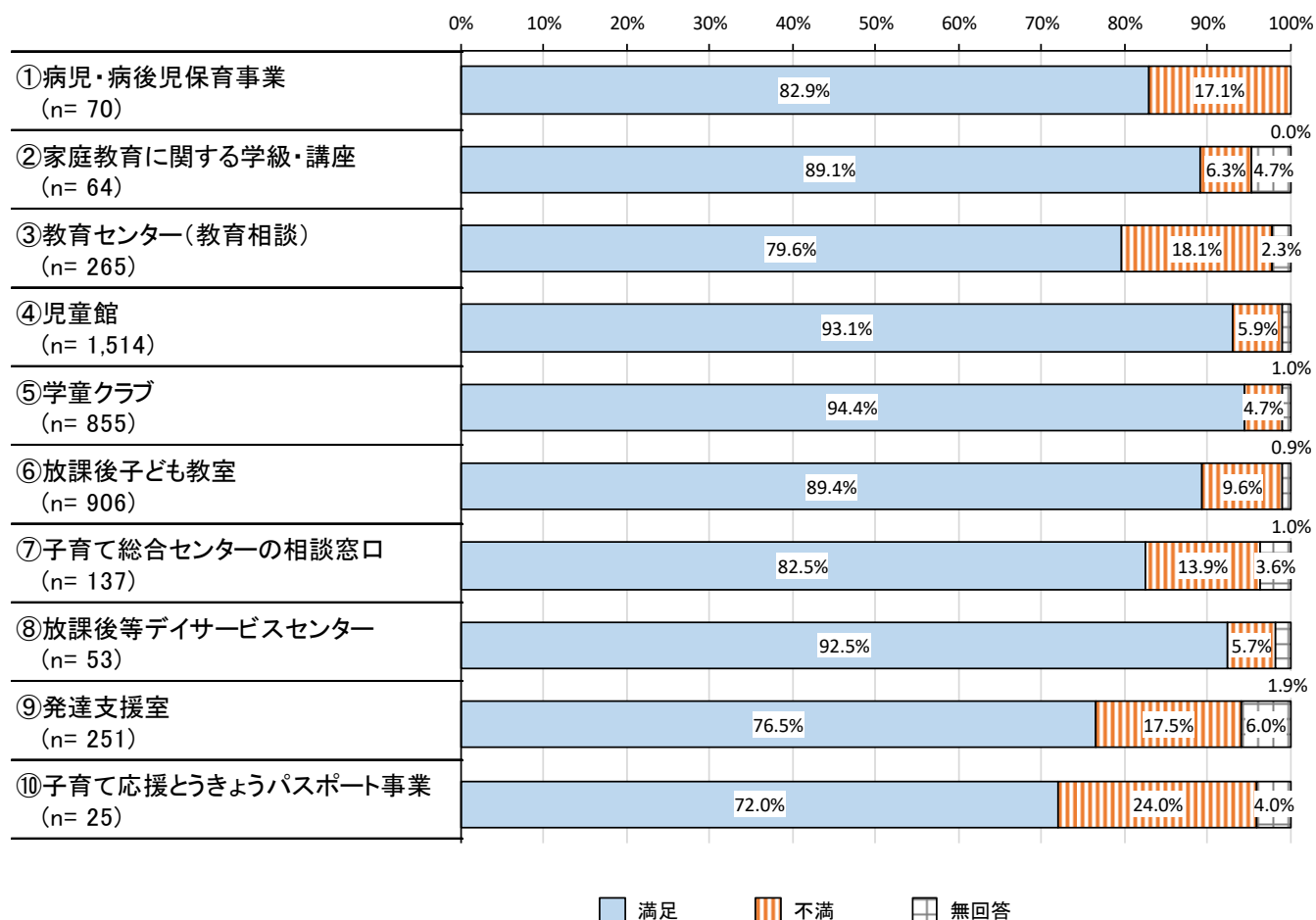


図 満足度

(4) 利用意向

○事業や取り組みの利用意向についてみると、「児童館」では7割台半ばを超え、「放課後子ども教室」では6割強が「今後利用したい」と答えており、利用意向が高くなっている。そのほか、「子育て応援とうきょうパスポート事業」では4割弱となっている。

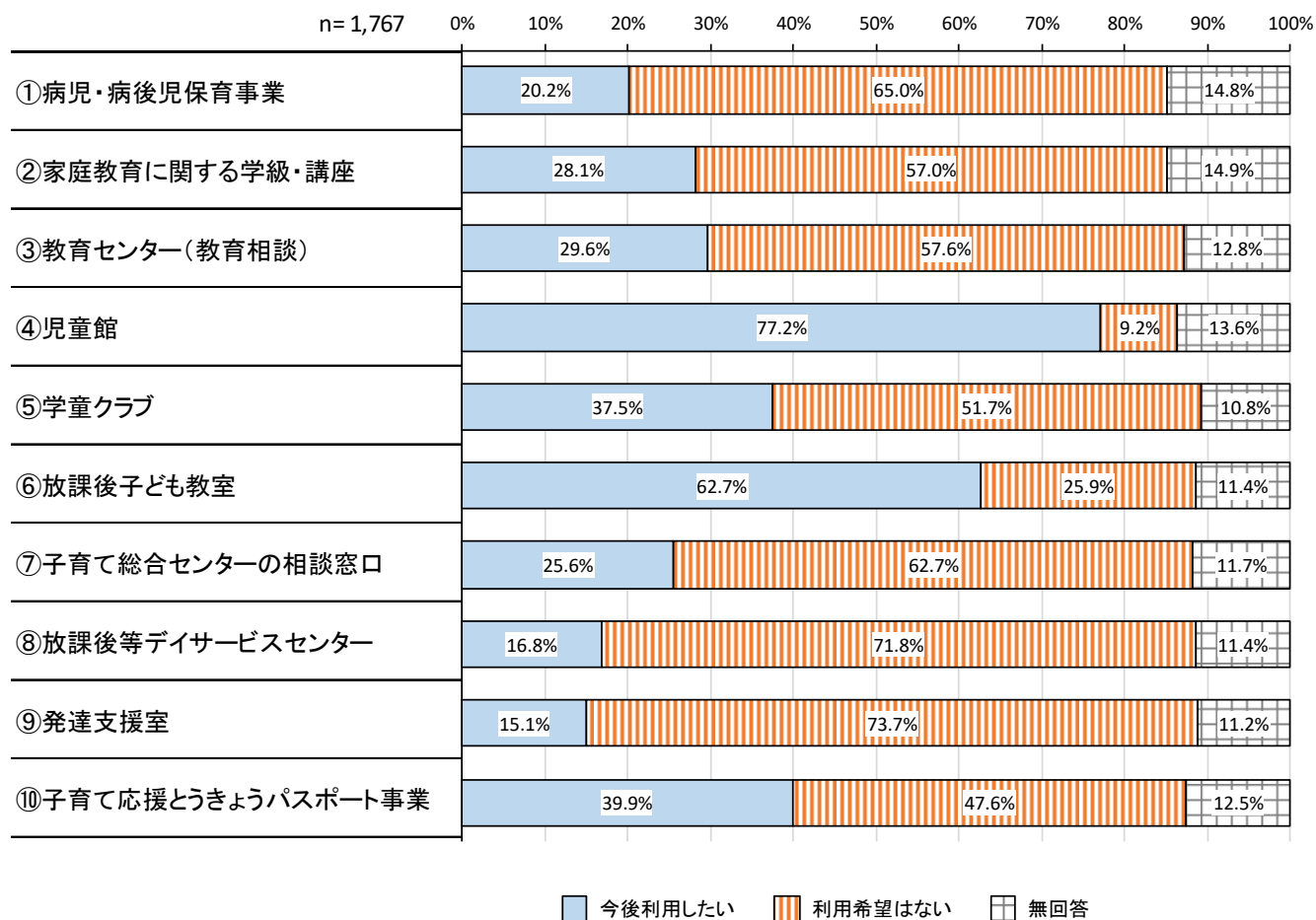


図 利用意向

10. 子どもの発達について

問 16 子どもの発達に不安を感じた経験の有無

○子どもの発達に不安を感じた経験の有無は、「不安を感じることは特にない」が6割台半ばとなっている。

○不安を感じた内容では、「落ち着きがない、こだわりが強いなどの気になる行動が見られること」、「乱暴、気持ちの切り替えができないなど、感情のコントロールが苦手」、「学業不振（書字・読みの苦手を含む）」の順に高くなっている。

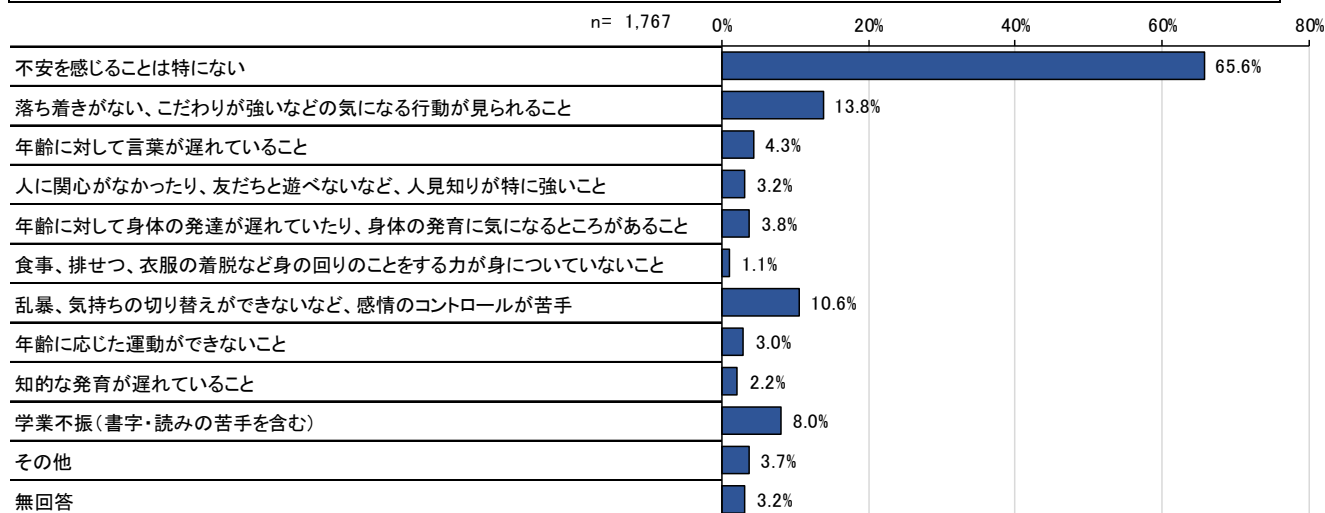


図 子どもの発達に不安を感じた経験の有無

問 16-1 発達に関する不安を感じた際の相談先

○発達に関する不安の相談先は、「配偶者・パートナー」が7割弱と最も高く、次いで「自分や配偶者の親族」、「友人」、「発達支援室」と続いている。

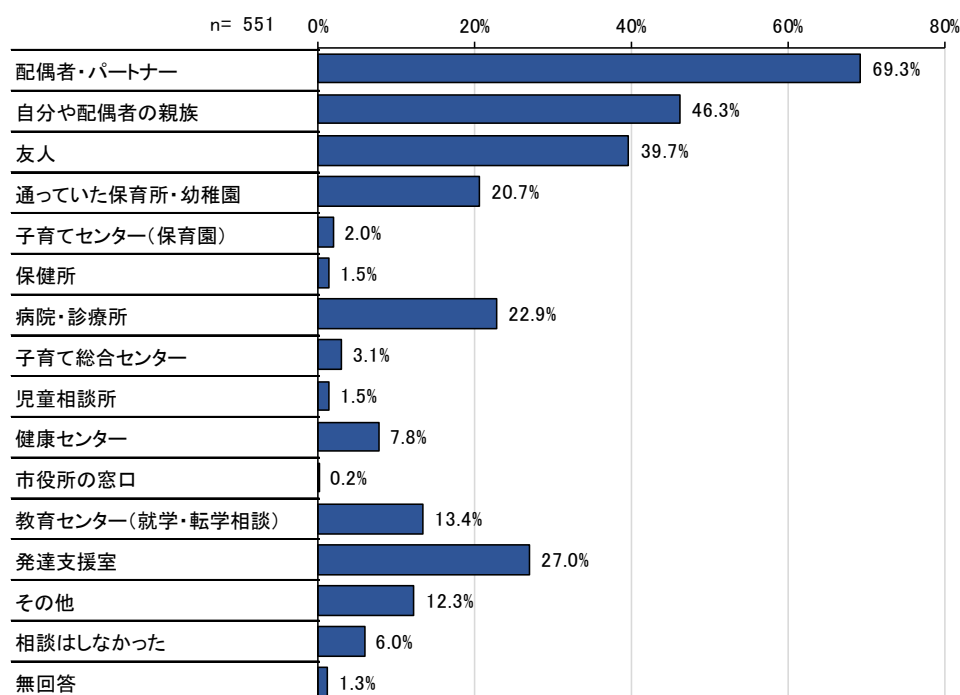


図 発達に関する不安を感じた際の相談先

11. 子育ての悩みや相談相手

問 14 子育てについての不安や負担

- 不安や負担を「何となく感じる」が3割台半ばを超え最も高くなっている。
- 「非常に感じる」と「何となく感じる」を合計した、『感じる』は50.4%、「あまり感じない」と「まったく感じない」を合計した、『感じない』は28.5%となっている。
- 前回調査と比較すると、『感じる』が増加し、『感じない』が減少している。
- 経済的な状況別では、「やや苦しい」「大変苦しい」は『感じる』の割合が多くなっており、「大変苦しい」では66.4%の方が『感じる』と回答している。

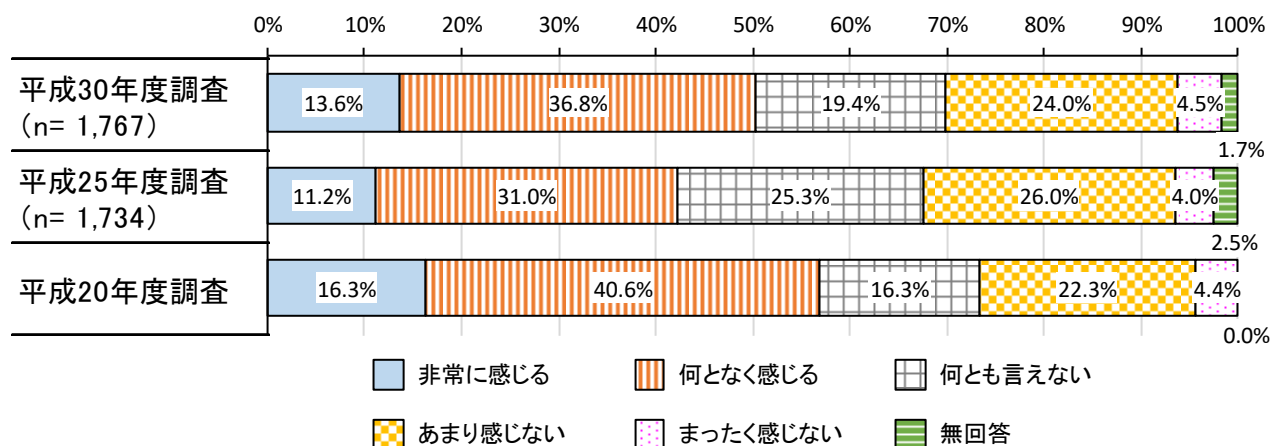


図 子育てについての不安や負担

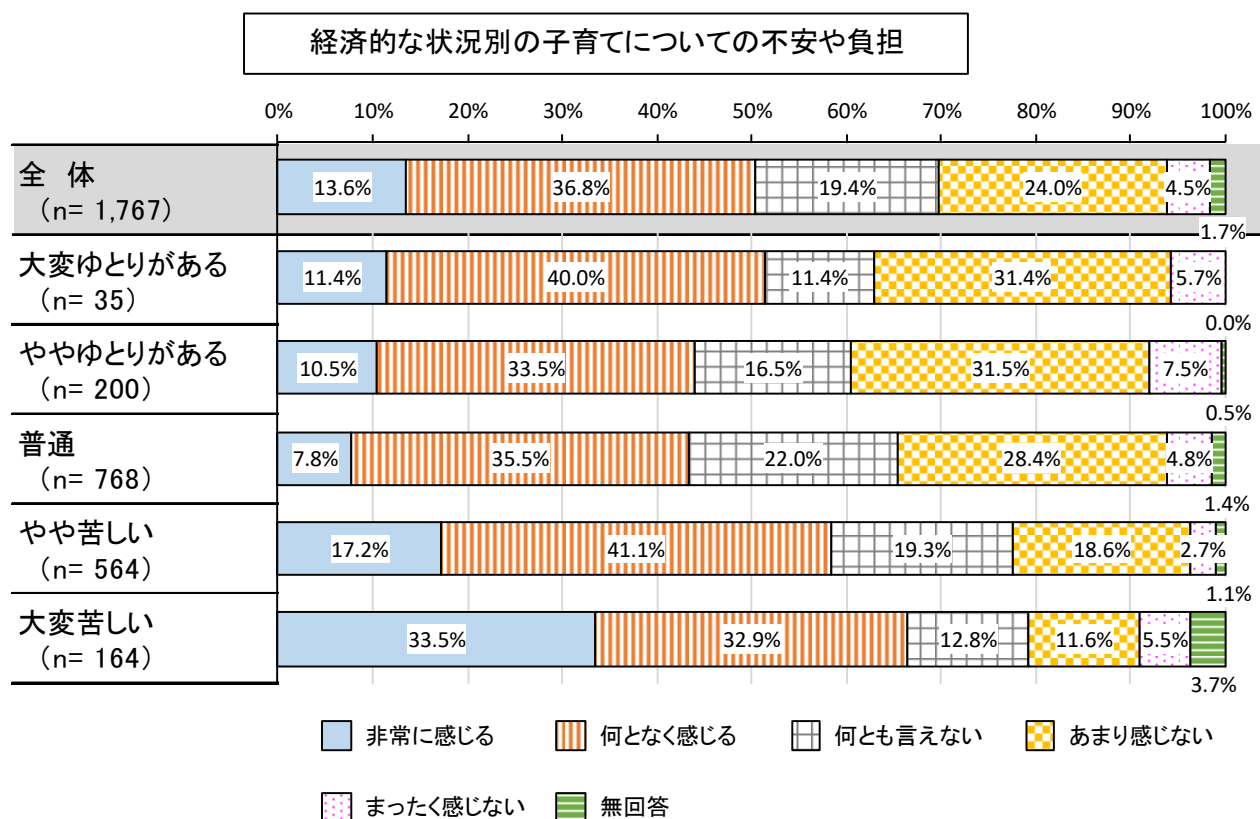


図 子育てについての不安や負担（経済的な状況別）

問 14-1 具体的な不安や負担（複数回答）

- 「出費などの経済的不安」が5割強で最も高く、次いで「心身の疲れ」、「子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）」、「自由な時間がない」、「子どもの病気や発育・発達」と続いている。
- 「出費などの経済的不安」と「子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）」は調査ごとに減少する傾向がみられ、「子どもと接する時間が少ない」、「子育てに関する情報が少ない」は増加傾向である。

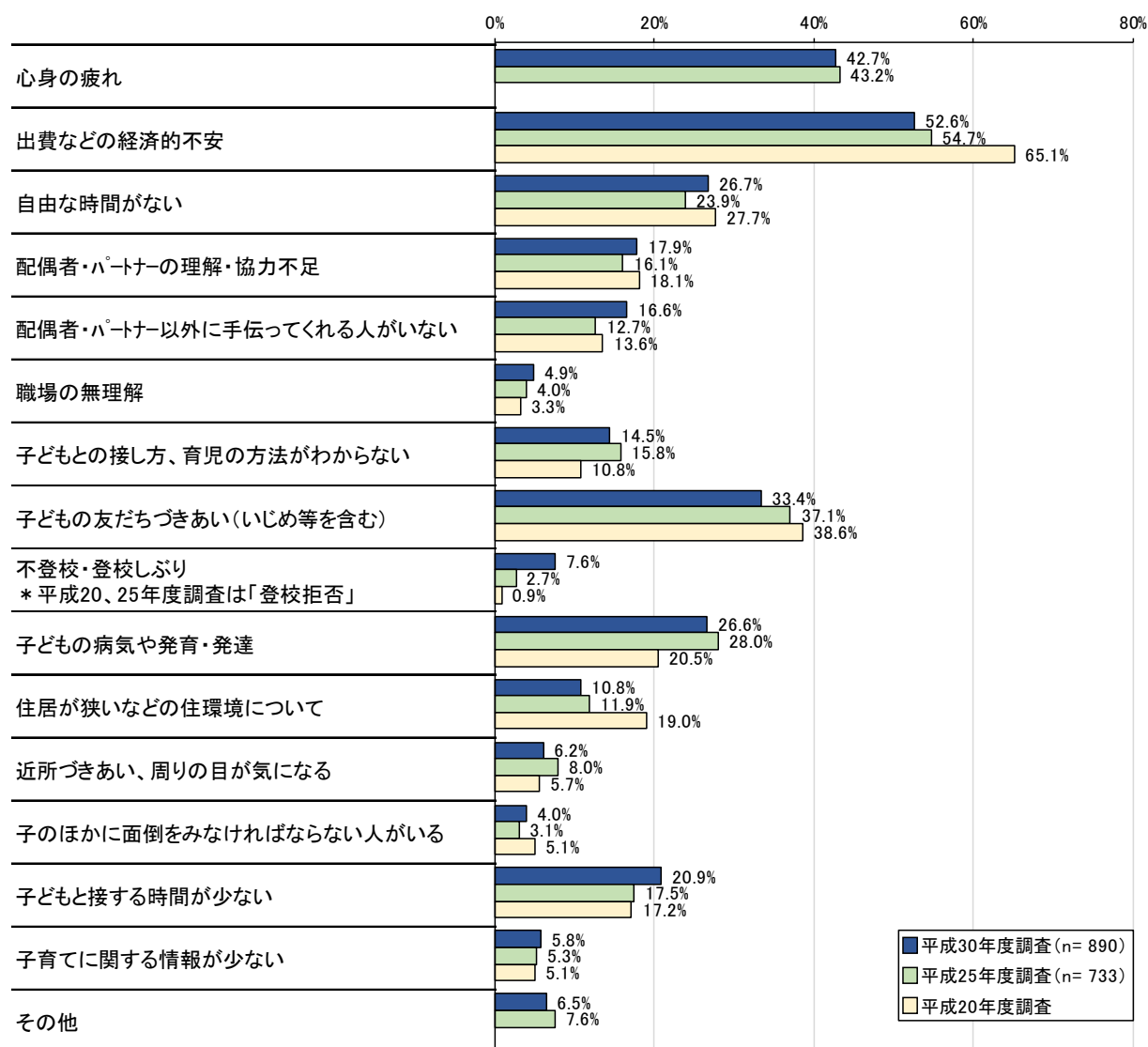


図 具体的な不安や負担

問 14-2 子育ての中での経験の有無（複数回答）

- 「しかっているうちに感情がコントロールできなくなったことがある」が5割台半ばで最も高く、次いで「子どもが傷つくような言葉を向けたことがある」が5割台半ば近くとなっている。
- 前回調査と比較すると、「しかっているうちに感情がコントロールできなくなったことがある」、「子どもに傷やあざができるほど、たたくようなことをしたことがある」では微増し、他の項目では減少しており、「そのようなことをしそうになったが、がまんした」は増加している。

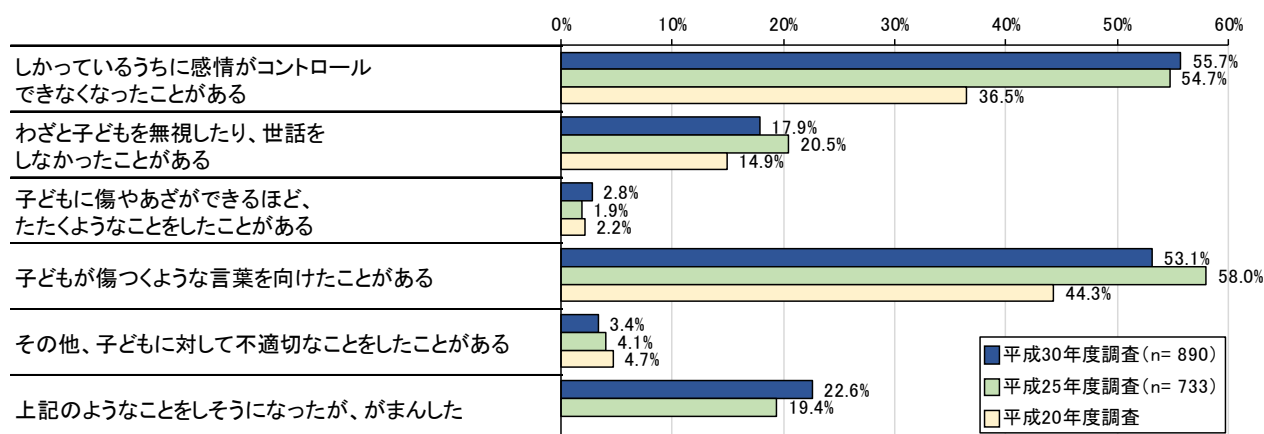


図 子育ての中での経験

問 15 気軽に相談できる人や場所の有無

- 子育てや教育の悩み・不安の相談先は、「いる／ある」が約9割を占めており、前回調査とほぼ同様の傾向となっている。

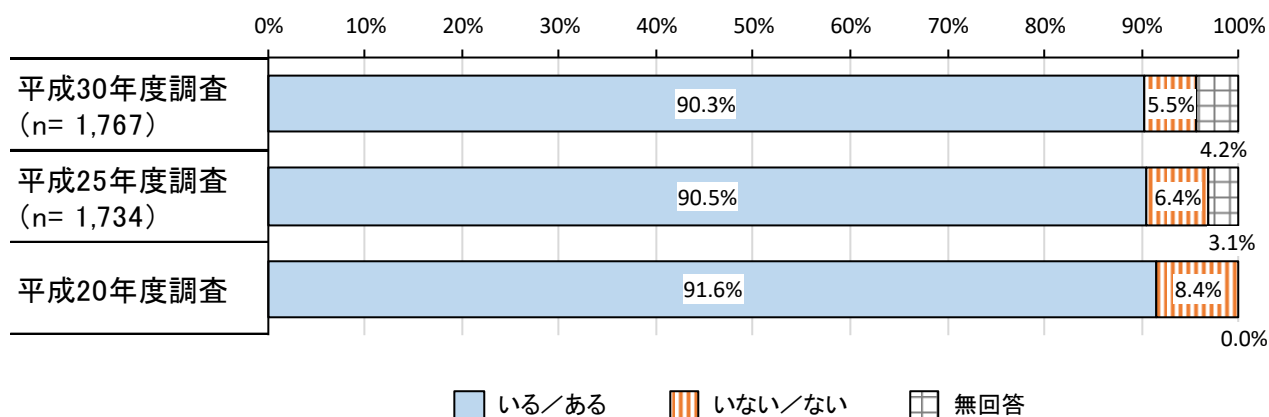


図 相談先の有無

問 15-1 気軽に相談できる人・場所（複数回答）

○子育てや教育に関する相談先は「配偶者・パートナー」が8割弱で最も高く、次いで「友人・知人」、「自分や配偶者の親族」、「同じ学校の保護者仲間」と続いている。

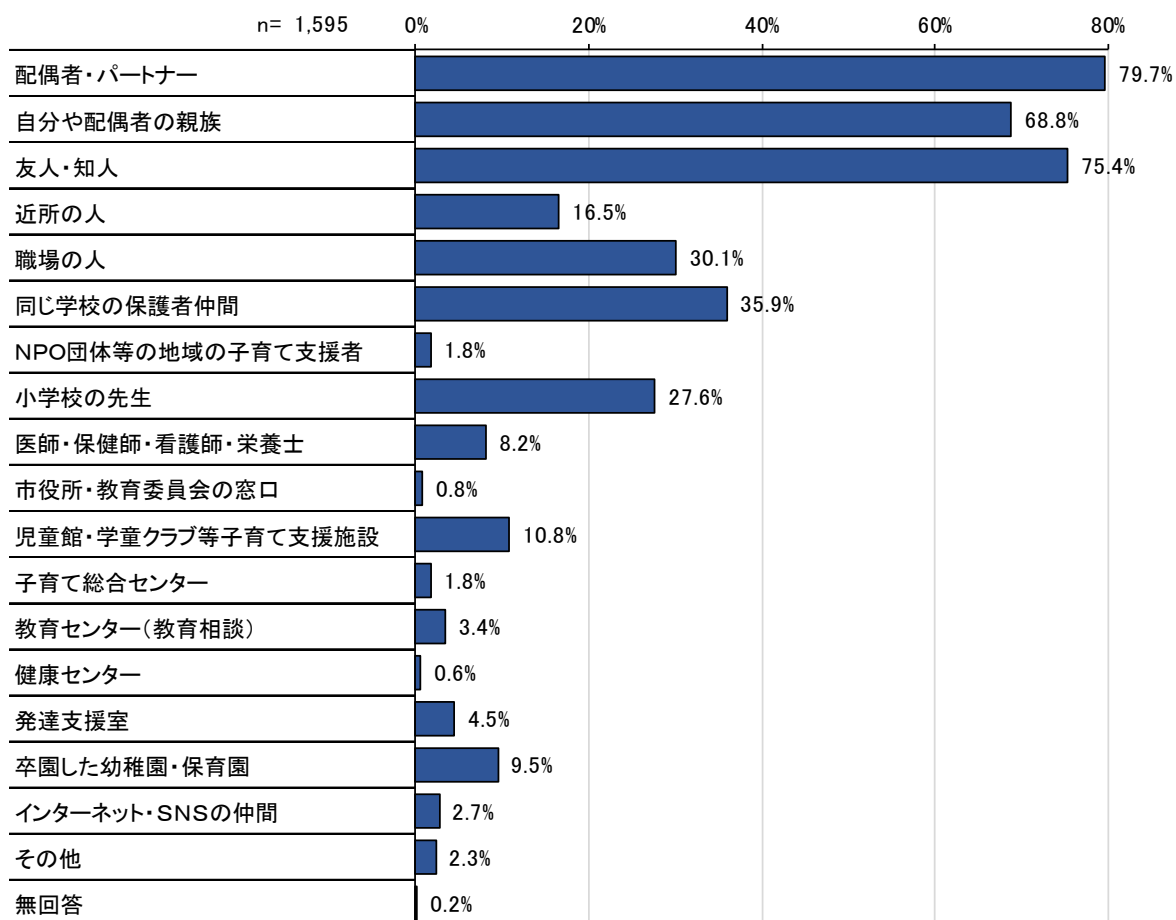


図 気軽に相談できる人・場所

12. 子育てに関するサポート・情報

問 21 子どもをもうけたい、育てたいと思えるようになるために必要な条件

○子どもをもうけたい、育てたいと思えるようになるために必要な条件は、「子育てや教育にかかる経済的負担の軽減」が4割台半ばと最も高く、次いで「職場の理解」、「配偶者・パートナーの理解」と続いている。

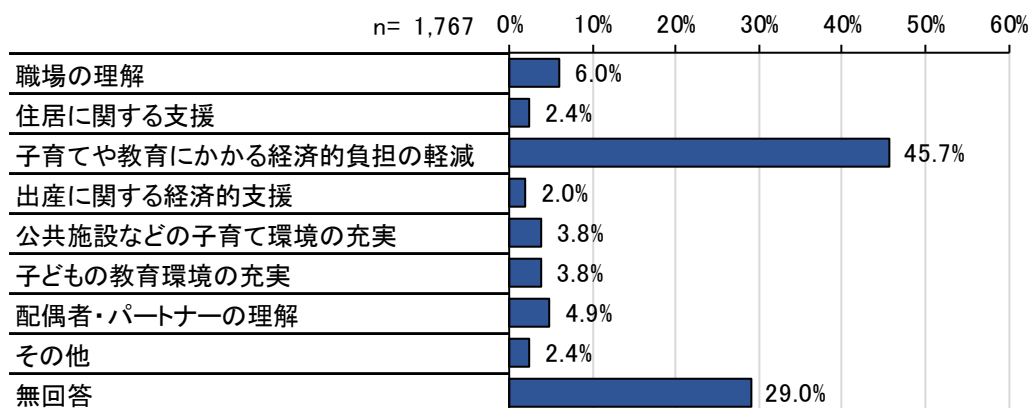


図 子どもをもうけたい、育てたいと思えるようになるために必要な条件

問3 市の発行物や情報で子育てに役立つと思うもの（複数回答）

○子育てに役立つと思うものは「たま広報」が7割弱で最も高く、次いで「児童館だより」が5割強、「市公式ホームページ、公式twitter」が3割台半ば近くと続いている。

○前回調査と比較すると、「市公式ホームページ、公式Twitter」が大きく増加しているほか、「たま広報」、「市公式携帯サイト」なども増加している。

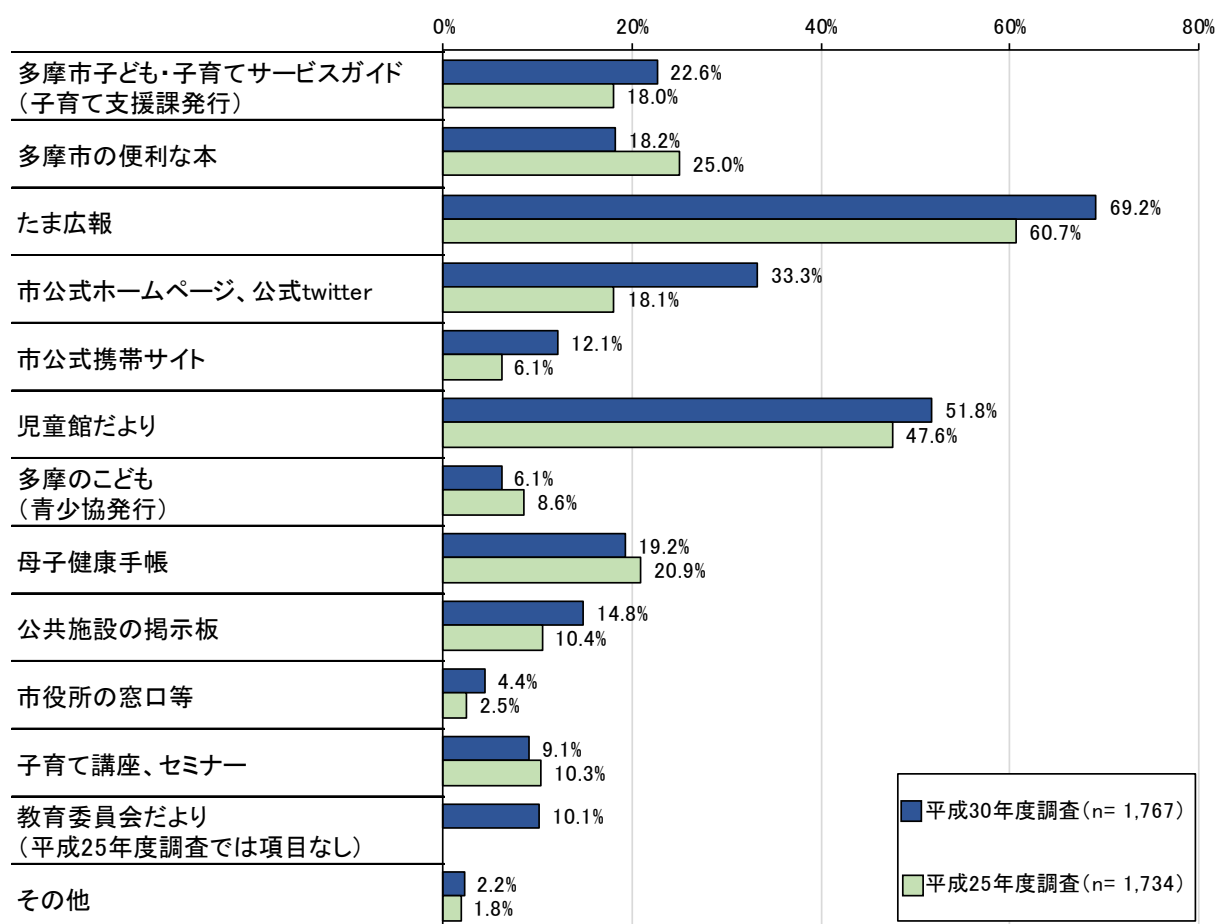


図 子育てに役立つと思うもの

第3章 中・高生世代調査結果

1. 回答者の属性

問 30 回答者の年齢 問 31 性別

○回答者の年齢は調査時点（平成 30 年 10 月時点）で 12 歳から 18 歳、性別は女性が男性を若干上回る。

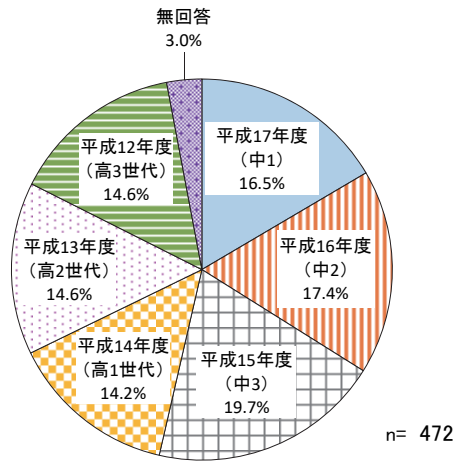


図 回答者の年齢

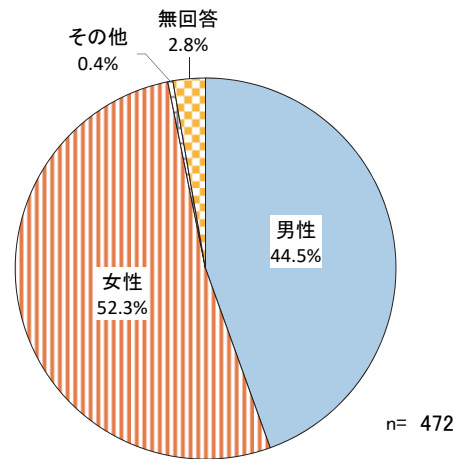


図 性別

問 32 所属

○回答者の所属は「公立中学校」が4割強、「全日制高校」が3割弱を占める。

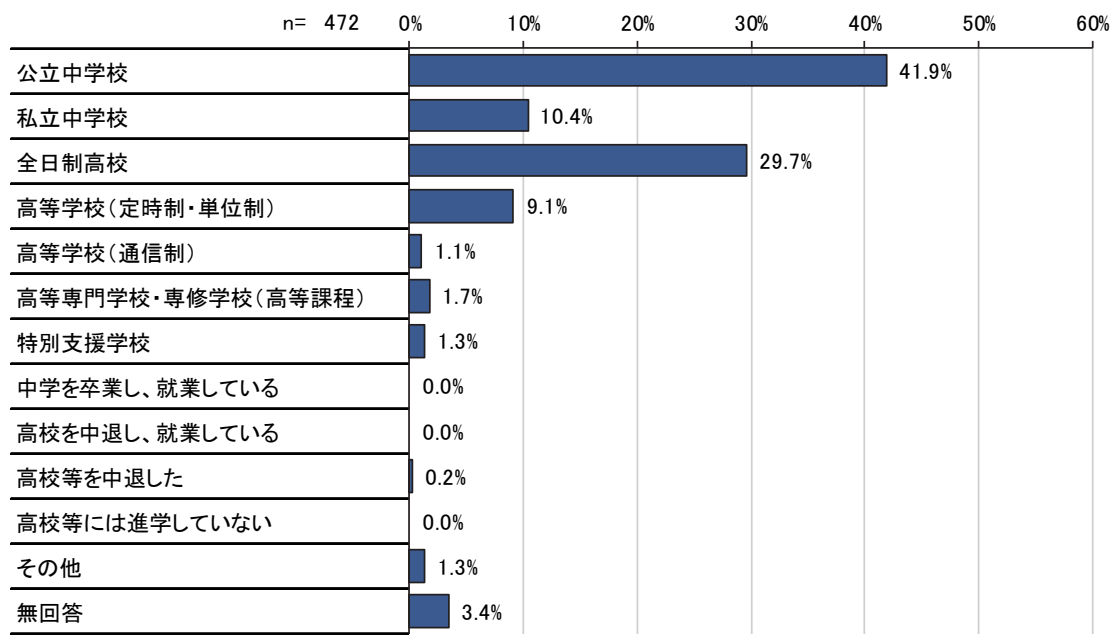


図 所属

2. 家族の状況等

問 33 同居家族（複数回答）・人数

○同居している家族は「母親」が9割台半ばを超え、「父親」が8割台半ばを占める。

○同居人数は「4人」が約4割を占める。

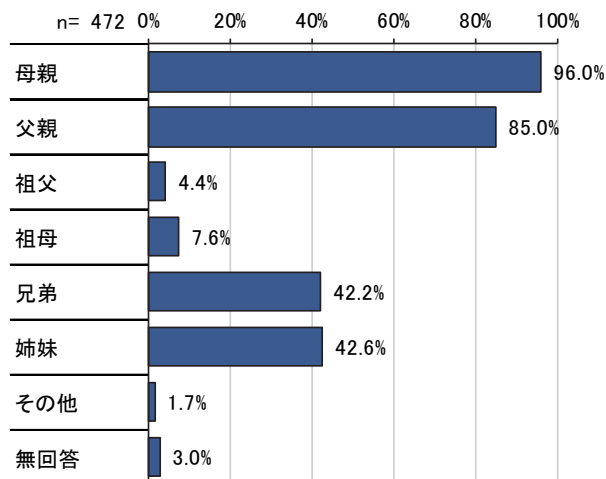


図 同居家族

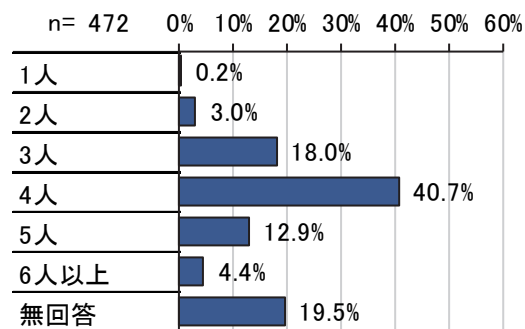


図 同居人数

問 34 居住地区

○回答者の住まいの地区は「落合、鶴牧、南野地区」が2割強を占める。

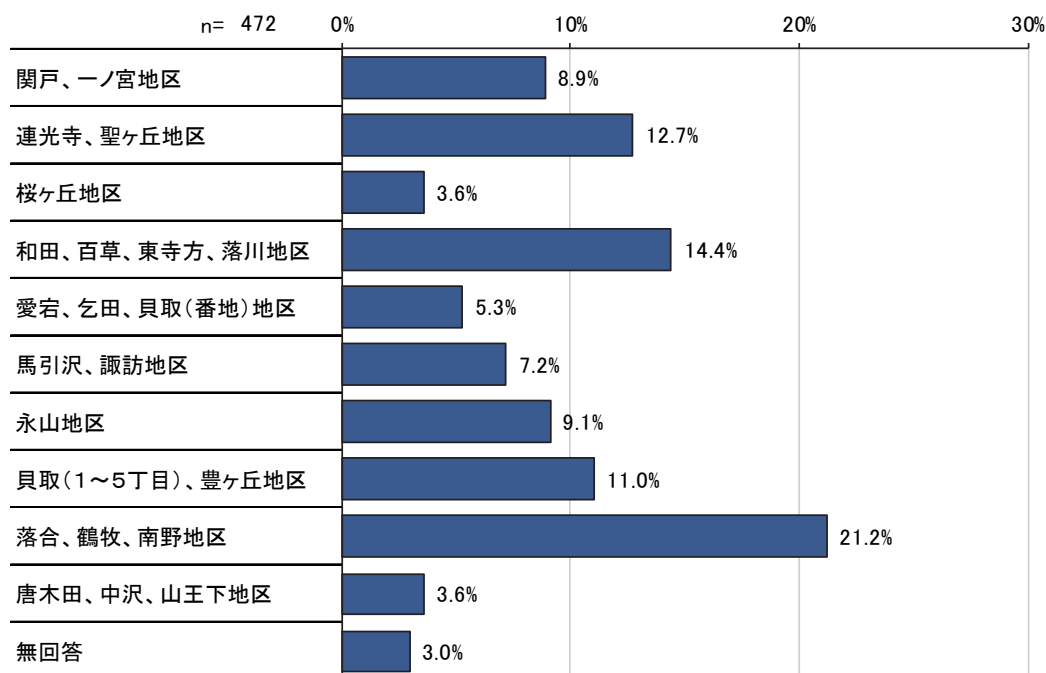


図 居住地区

3. 日頃の行動について

問1 平日、休日の起床時間・就寝時間

○平日の起床時間は、「7時以前」が最も高く、次いで「7時台」となる。

○休日の起床時間は、「9時～正午」が最も高く、次いで「8時台」となる。

○就寝時間は平日、休日ともに、「24時前」が最も高く、次いで「23時前」となる。

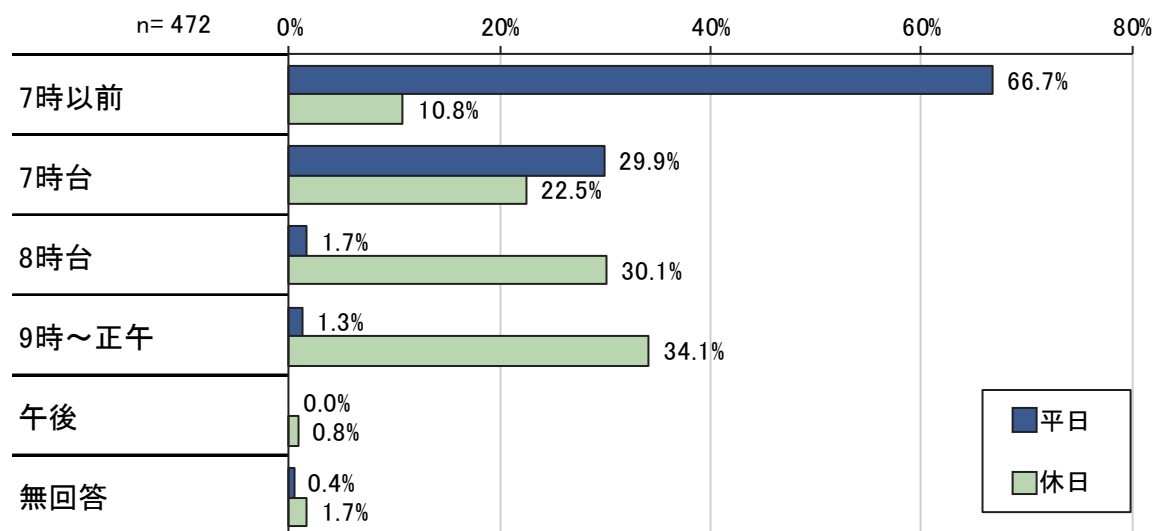


図 平日、休日の起床時間

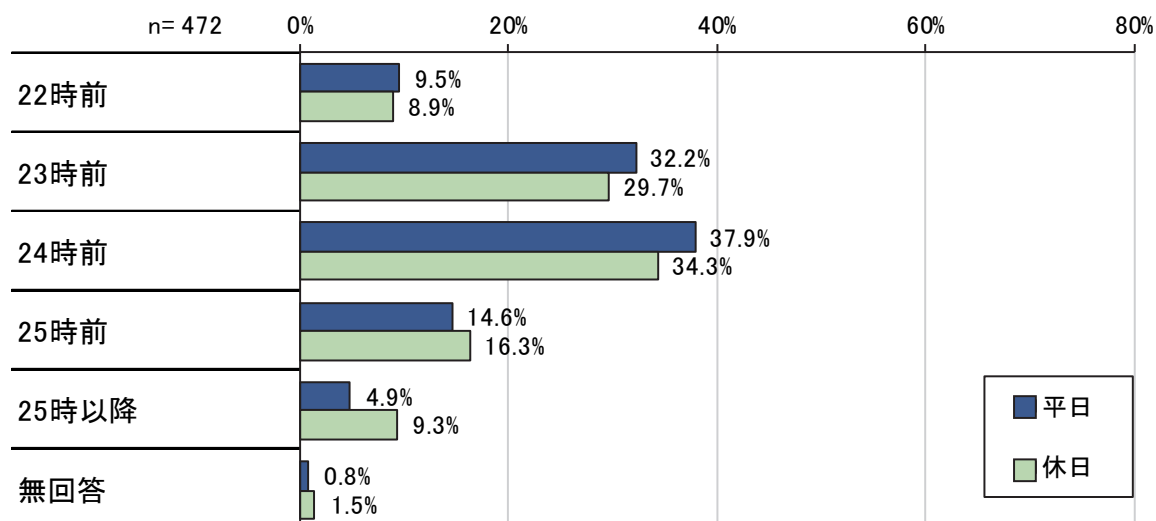


図 平日、休日の就寝時間

問2 朝食の摂取状況・朝食を食べない理由（複数回答）

○朝食の摂取状況は、「いつも食べる」が8割台半ば近く、次いで「食べる方が多い」が続いている。
○朝食を食べない理由は、「食べる時間がとれないから」が最も高く、次いで「より長く寝ていたいから」、「食欲がないから」の順になっている。

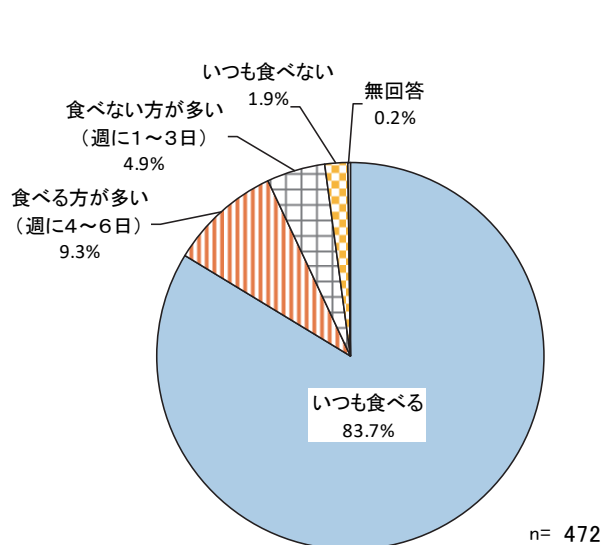


図 朝食の摂取状況

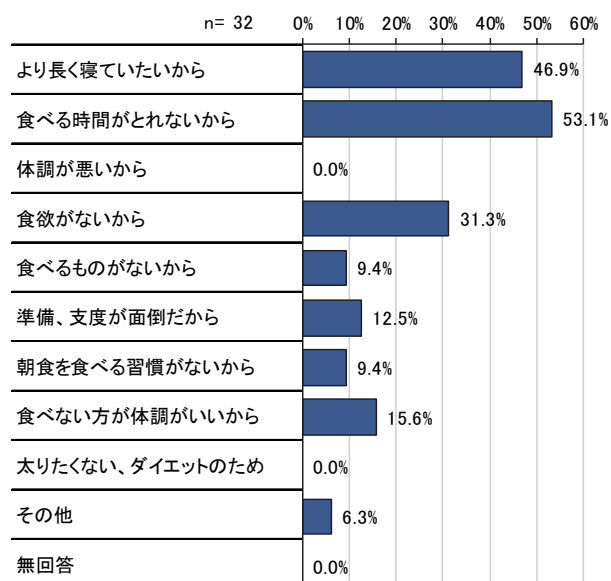


図 朝食を食べない理由

問3 朝食・夕食を一緒に食べる人（複数回答）

○朝食・夕食ともに、一緒に食べる人は「親」が最も高く、次いで「兄弟姉妹」、「1人で食べている」の順になっている。
○「1人で食べている」は、夕食で約1割となっているが、朝食では3割を超えている。

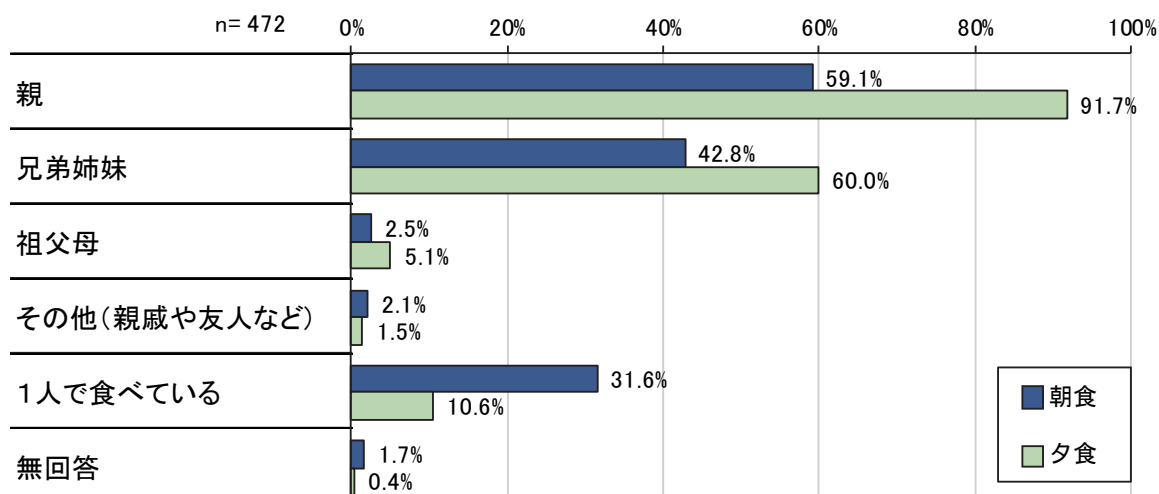


図 朝食・夕食を一緒に食べる人

問4 帰宅時・休日の在宅者・在宅者がいない場合の食事

- 帰宅時の在宅者は、「だいたい誰かがいる」が最も高く、次いで「いつも誰かがいる」となる。
- 前回調査と比較すると、「いつも誰かがいる」、「だいたい誰かがいる」が減少し、「ほとんど誰もいない」が増加している。
- 在宅者がいない場合の食事は、「食べないで待っている」が最も高く、次いで「大人が作っておいてくれたものを食べる」、「自分で食事を用意する」の順となっている。
- 前回調査と比較すると、「自分で食事を用意する」、「大人が作っておいてくれたものを食べる」が減少し、「食べないで待っている」が大幅に増加している。

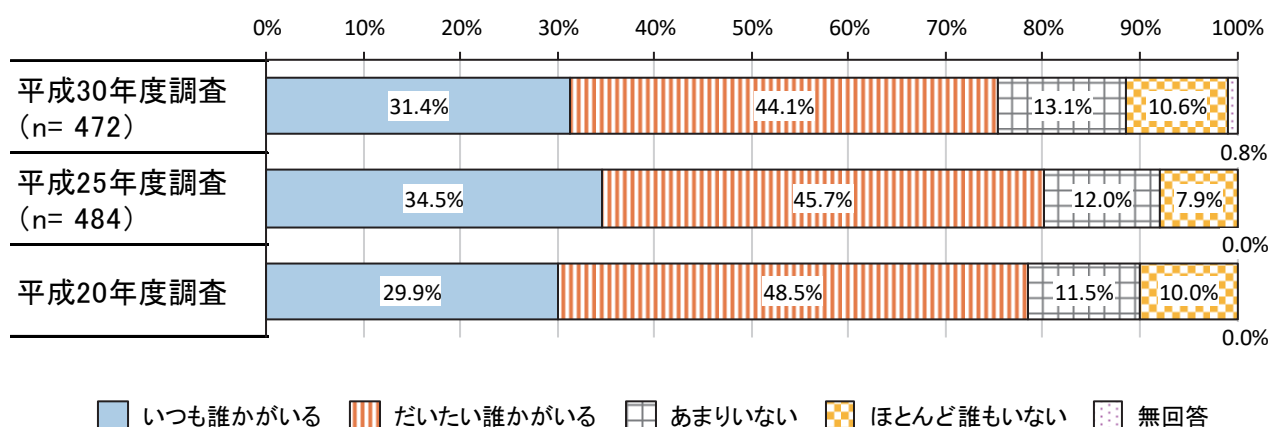


図 帰宅時・休日の在宅者

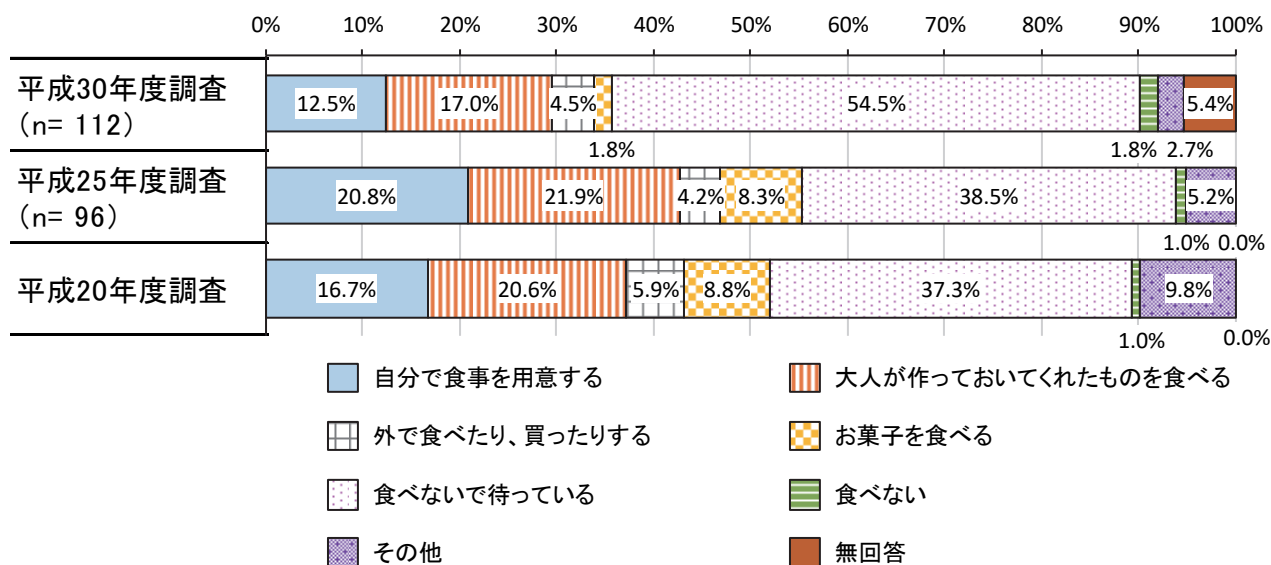


図 在宅者がいない場合の食事

問5 普段の外出頻度

○普段の外出頻度は、「学校や仕事で週5日以上外出する」が9割台半ば近くとなっている。

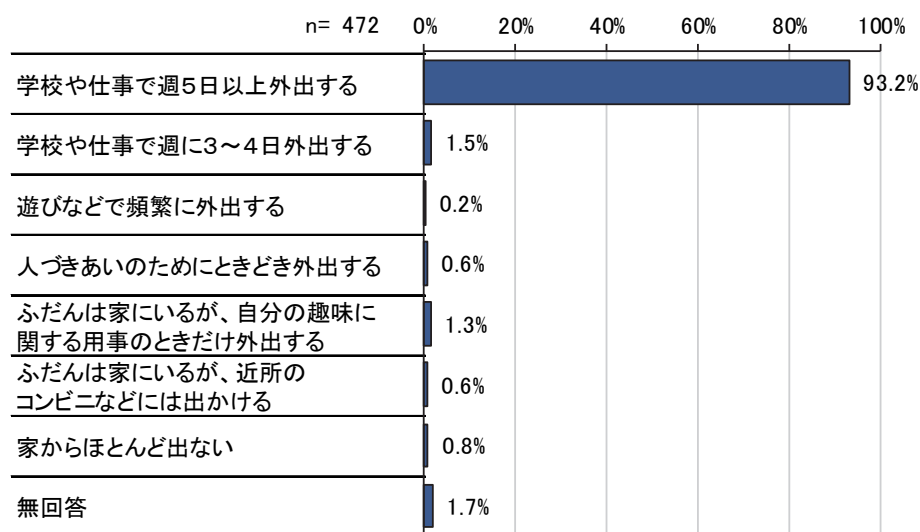


図 外出頻度

問8 1週間の塾や習い事の頻度・習い事の種類（複数回答）

○習い事の頻度は、「習い事はしていない」が3割台半ばで最も高く、次いで「1~2日」、「3~4日」の順となる。

○習い事の種類は、「学習塾・予備校」が6割台半ばで最も高く、次いで「絵画、音楽、習字など芸術の習い事」、「スポーツ」の順となる。

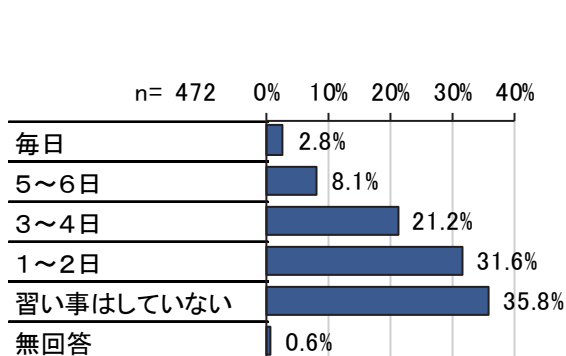


図 習い事の頻度

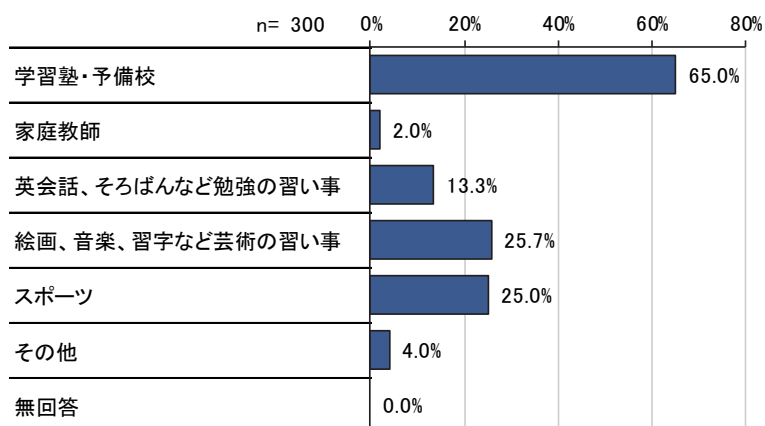


図 習い事の種類

4. 放課後、休日の過ごし方

問6 平日の放課後と休日の過ごし方（複数回答）

○平日では「学校のクラブ活動」が5割台半ば近くで最も高く、次いで「家で宿題や勉強をする」、「学習塾、予備校など」の順となっている。

○前回調査と比較すると、「携帯電話やスマートフォンでSNSを利用したりゲームをする」、「テレビゲーム、携帯ゲームで遊ぶ」などで増加しており、「テレビをみたりラジオを聴く」、「友達と電話やメールの交換をする」、「友達と遊ぶ」などで減少している。

【平日の放課後の過ごし方】

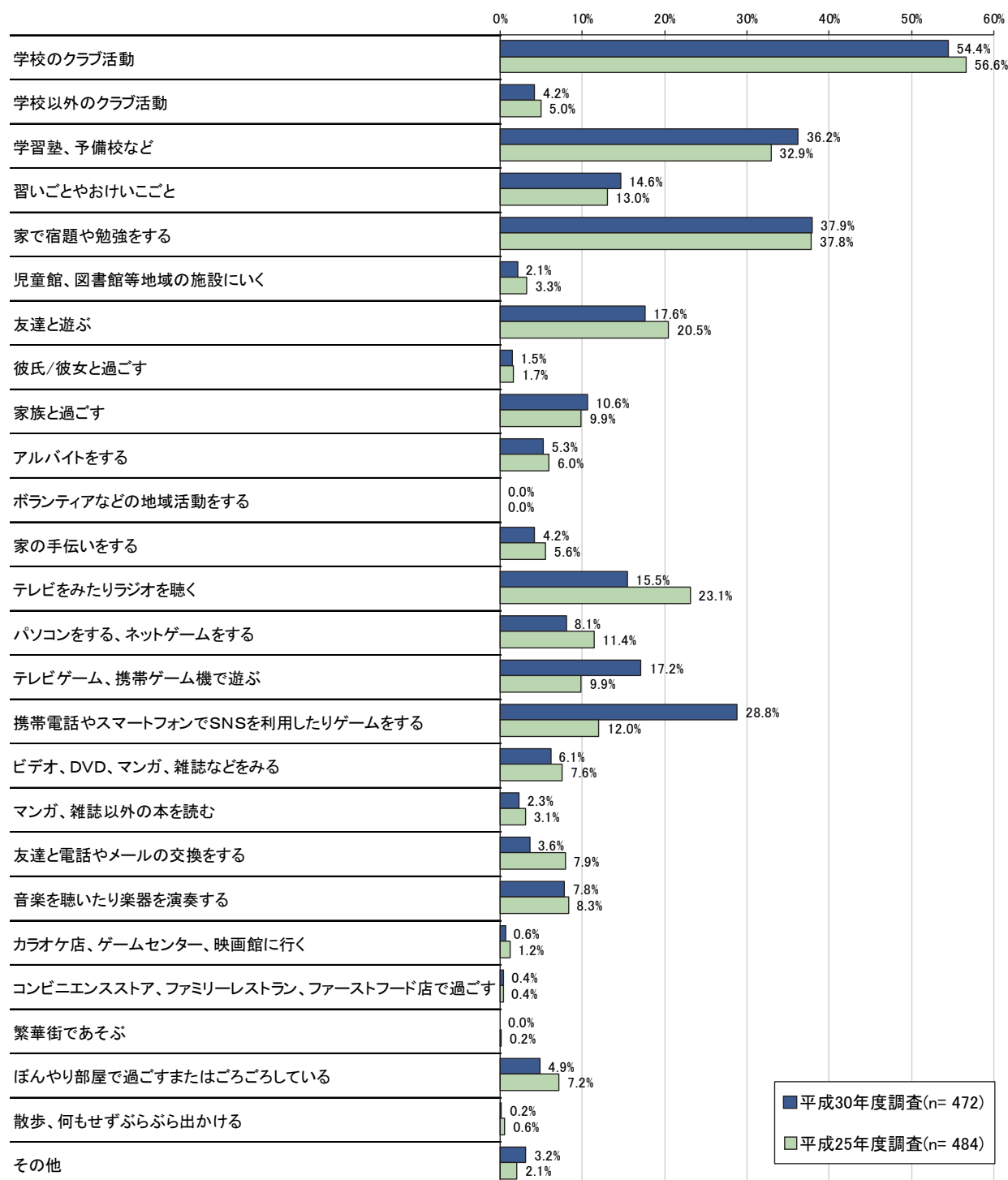


図 平日の放課後の過ごし方

○休日では「携帯電話やスマートフォンで SNS を利用したりゲームをする」が3割台半ば近くで最も高く、次いで「家で宿題や勉強をする」、「友達と遊ぶ」の順となっている。

○前回調査と比較すると、「携帯電話やスマートフォンで SNS を利用したりゲームをする」で大幅に増加しているほか、「テレビゲーム、携帯ゲーム機で遊ぶ」、「学校のクラブ活動」などでも増加している。一方、「パソコンをする、ネットゲームをする」、「友達と電話やメールの交換をする」などで減少している。

【休日の過ごし方】

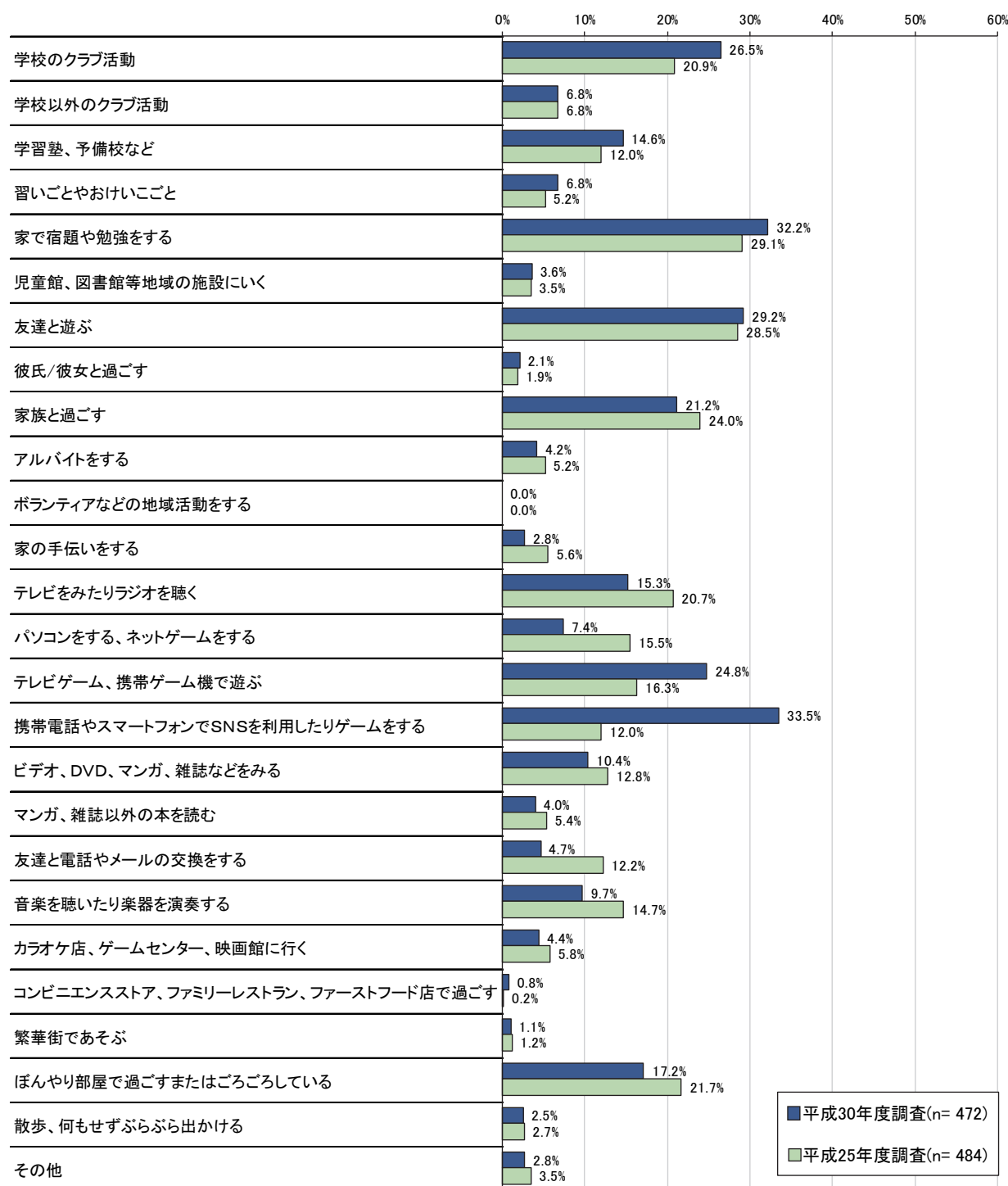


図 休日の過ごし方

5. 施設の利用状況

問7 (1) 利用状況・利用日

○「よく利用する」は、「コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ファーストフード店」が4割強で最も高く、次いで「衣類、雑貨、書籍などの販売店舗等」となる。

○前回調査と比較すると、「よく利用する」、「利用する」を合わせた“利用する”は、「児童館」、「図書館」、「公民館（ヴィータ、ベルブ）、コミュニティセンター」で減少しているが、「カラオケ店、ゲームセンター、映画館」では増加している。

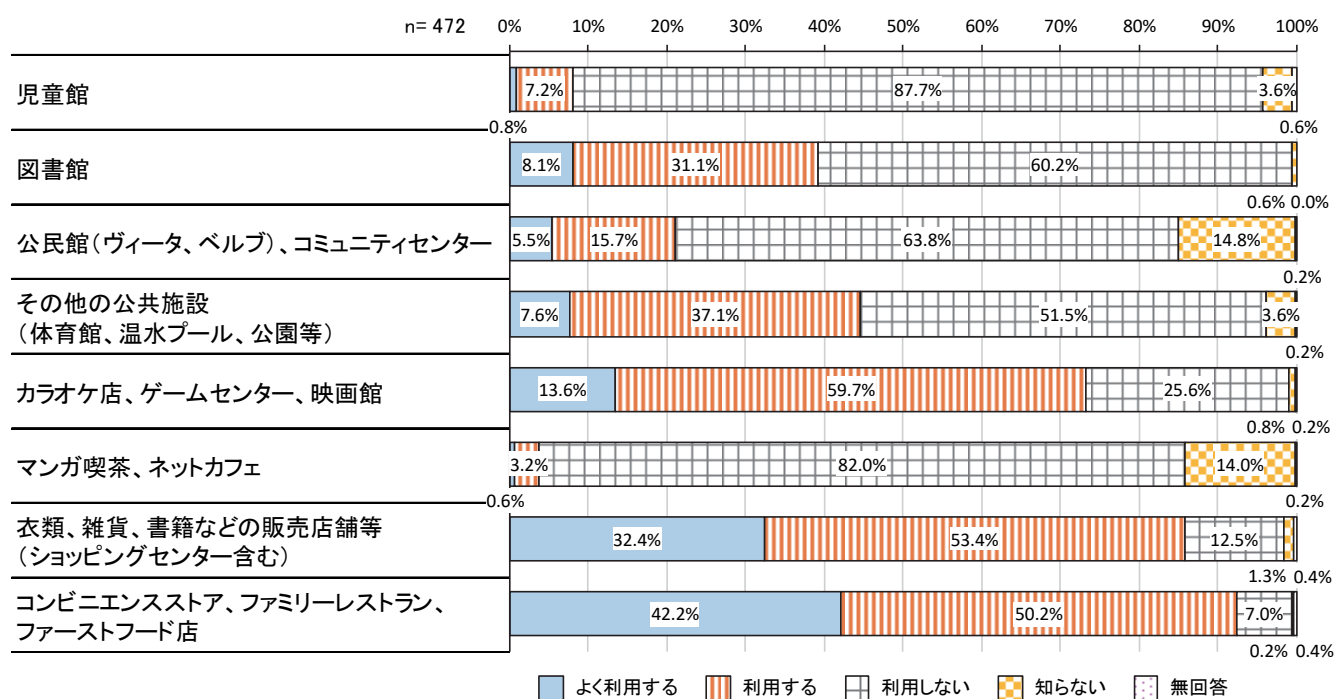
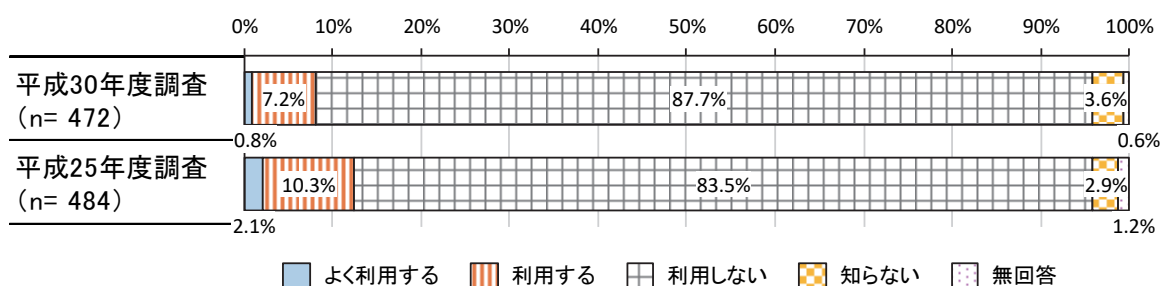
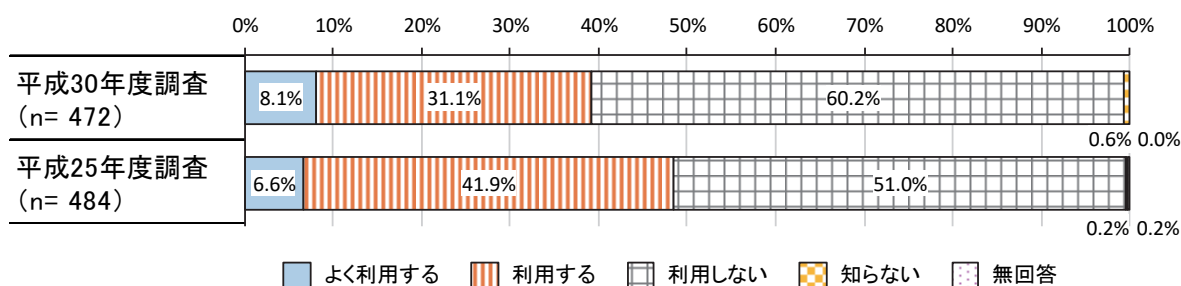


図 利用状況

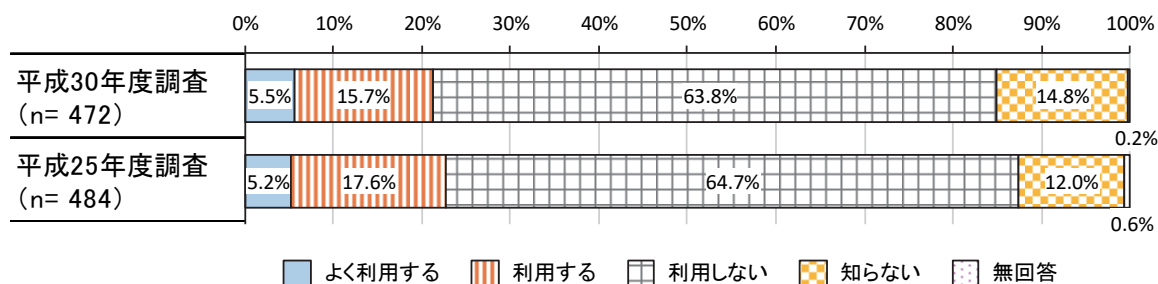
児童館



図書館



公民館(ヴィータ、ベルブ)、コミュニティセンター



カラオケ店、ゲームセンター、映画館

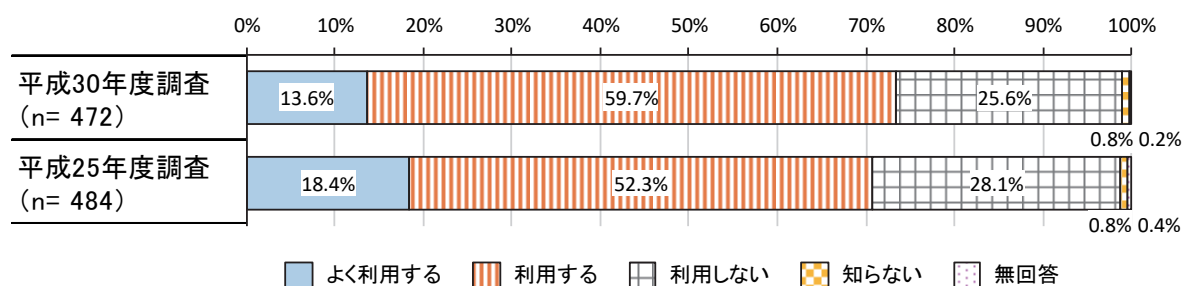


図 利用状況（前回調査との比較）

(2) 利用日

○利用日は、平日のみ使用は「児童館」が最も高く、次いで「公民館」、「その他の公共施設」となる。
 休日のみ利用は、「カラオケ店、ゲームセンター、映画館」が7割台半ば近くで最も高い。
 平日・休日の両方利用は、「コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ファーストフード店」が最も高く、次いで「公民館」となる。

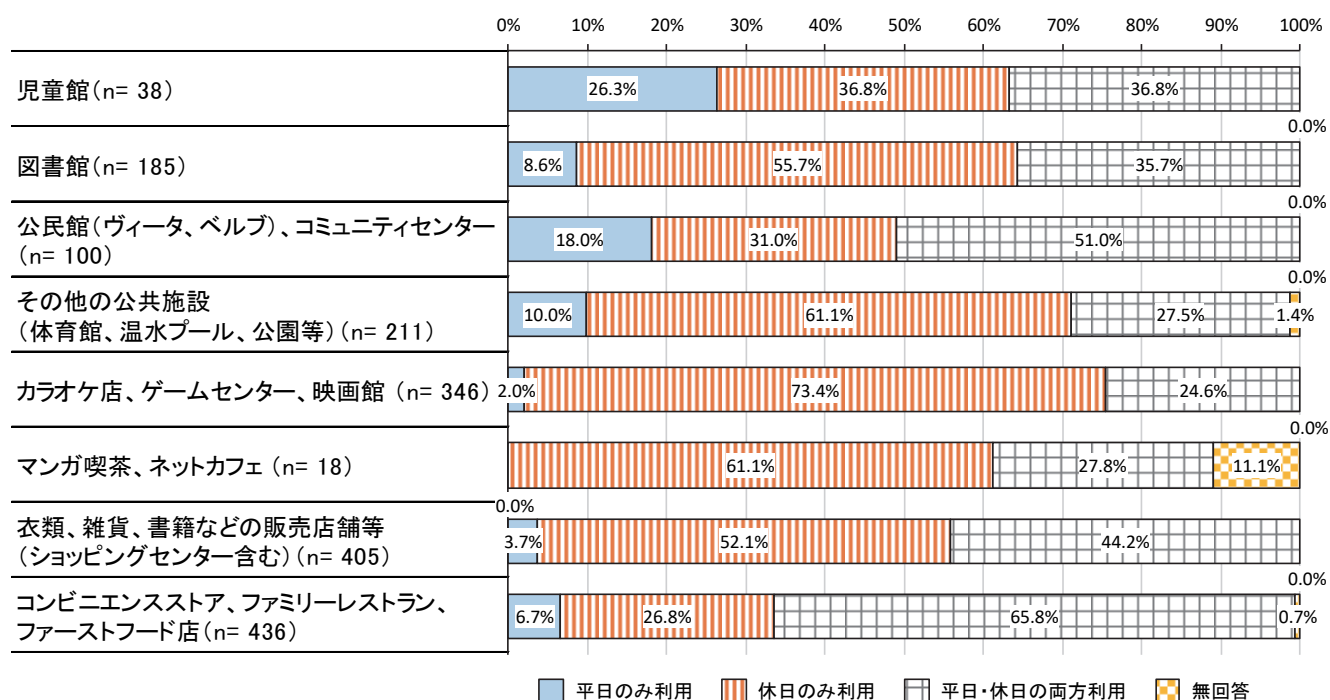


図 利用日

(3) 施設を利用する理由（複数回答）

○施設を利用する理由は、「児童館」、「図書館」、「公民館」、「コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ファーストフード店」では気軽に利用できるから、という理由が最も高い。
上記以外の施設は、楽しいから、という理由が最も高い。

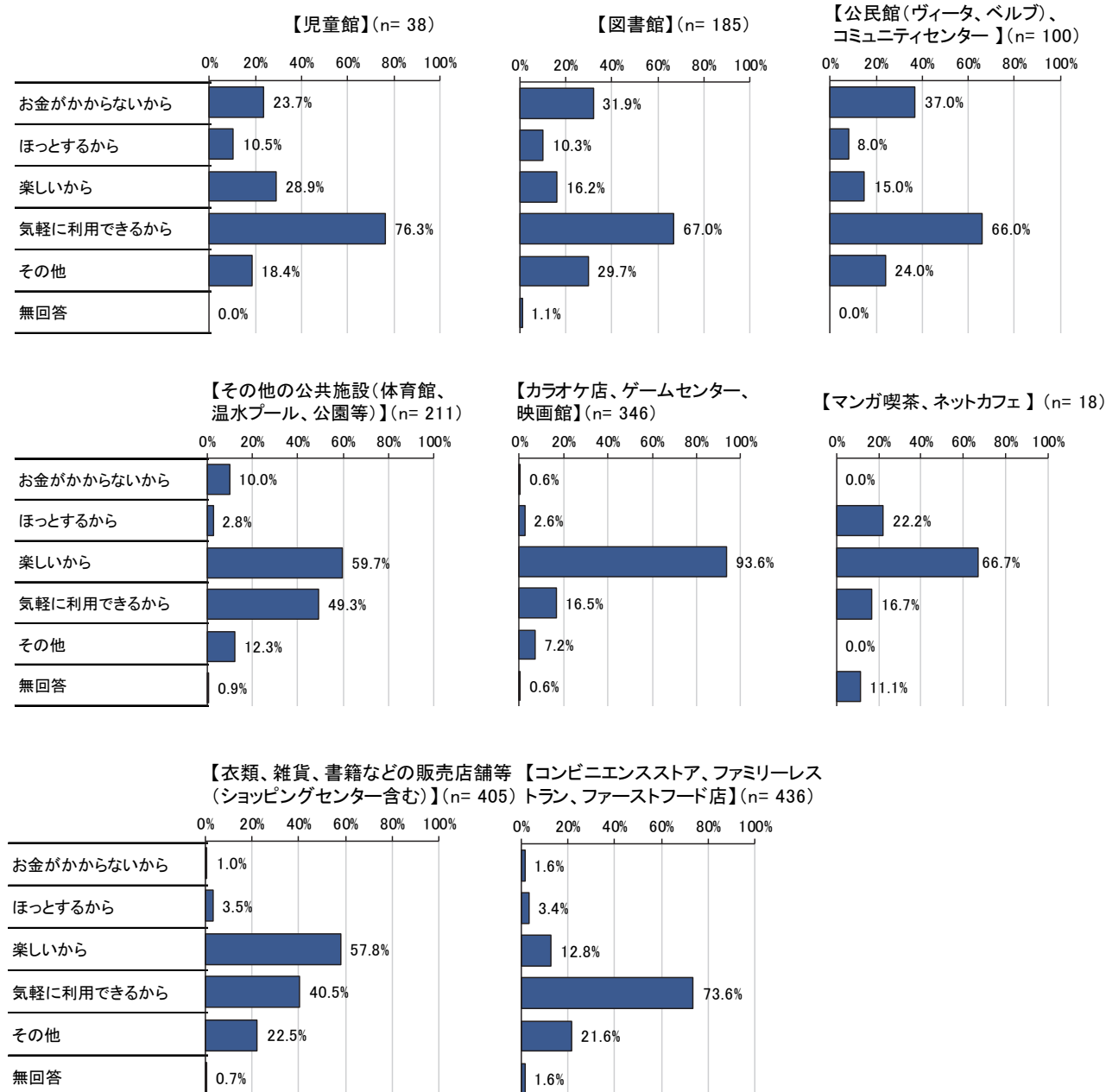


図 施設を利用する理由

(4) 利用しない理由(複数回答)

○利用しない理由は、「コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ファーストフード店」以外の項目全てにおいて関心がないが最も高い。

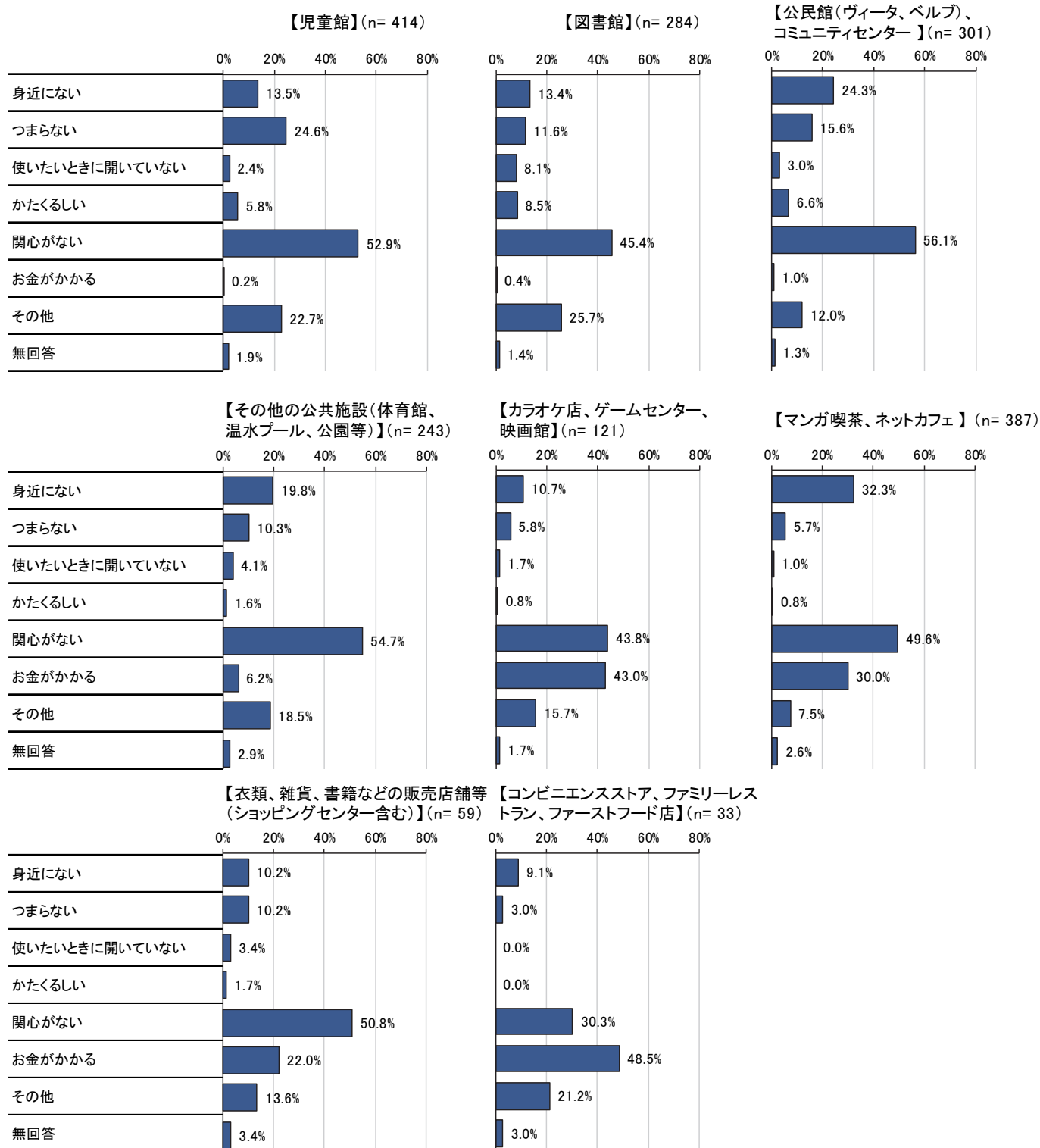


図 利用しない理由

6. 地域活動やボランティア活動

問9 地域活動やボランティア活動の参加

○地域活動やボランティア活動の参加は、「参加したことがある」が5割台半ばを超えている。

○3回の調査での傾向は、ほぼ同様となっている。

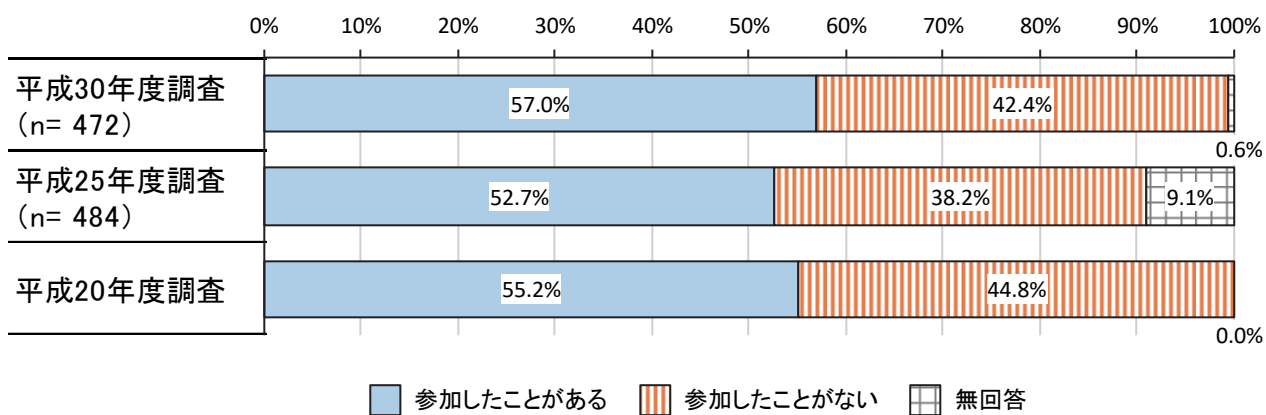


図 地域活動やボランティア活動の参加

問 9-1 (1) 参加経験

○地域活動やボランティア活動への参加経験は、参加したことがあるものは「地域のおまつり」が7割強を占め最も高く、次いで「清掃などの環境改善美化活動」が6割強を占めている。

○参加したことがないものは、「赤ちゃんや小さい子どもの世話をする」と「障がい者へのボランティアなど」が6割台半ば近くを占め最も高く、次いで「文化・音楽活動」、「保育園、幼稚園などへの訪問」と続いている。

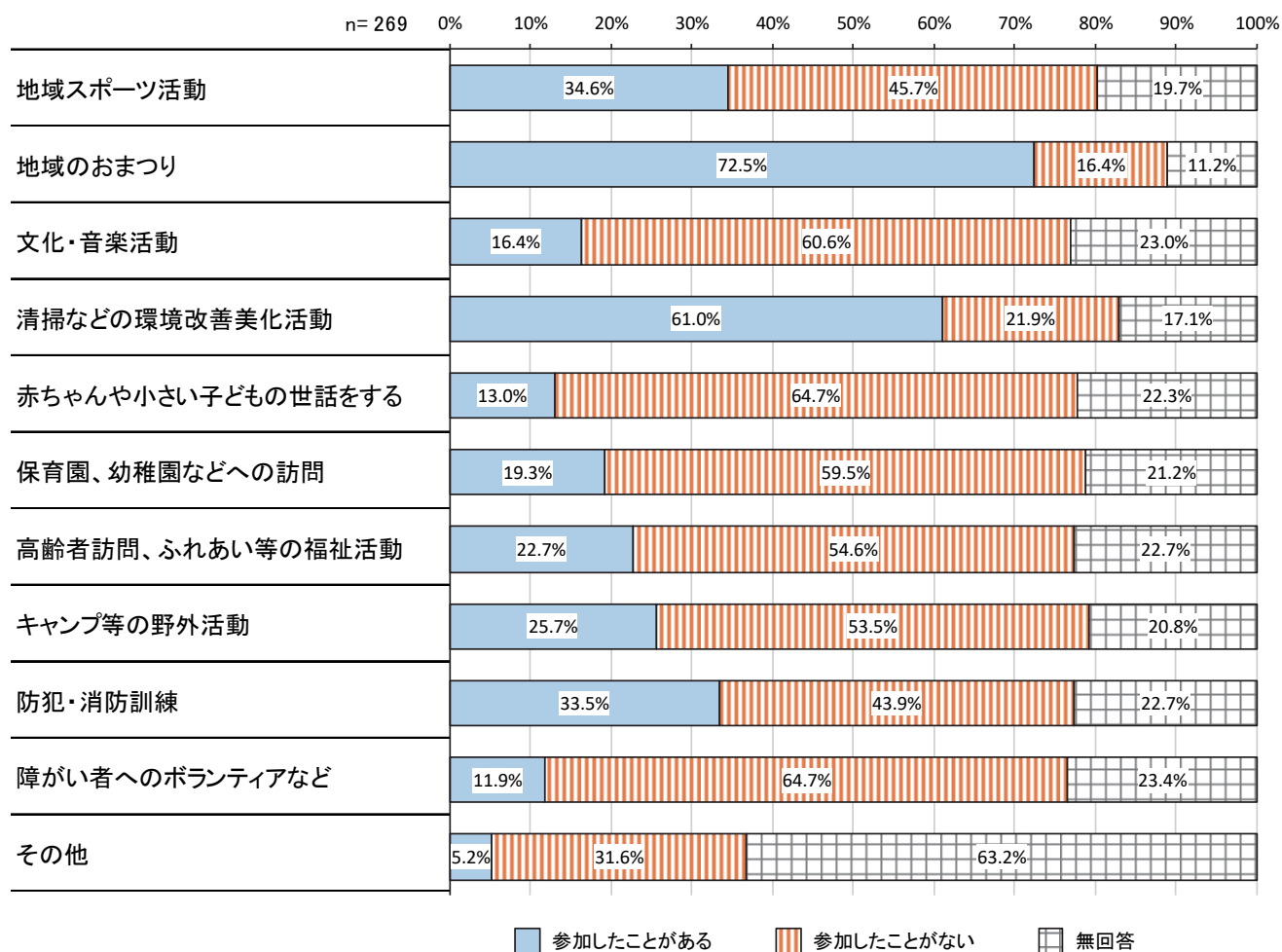
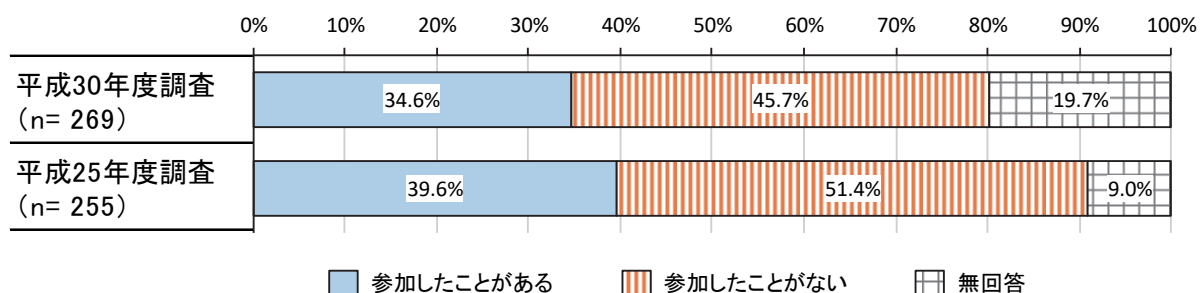


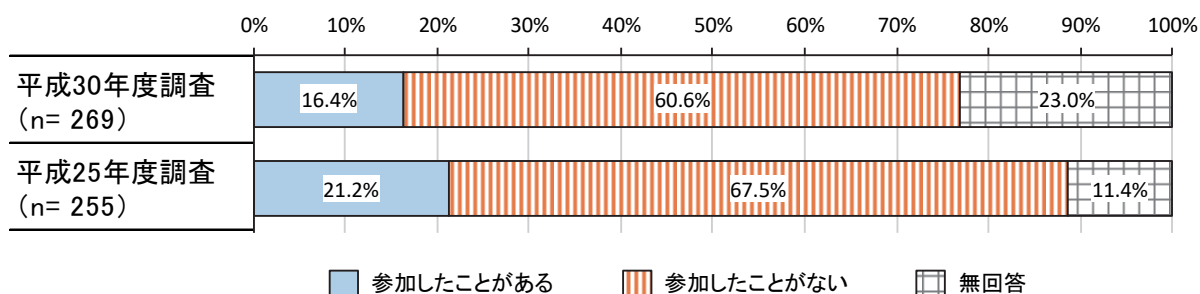
図 参加経験

○前回調査と比較すると、多くの項目で「参加したことがある」が減少している。特に「清掃などの環境改善美化活動」は17ポイント減少している。

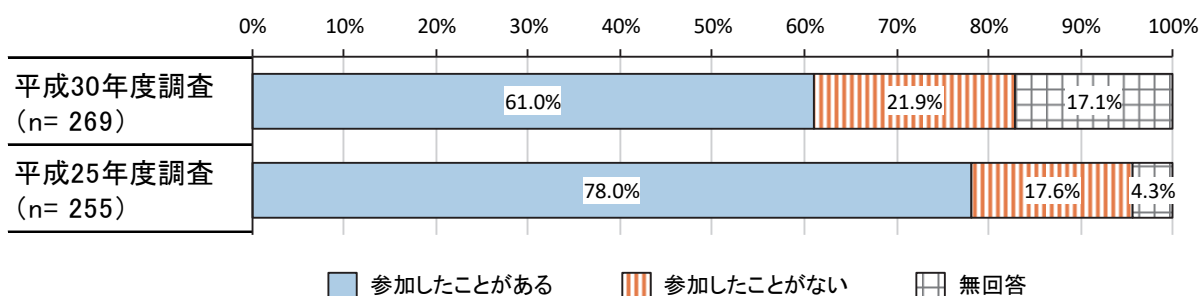
地域スポーツ活動



文化・音楽活動



清掃などの環境改善美化活動



キャンプ等の野外活動

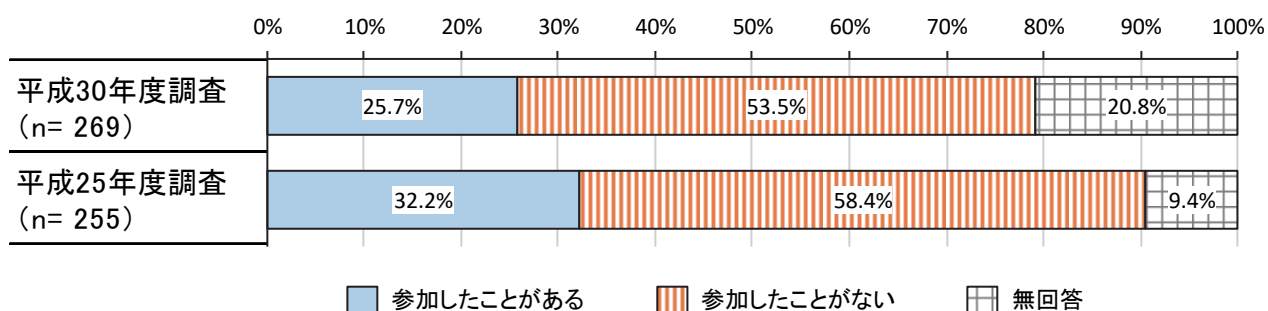


図 参加経験（前回調査との比較）

(2) 参加内容

- 参加内容は、全ての項目で「実施段階で参加した」が最も高く、中でも「清掃などの環境改善美化活動」は8割台半ばを超えている。
- 「企画段階から参加した」は「保育園、幼稚園などへの訪問」で約4割と最も高く、次いで「キャンプ等の野外活動」、「赤ちゃんや小さい子どもの世話をする」、「高齢者訪問、ふれあい等の福祉活動」の順に続いている。

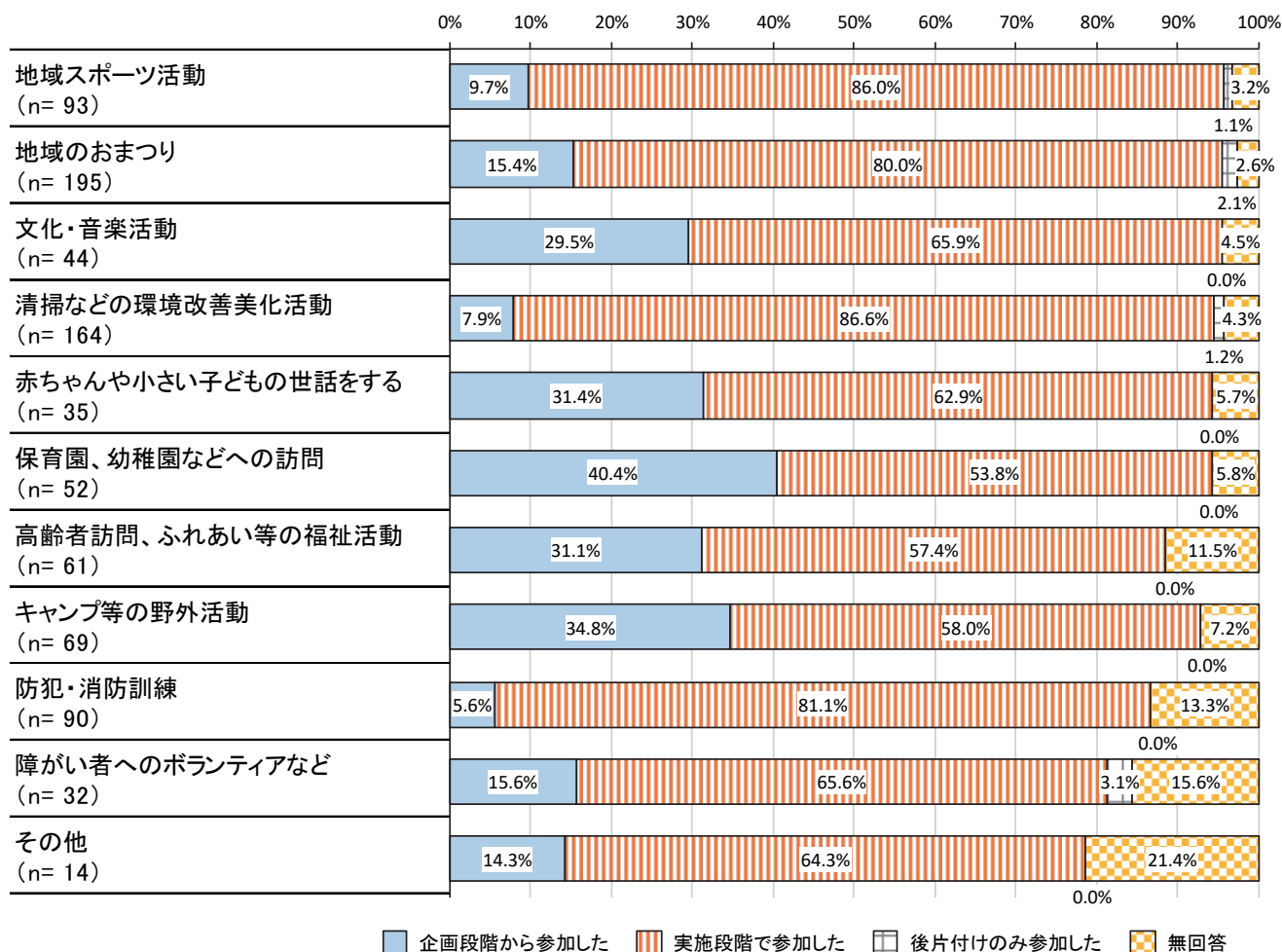


図 参加内容

(3) 参加理由

- 参加理由は、「地域のおまつり」、「キャンプ等の野外活動」、「地域スポーツ活動」では「友人に誘われた」が最も高く、「その他」を除く他の項目では、「学校の授業の一環で」が最も高くなっている。
- 「学校の授業の一環で」は「保育園、幼稚園などへの訪問」が7割弱と最も高く、次いで「高齢者訪問、ふれあい等の福祉活動」、「障がい者へのボランティアなど」が続いている。
- 「自分の能力を活かせる」は「赤ちゃんや小さい子どもの世話をする」が1割台半ばを超え最も高く、次いで「地域スポーツ活動」、「文化・音楽活動」の順に高くなっている。

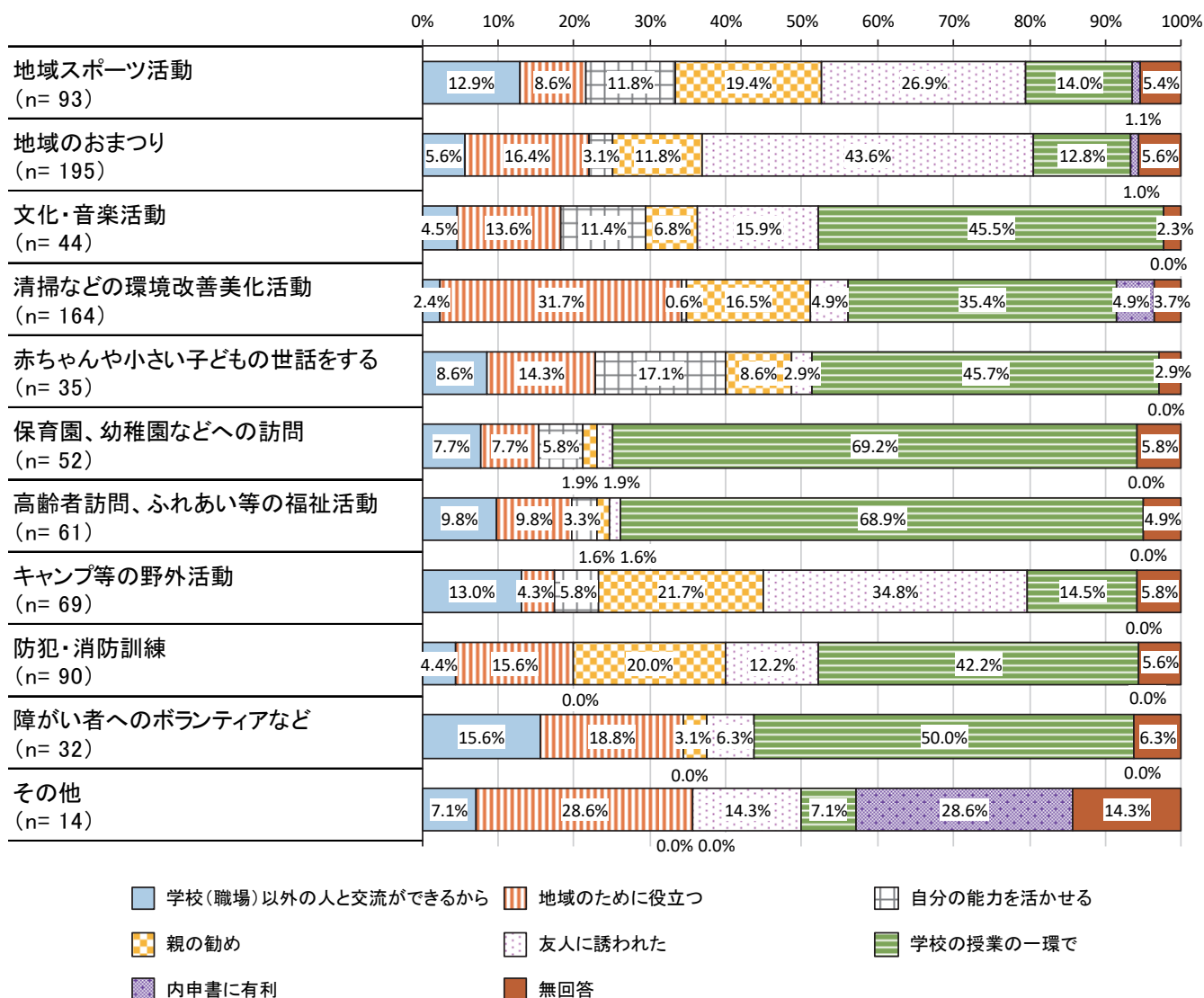


図 参加理由

問 9-2 不参加の理由（複数回答）

○地域活動やボランティア活動に不参加の理由は、「忙しいから」が最も高く、次いで「興味や関心がないから」、「面倒だから」の順となっている。

○前回調査と比較すると、「忙しいから」、「面倒だから」では増加しており、他の項目では減少している。

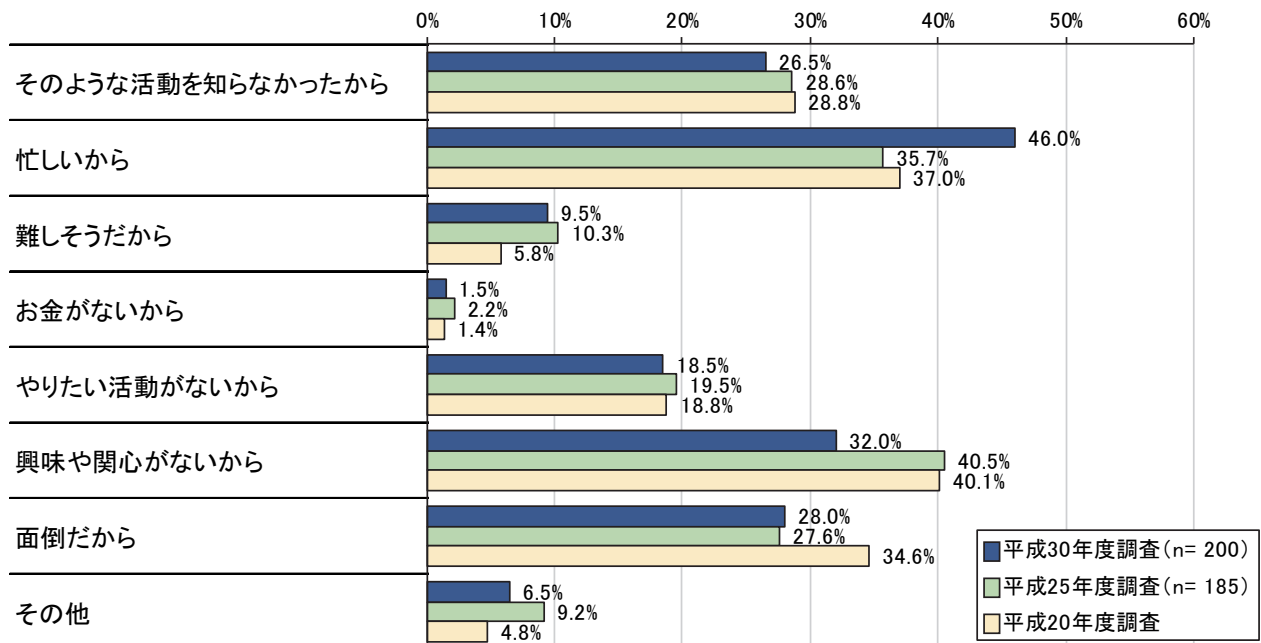


図 不参加の理由

7. 交友関係や悩みごと

問 11 交友関係のある友人の数

○友人の数は、「1～5人」が最も高く、次いで「5人～10人」、「10人以上」と続いている。

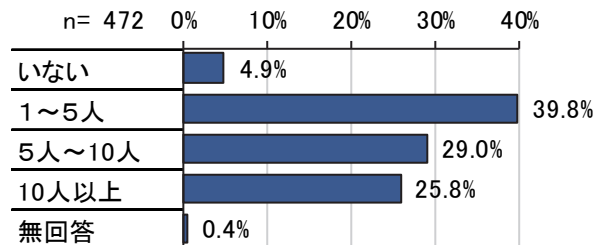


図 友人の数

問 12 人間関係（複数回答）

○人間関係は、「いずれのようなことはない」が5割台半ばを超えている。そのほかの項目では「友達に合わせようとして疲れる」が2割近くを占め、次いで「先生と合わない」が続いている。

○「顔やスタイルのことでからかわれる」、「先生と合わない」、「友達に合わせようとして疲れる」は調査ごとに減少傾向が見られる。

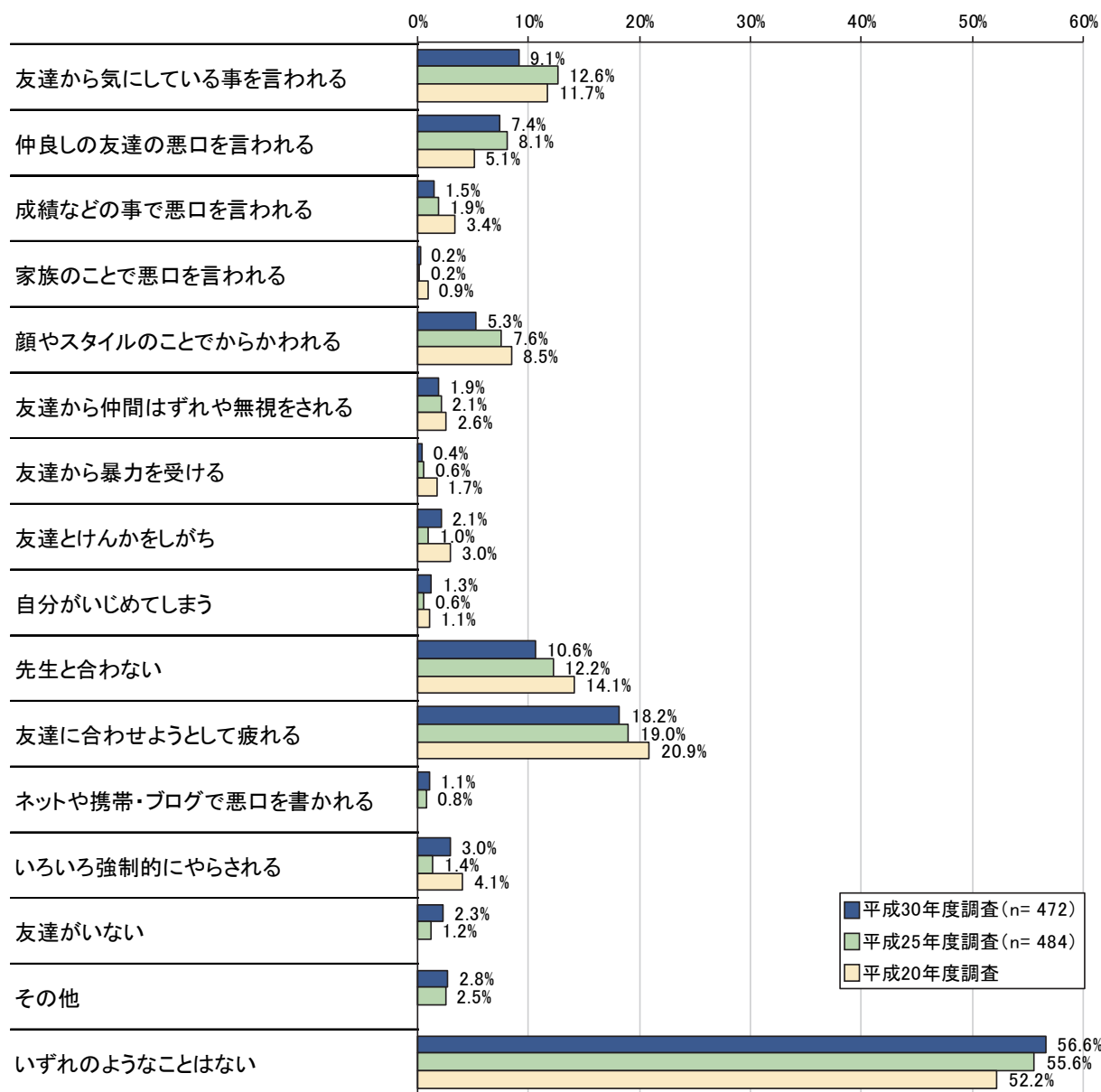


図 人間関係

問 13 (1) 悩みや心配事 (複数回答)

○悩みや心配事は、「進路や進学のこと」が5割近くで最も高く、次いで「いずれの悩みもない」、「友人とのつきあい」が続いている。

○調査ごとに比較すると、多くの項目で減少し、「いずれの悩みもない」が増加傾向となっている。

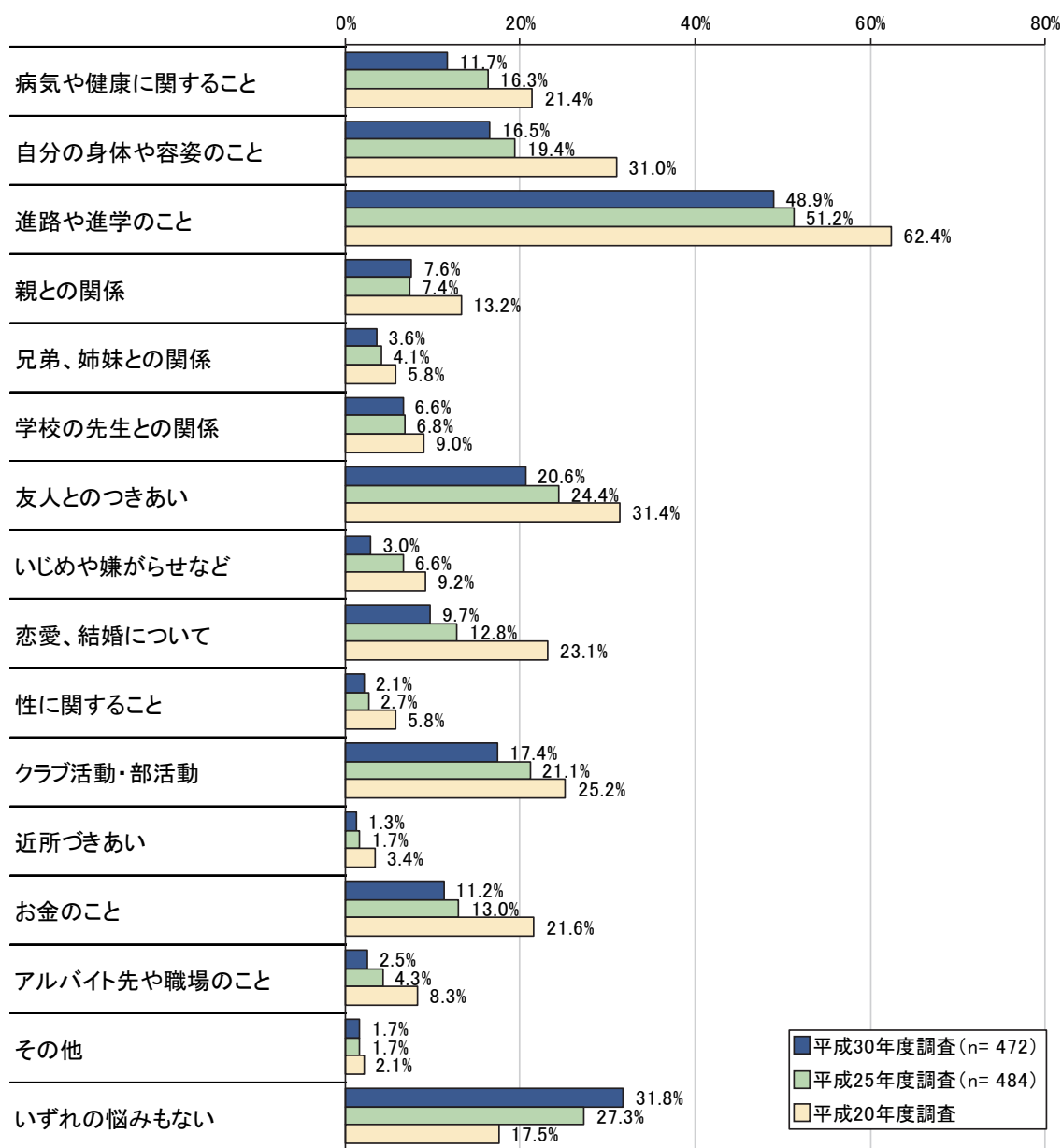


図 悩みや心配事

(2) 進路や進学についての相談相手（複数回答）

○進路や進学のことの相談相手は、「母親」が6割弱と最も高く、次いで「父親」、「学校の先生」、「同性の友人」と続いている。

○「父親」、「兄弟・姉妹」は調査ごとに増加する傾向にある。

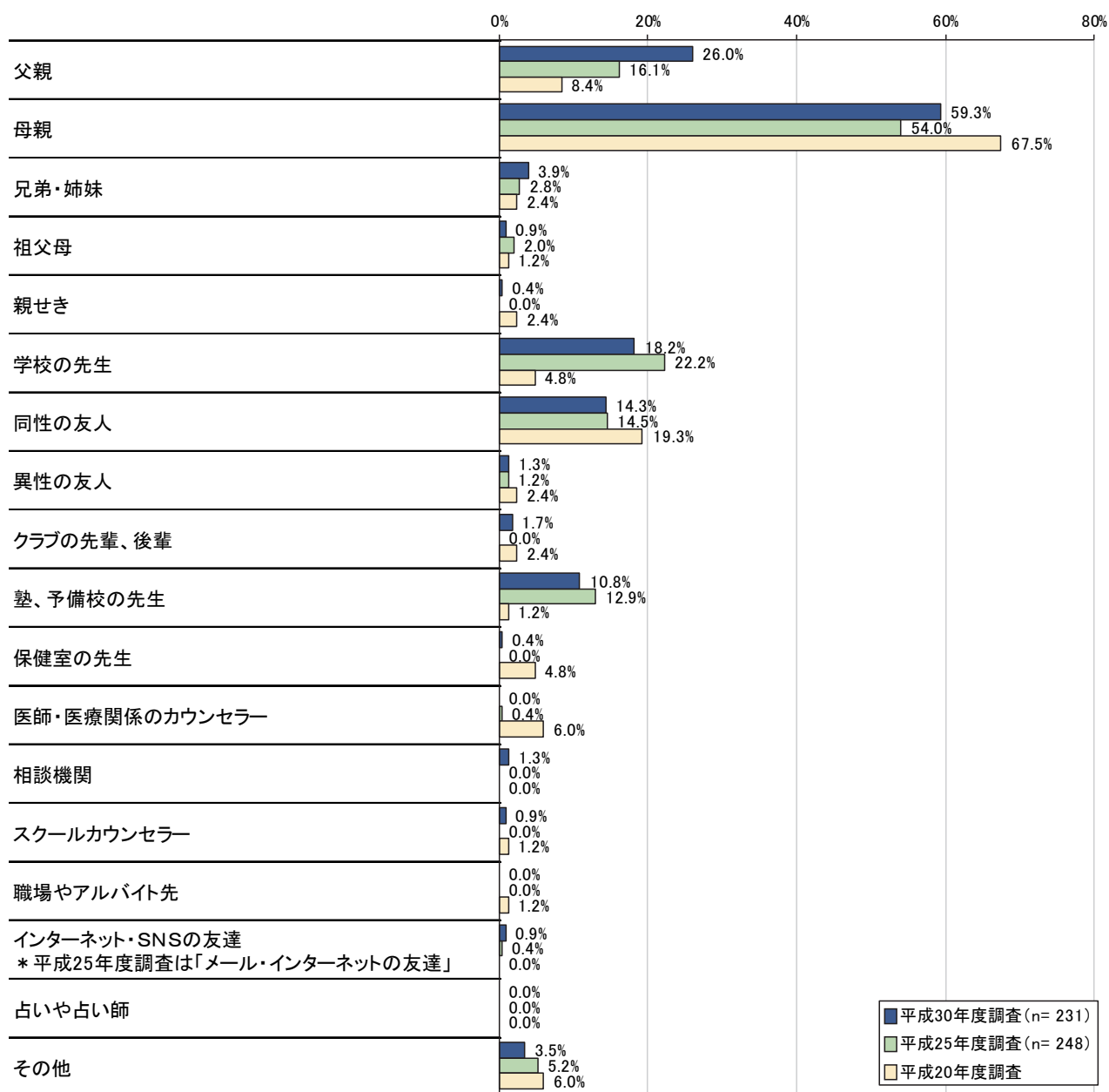


図 進路や進学の相談相手

問 25 必要な文具や教材が買えないことの有無（複数回答）

○必要な文具や教材が買えないことの有無については、「まったくない」が最も高く、次いで「ほとんどない」、「ときどきある」の順となっている。

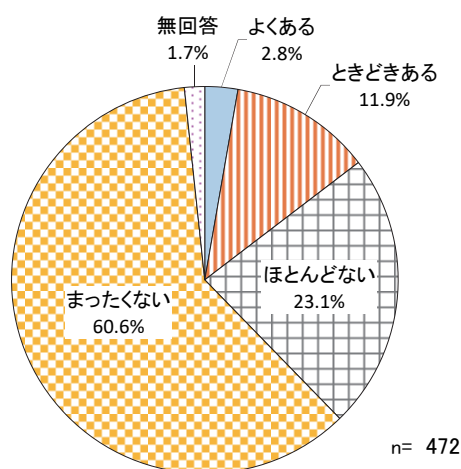


図 必要な文具や教材が買えないことの有無

8. スマートフォンやインターネットの利用

問 14 スマートフォン、パソコンなどの有無

問 14-1 使用しているインターネット機器（複数回答）

○スマートフォン、パソコンなどの有無は、「持っている」が8割台半ばを超えている。
○使用しているインターネット機器は、「携帯、スマートフォン」が最も高く、次いで「ゲーム機、音楽プレイヤー」、「パソコン」、「タブレット」の順となっている。

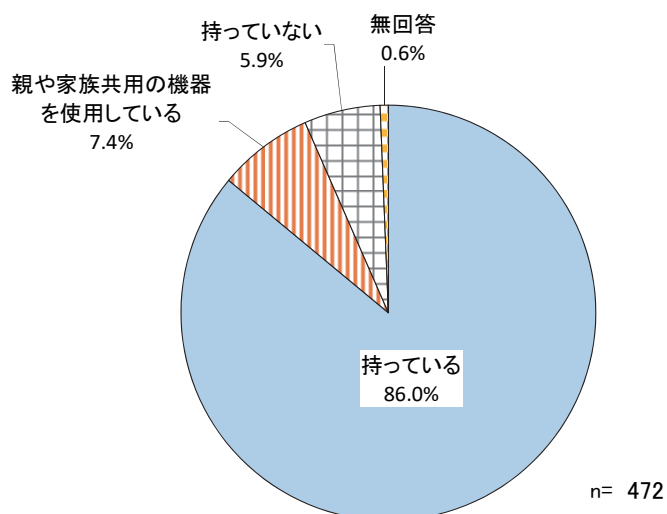


図 スマートフォンなどの有無

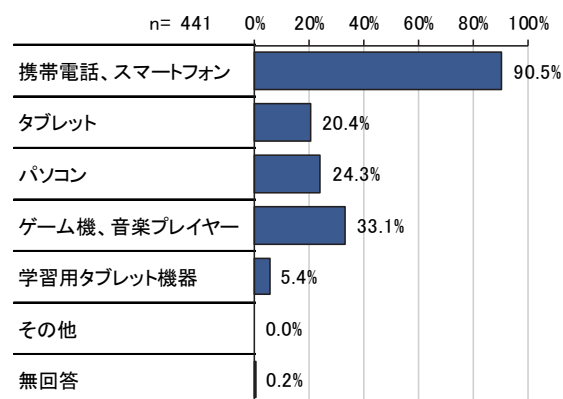


図 使用しているインターネット機器

問 14-2 インターネットの利用目的（複数回答）

○インターネットの利用目的は、「音楽や動画の視聴」、「LINE や Twitter などの SNS」がそれぞれ 8 割台と高くなっており、次いで「スマートフォンアプリでのゲーム」が 5 割台半ば近く、「メール」、「ホームページ、ブログの閲覧」がそれぞれ 3 割台半ばを超えている。

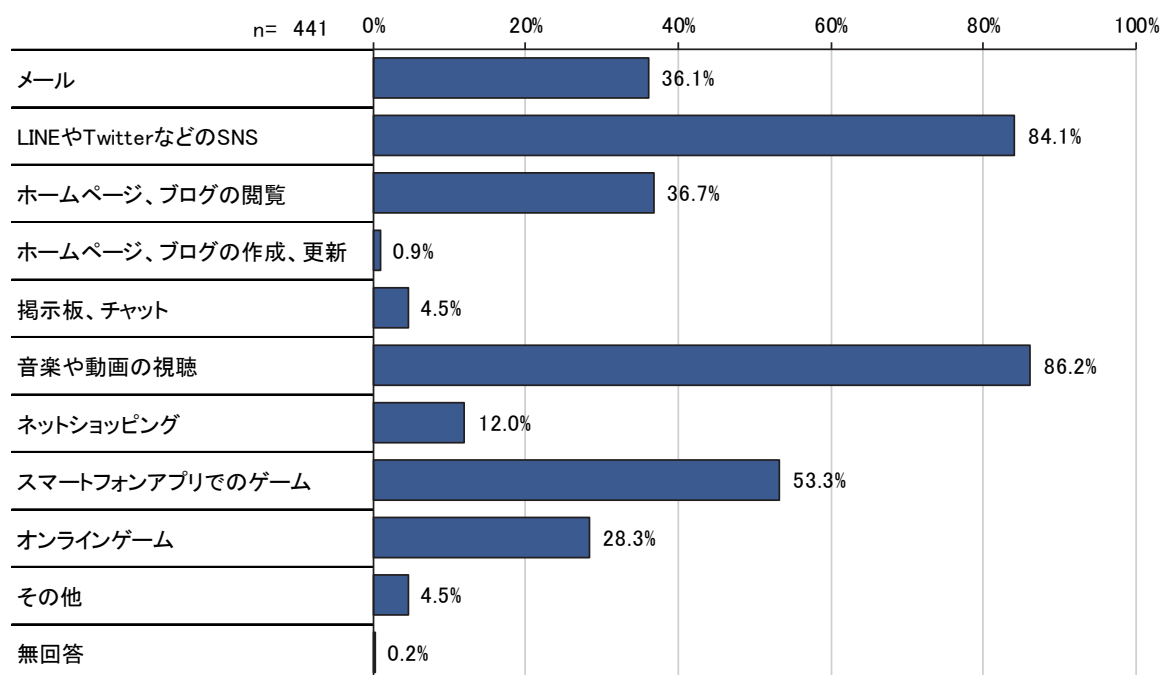


図 インターネットの利用目的

問 14-3 利用制限やフィルタリング機能使用の有無

○利用制限や、フィルタリング機能使用の有無は、「使用している」が最も高く、次いで「使用していない」、「使用しているかわからない」の順となっている。

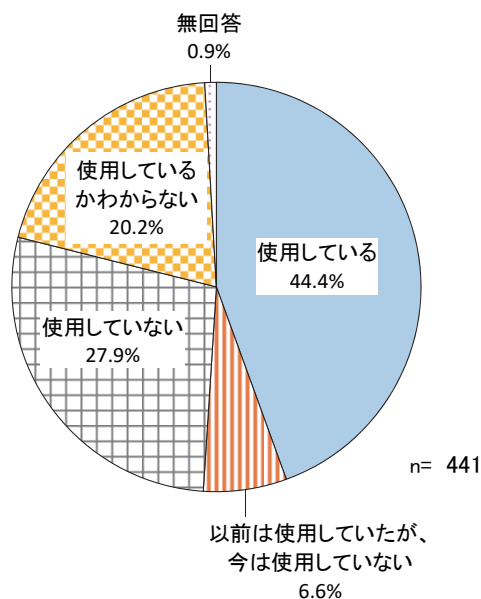


図 利用制限やフィルタリング機能使用の有無

問 14-4 インターネットでの買い物

○インターネットでの買い物については、「インターネットでは何も購入しない」が6割台半ばで最も高く、次いで「SNSでのスタンプ等のアイテムを購入している」が1割強、「音楽やゲームなどを購入している」、「日用品や雑貨を購入している」、「洋服を購入している」がそれぞれ約1割となっている。

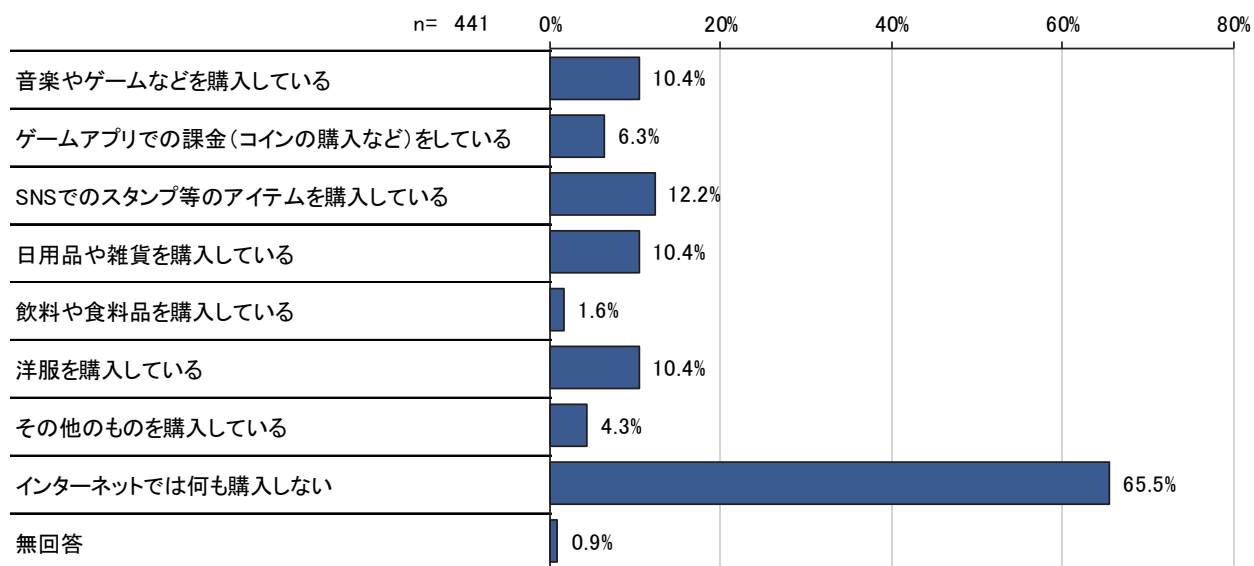


図 インターネットでの買い物

9. 情報の入手先

問 26 情報の入手先

○情報の入手先は、「よく利用する」は、「インターネット（携帯含む）」で7割強、「テレビ・ラジオ」で6割台半ばを超え、「親」で5割弱となっている。

○「まったく利用しない」は「週刊誌、雑誌」で6割強を占め最も高く、「塾、予備校などの先生」が5割台半ばを超えている。

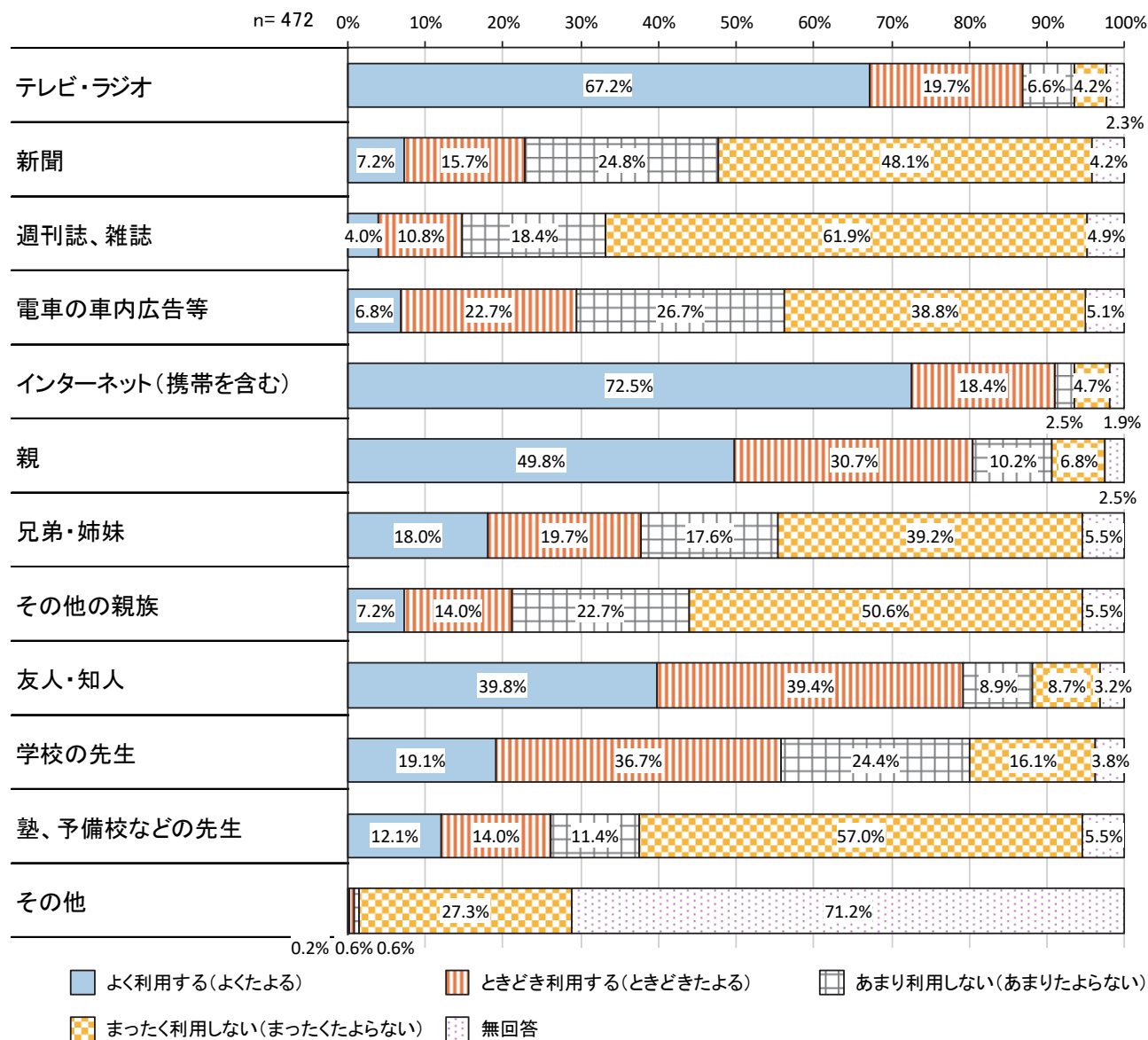
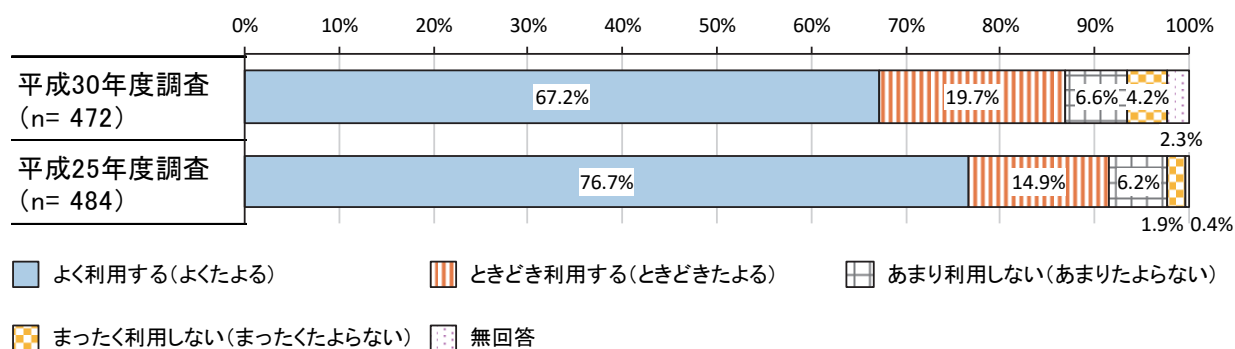


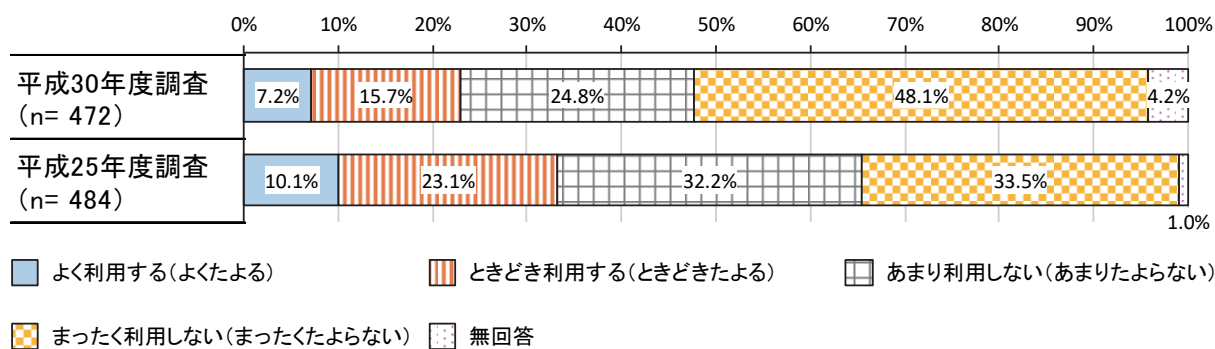
図 情報の入手先

- 前回調査と比較すると、「テレビ・ラジオ」では「よく利用する」が9.5ポイント減少している。
- 「新聞」「週刊誌、雑誌」では「まったく利用しない」が大幅に増加している。
- 「インターネット（携帯を含む）」は「よく利用する」が16.5ポイント増加している。

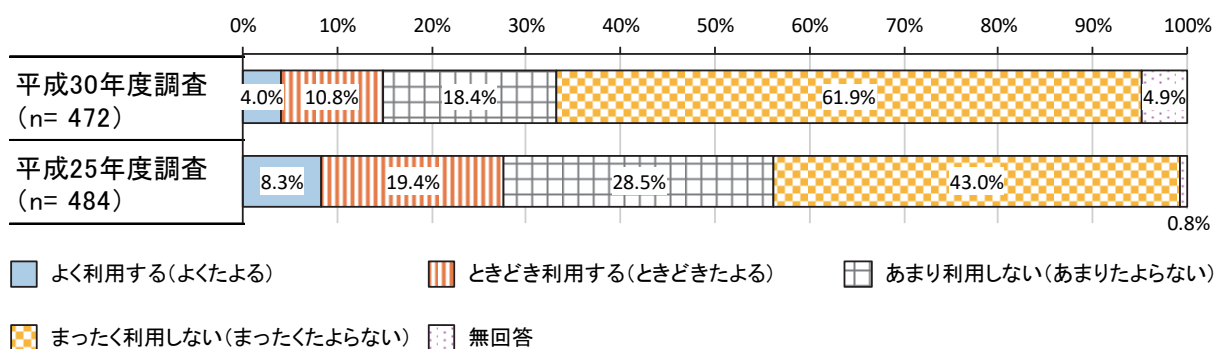
テレビ・ラジオ



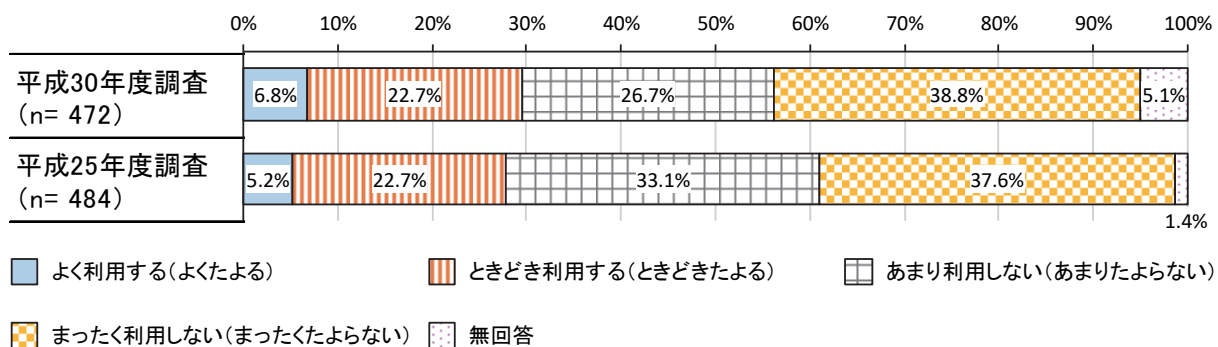
新聞



週刊誌、雑誌



電車の車内広告等



インターネット(携帯を含む)

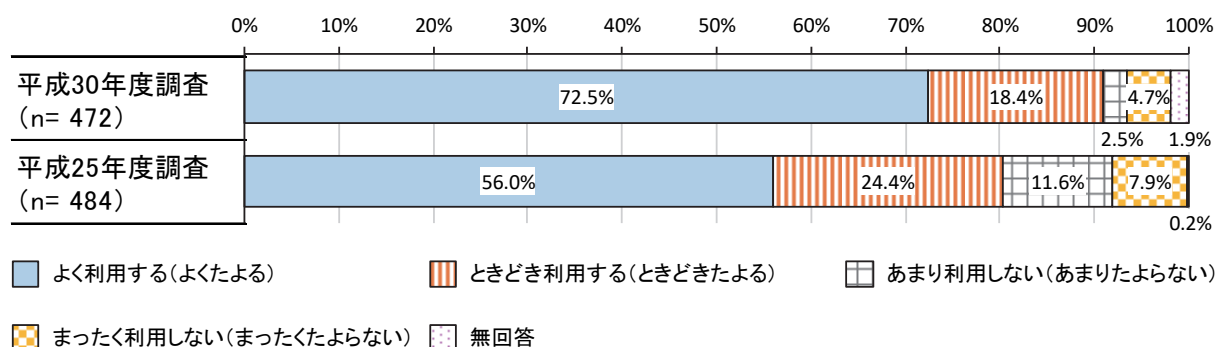


図 情報の入手先 (前回調査との比較)

10. 結婚や子育ての意見

問 15 結婚について

問 15-1 自身が結婚したいと思う年齢

○結婚については、「ある年齢までに結婚したい」が5割台半ばで最も高い。
 ○「別に結婚しなくてもよい」と「一生結婚しないつもり」の合計は17.4%となっている。
 ○結婚したいと思う年齢については、「25～29歳」が6割台半ばで最も高く、次いで「20～24歳」が2割台半ば近くとなっている。

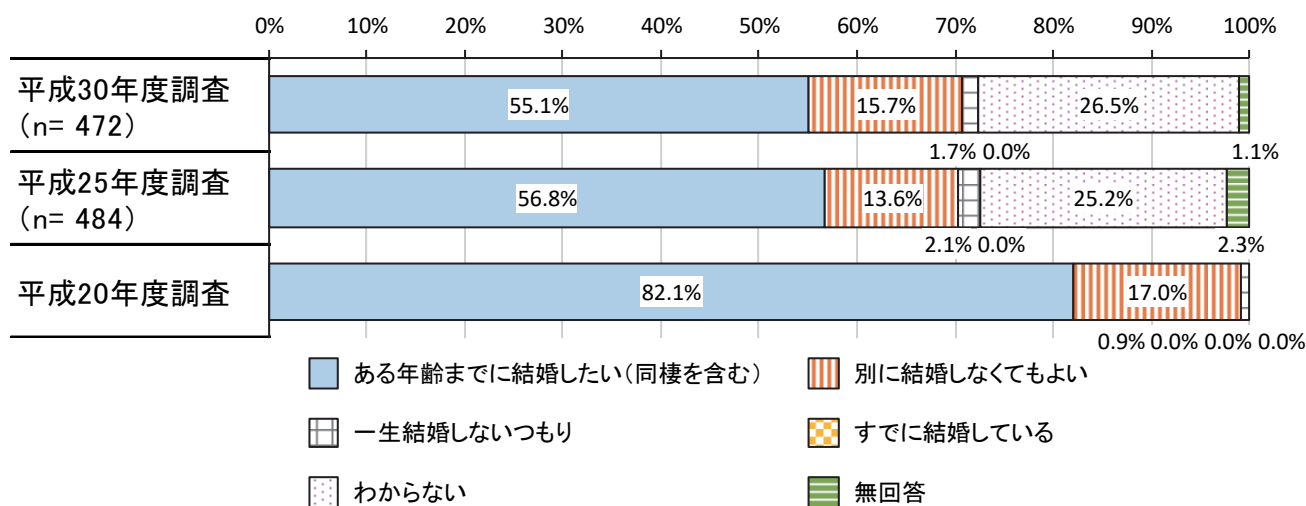


図 結婚について

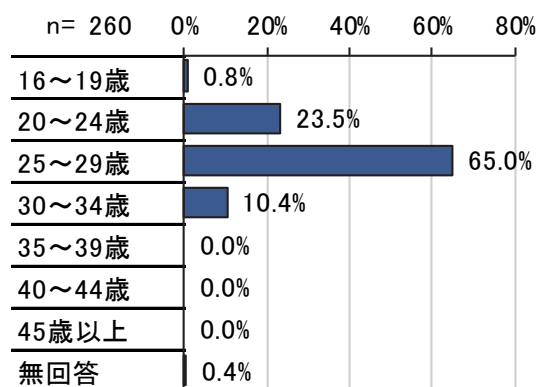


図 結婚したいと思う年齢

問 16 将来の子どもの人数

○将来の子どもの人数は、「2人」が約4割、「3人」が1割強となっているが、「わからない」が3割強、「子どもは欲しくない」は7.4%となっている。

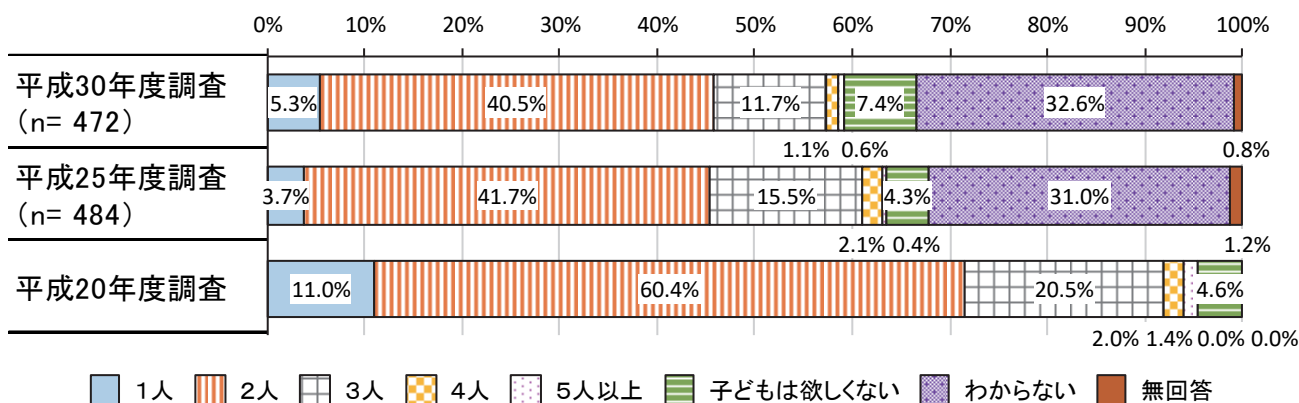


図 将来の子どもの人数

問 17 仕事と子育ての両立についての将来の不安

○仕事と子育ての両立についての将来の不安は、「わからない」が3割弱、次いで「不安を感じる」、「少し不安に思う」がそれぞれ2割台半ば近くとなる。

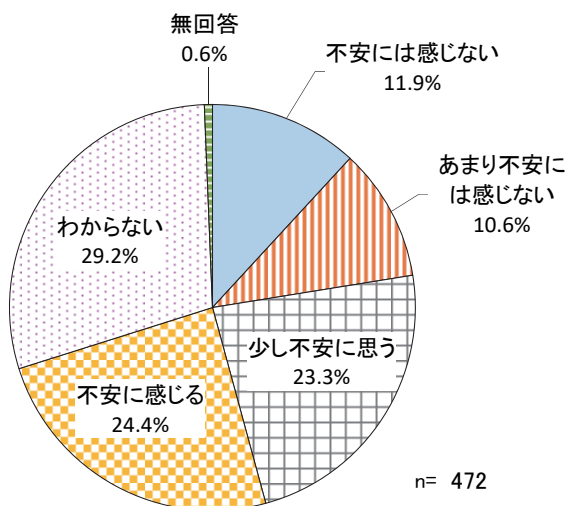


図 仕事と子育ての両立についての不安

問 18 赤ちゃんや子どもの世話の経験（複数回答）

○赤ちゃんや子どもの世話の経験は「親せきの子どもを世話をしたり遊んだことがある」が最も高く、次いで「そのような経験はない」となる。

○調査ごとに比較すると、多くの項目で減少傾向にあり、「そのような経験はない」が増加している。

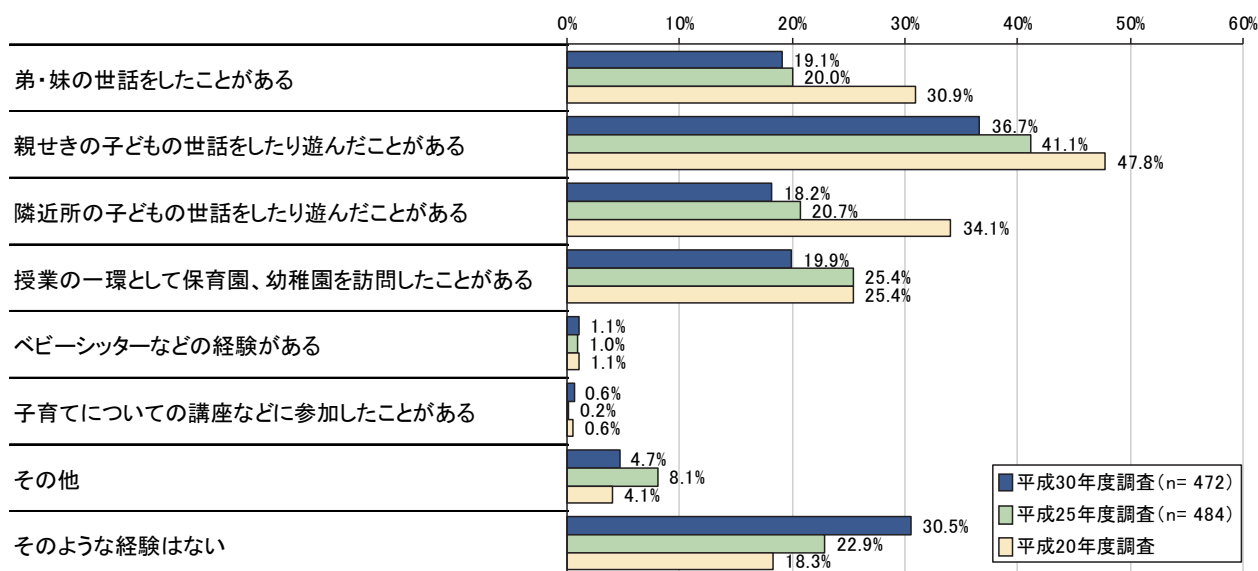


図 赤ちゃんや子どもの世話の経験

11. 生きがいや将来

問 19 進路予想

○今後の進路は、「大学に進みたい」が5割強と最も高く、次いで「高等学校に進みたい」が2割台半ば近くとなっている。

○進学を希望する回答の合計は87.0%、就職の合計は2.3%となっている。

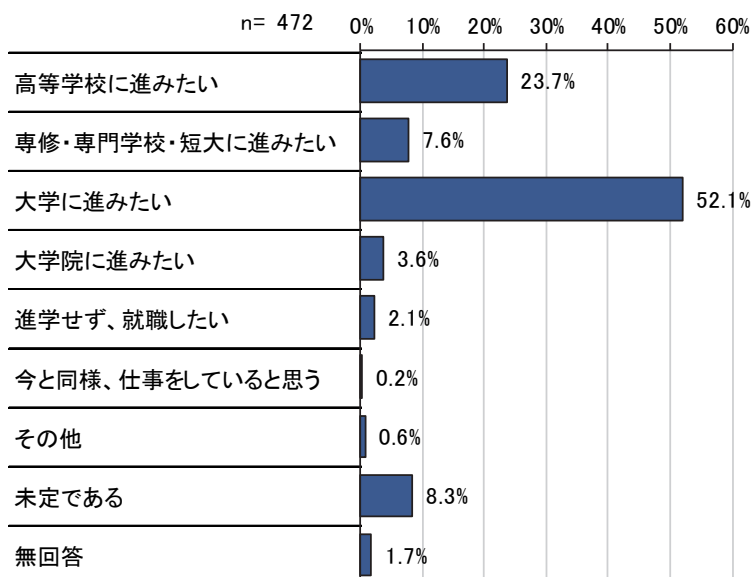


図 進路予想

問 20 予想した進路に進むことが難しい理由（複数回答）

○予想した進路に進むことが難しい理由は、「学力に課題がある」が6割強と最も高く、次いで「難しいと思うことはない」が約2割、「自分に合う仕事はまだわからない」が2割近くとなっている。

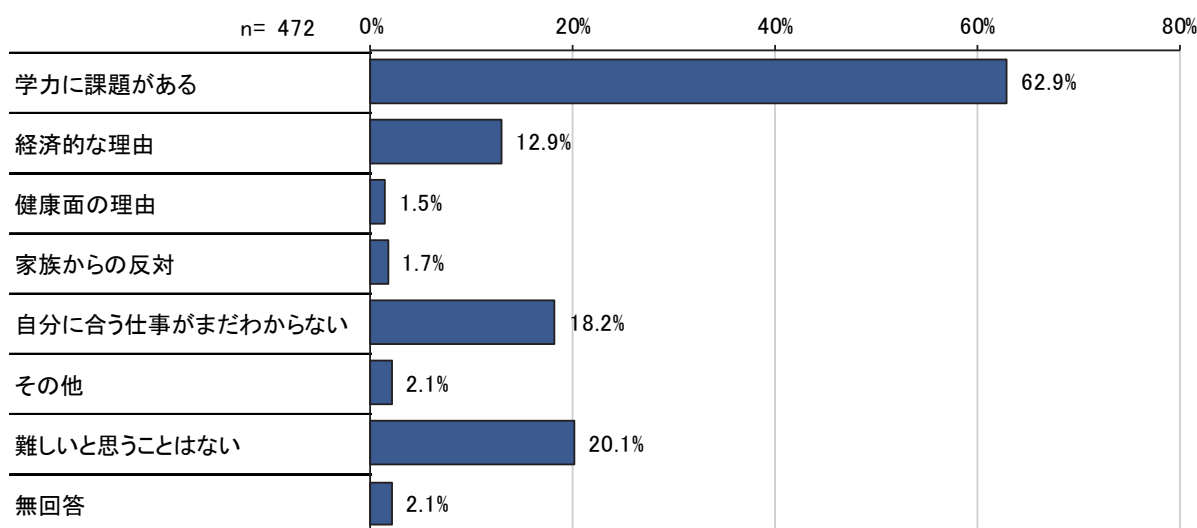


図 予想した進路に進むことが難しい理由

問 21 将来の夢の有無

○将来の夢の有無は、「ある」が最も高く、次いで「はっきりとしてはいないがある」となっている。
 ○「ある」と「はっきりとしてはいないがある」を合計すると 70.7%となっている。

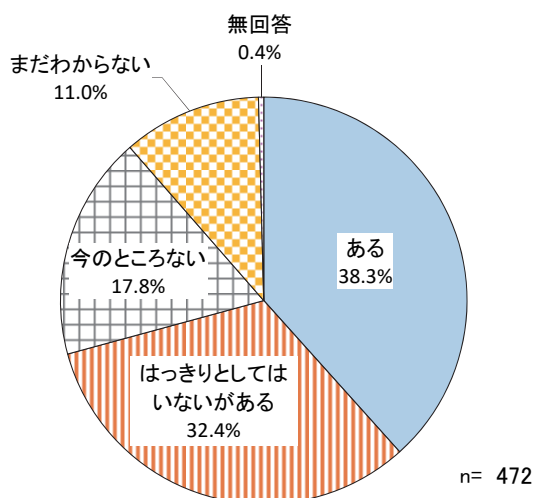


図 将来の夢の有無

問 21-1 将来の夢（複数回答）

○将来の夢は、「自分の好きなことを仕事にする」が7割強で最も高く、次いで「安定した毎日を送る」、「趣味を充実させて生きる」、「社会や人の役に立つ仕事をする」の順に続いている。

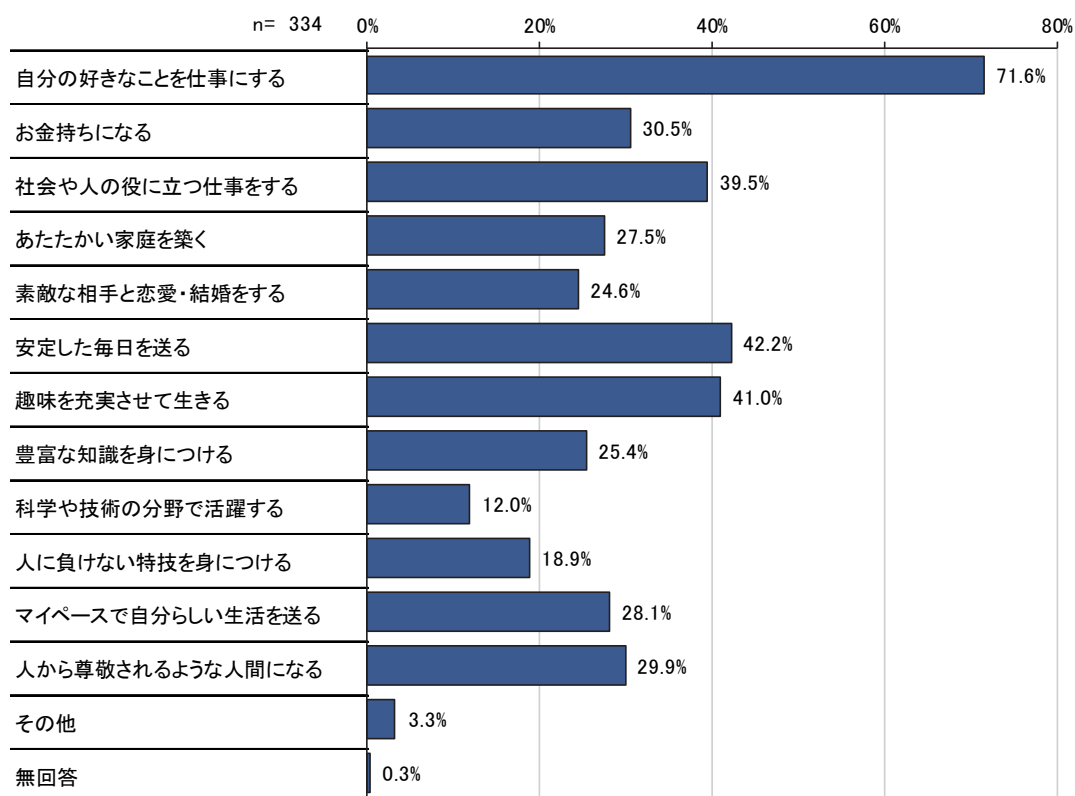


図 将来の夢

問 22 熱中していること（複数回答）

○熱中していることは、「趣味・習い事」が4割台半ばを超え最も高く、次いで「部活動」が3割台半ばとなっている。一方、「特にない」は1割台半ばとなっている。

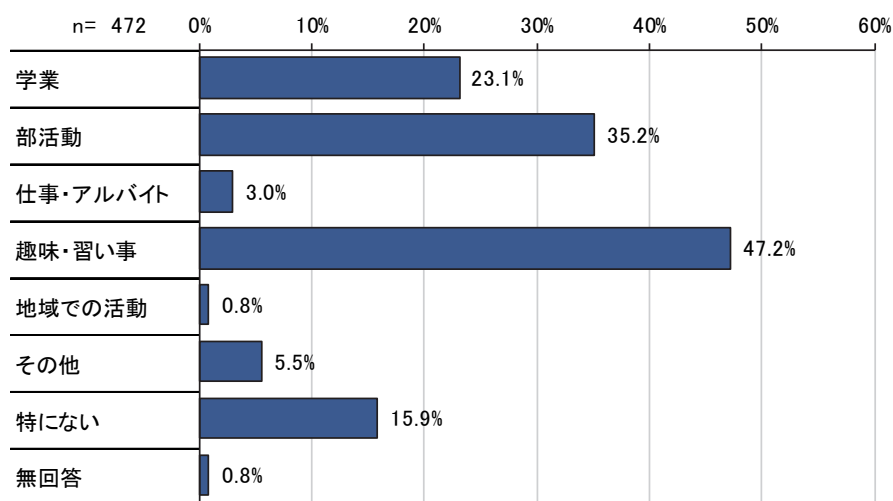


図 熱中していること

問 23 将来親と同居・近居したいか

○将来親と同居・近居したいかについては、「思う」、「少し思う」の合計は 39.6%、「あまり思わない」、「まったく思わない」の合計は 40.5%となっている。

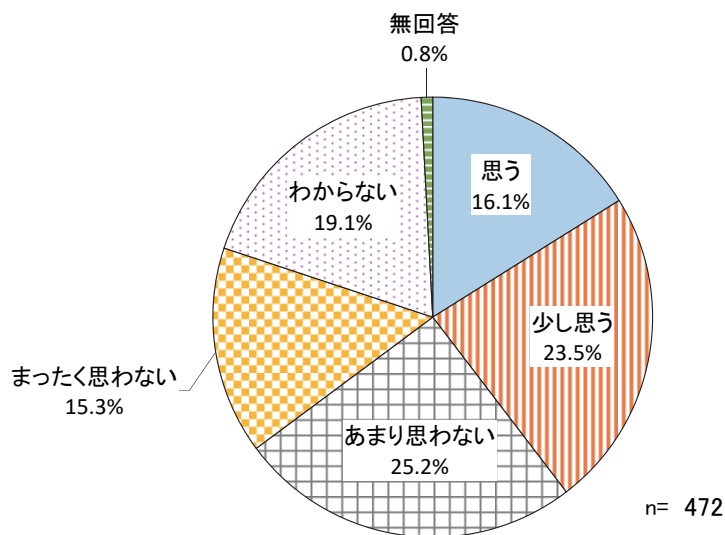


図 将来親と同居・近居したいか

問 24 多摩市に住みたいと思うか

○多摩市に住みたいと思うかは、「思う」、「少し思う」の合計は 47.0%、「あまり思わない」、「まったく思わない」の合計は 28.4%となっている。

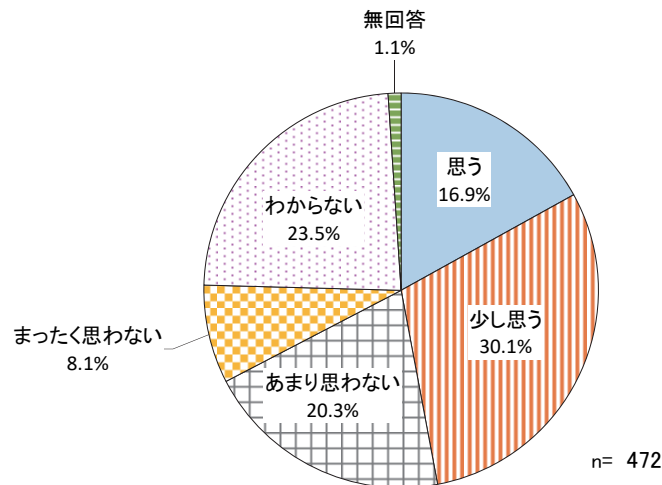


図 多摩市に住みたいと思うか

問 24-1 多摩市に住みたい理由

問 24-2 多摩市に住みたいと思わない理由

○多摩市に住みたい理由は、「生活環境が良いから」が最も高く、次いで「多摩市に愛着があるから」となる。

○多摩市に住みたいと思わない理由は、「魅力的な商業施設がないから」が最も高く、次いで「都心へのアクセスが良くないから」となる。

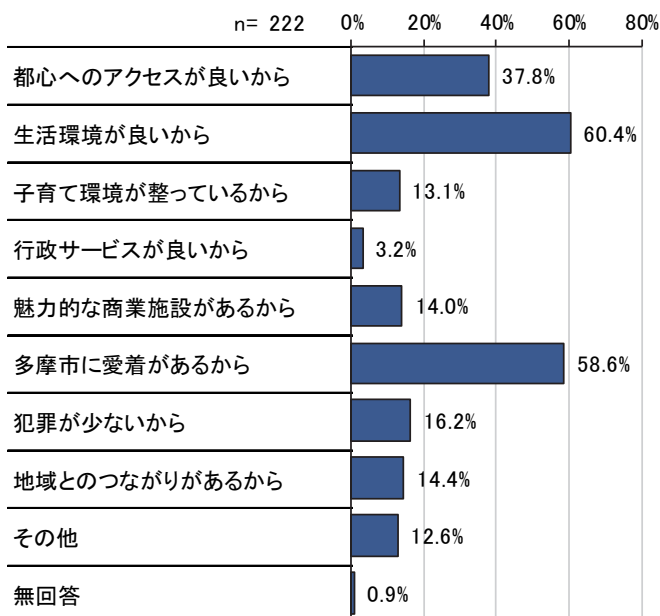


図 多摩市に住みたい理由

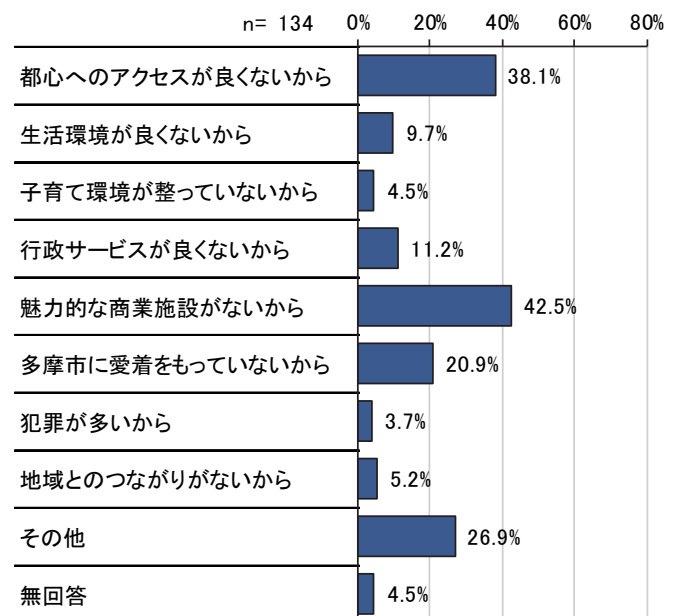


図 多摩市に住みたいと思わない理由

12. 市への意見や要望

問 27 まちづくりへの参加意向

○まちづくりへの参加意向については、「気軽に参加できる雰囲気であれば参加したい」が2割台半ばと最も高く、次いで「あまり参加したいと思わない」が2割台半ば近くと続いている。

○参加に肯定的な意見の合計は57.6%で、否定的な意見は39.0%となっている。

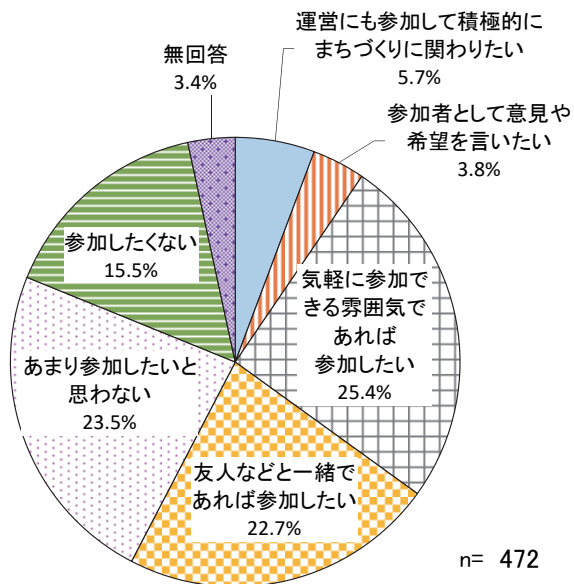


図 まちづくりへの参加意向

13. 生活への意識

問 10 生活への意識

- 生活への意識は、「薬物の危険性を理解している」、「大人になっても喫煙はしないつもりである」、「インターネット・携帯サイトでの不用意な発言・情報の流出等の怖さを知っている」、「インターネット・携帯サイトでの個人情報の流出に気をつけている」では8割以上が「あてはまる」と答えている。
- 「インターネット・携帯サイトで加害者、被害者になったことがある」では8割以上、「夜更かししないように心がけている」、「食事の栄養バランスには、常に気を配っている」では1割前後で「あてはまらない」と答えている。

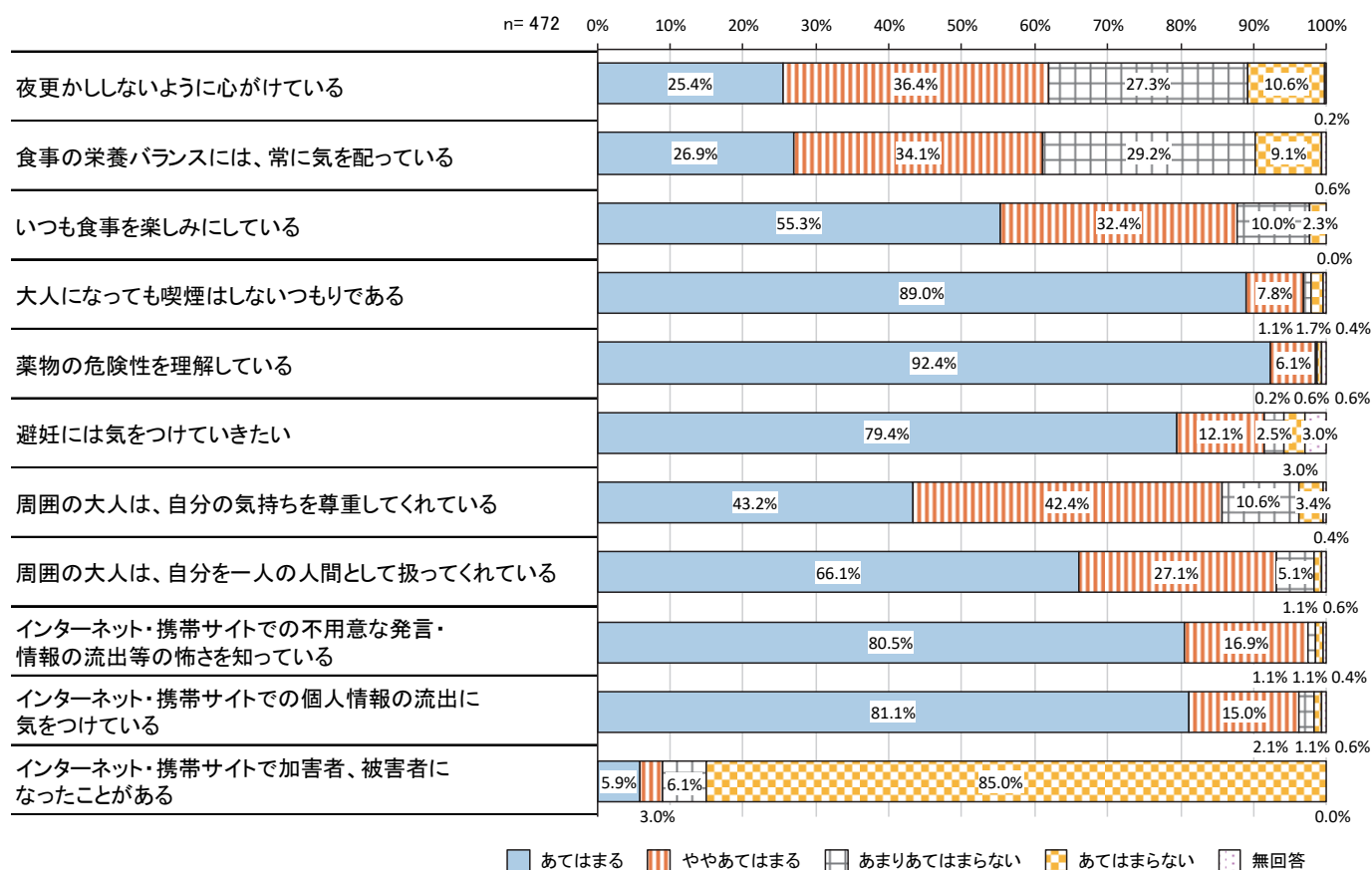


図 生活への意識

第4章 ひとり親世帯保護者調査結果

1. 回答者の属性

問22 回答者の年齢 問23 回答者の性別

○回答者の年齢は調査時点（平成30年10月時点）で20歳から60歳以上、「40歳～44歳」が最も多い。性別は女性が男性を大きく上回る。

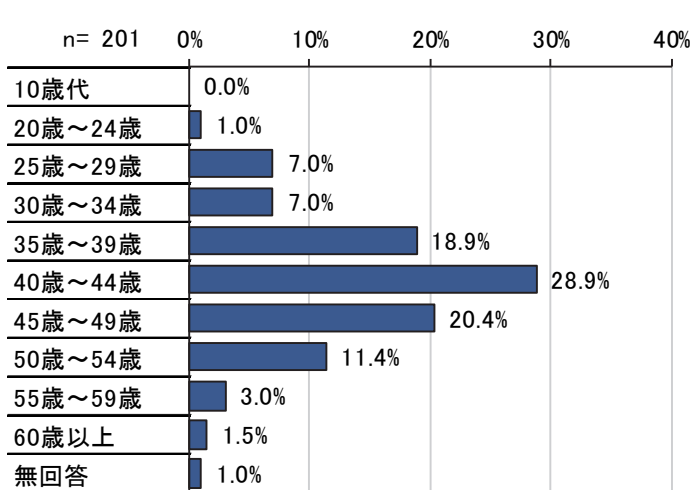


図 回答者の年齢

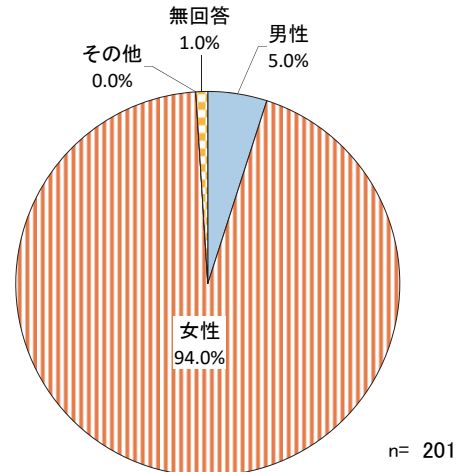


図 回答者の性別

問24 回答者の最終学歴

○回答者の最終学歴は「高等学校（卒業）」が最も高く、次に「高専・短大（卒業）」となっている。

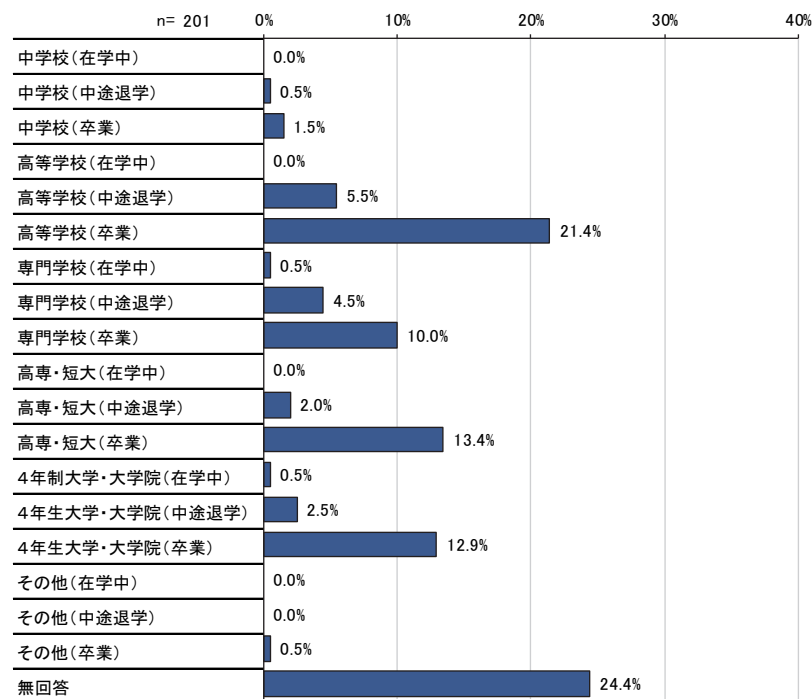


図 回答者の最終学歴

2. 家族の状況等

問 25 世帯・家族構成・世帯人数

○世帯については、「母子世帯」が9割近くを占め最も高い。

○家族構成は、「親と子1人」が4割強で高く、次いで「親と子2人」が3割強となっている。

○世帯人数は、「2人」が4割台半ばで高く、次いで「3人」が3割台半ばを超えている。

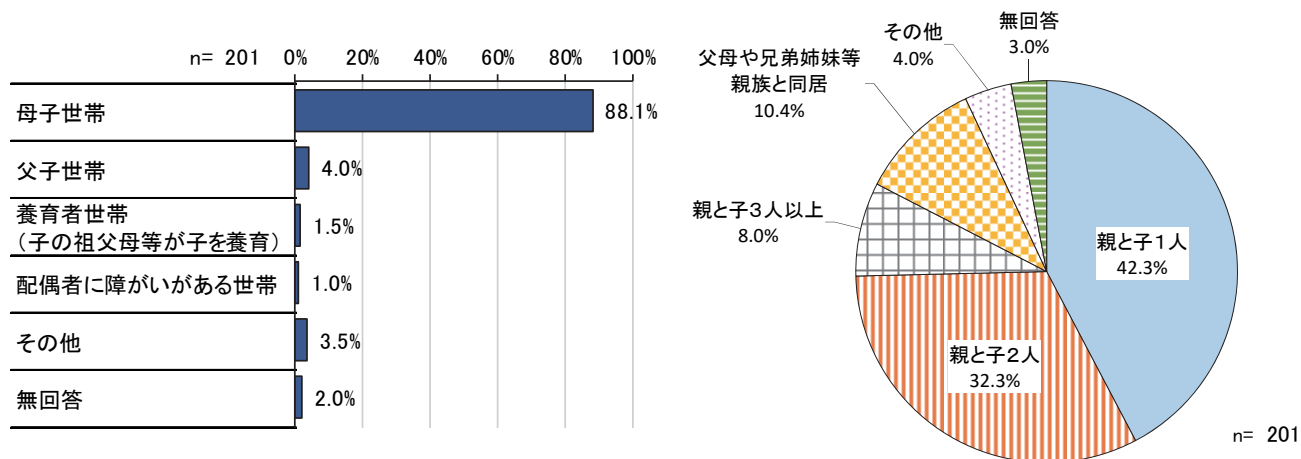


図 世帯

図 家族構成

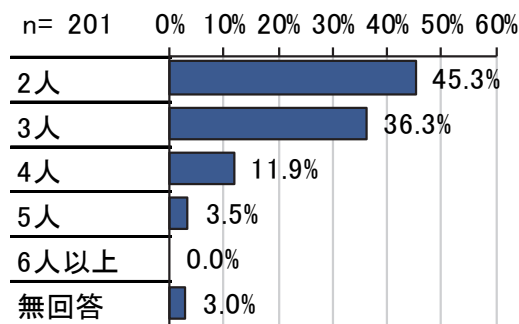


図 世帯人数

問 26 住まいの状況

問 27 家賃額

○住まいの状況については、「民間の賃貸住宅」が3割弱で最も高い。

○家賃額は、「8万円以上」が最も高く、次いで「7万円未満」となっている。

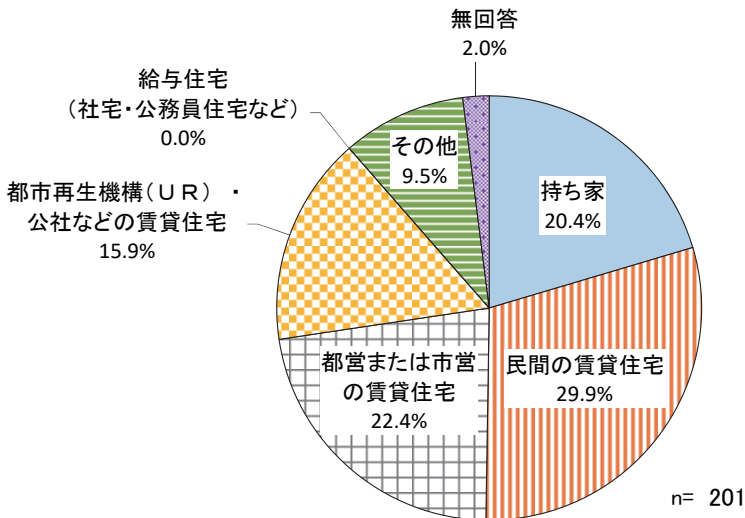


図 住まいの状況

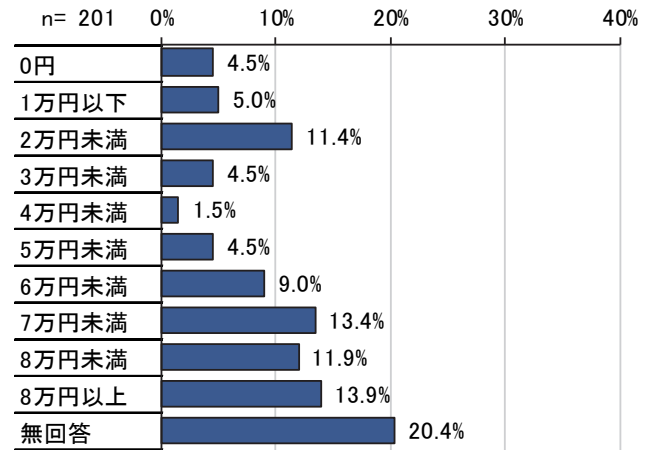


図 家賃額

問 28 居住地区

○回答者の住まいの地区は「落合、鶴牧、南野地区」が2割弱を占める。

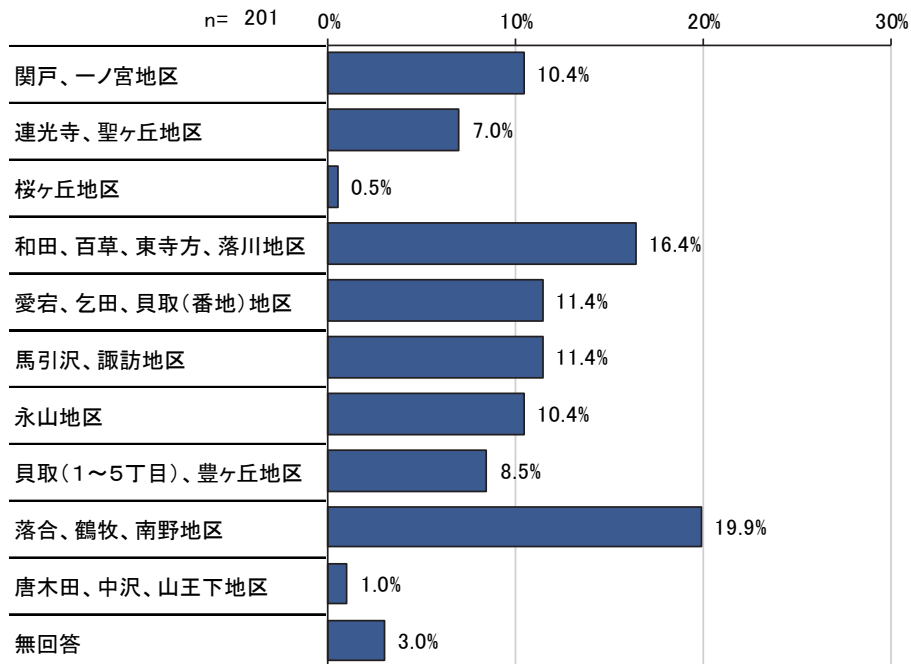


図 居住地区

3. 健康や食事について

問1 健康状態

○健康状態は、「まあ健康だと思う」が約3割と最も高くなっている。

○「健康だと思う」、「まあ健康だと思う」の合計は51.2%、「あまり健康だと思わない」、「健康だと思わない」の合計は20.4%となっている。

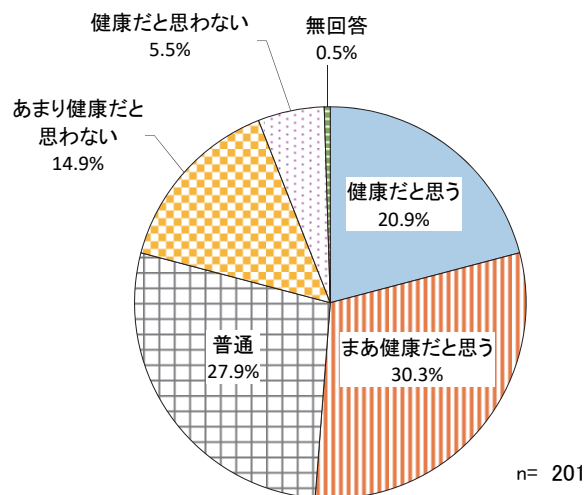


図 健康状態

問2 朝食の摂取状況・朝食を食べない理由（複数回答）

○「いつも食べていない」「食べない方が多い」の合計は約2割となっている。

○朝食を食べない理由は、「食欲がないから」が最も高く、次いで「食べる時間がとれないから」、「食べない方が体調がいいから」の順となっている。

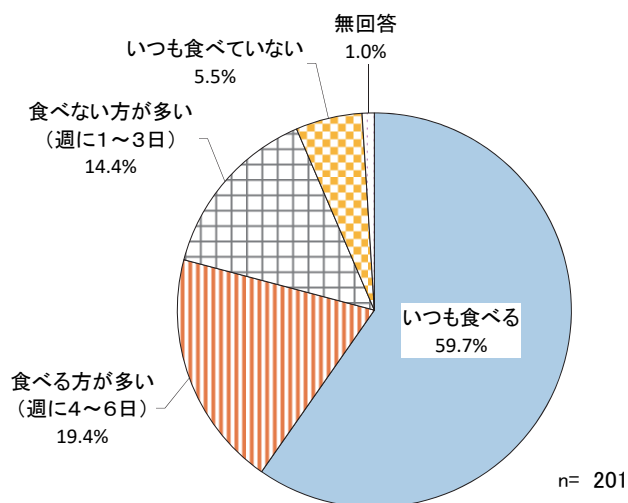


図 朝食の摂取状況

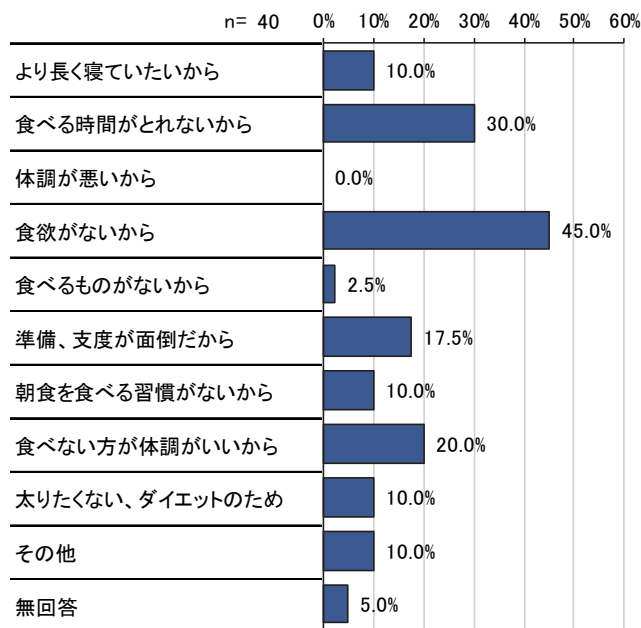


図 朝食を食べない理由

問 2-2 朝食を食べなくなった時期

○朝食を食べなくなった時期は、「20歳以降から」が3割強と最も高く、次いで「わからない」が2割台半ば、「中学・高校生の頃から」が2割となっている。

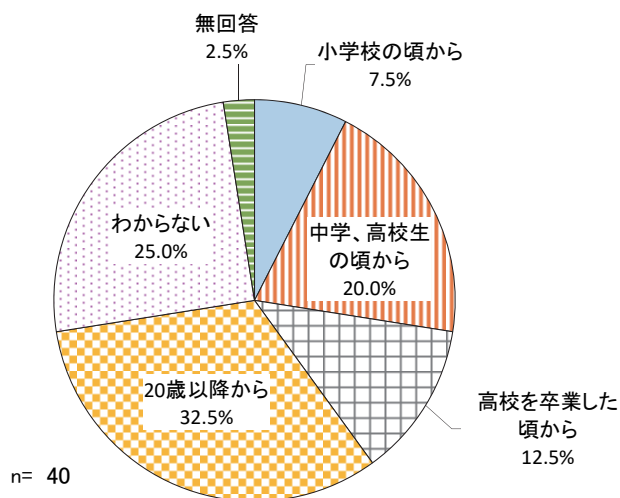


図 朝食を食べなくなった時期

問 3 朝食・夕食を子どもと一緒に食べているか

○朝食は、「毎日食べる」が3割台半ば近くと最も高いが、「食べていない」も僅差になっている。
○夕食は、「毎日食べる」が5割台半ばを超え最も高い。

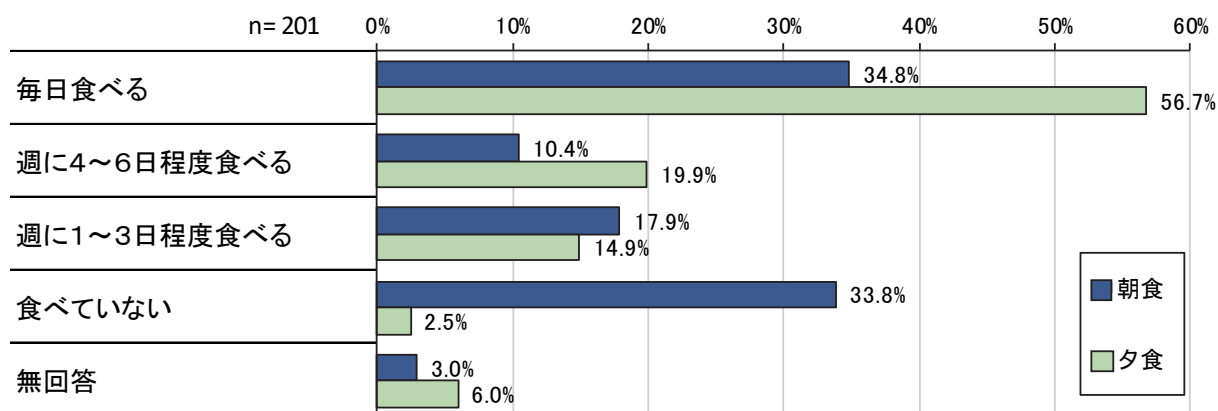


図 朝食・夕食を子どもと一緒に食べているか

4. 暮らし向きについて

問7 世帯収入

問8 収入の種類（複数回答）

○世帯収入は、「200～299万円」が約4割を占め最も高く、次いで「300～399万円」が2割弱となる。
○収入の種類は、「就労収入」が8割台半ばを占め最も高く、次いで「公的手当（児童手当等）」が約8割と続いている。

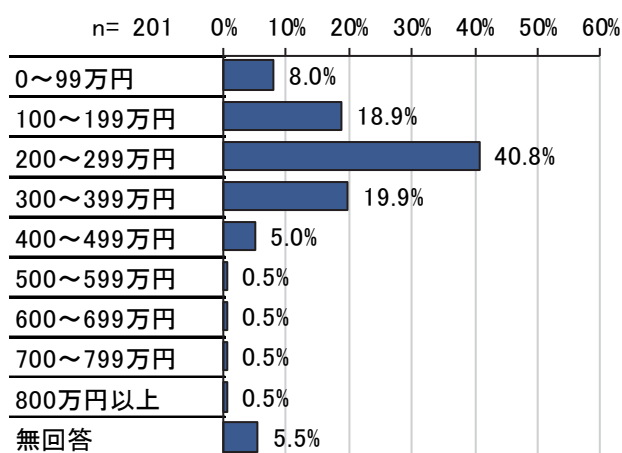


図 世帯収入

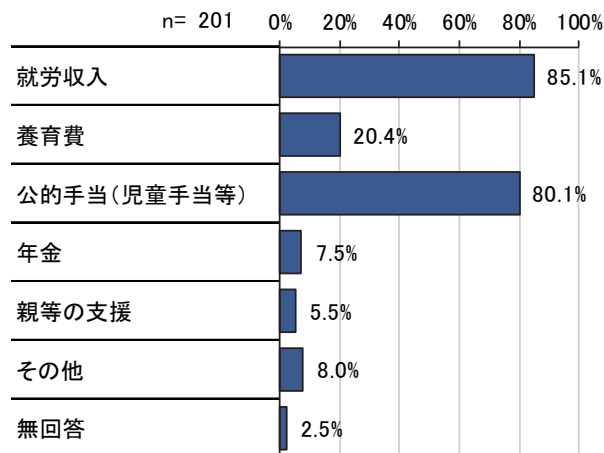


図 収入の種類

問9 暮らしの経済的な実感

問10 家計について

○暮らしの実感は、「やや苦しい」が5割近くを占め、次いで「大変苦しい」が2割台半ばである。
○家計については、「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」が4割強で最も高く、次いで「赤字であり、貯蓄を取り崩している」が2割強となっている。

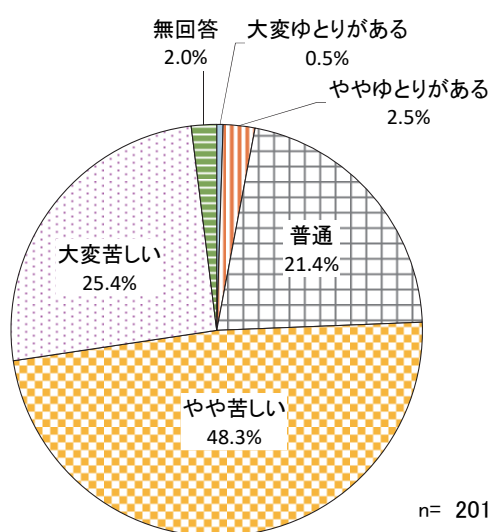


図 暮らしの経済的な実感

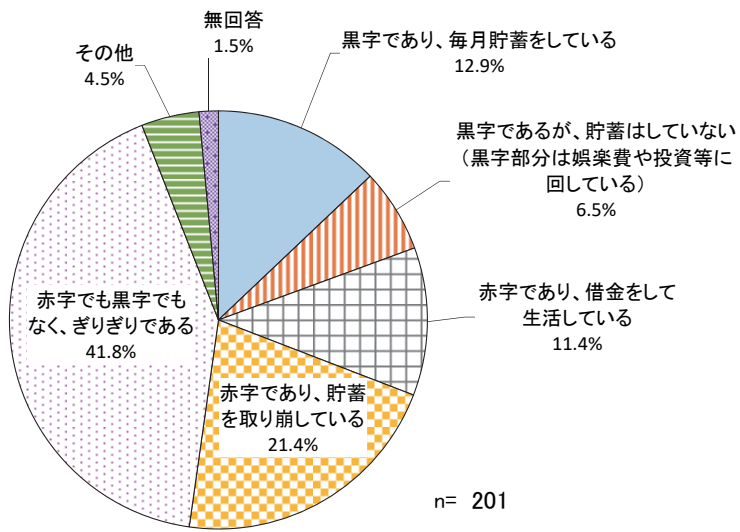


図 家計について

問 11 負担に感じる費用（複数回答）

○負担に感じる費用は、「教育費」が3割台半ばを超え最も高く、次いで「住宅費」も僅差で続き、「通信費（携帯電話代含む）」が3割台半ば近くとなっている。

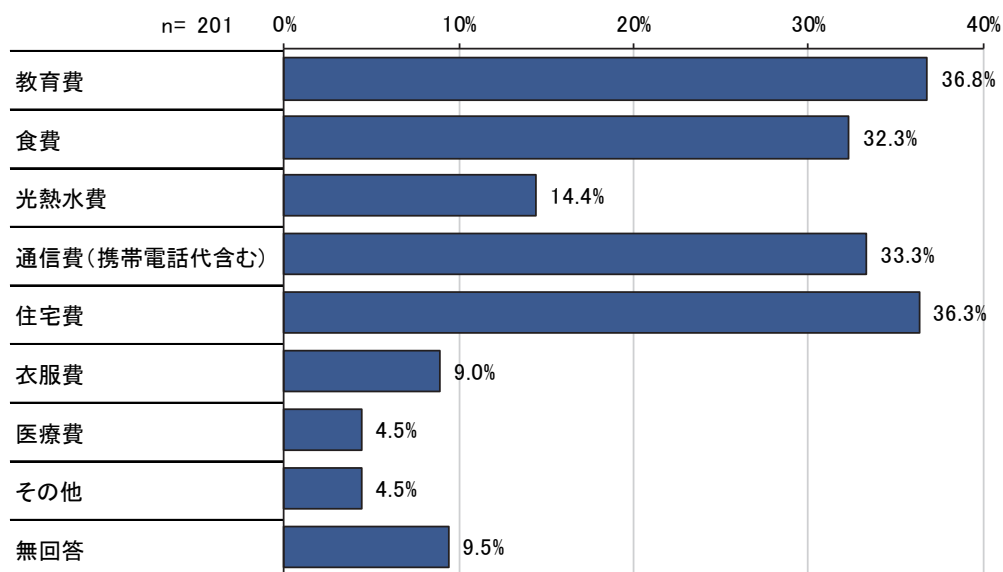


図 負担に感じる費用

問 12 生活必需品が買えない経験の有無

○生活必需品が買えない経験の有無については、全ての項目で「まったくなかった」が最も高く、次いで「まれにあった」、「ときどきあった」と続いている。

○「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合計すると、「食料」で 34.3%、「衣類」で 41.3%、「光熱水費」で 25.9%となり、「衣類」が最も高くなっている。

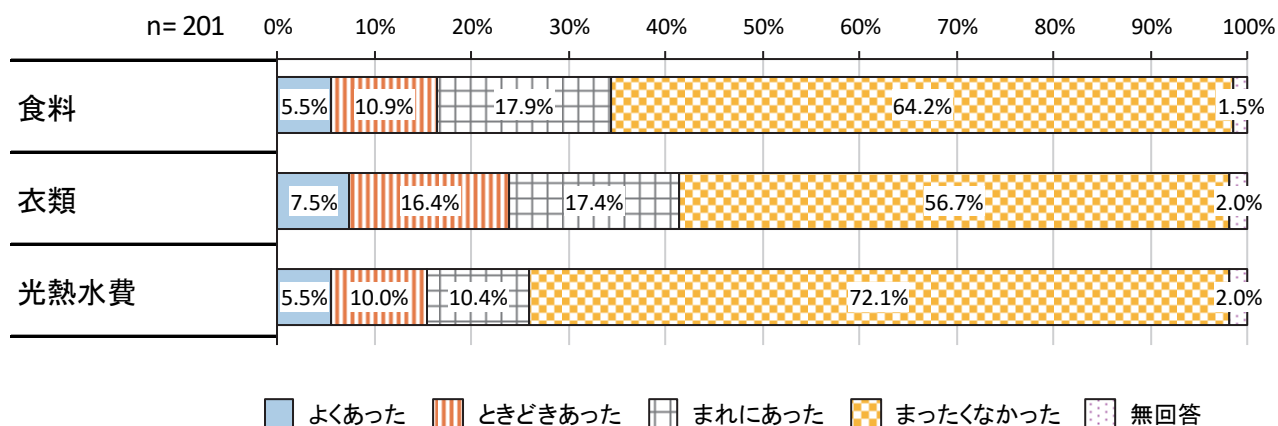


図 生活必需品が買えない経験の有無

問 13 経済的な理由で世帯にないもの（複数回答）

○経済的な理由で世帯にないものは、「あてはまるものはない」が3割台半ばを超え最も高い。一方で、「急な出費のための貯金（5万円以上）」が3割台半ば、「インターネットにつながるパソコン」が3割近く、「子ども用のスポーツや習い事の用品」で1割台半ばを超えている。

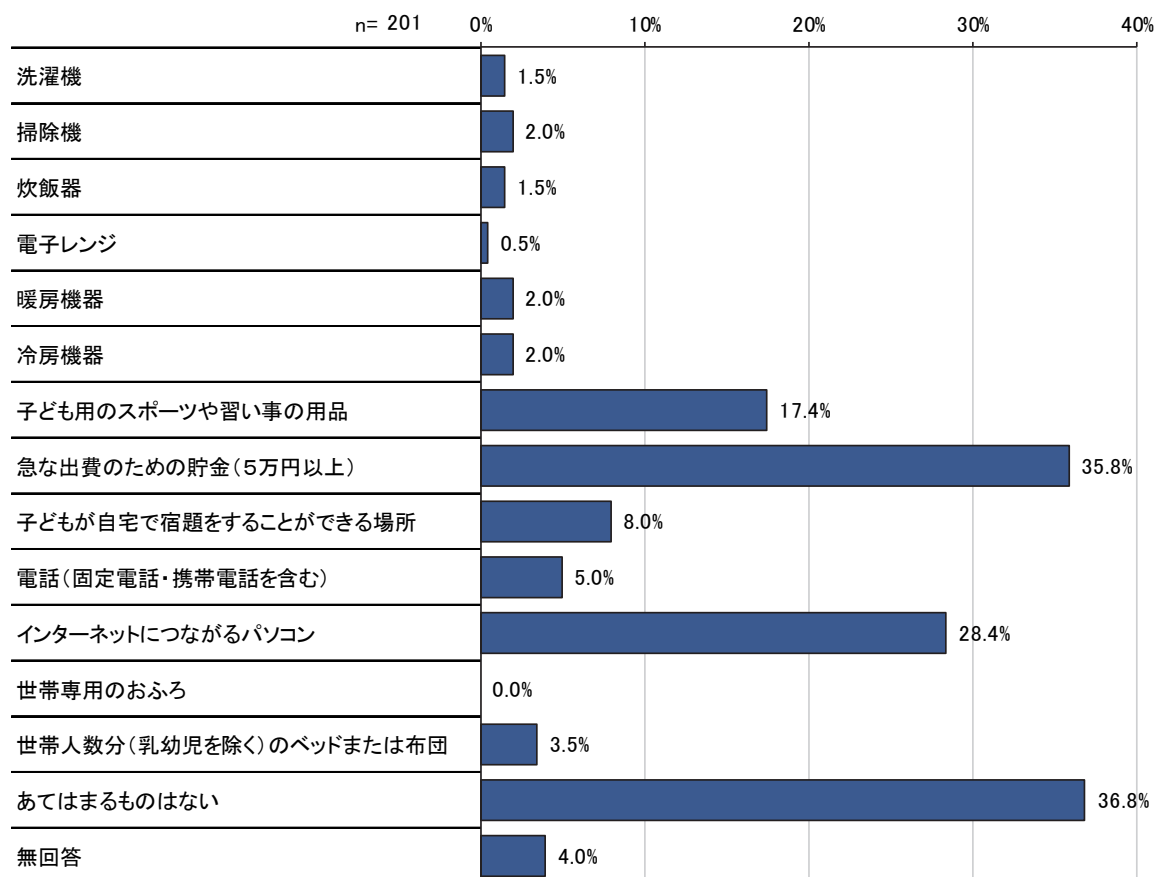


図 経済的な理由で世帯にないもの

5. 就労状況

問 4 就労状況

問 4-1 就業形態

○就労状況は、「仕事をしている」が8割台半ばを占めている。

○就業形態は、「パート・アルバイト」が4割強で最も高く、次いで「正社員・正規職員」が3割台半ば近くとなっている。

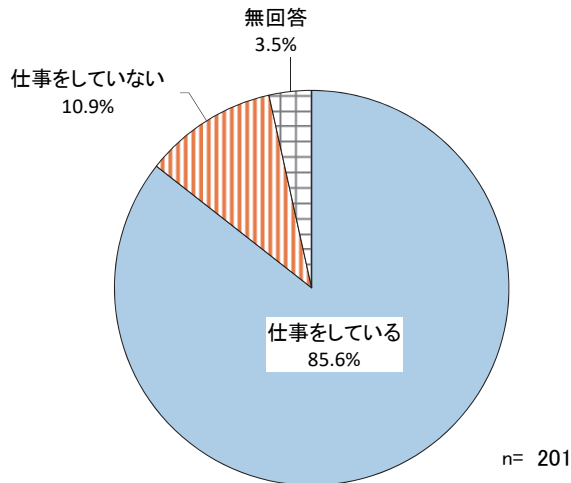


図 就労状況

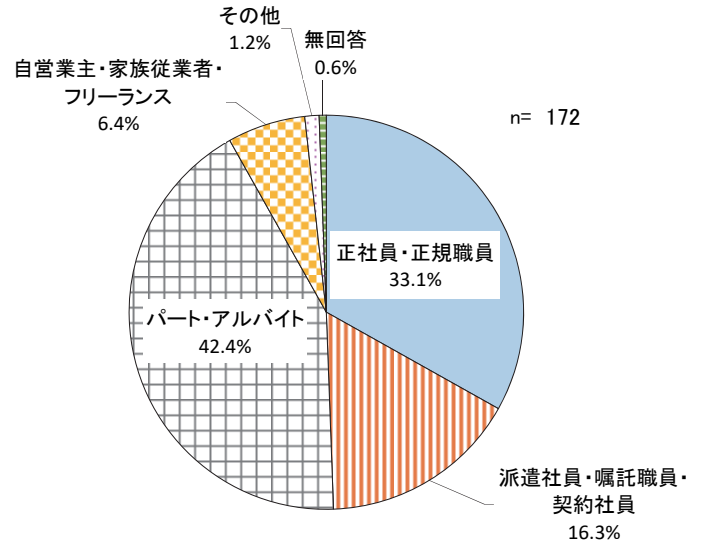


図 就業形態

問 4-2 週の就労時間

問 4-3 平日日中以外の勤務（複数回答）

○週の就労時間は、「40 時間以上」が4割台半ば近くで最も高く、次いで「40 時間未満」が2割強となっている。

○平日日中以外の勤務は、「土曜勤務」が5割近くで最も高く、次いで「平日の日中以外の勤務はない」が約4割となっている。

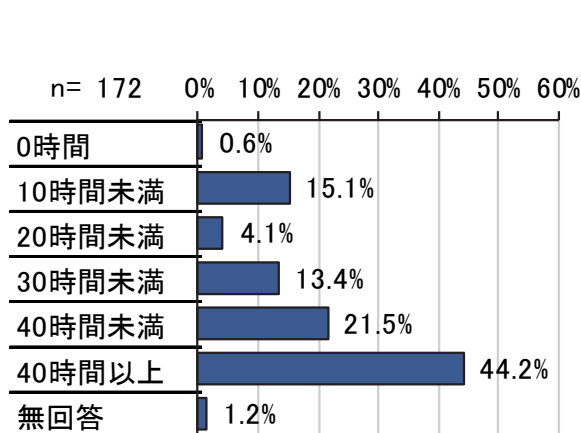


図 週の就労時間

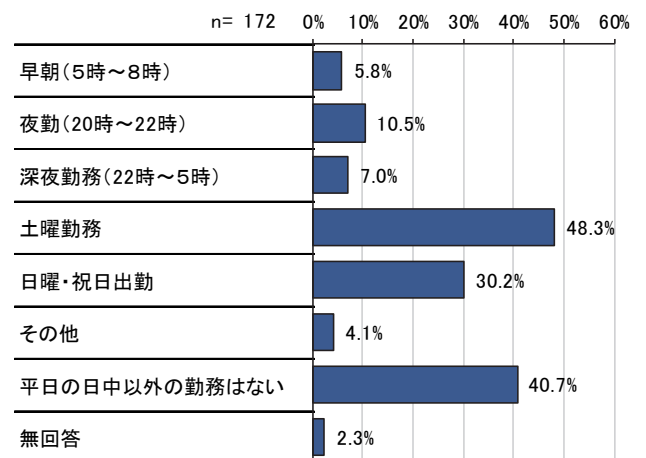


図 平日日中以外の勤務

問 4-4 現在仕事をしていない理由（複数回答）

○現在仕事をしていない理由は、「自分の健康上の理由」が5割で最も高く、次いで「仕事が見つからないため」が2割近くとなっている。

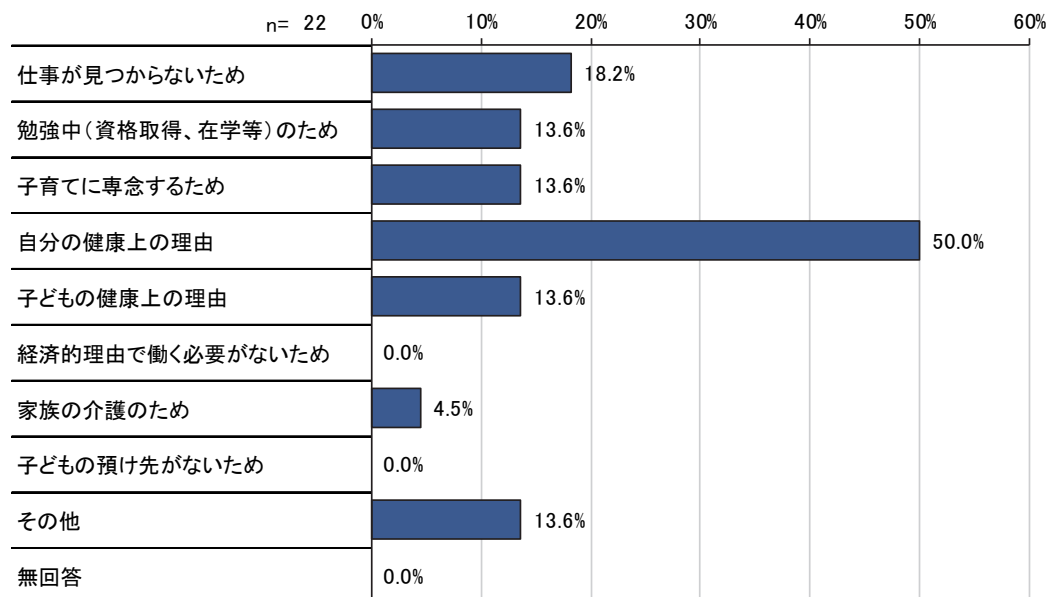


図 現在仕事をしていない理由

問 4-5 仕事をさがすにあたっての悩み（複数回答）

○仕事をさがすにあたっての悩みは、「自分に合う仕事が見つからない」が7割台半ばを占め最も高く、次いで「就職に必要な技能・技術がない」、「条件（収入・時間・年齢等）が合う仕事がない」、「その他」がそれぞれ5割と並んでいる。

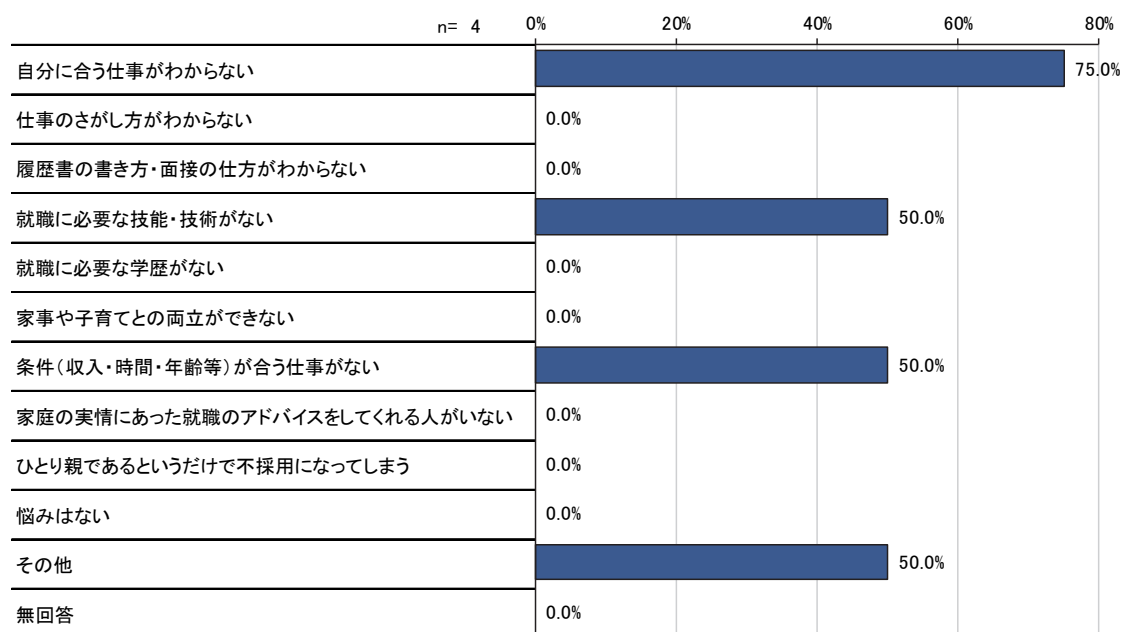


図 仕事をさがすにあたっての悩み

問5 普段の生活での時間の使い方（複数回答）

○もっと減らしたいと思っている（負担に感じている）時間は、「仕事」が最も高く、次いで「家事」、「学校などの活動」と続いている。

○もっと時間をかけたいと思っていることは、「家族とのコミュニケーション」が最も高く、次いで「休息・睡眠」、「育児」と続いている。

（１）もっと減らしたいと思っている（負担に感じている）時間

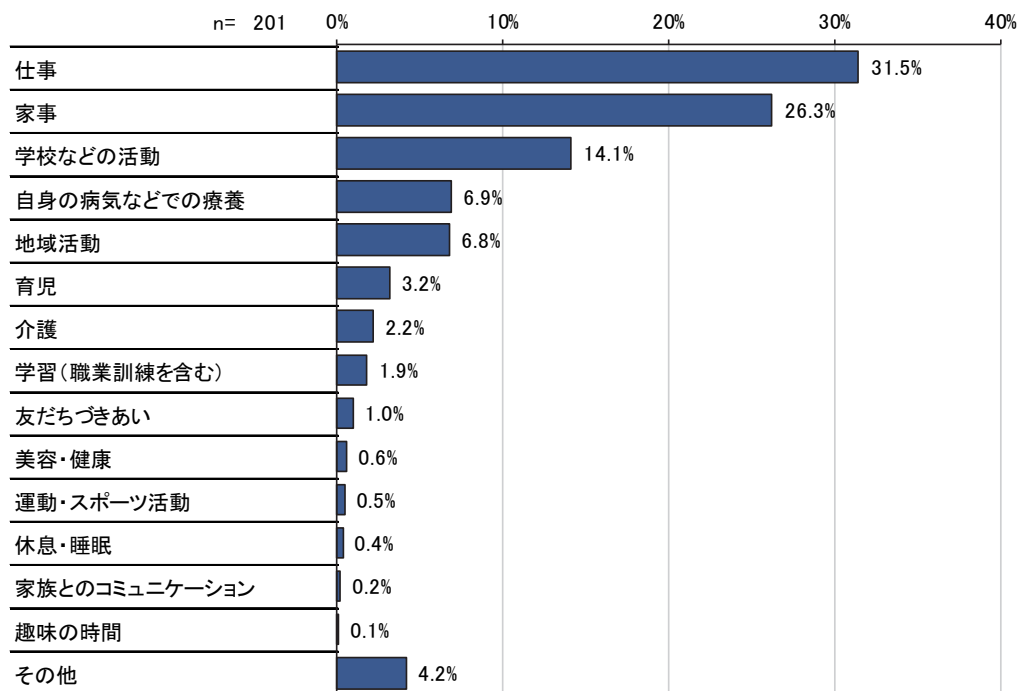


図 もっと減らしたいと思っている（負担に感じている）時間

（２）もっと時間をかけたいと思っていること

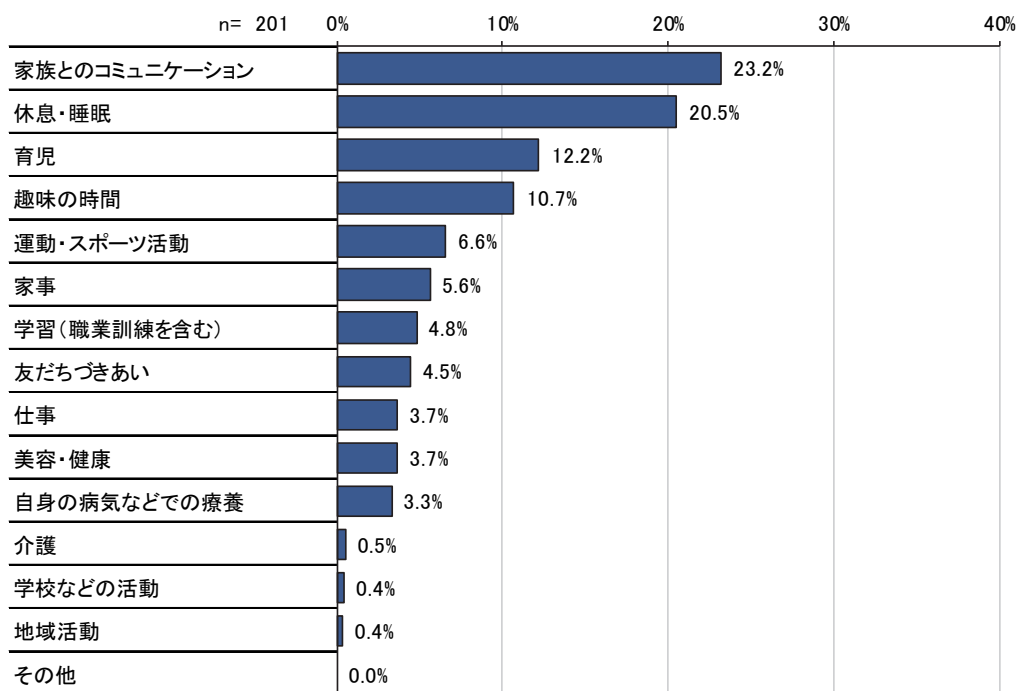


図 もっと時間をかけたいと思っていること

6. 各種支援制度の利用状況

問 14 各種支援制度の利用状況・利用したことがない理由

○利用状況について、「利用したことがある」では「児童育成手当」が9割台半ばを超え、最も高い。
○利用したことがない理由は、「利用の仕方がわからなかった」では、「ひとり親家庭等の医療費助成」が最も高く、「制度等についてまったく知らなかった」では、「就学援助費」が最も高くなっている。

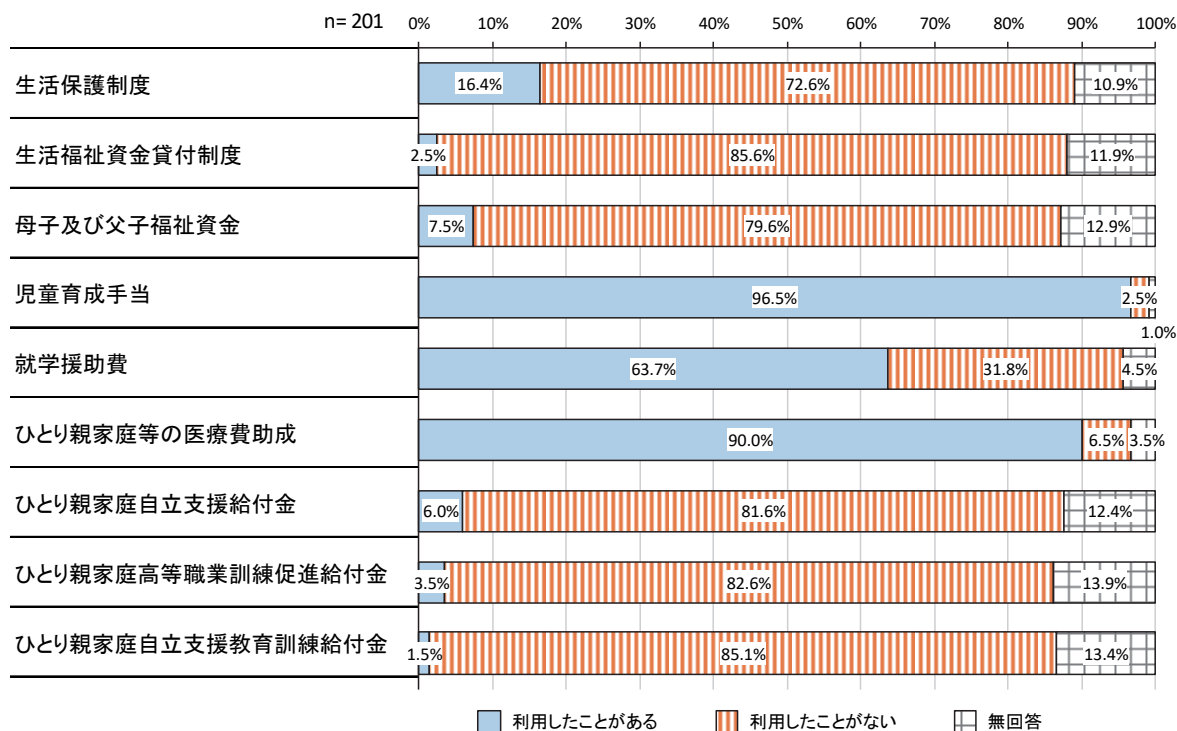


図 各種支援制度の利用状況

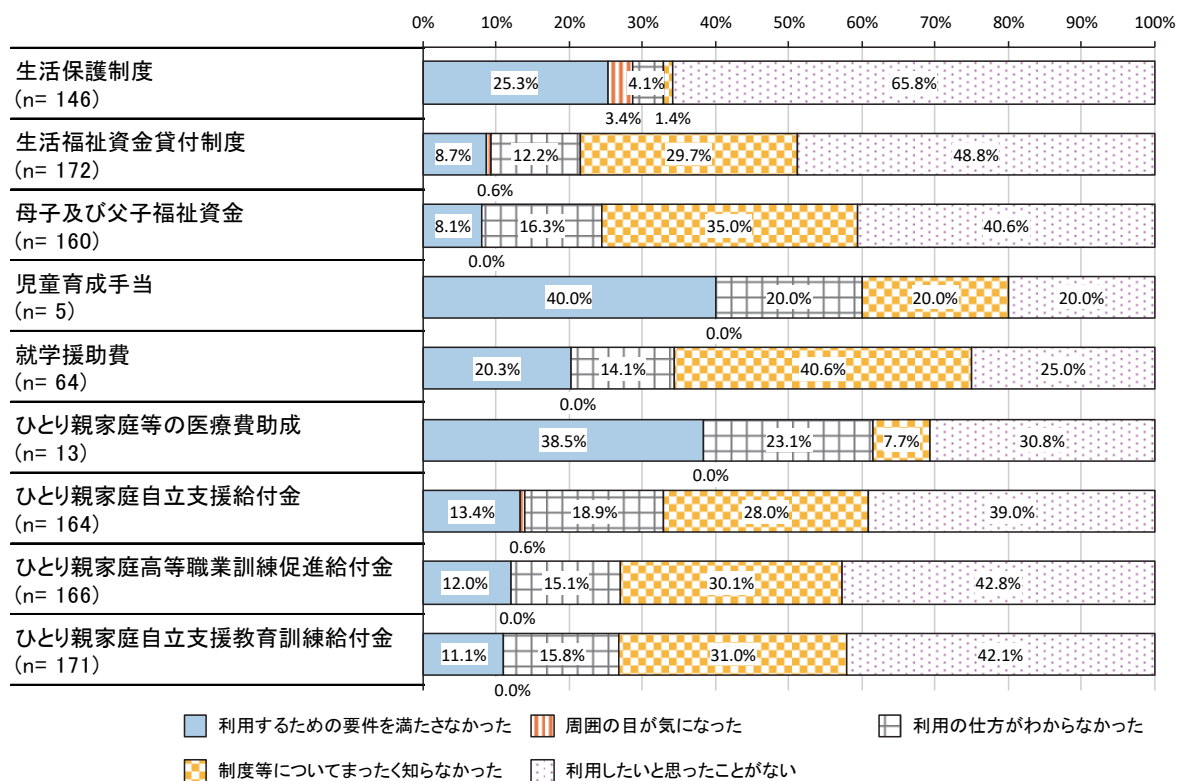


図 利用したことがない理由

問 17 給付型奨学金※の認知度

○給付型奨学金の認知度については、「よく知らない」が7割強で最も高く、次いで「聞いたことはある」が2割強となっている。

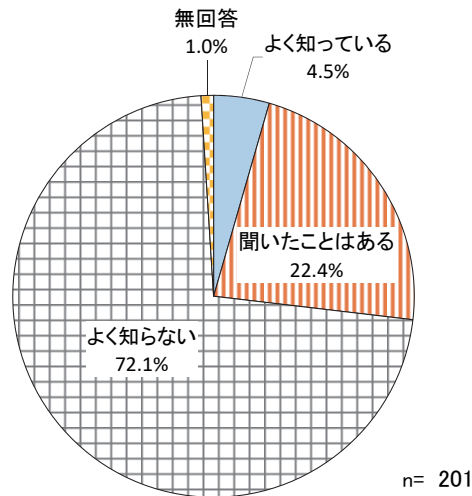


図 給付型奨学金の認知度

※ 住民税非課税世帯の方や社会的養護を必要とする方を対象に、返済が不要な奨学金を給付する制度

7. 子育ての悩みや相談相手

問 6 相談相手の有無 問 6-2 相談相手（複数回答）

○相談相手の有無は、「相談できる相手がいる」が9割を占め、最も高い。
○相談相手については、「友人・知人」が8割弱と最も高く、次いで「親戚・親族」が約7割となっている。

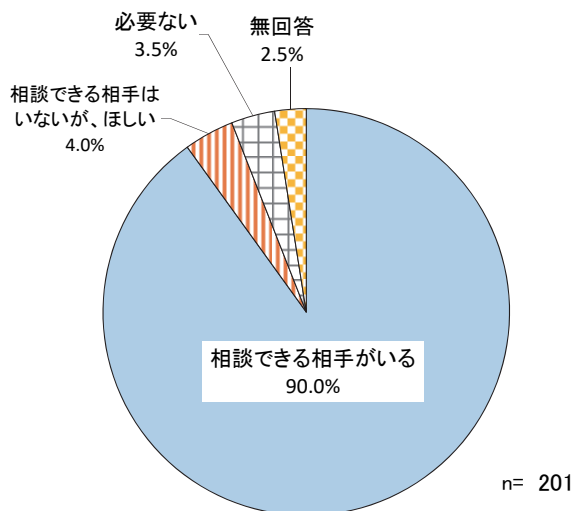


図 相談相手の有無

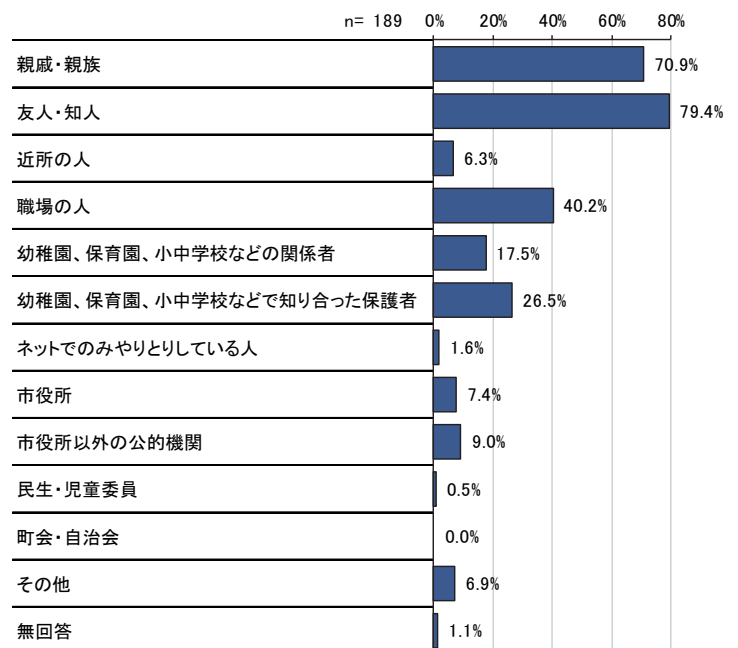


図 相談相手

8. お子さんの教育や生活について

問 15 お子さんの進路について

○理想とする進学先は、「大学卒業」が7割強を占め、最も高い。

○現実的な進学先の予想は、「わからない」が3割強と最も高く、次いで「大学卒業」と「高等学校卒業」がともに2割台半ばで続いている。

(1) 理想とするお子さんの進学先

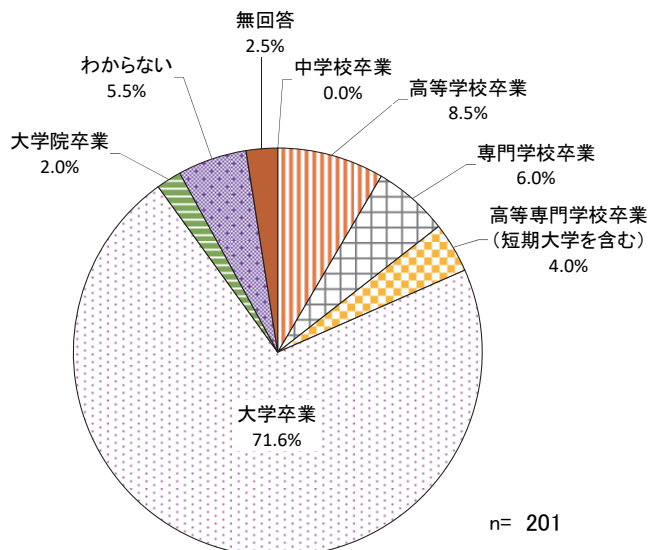


図 理想とするお子さんの進学先

(2) 現実的な進学先の予想

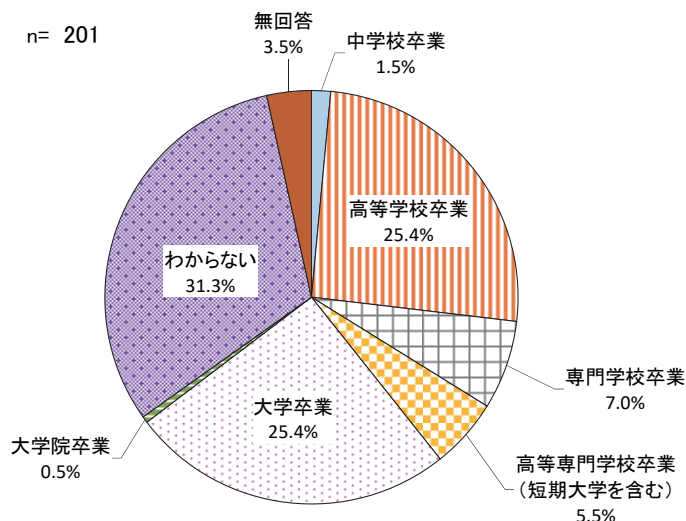


図 現実的な進学先の予想

問 15-1 理想と現実的な予想の差異、理想と異なる理由（複数回答）

○理想と現実的な想定との差異は、「理想と現実的な予想が異なる」が3割台半ば近くで最も高い。

○理想と現実的な予想が異なる理由は、「家庭に経済的な余裕がないから」が8割弱と最も高く、次いで「子どもの学力に課題があるから」が3割強となっている。

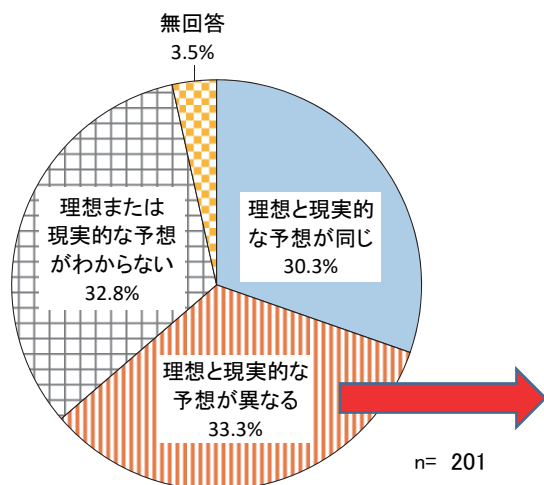


図 理想と現実的な予想の差異

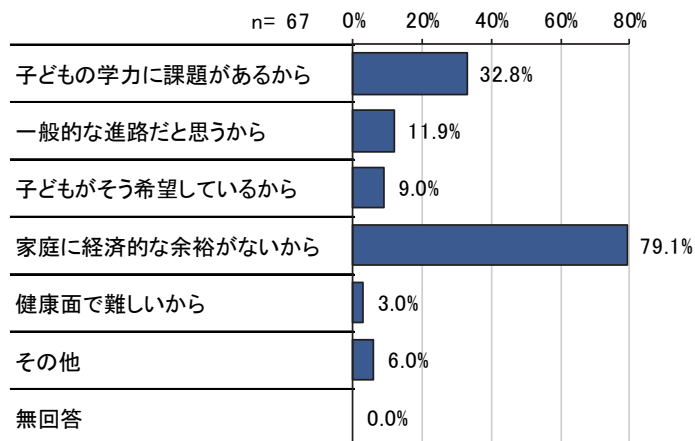
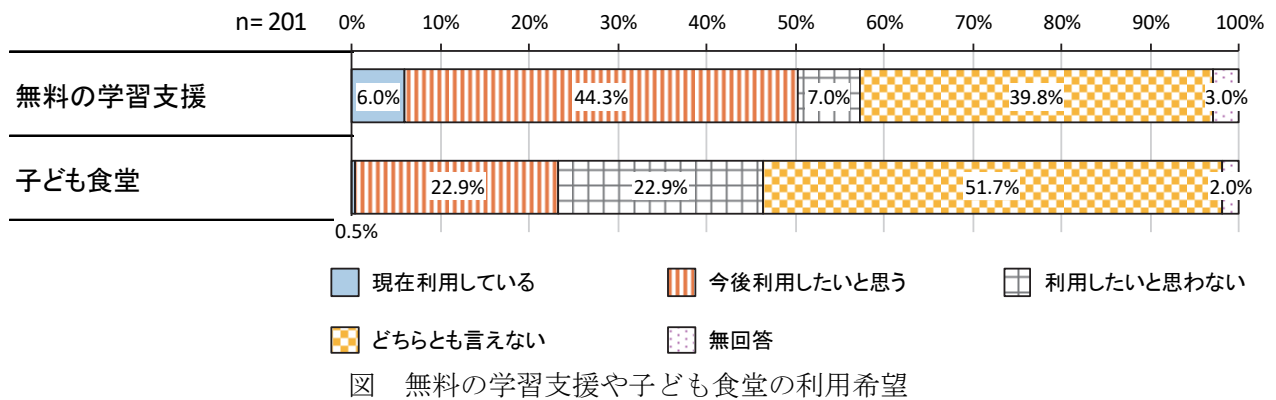


図 理想と現実的な想定が異なる理由

問 16 無料の学習支援や子ども食堂*の利用希望

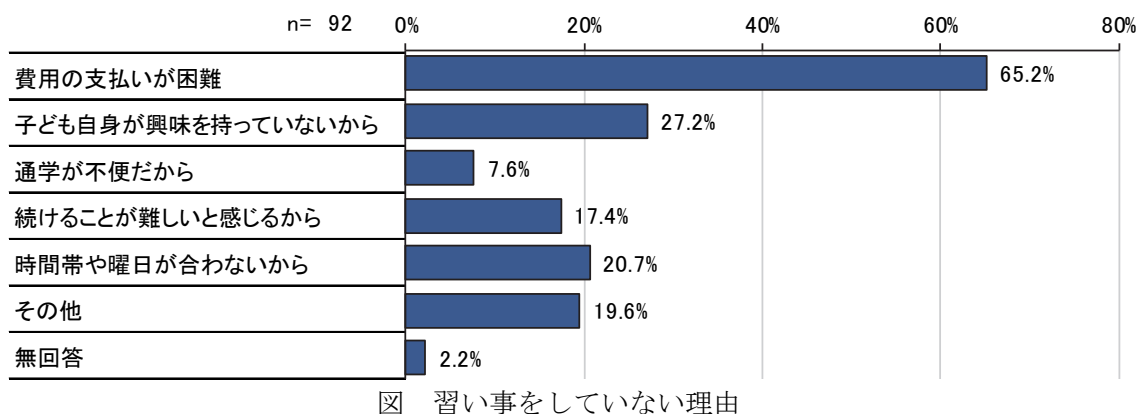
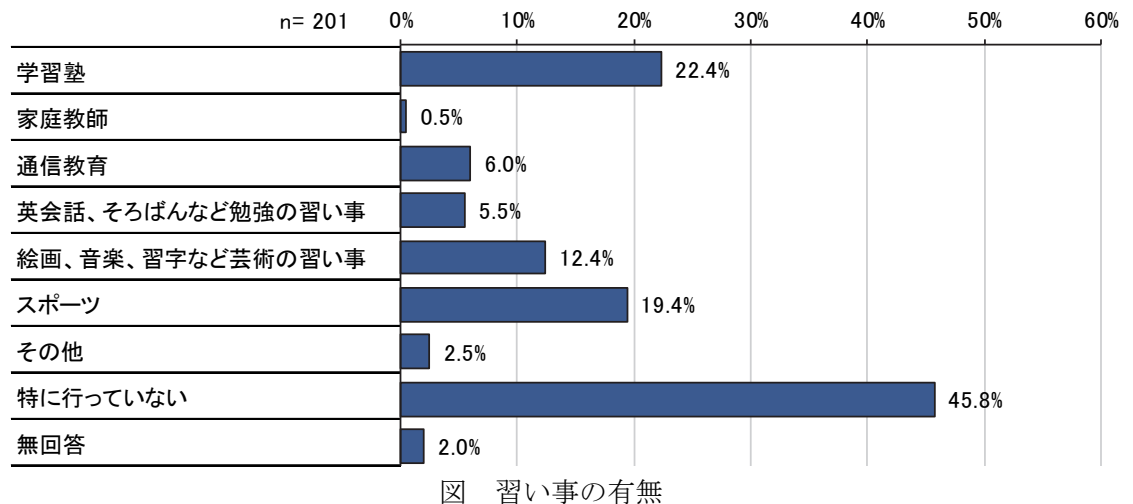
- 無料の学習支援や子ども食堂の利用希望は、「無料の学習支援」については、「今後利用したいと思う」が最も高く、次いで「どちらとも言えない」となっている。
- 「子ども食堂」については、「どちらとも言えない」が最も高くなっている。



※ 地域住民や団体等が主体となって、無料または低料金で子どもたちに食事を提供する場

問 18 習い事の有無・習い事をしていない理由（複数回答）

- 習い事の有無は、「特に行っていない」が4割台半ばで最も高く、次いで「学習塾」が2割強、「スポーツ」が2割弱となっている。
- 習い事をしていない理由は、「費用の支払いが困難」が6割台半ばで最も高い。



問 19 放課後のお子さんの居場所としてふさわしいと思う場所（複数回答）

○放課後のお子さんの居場所としてふさわしいと思う場所は、「児童館」が5割近くで最も高く、次いで「図書館」が4割台半ば近く、「学校」が約3割となっている。

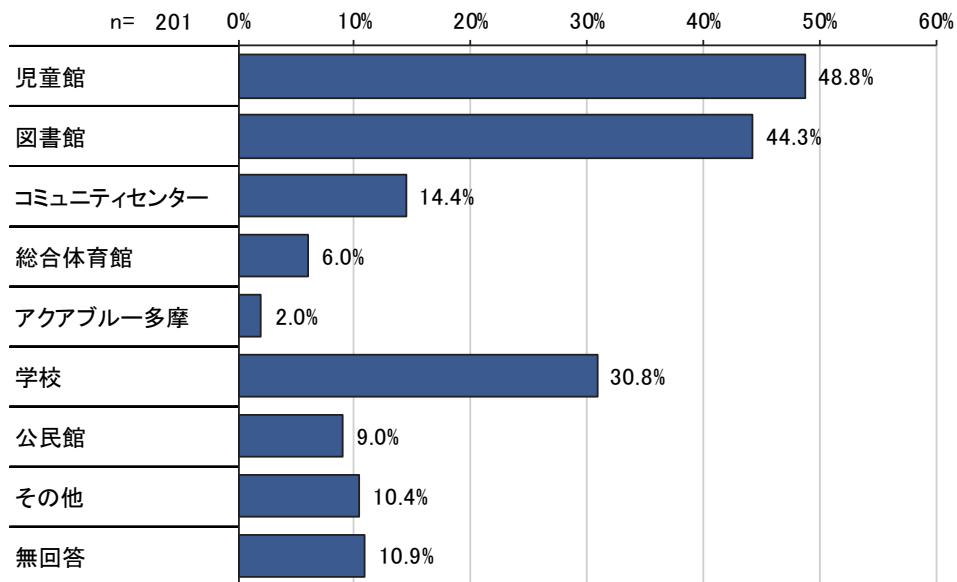


図 放課後のお子さんの居場所としてふさわしいと思う場所

問 20 お子さんと将来について話す機会の有無

○お子さんと将来について話す機会の有無は、「たまにする」が5割強と最も高くなっている。
○「よくする」、「たまにする」の合計は81.1%、「あまりしない」、「これまで特にしたことはない」の合計は17.5%となっている。

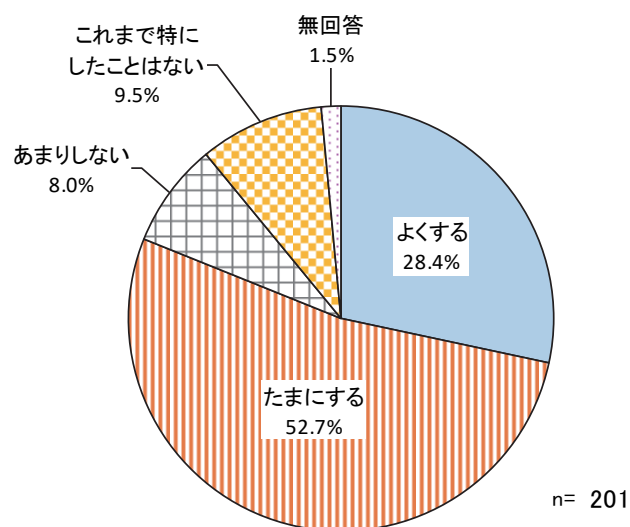


図 お子さんと将来について話す機会の有無

第5章 ひとり親世帯 中・高生世代調査結果

1. 回答者の属性

問30 回答者の年齢 問31 性別

○回答者の年齢は調査時点（平成30年10月時点）で12歳から18歳、性別は男性が女性を若干上回る。

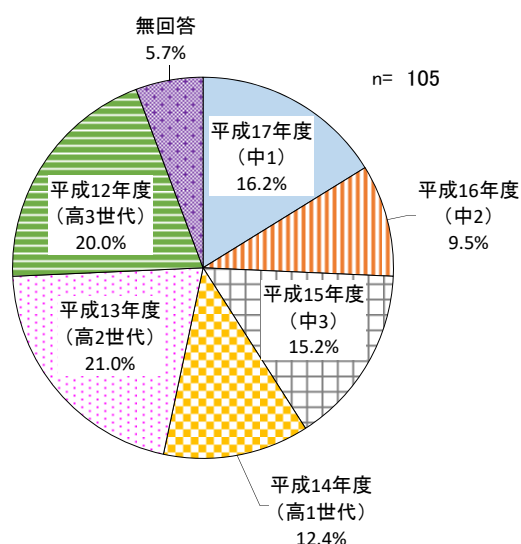


図 回答者の年齢

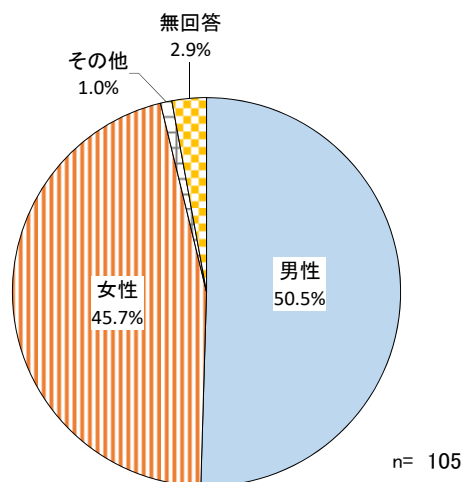


図 性別

問32 所属

○回答者の所属は「公立中学校」が3割台半ばを超え、「全日制高校」が3割強を占める。

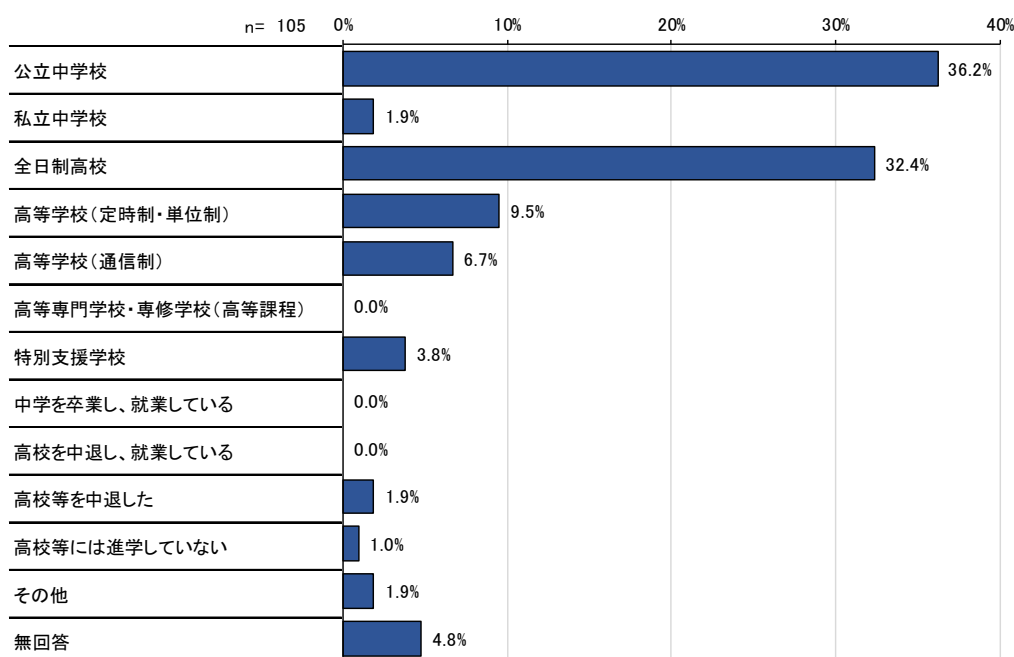


図 所属

2. 家族の状況等

問 33 同居家族（複数回答）・人数

○同居している家族は「母親」が9割近く、次いで「兄弟」が3割強を占める。

○同居人数は「3人」が3割弱、次いで「2人」が2割近くを占める。

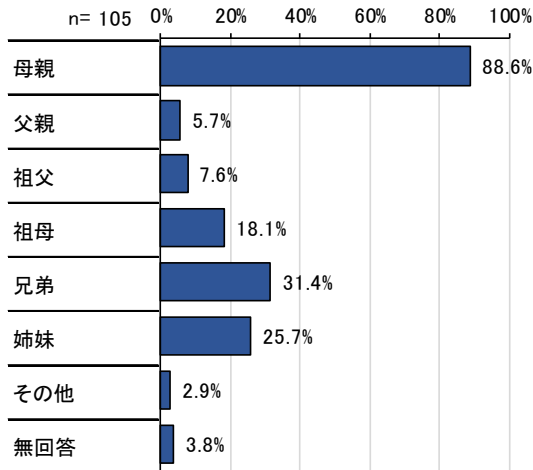


図 同居家族

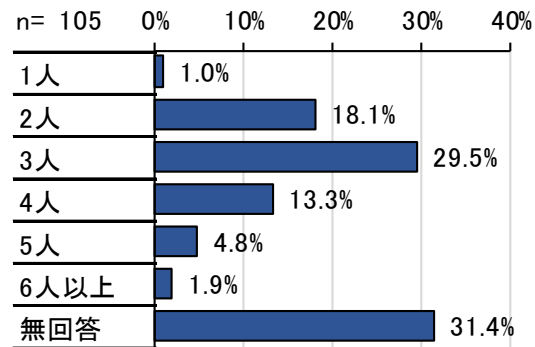


図 同居人数

問 34 居住地区

○回答者の住まいの地区は「和田、百草、東寺方、落川地区」と、「落合、鶴牧、南野地区」がそれぞれ1割台半ばを超える。

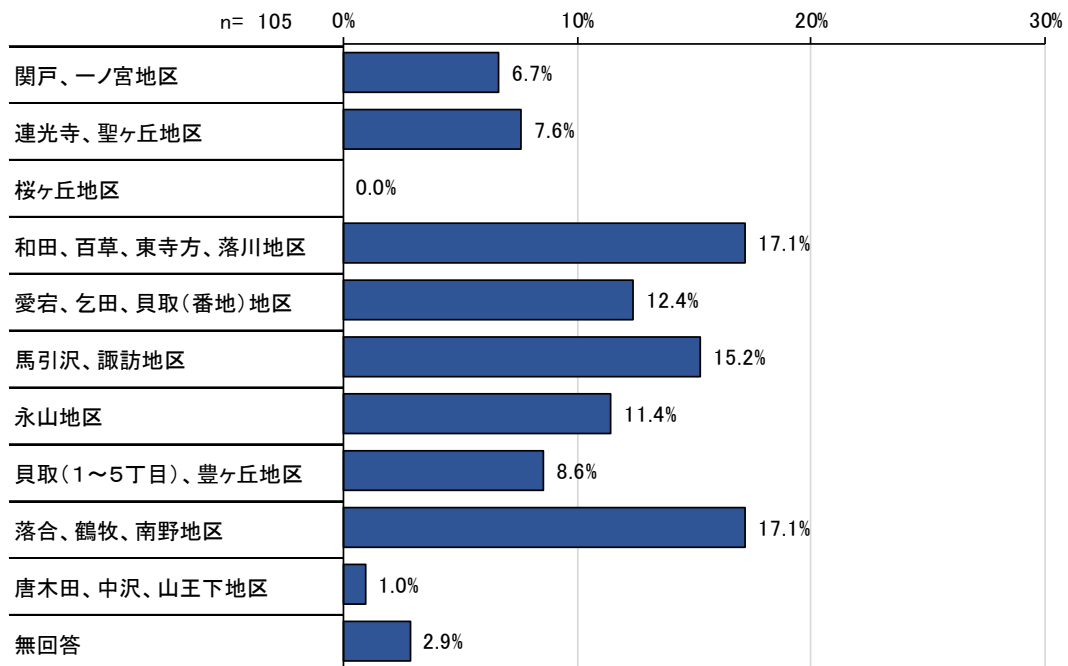


図 居住地区

3. 日頃の行動について

問1 平日、休日の起床時間・就寝時間

○起床時間は、平日は「7時台」が最も高く、次いで「7時以前」となっている。

○休日の起床時間は「9時～正午」が最も高く、次いで「8時台」となっている。

○就寝時間は、平日・休日ともに「24時前」が最も高い。

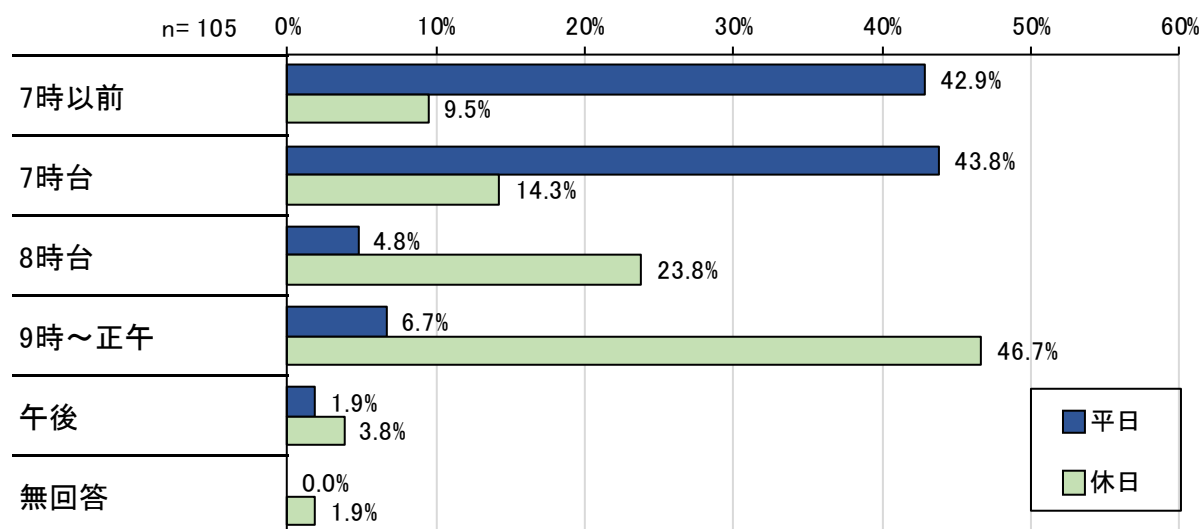


図 平日、休日の起床時間

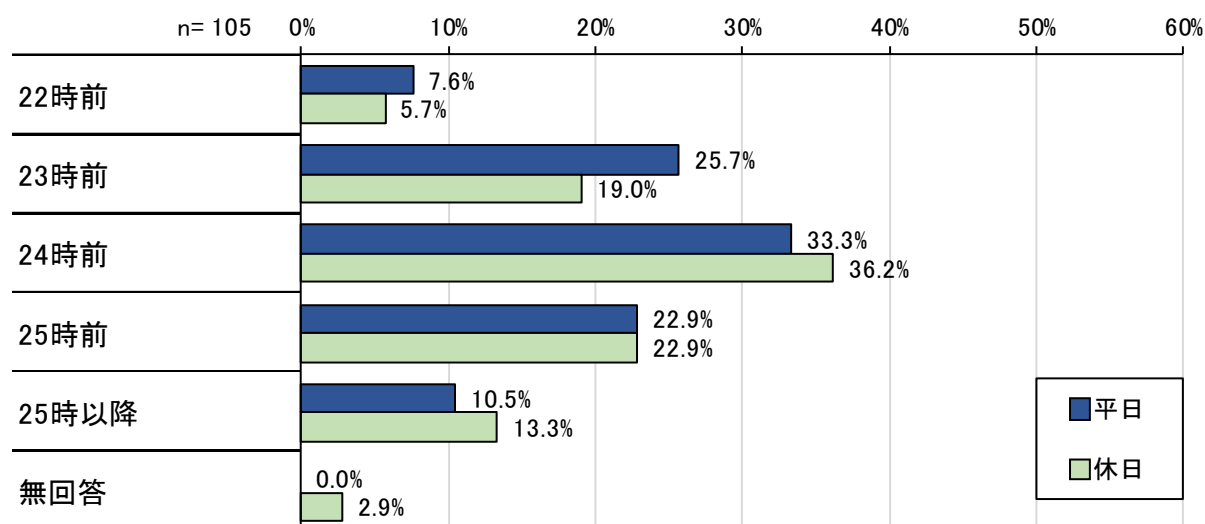


図 平日、休日の就寝時間

問2 朝食の摂取状況・朝食を食べない理由（複数回答）

○朝食の摂取状況は、「いつも食べる」が7割近くで最も高い。

○朝食を食べない理由は、「食べる時間がとれないから」が最も高く、次いで「より長く寝ていたいから」となる。

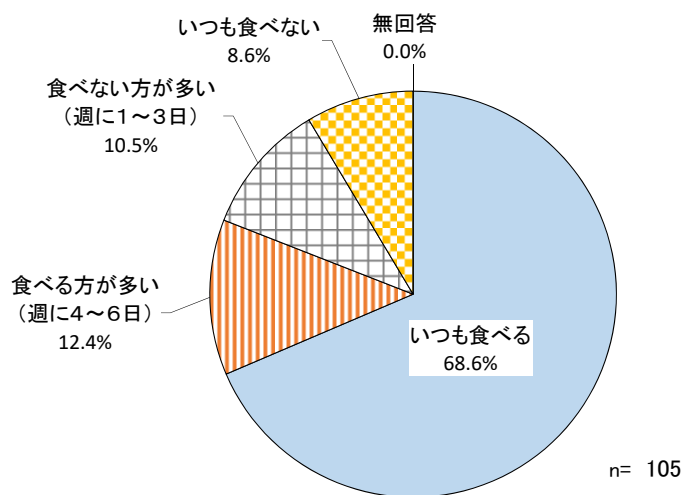


図 朝食の摂取状況

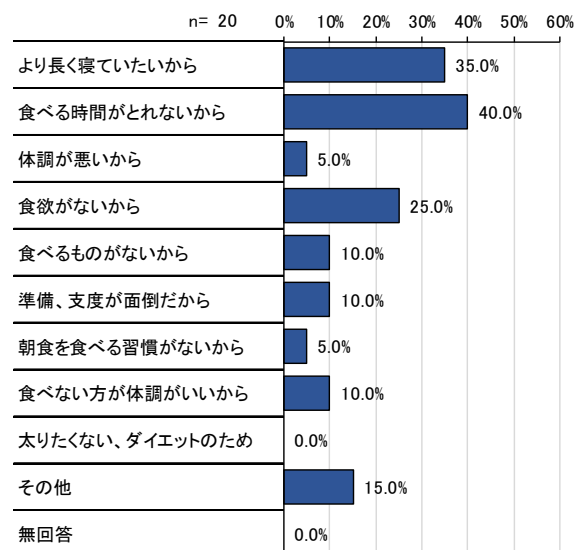


図 朝食を食べない理由

問3 朝食・夕食を一緒に食べる人（複数回答）

○朝食を一緒に食べる人は、「親」が4割台半ばを超え最も高く、次いで「1人で食べている」が4割強を占めている。

○夕食を一緒に食べる人は、「親」が8割台半ば近くで最も高く、次いで「兄弟姉妹」が4割弱を占めている。

「1人で食べている」は2割弱となっている。

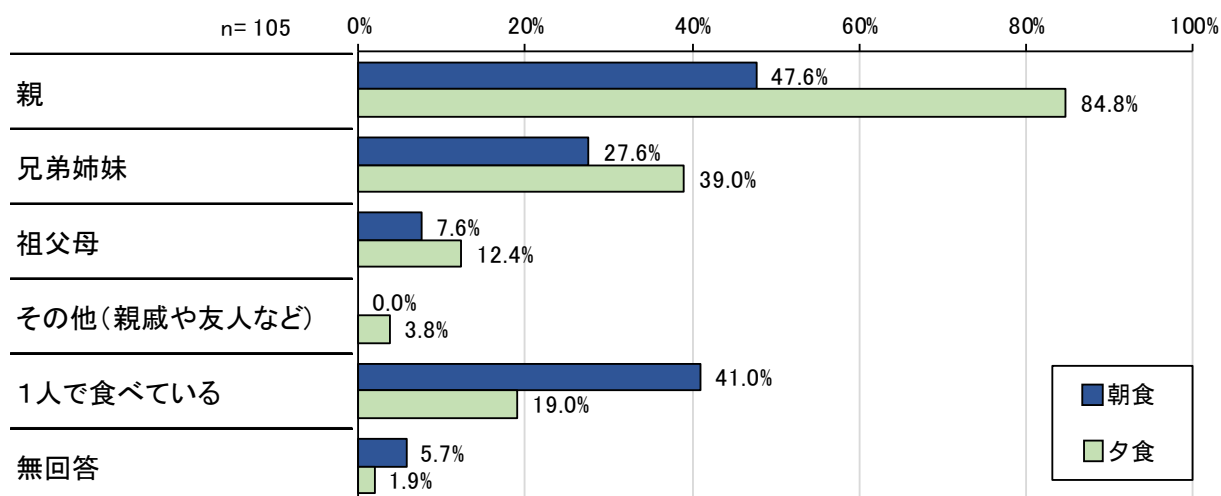


図 朝食・夕食を一緒に食べる人

問4 帰宅時・休日の在宅者・在宅者がいない場合の食事

- 帰宅時・休日の在宅者は、「だいたい誰かがいる」が最も高く、次いで「あまりいない」となっている。
- 在宅者がいない場合の食事は、「食べないで待っている」が最も高く、次いで「外で食べたり、買ったたりする」となっている。

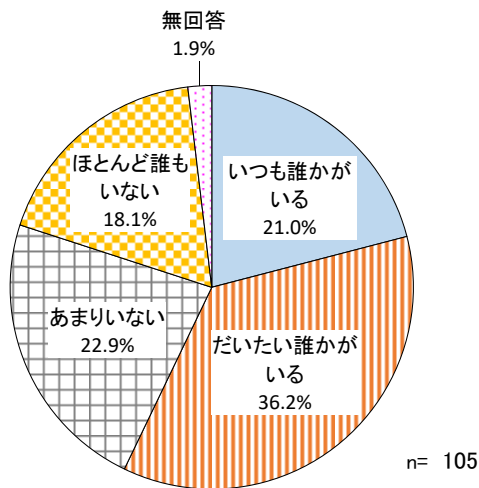


図 帰宅時・休日の在宅者

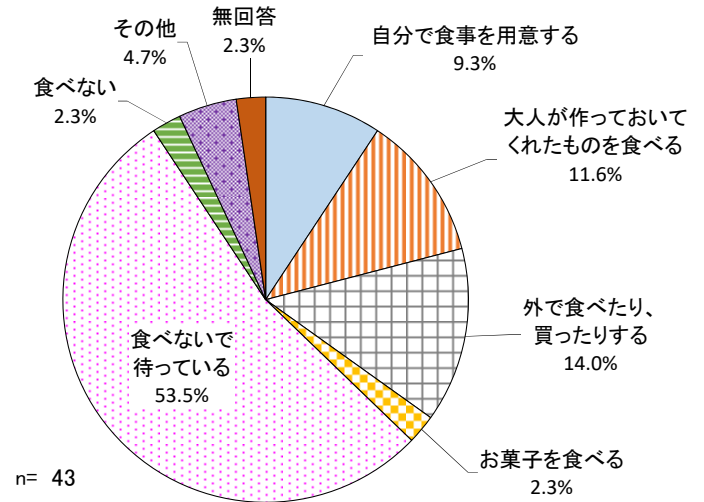


図 在宅者がいない場合の食事

問5 普段の外出頻度

- 外出頻度は、「学校や仕事で週5日以上外出する」が7割台半ば近くを占め、最も高い。
- 「家からほとんど出ない」は5.7%となっている。

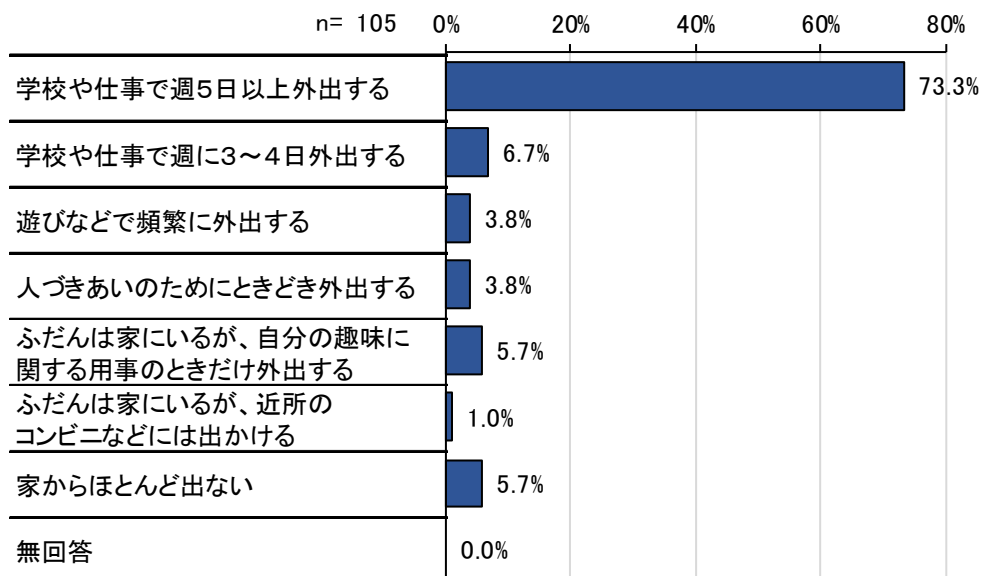


図 外出頻度

問8 1週間の塾や習い事の頻度・習い事の種類（複数回答）

○習い事の頻度については、「習い事はしていない」が最も高く、次いで「1～2日」となる。

○習い事の種類は、「学習塾・予備校」が7割台半ば近くを占め、最も高い。

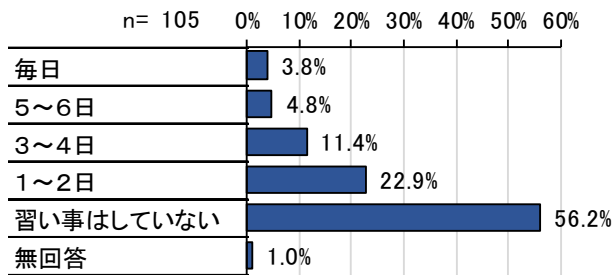


図 習い事の頻度

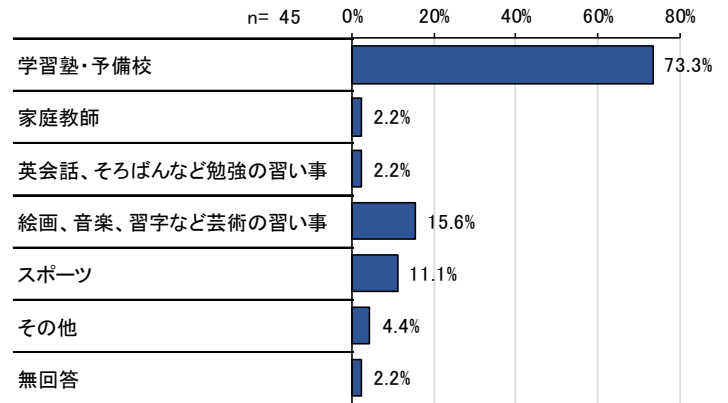


図 習い事の種類

4. 放課後、休日の過ごし方

問6 平日の放課後と休日の過ごし方（複数回答）

○平日では「学校のクラブ活動」が3割台半ばを超え最も高く、次いで「携帯電話やスマートフォンでSNSを利用したりゲームをする」となっている。

○休日では「携帯電話やスマートフォンでSNSを利用したりゲームをする」が4割台半ばを超え最も高く、次いで「テレビゲーム、携帯ゲーム機で遊ぶ」となっている。

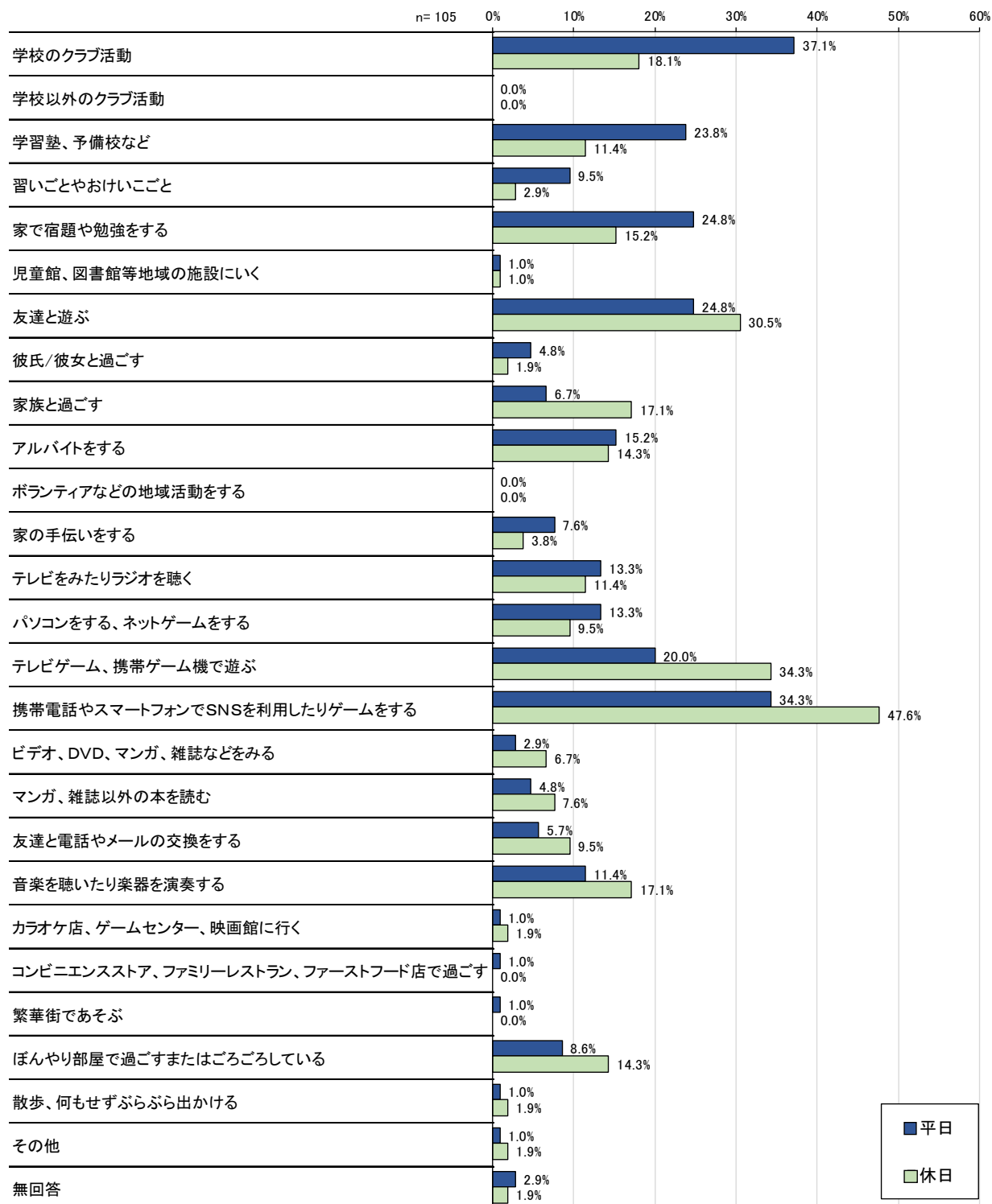


図 平日の放課後と休日の過ごし方

5. 施設の利用状況

問7 (1) 利用状況・利用日

○「よく利用する」は「コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ファーストフード店」が4割近くで最も高く、次いで「衣類、雑貨、書籍などの販売店舗等」が2割台半ば近くとなっている。

○利用日は、平日のみ利用は「児童館」が最も高く、休日のみ利用は「カラオケ店、ゲームセンター、映画館」が最も高い。平日・休日の両方利用は「コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ファーストフード店」が7割台半ばを超え、最も高くなっている。

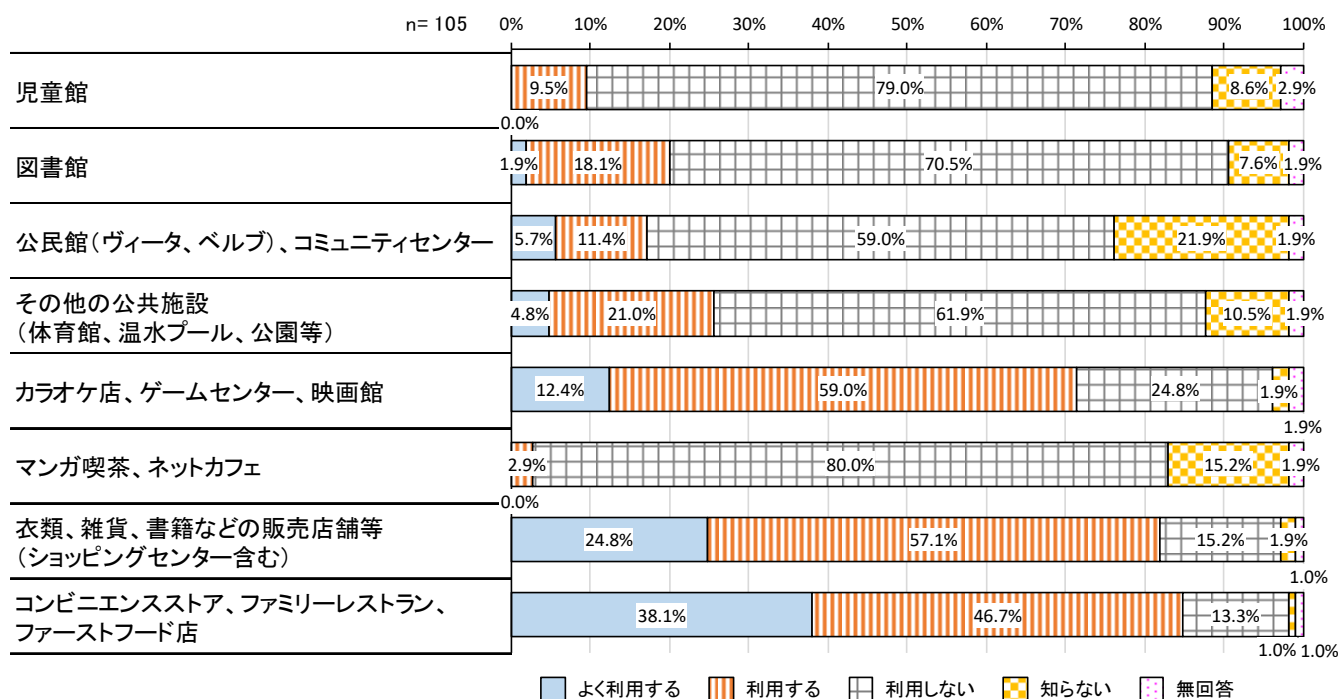


図 利用状況

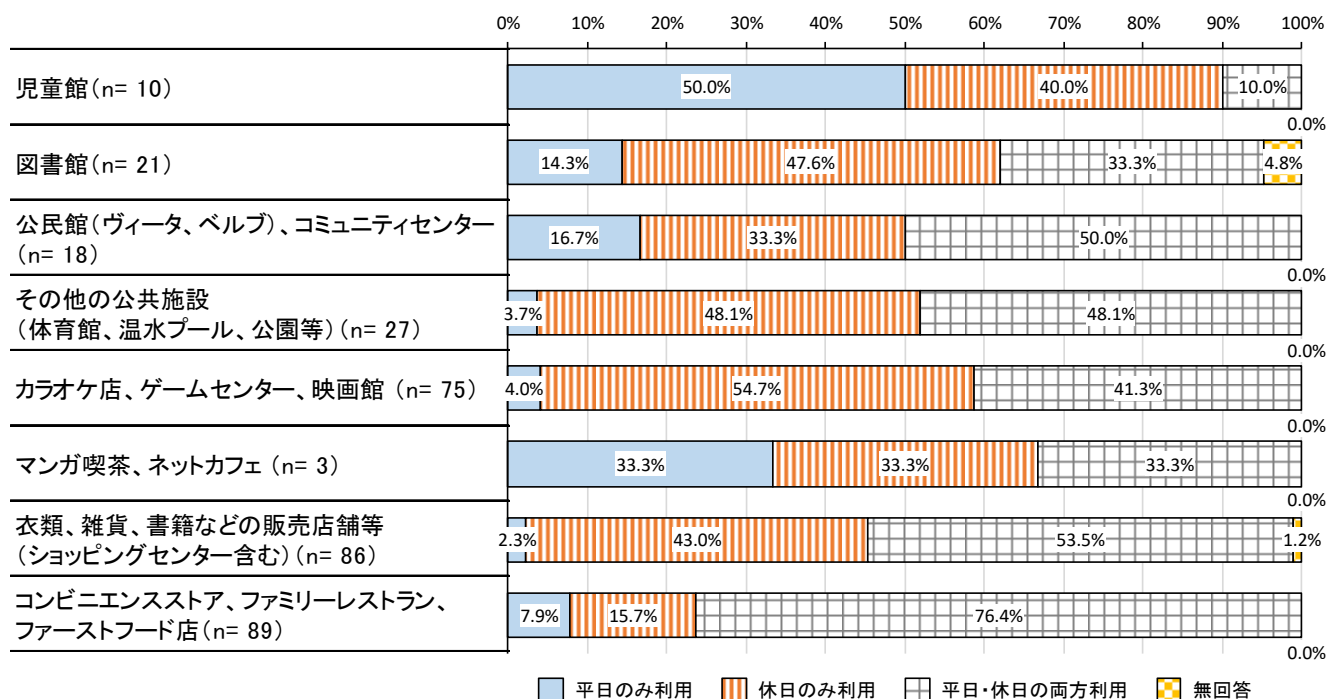


図 利用日

(2) 施設を利用する理由(複数回答)

○施設を利用する理由は、「児童館」は「楽しいから」、「気軽に利用できるから」の理由が同じく5割を占め最も高い。

「図書館」、「公民館」、「コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ファーストフード店」は「気軽に利用できるから」が最も高く、それ以外の項目は「楽しいから」が最も高い。

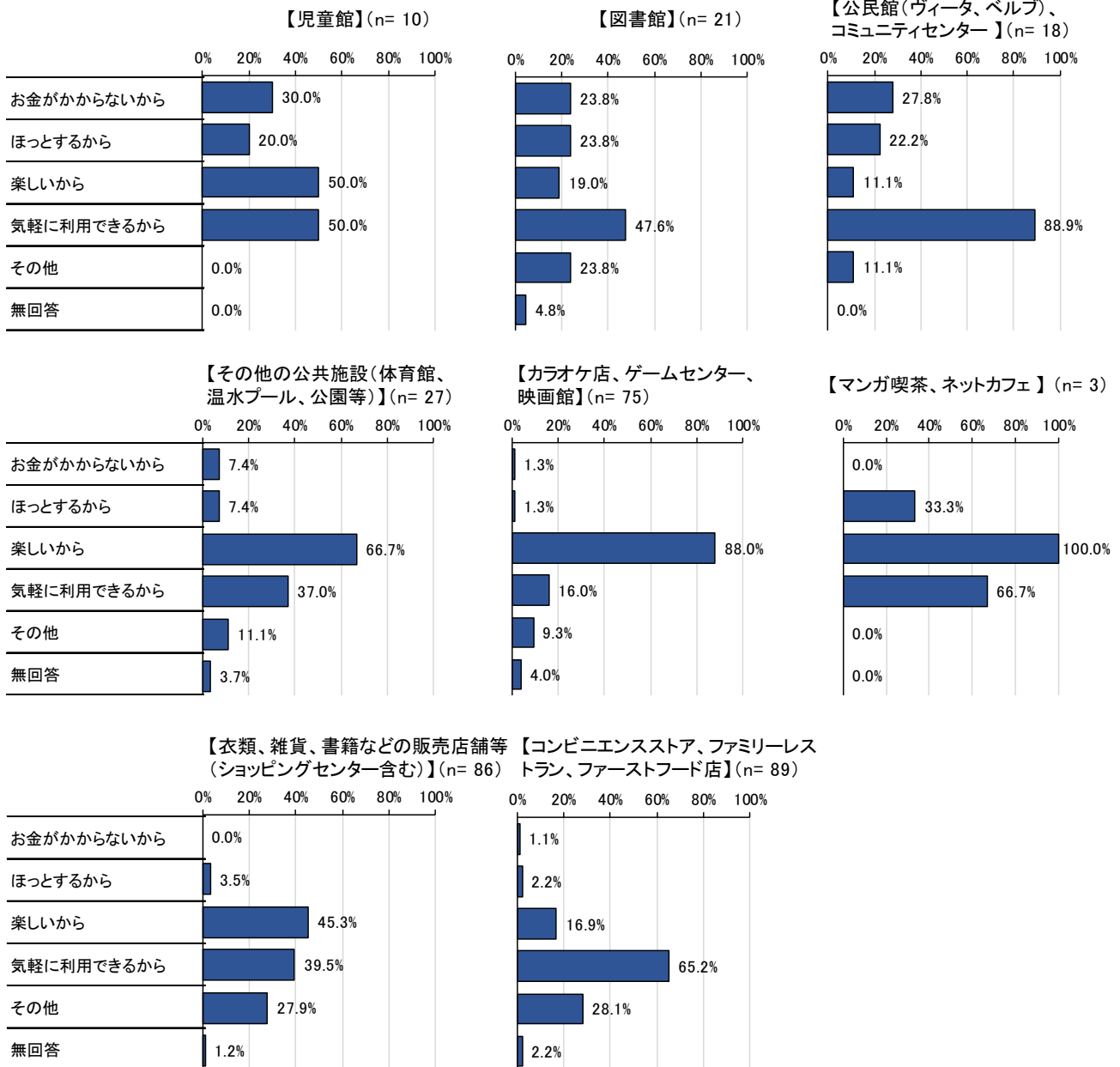


図 施設を利用する理由

(3) 利用しない理由(複数回答)

○利用しない理由は、「コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ファーストフード店」は、「関心がない」と「お金がかかる」がともに5割で最も高い。また、「カラオケ店、ゲームセンター、映画館」は「お金がかかる」という理由が4割台半ばを超え最も高く、それ以外の項目では、「関心がない」が最も高い。

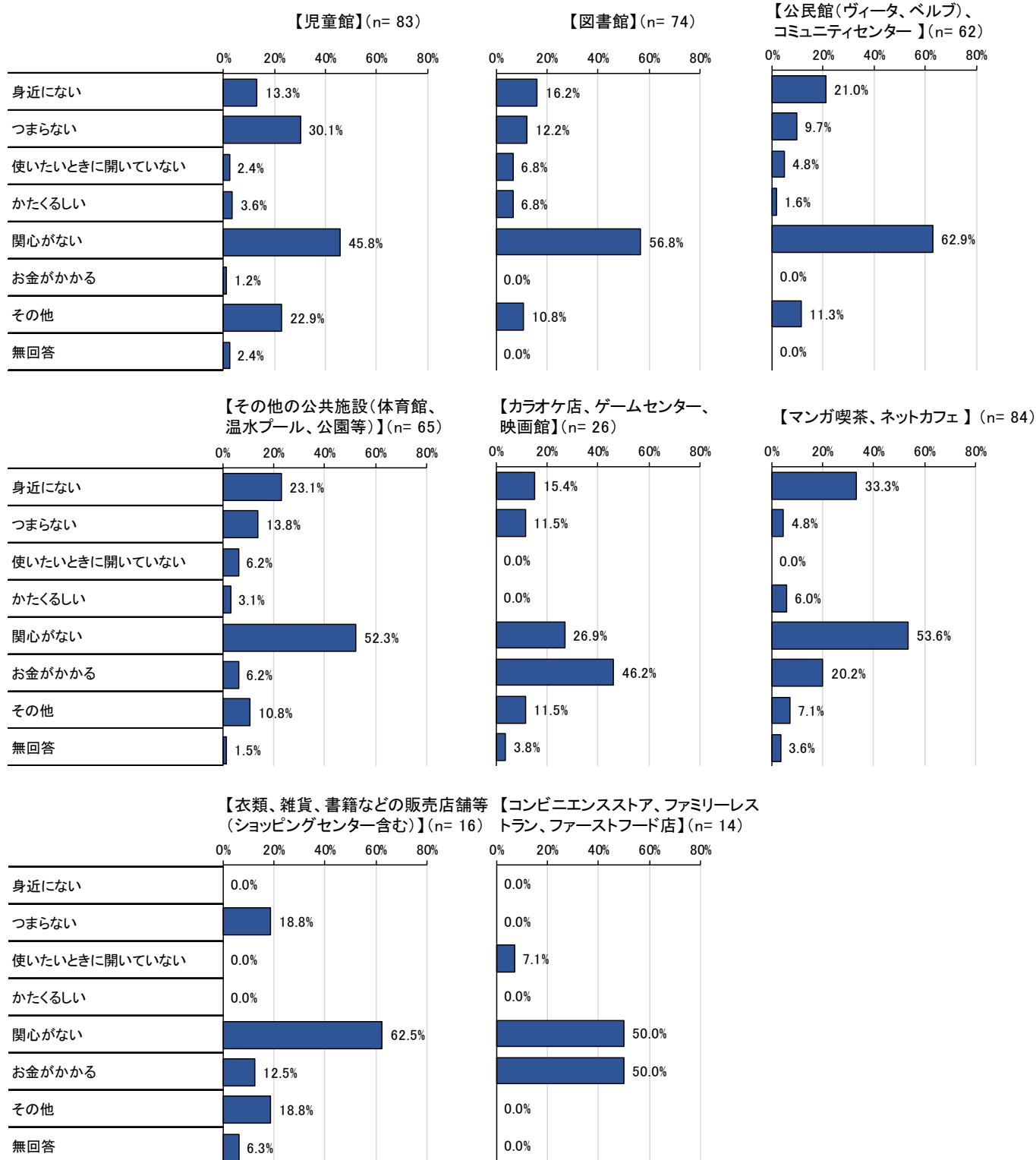


図 利用しない理由

6. 地域活動やボランティア活動

問9 地域活動やボランティア活動の参加

○地域活動やボランティア活動の参加は、「参加したことがない」が5割台半ばを超えている。

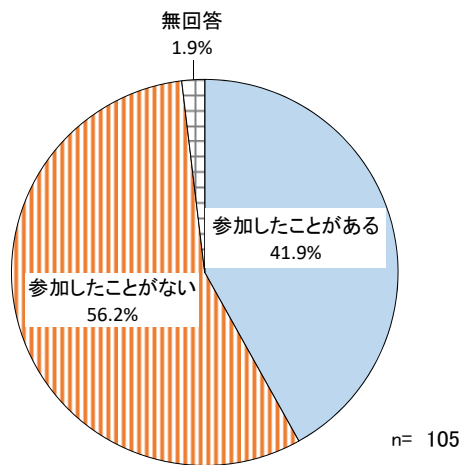


図 地域活動やボランティア活動の参加

問 9-1 (1) 参加経験

○地域活動やボランティア活動への参加経験は、参加したことがあるものは「地域のおまつり」が7割強を占め最も高く、次いで「清掃などの環境改善美化活動」、「防犯・消防訓練」と続いている。

○参加したことがないものは、「赤ちゃんや小さい子どもの世話をする」が5割台半ばを超え最も高く、次いで「障がい者へのボランティアなど」、「文化・音楽活動」の順となっている。

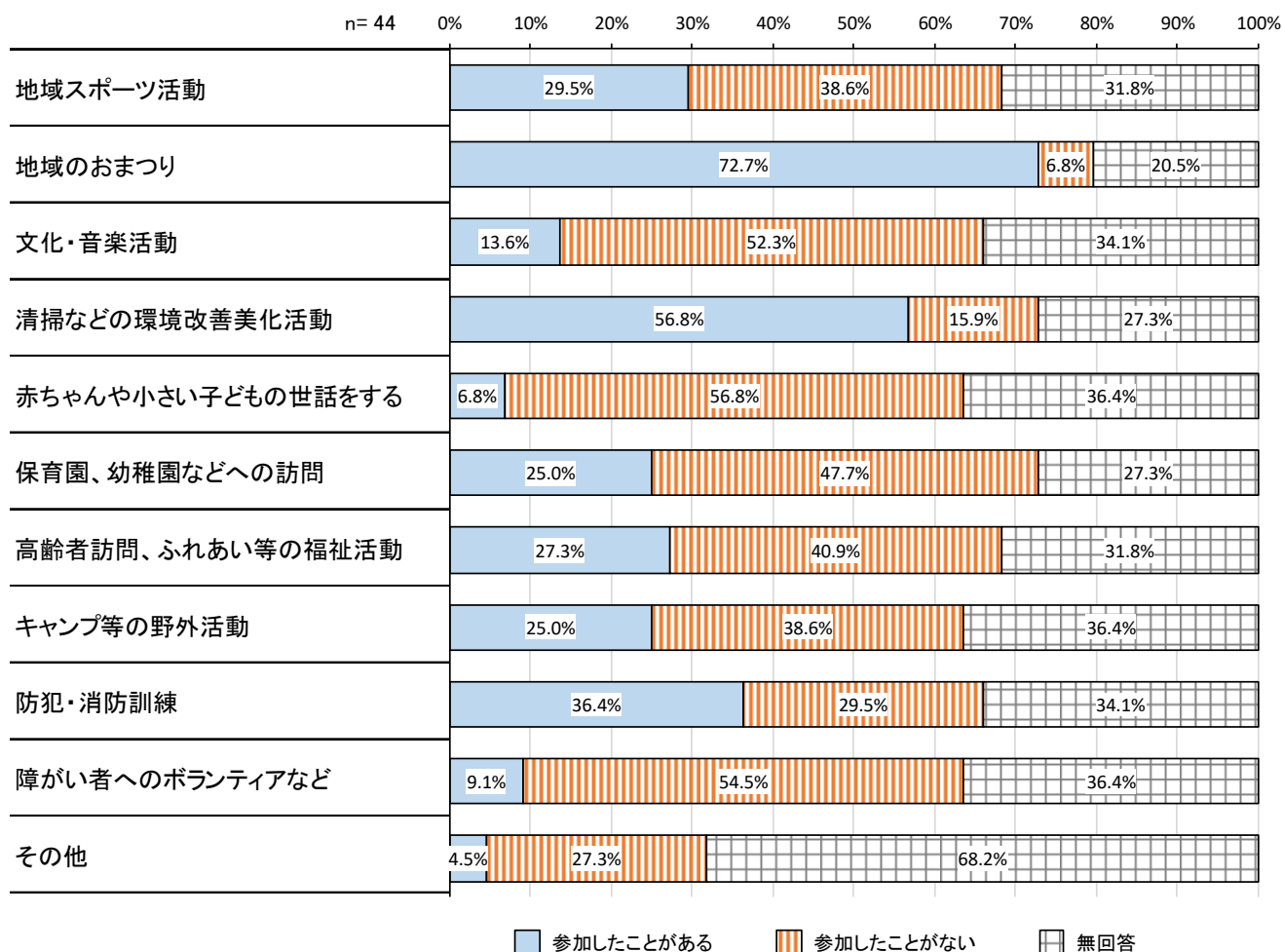


図 参加経験

(2) 参加内容

- 参加内容は、「文化・音楽活動」と「その他」で、「企画段階から参加した」と「実施段階で参加した」が同率になっているが、それ以外の項目では、「実施段階で参加した」が最も高い。
- 「後片付けのみ参加した」は「文化・音楽活動」で1割台半ばを超え最も高く、次いで「清掃などの環境改善美化活動」が続いている。

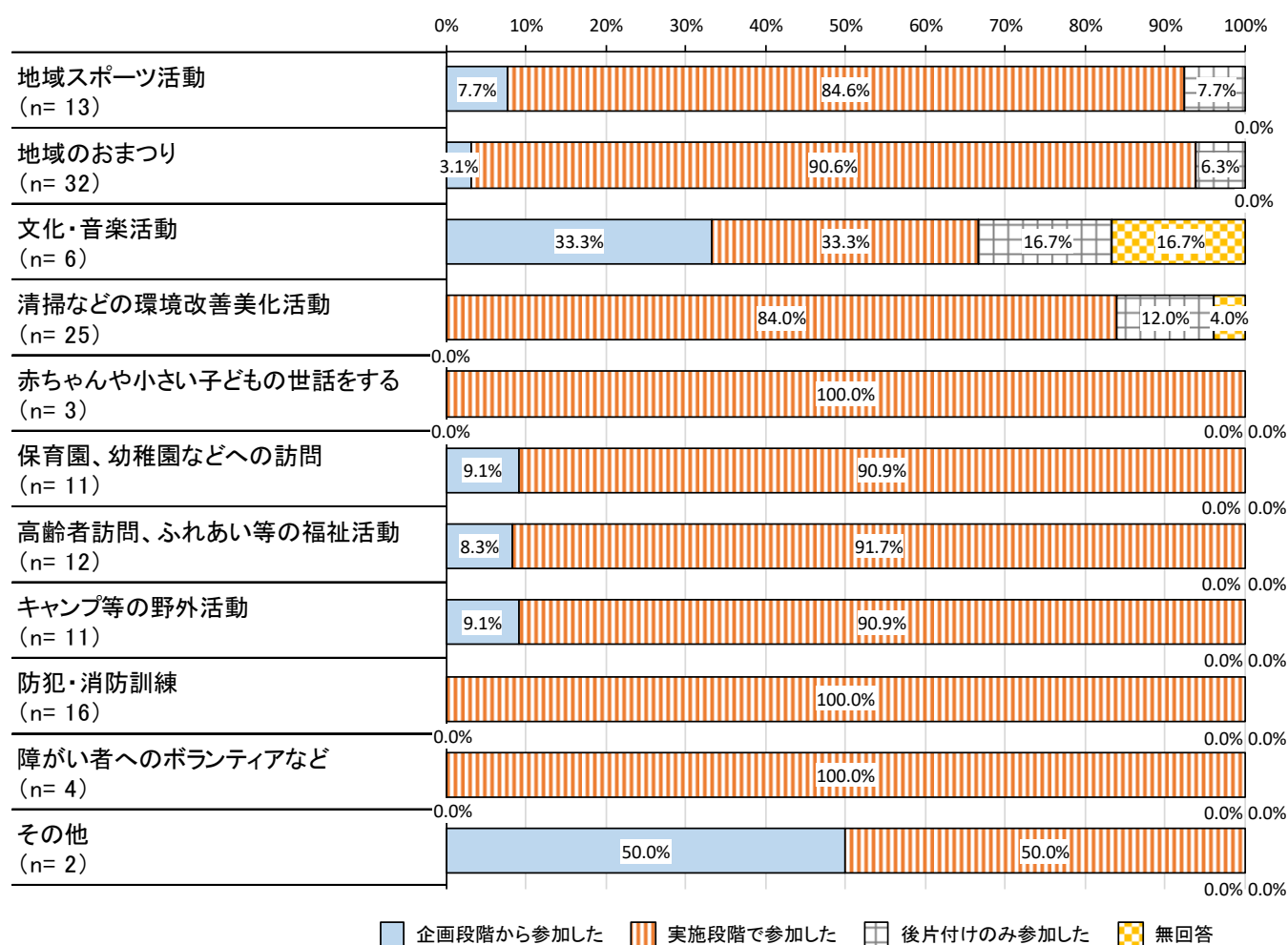


図 参加内容

(3) 参加理由

○参加理由は、「地域のスポーツ活動」、「地域のおまつり」、「キャンプ等の野外活動」では、「友人に誘われた」が最も高く、「文化・音楽活動」、「清掃などの環境改善美化活動」では、「地域のために役立つ」が、それ以外の項目では、「学校の授業の一環で」が高くなっている。

○「親の勧め」は「防犯・消防訓練」が3割強と最も高く、次いで「清掃などの環境改善美化活動」、「キャンプ等の野外活動」の順に高くなっている。

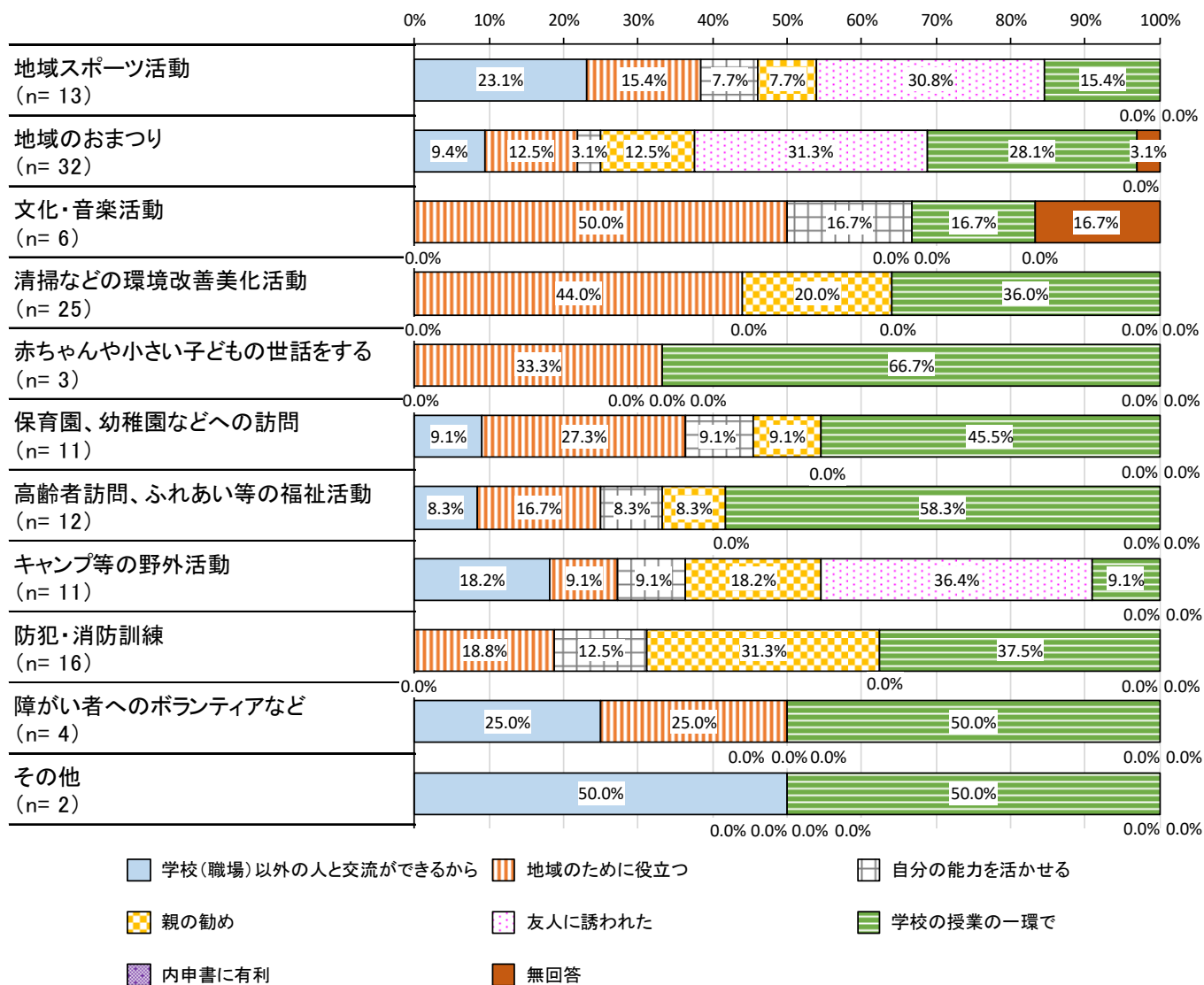


図 参加理由

問 9-2 不参加の理由（複数回答）

○地域活動やボランティア活動に不参加の理由は、「興味や関心がないから」が最も高く、次いで「面倒だから」、「そのような活動を知らなかったから」の順となっている。

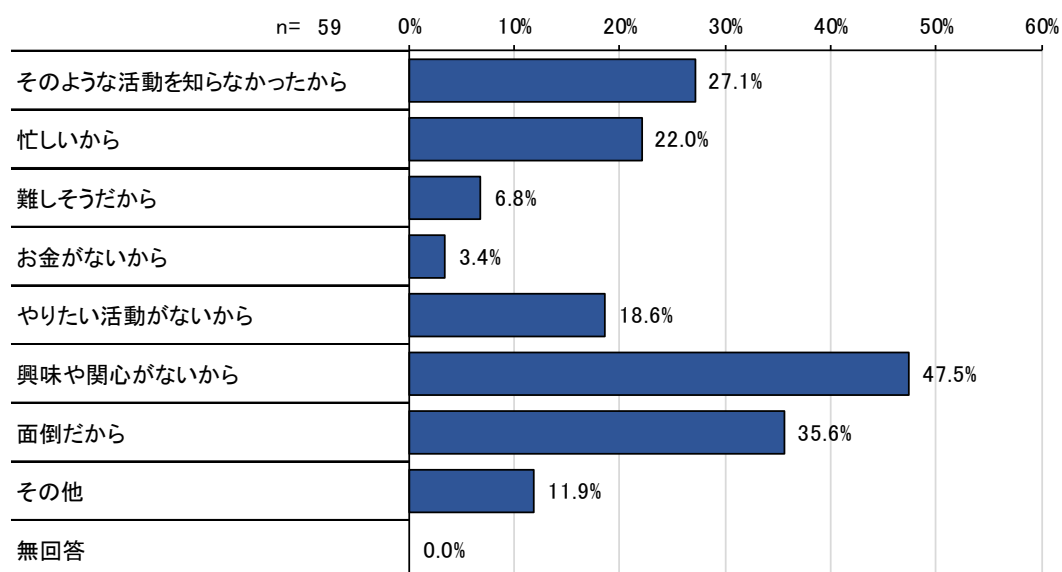


図 不参加の理由

7. 交友関係や悩みごと

問 11 交友関係のある友人の数

○交友関係のある友人の数は、「1～5人」が4割強を占め最も高く、次いで「5～10人」となっている。

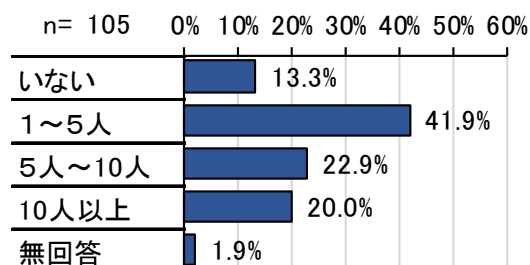


図 友人の数

問 12 人間関係（複数回答）

○人間関係は、「いずれのようなことはない」が6割近くを占める。そのほかの項目では「友達に合わせようとして疲れる」が1割台半ばを占め、次いで「先生と合わない」が続いている。

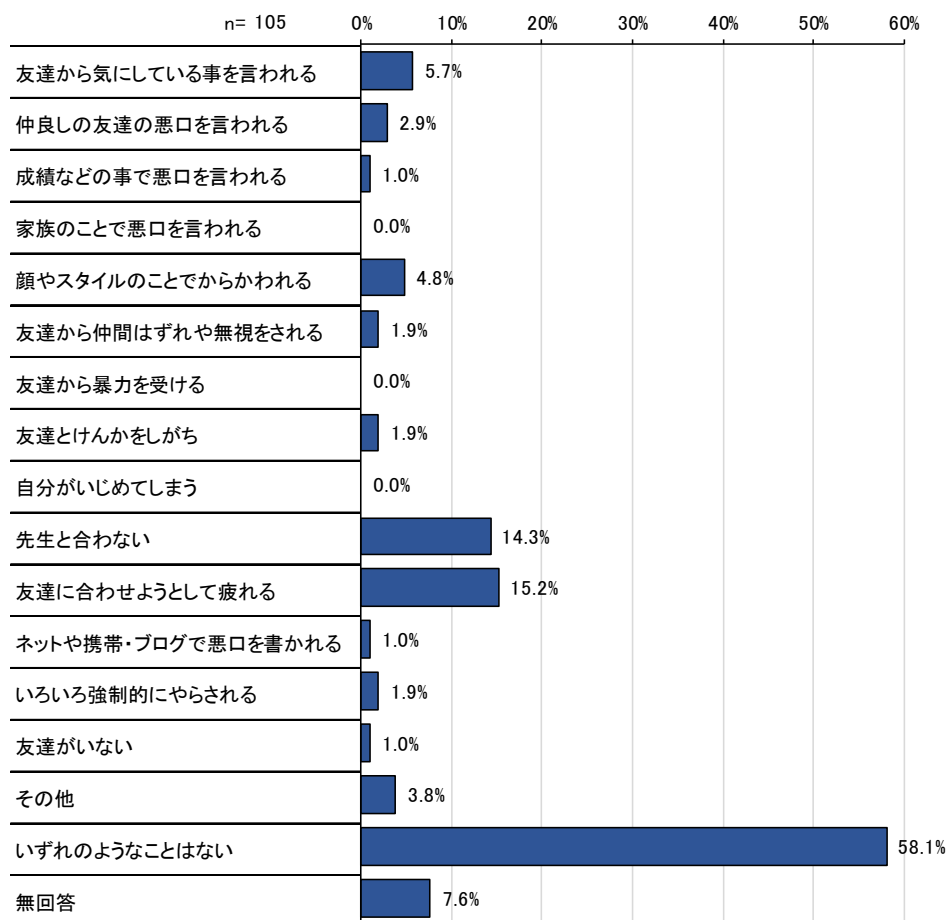


図 人間関係

問 13 悩みや心配事と進路や進学についての相談相手（複数回答）

○悩みや心配事は、「いずれの悩みもない」が4割強で最も高く、次いで「進路や進学のこと」が3割近くとなっている。

○進路や進学相談先は、「母親」が6割台半ば近くで最も高く、次いで「学校の先生」、「同性の友人」と続いている。

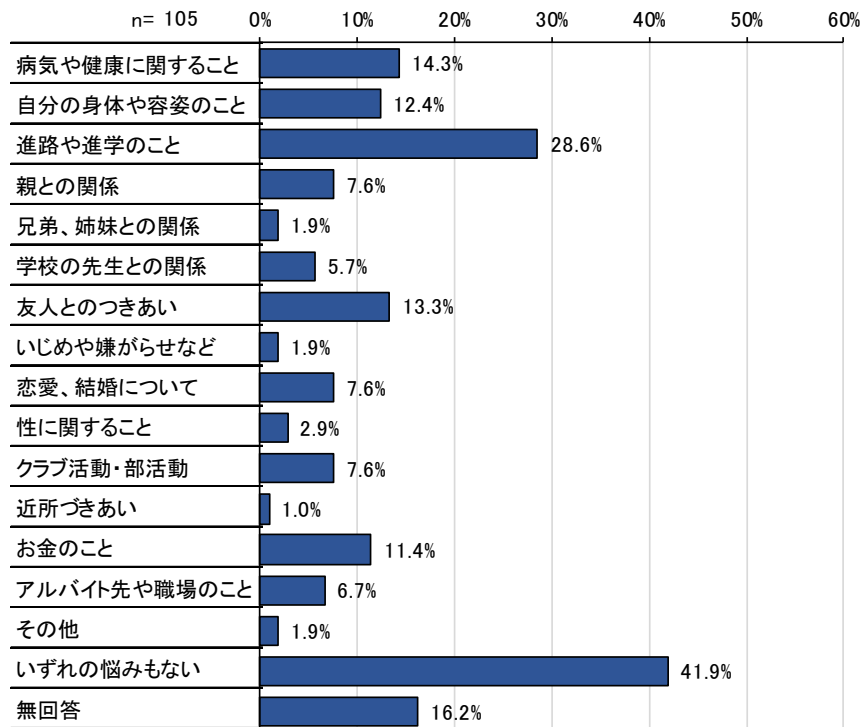


図 悩みや心配事

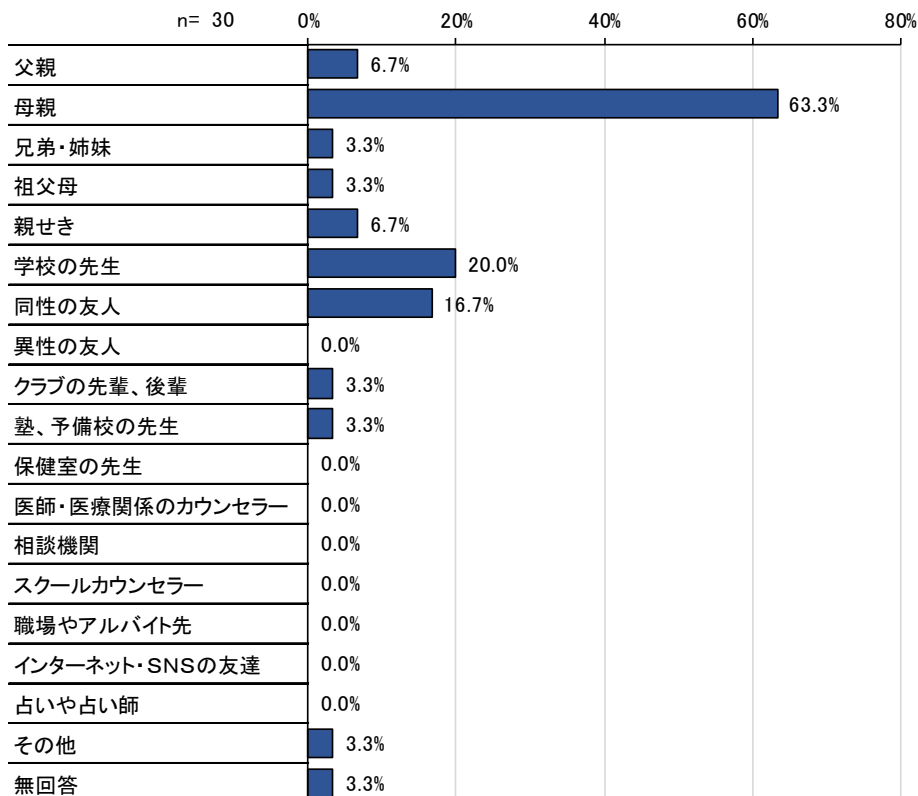


図 進路や進学についての相談相手

問 25 必要な文具や教材が買えないことの有無（複数回答）

○文具や教材が買えないことの有無は、「まったくない」が4割台半ばを超え最も高く、「ほとんどない」が3割台半ば近く、「ときどきある」が1割台半ばを超えている。

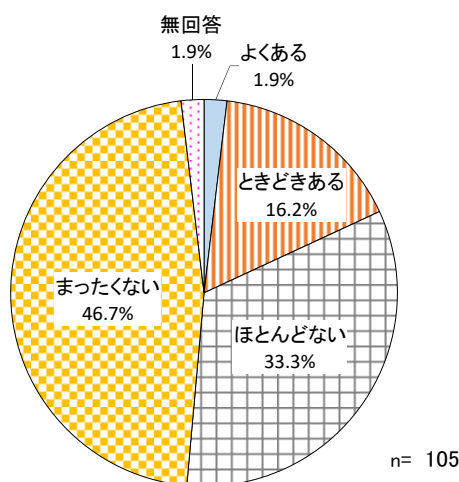


図 必要な文具や教材が買えないことの有無

8. スマートフォンやインターネットの利用

問 14 スマートフォン、パソコンなどの有無

問 14-1 使用しているインターネット機器（複数回答）

○スマートフォン、パソコンなどの有無は、「持っている」が9割台半ばを占め、最も高い。

○使用しているインターネット機器は、「携帯電話、スマートフォン」が9割台半ば近くを占め最も高く、次いで「ゲーム機、音楽プレイヤー」が3割台半ば近くとなっている。

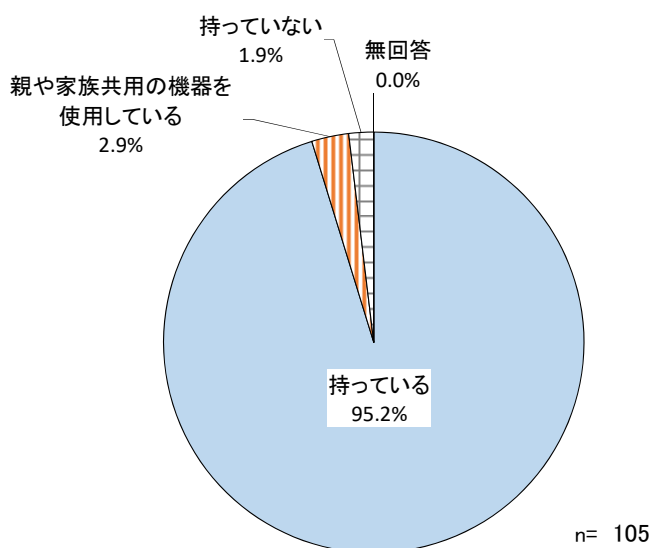


図 スマートフォンなどの有無

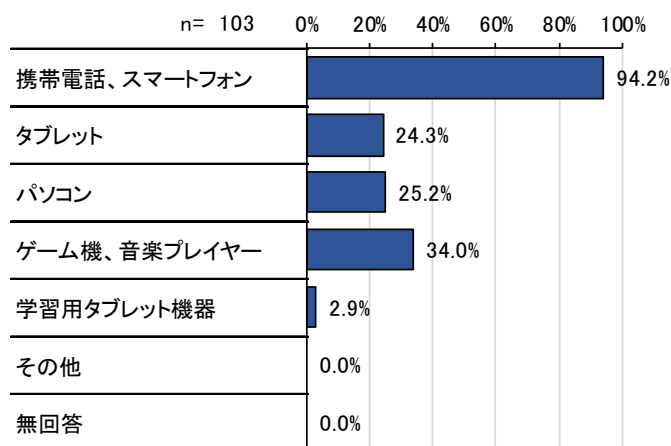


図 使用しているインターネット機器

問 14-2 インターネットの利用目的（複数回答）

○インターネットの利用目的は、「音楽や動画の視聴」が約8割で最も高く、次いで「LINE や Twitter などの SNS」が8割弱、「スマートフォンアプリでのゲーム」が6割強となっている。

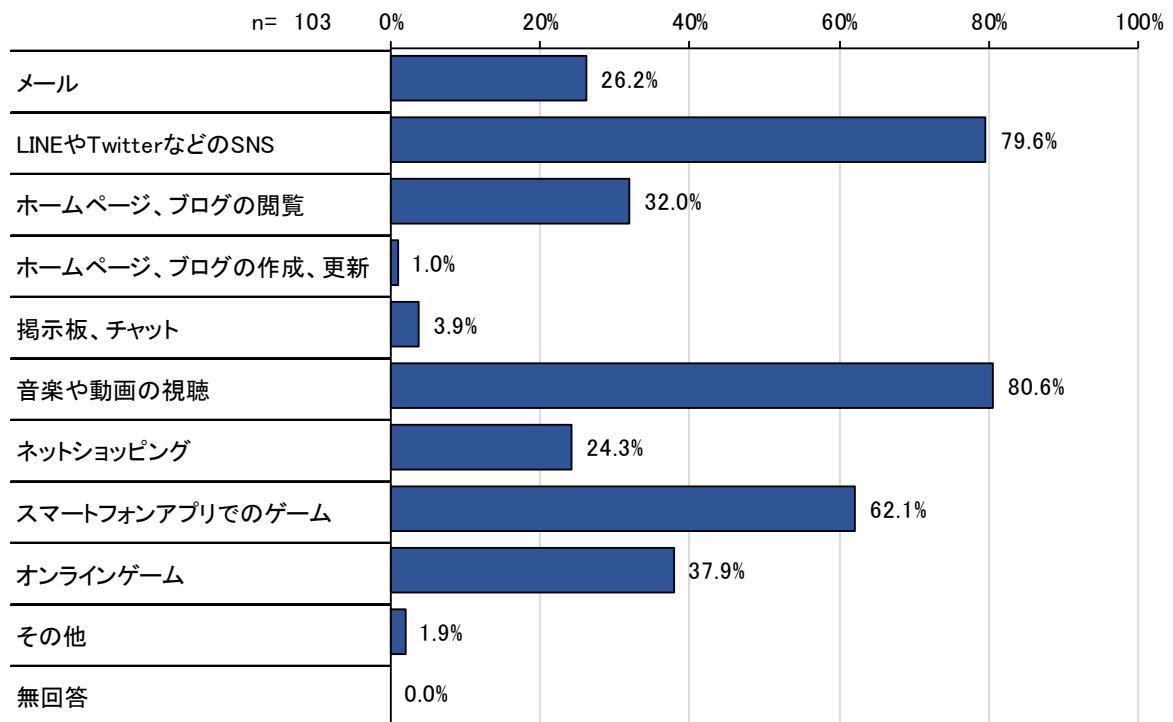


図 インターネットの利用目的

問 14-3 利用制限やフィルタリング機能使用の有無

○利用制限やフィルタリング機能使用の有無は、「使用している」が4割強と最も高く、次いで「使用していない」が約3割となっている。

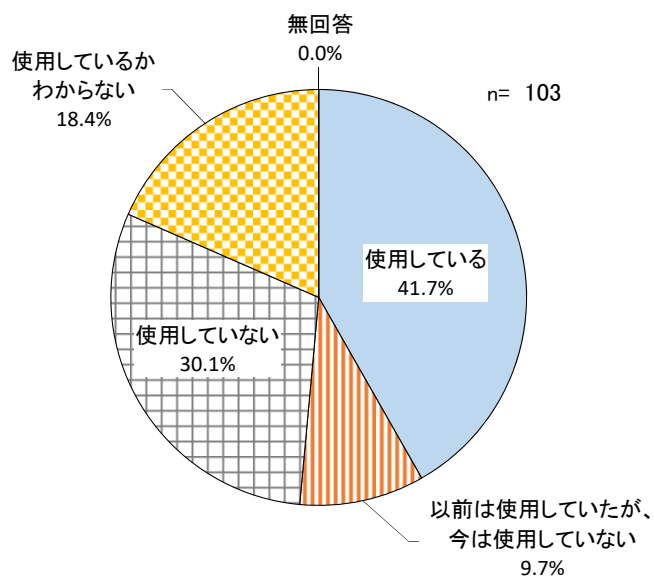


図 利用制限等の使用

問 14-4 インターネットでの買い物

○インターネットでの買い物については、「インターネットでは何も購入しない」が5割台半ば近くで最も高く、次いで「音楽やゲームなどを購入している」が2割弱、「洋服を購入している」が1割台半ばを超えている。

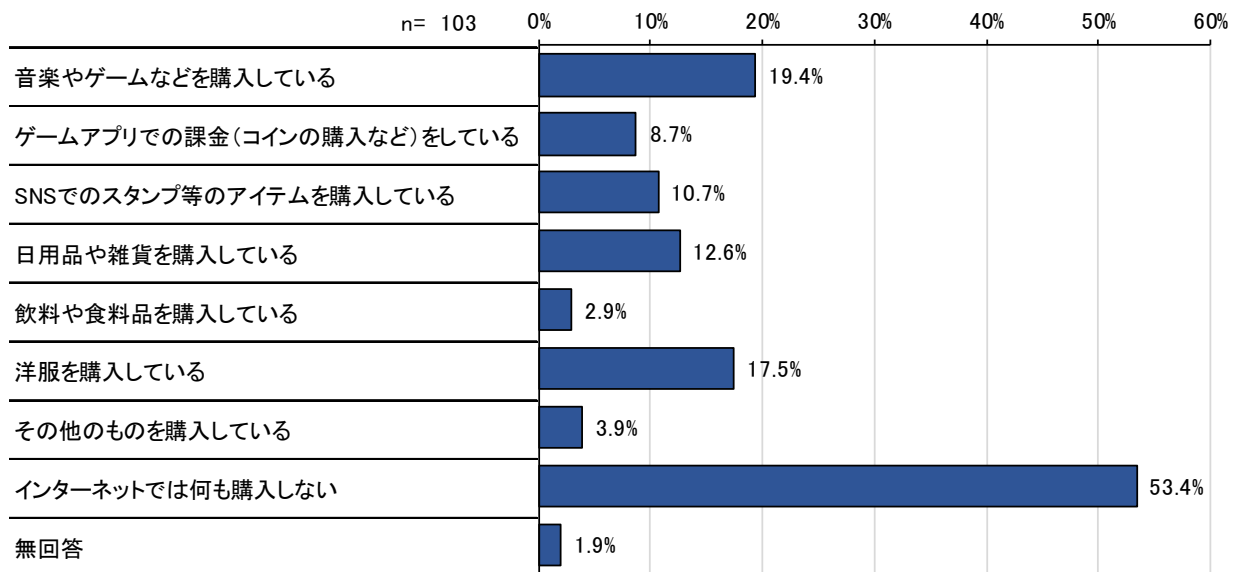


図 インターネットでの買い物

9. 情報の入手先

問 26 情報の入手先

○情報の入手先は、「よく利用する」は「インターネット（携帯を含む）」で7割強と最も高く、次いで「テレビ・ラジオ」が5割台半ば近く、「親」は3割台半ば近くとなっている。

○「まったく利用しない」は「新聞」、「塾、予備校などの先生」でともに6割台半ばを超え、次いで「週刊誌、雑誌」、「その他の親族」の順となっている。

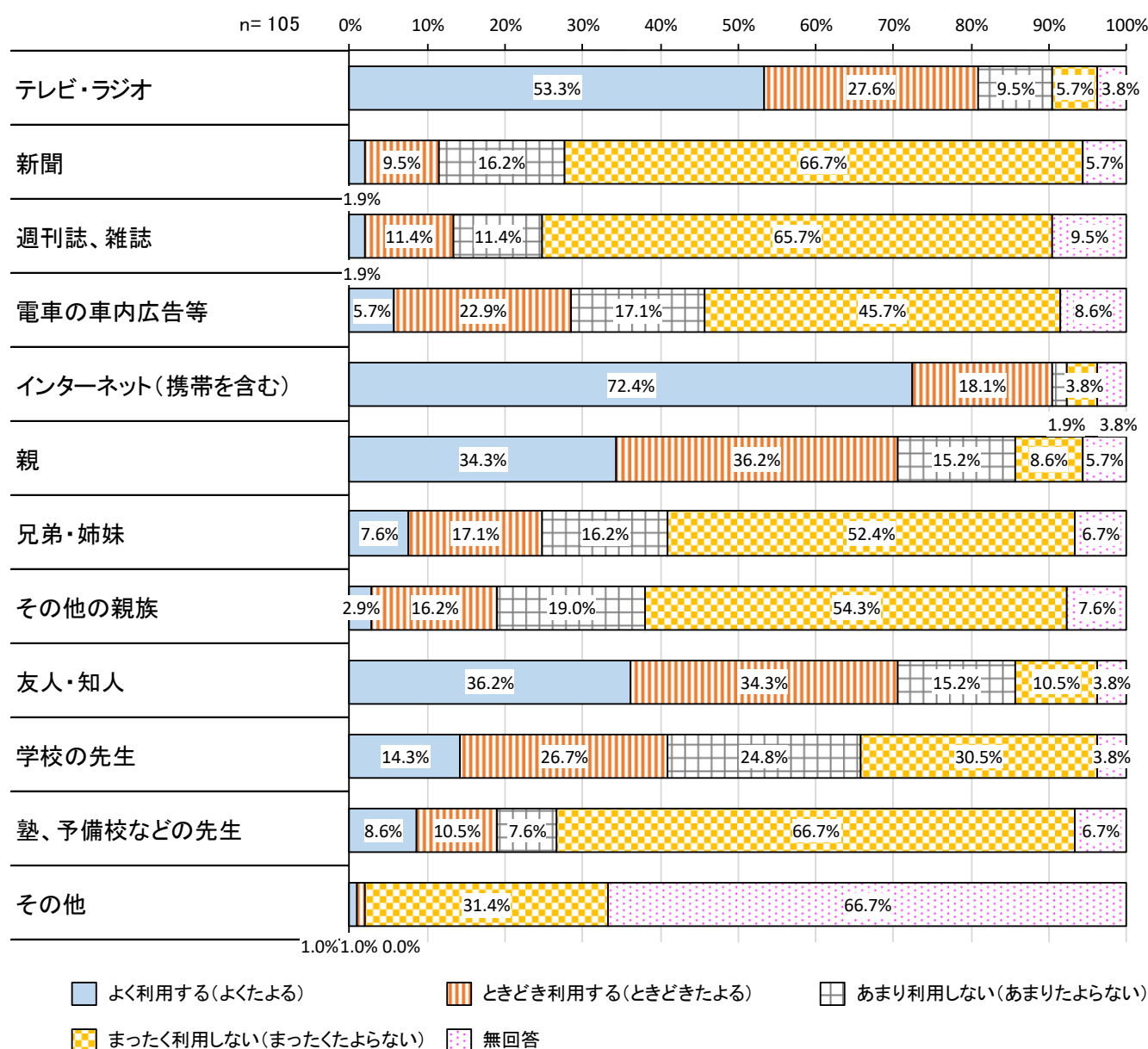


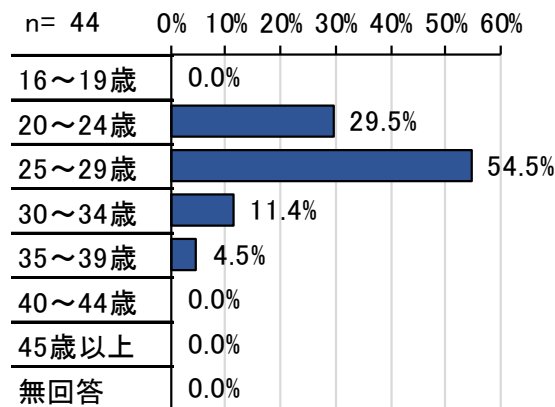
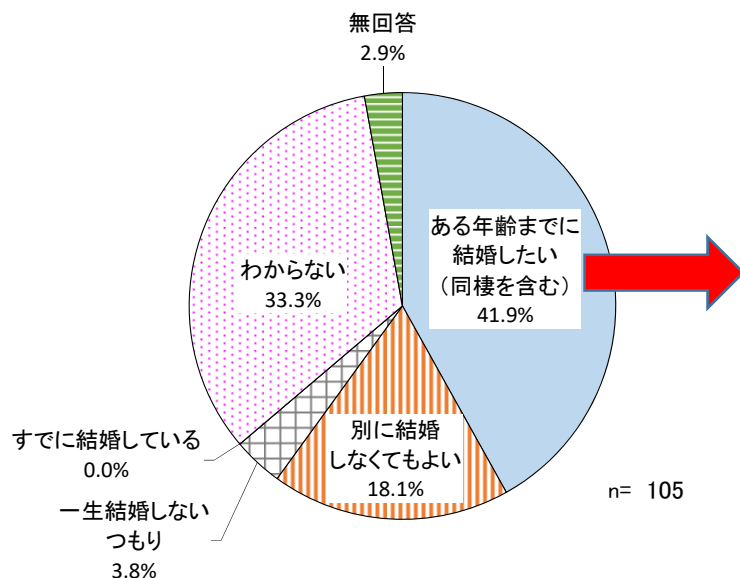
図 情報の入手先

10. 結婚や子育ての意見

問 15 結婚について

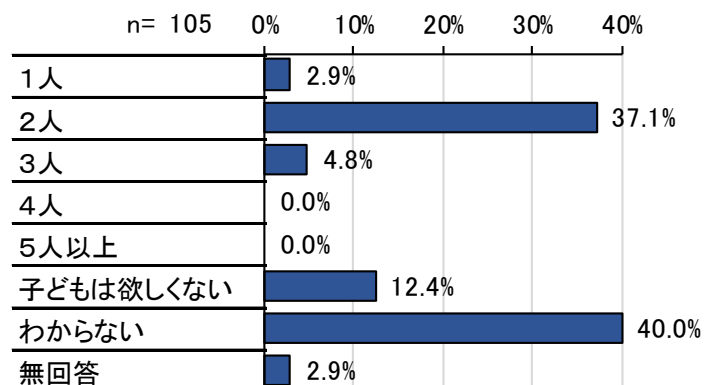
問 15-1 自身が結婚したいと思う年齢

- 結婚については、「ある年齢までに結婚したい」が4割強で最も高い。
 ○「別に結婚しなくてもよい」と「一生結婚しないつもり」の合計は21.9%となっている。
 ○結婚したいと思う年齢については、「25～29歳」が5割台半ば近くを占め、最も高い。



問 16 将来の子ども的人数

- 将来の子ども的人数は、「2人」が3割台半ばを超えており、「わからない」が4割、「子どもは欲しくない」は1割強となっている。



問 17 仕事と子育ての両立についての将来の不安

○仕事と子育ての両立についての将来の不安については、「わからない」が4割弱を占め、最も高く、次いで「不安を感じる」が2割強、「少し不安に思う」が2割弱となっている。

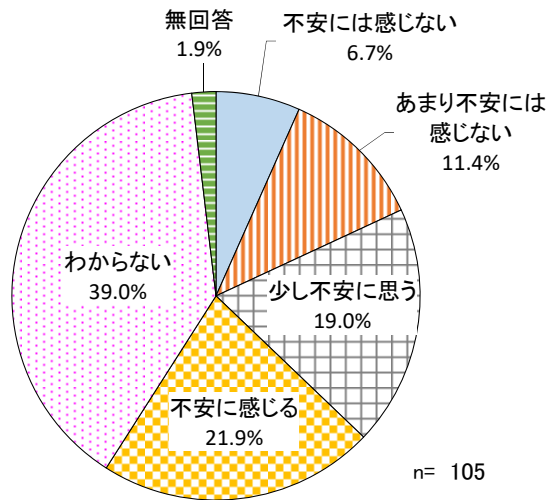


図 仕事と子育ての両立についての不安

問 18 赤ちゃんや子どもの世話の経験（複数回答）

○赤ちゃんや子どもの世話の経験は「そのような経験はない」が最も高く、次いで「親戚の子どもの世話をしたり遊んだことがある」、「授業の一環として保育園、幼稚園を訪問したことがある」が続いている。

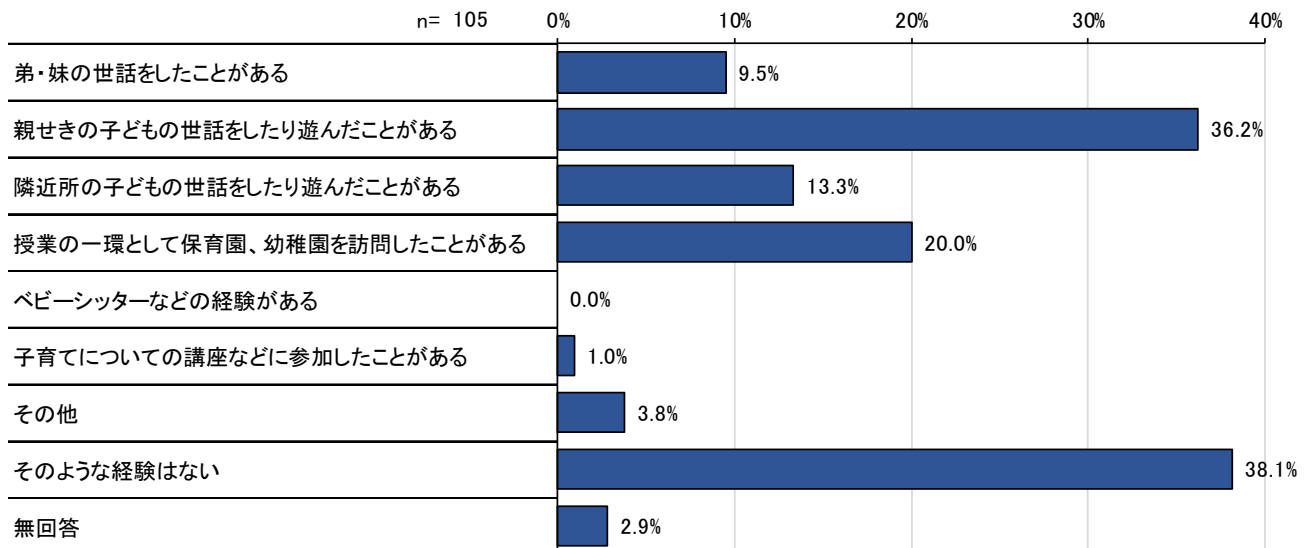


図 赤ちゃんや子どもの世話の経験

11. 生きがいや将来

問 19 進路予想

○今後の進路は、「大学に進みたい」が4割台半ば近くと最も高く、次いで「高等学校に進みたい」が2割強となっている。一方「未定である」が1割台半ば近くとなっている。

○進学を希望する回答の合計は78.2%、就職の合計は4.8%となっている。

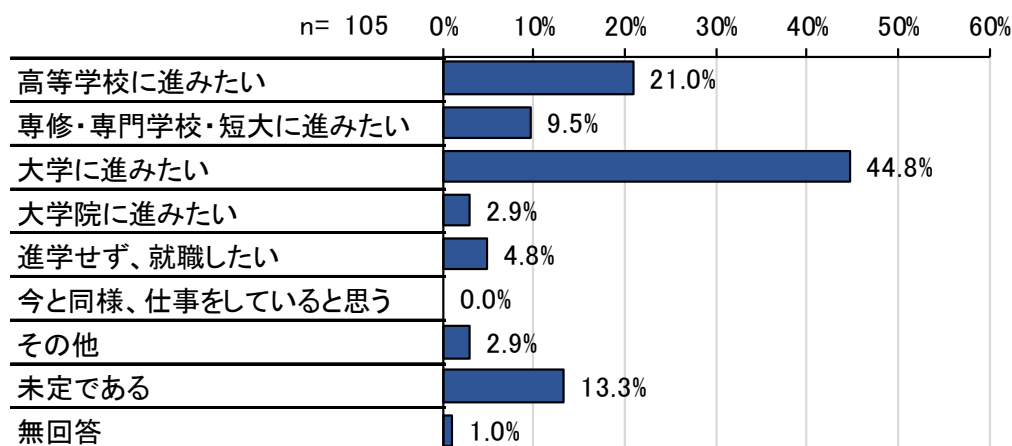


図 進路予想

問 20 予想した進路に進むことが難しい理由（複数回答）

○予想した進路に進むことが難しい理由は、「学力に課題がある」が5割台半ばを超え最も高く、次いで「経済的な理由」が3割弱を占めている。

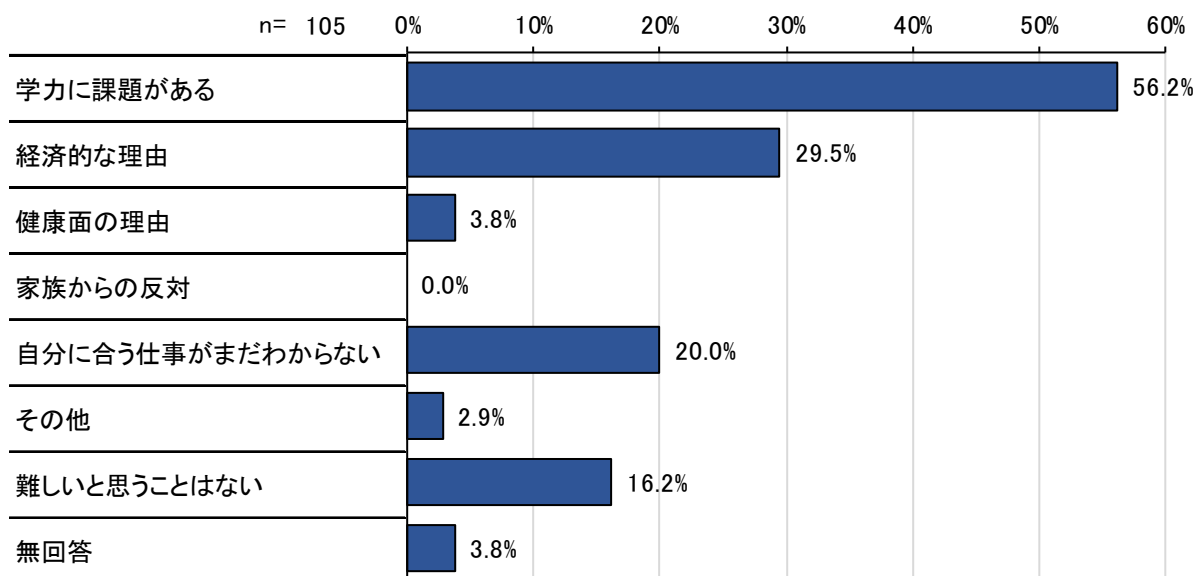


図 予想した進路に進むことが難しい理由

問 21 将来の夢の有無

○将来の夢の有無は、「ある」が最も高く、次いで「はっきりとしてはいないがある」となっている。
 ○「ある」と「はっきりとしてはいないがある」を合計すると 61.9%となっている。

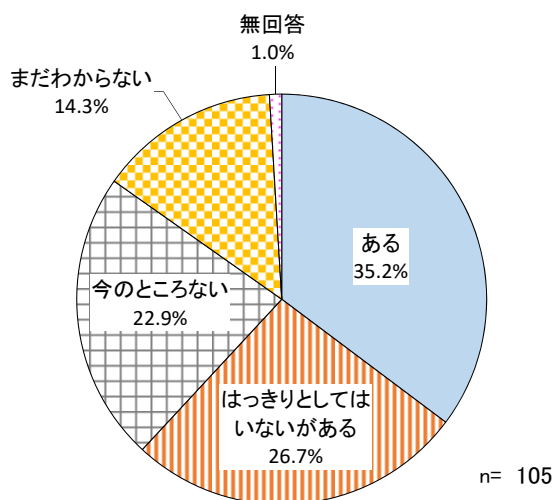


図 将来の夢の有無

問 21-1 将来の夢（複数回答）

○将来の夢については、「自分の好きなことを仕事にする」が6割台半ばを超え最も高く、次いで「安定した毎日を送る」、「趣味を充実させて生きる」、「社会や人の役に立つ仕事をする」の順に続いている。

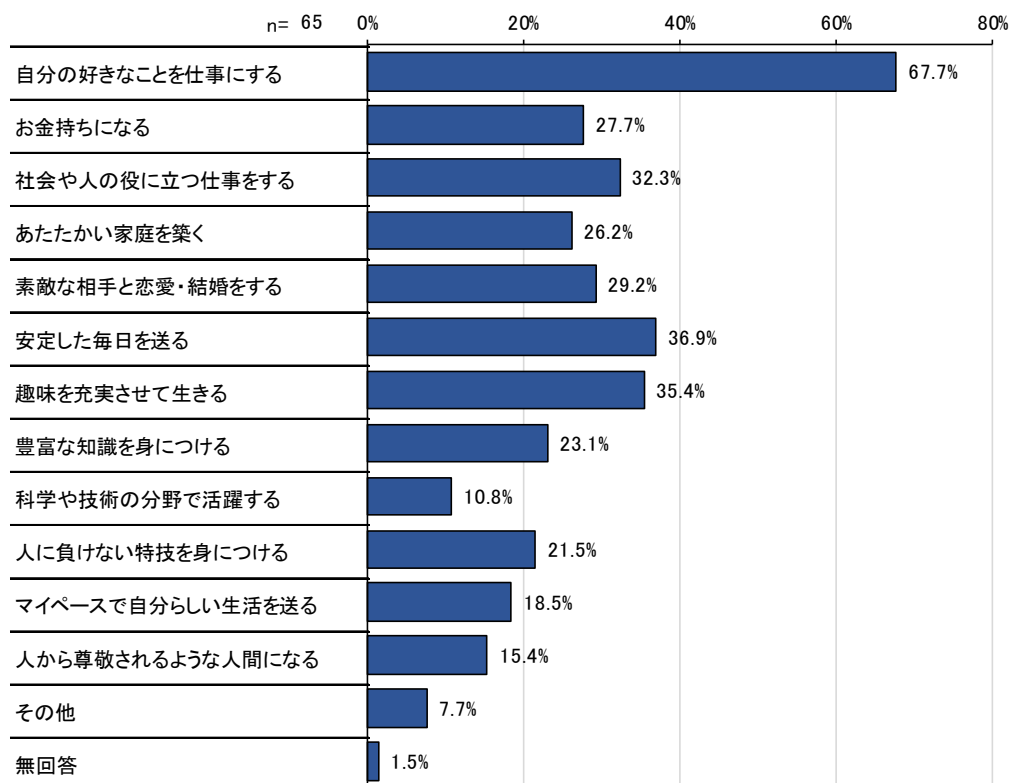


図 将来の夢

問 22 熱中していること（複数回答）

○熱中していることは、「趣味・習い事」が4割近く、「部活動」が2割となっている。一方、「特にない」が3割弱となっている。

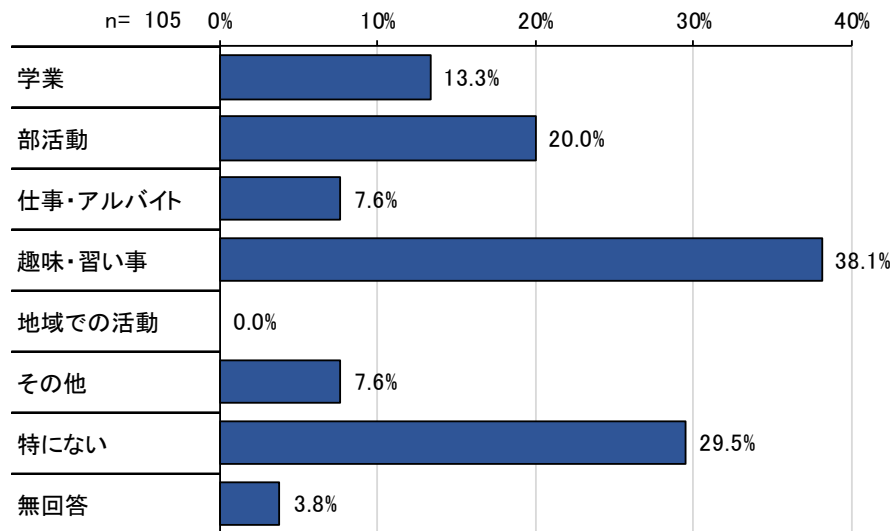


図 熱中していること

問 23 将来親と同居・近居したいか

○将来親と同居・近居したいかについては、「思う」、「少し思う」の合計は 40.9%、「あまり思わない」、「まったく思わない」の合計は 37.1%となっている。

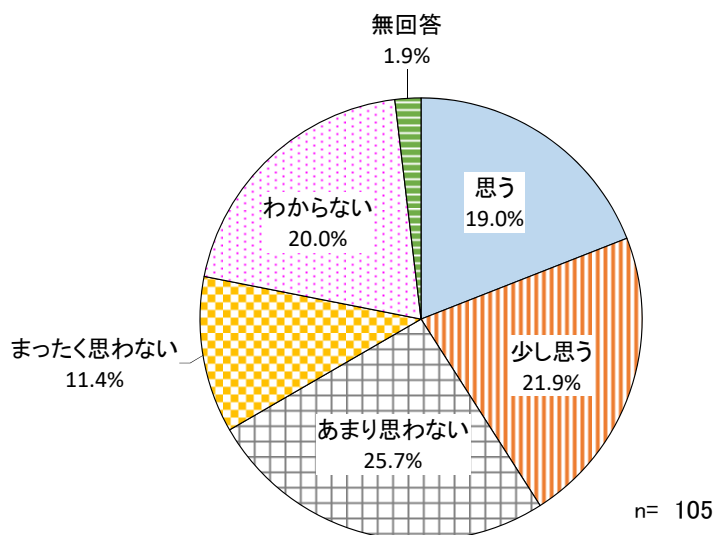


図 将来親と同居・近居したいか

問 24 多摩市に住み続けたいと思うか

○多摩市に住み続けたいと思うかどうかは、「思う」、「少し思う」の合計は 40.0%、「あまり思わない」、「まったく思わない」の合計は 28.5%となっている。

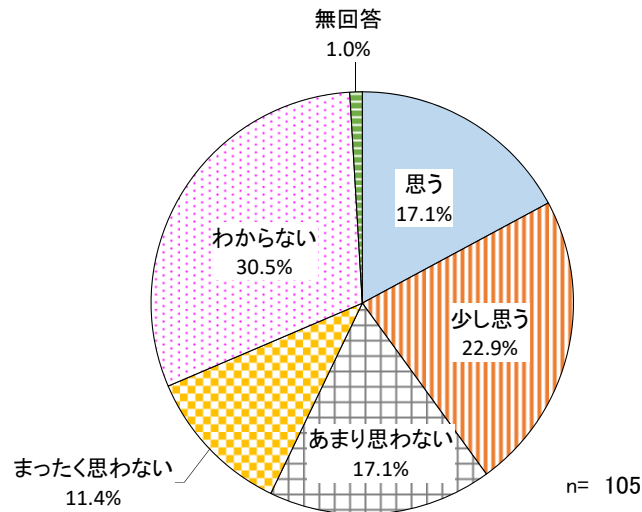


図 多摩市に住み続けたいと思うか

問 24-1 多摩市に住み続けたい理由

問 24-2 多摩市に住み続けたいと思わない理由

○多摩市に住み続けたい理由は、「生活環境が良いから」が6割台半ば近くで最も高く、次いで「多摩市に愛着があるから」が5割台半ば近くとなっている。

○多摩市に住み続けたいと思わない理由は、「都心へのアクセスが良くないから」が5割で最も高く、次いで「多摩市に愛着をもっていないから」が4割台半ばを超えている。

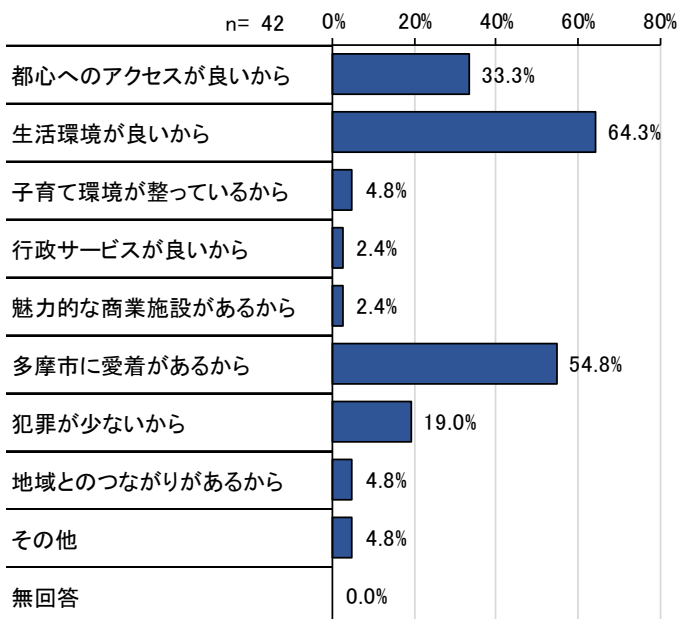


図 多摩市に住み続けたい理由

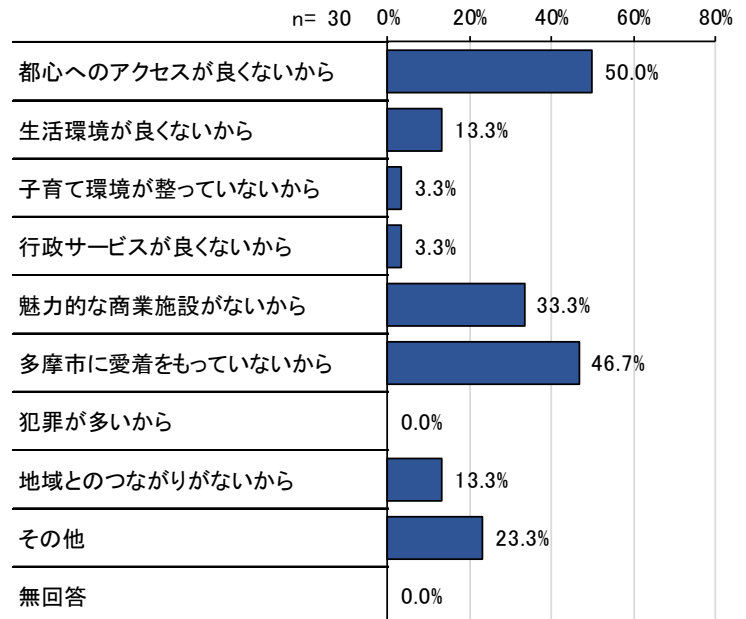


図 多摩市に住み続けたいと思わない理由

12. 市への意見や要望

問 27 まちづくりへの参加意向

○まちづくりへの参加意向は、「あまり参加したいと思わない」が3割台半ば近くで最も高く、次いで「参加したくない」が2割台半ば近く、「友人などと一緒にであれば参加したい」が2割となっている。

○参加に肯定的な意見の合計は40.0%で、否定的な意見は57.1%となっている。

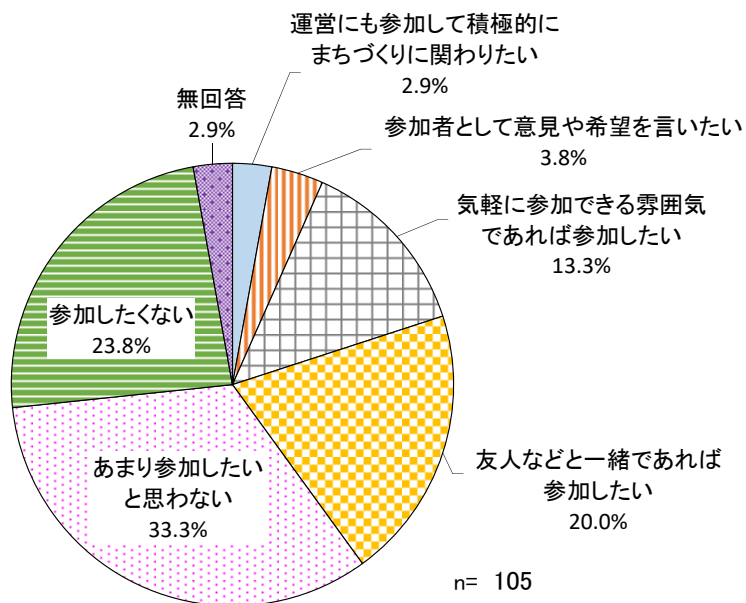


図 まちづくりへの参加意向

13. 生活への意識

問 10 生活への意識

- 生活への意識は、「薬物の危険性を理解している」、「大人になっても喫煙はしないつもりである」、「避妊には気をつけていきたい」では8割以上が「あてはまる」と答えている。
- 「インターネット・携帯サイトで加害者、被害者になったことがある」では8割以上、「夜更かししないように心がけている」では2割以上、「食事の栄養バランスには、常に気を配っている」、「いつも食事を楽しみにしている」では1割以上で「あてはまらない」と答えている。

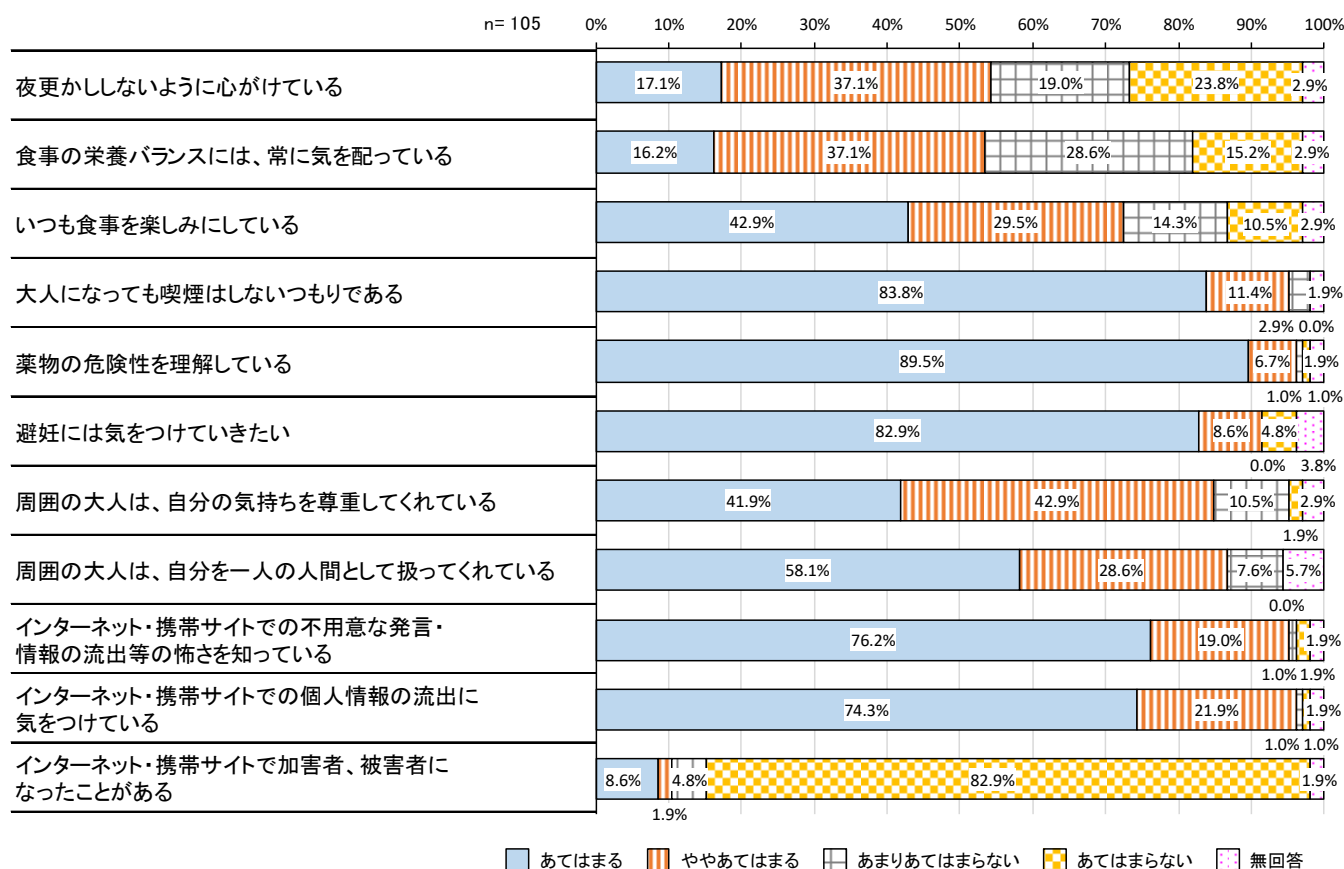


図 生活への意識

第6章 若者の意識・生活に関する調査結果

1. 回答者の属性

問10 回答者の年齢 問11 性別

○回答者の年齢は調査時点（平成30年10月時点）で15歳から39歳、性別は女性が男性を上回る。

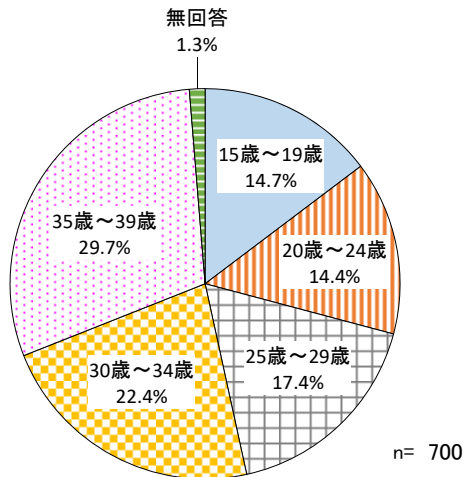


図 回答者の年齢

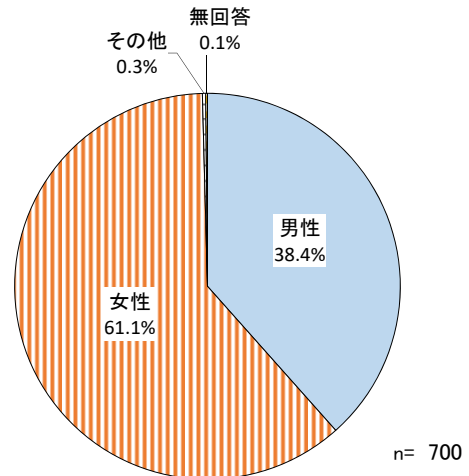


図 性別

問12 最終学歴

○回答者の最終学歴は、「4年生大学・大学院（卒業）」が3割強を占める。

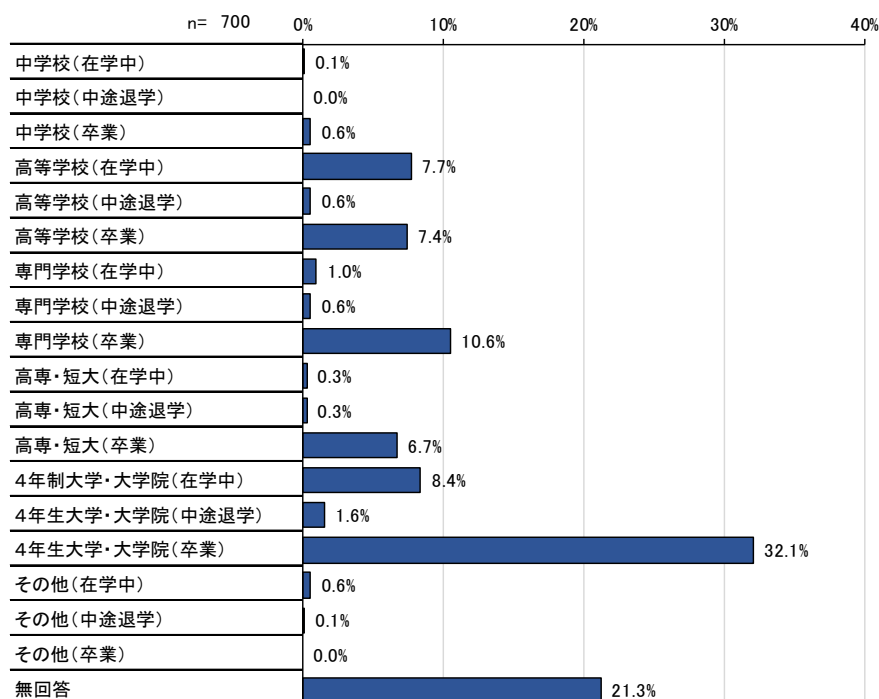


図 最終学歴

2. 家族の状況等

問 13 同居家族（複数回答）

○同居している家族は「配偶者またはそれに準じる」が最も高く、次いで「母親」、「父親」、「ご自身のお子さん」と続いている。

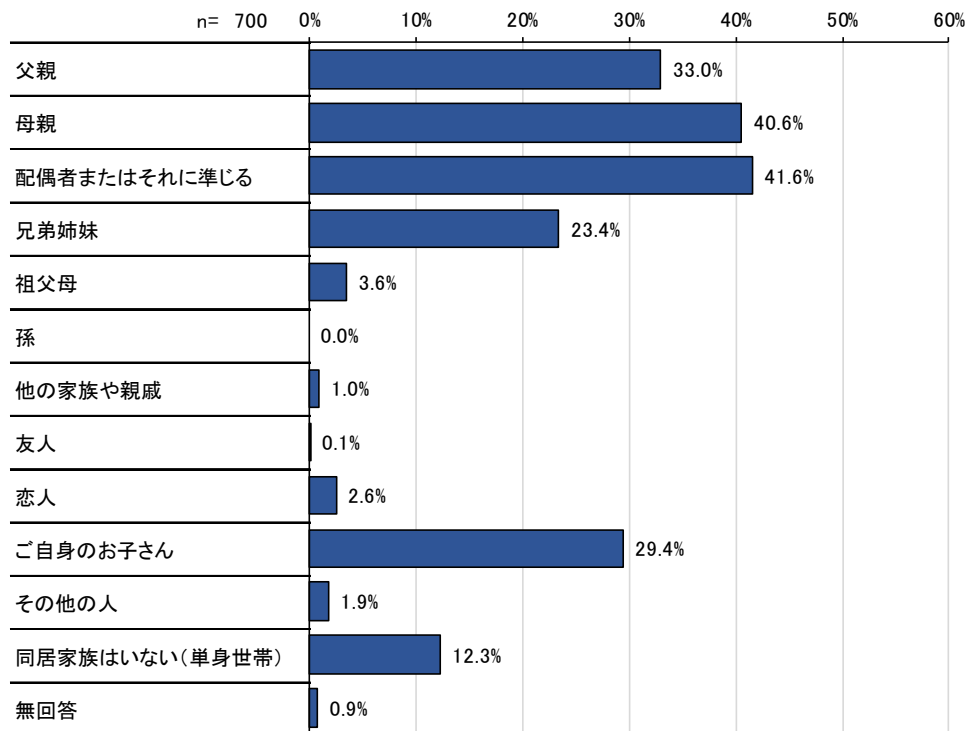


図 同居家族

問 14 結婚しているか

○結婚しているかについては、「結婚していない」が5割台半ばを超えている。

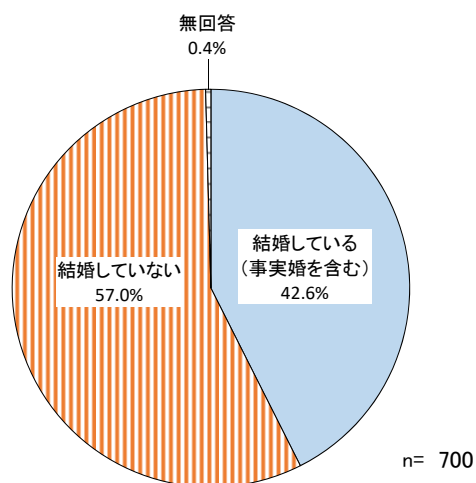


図 結婚しているか

問 15 居住地区

○回答者の住まいの地区は「落合、鶴牧、南野地区」が1割台半ばを超えている。

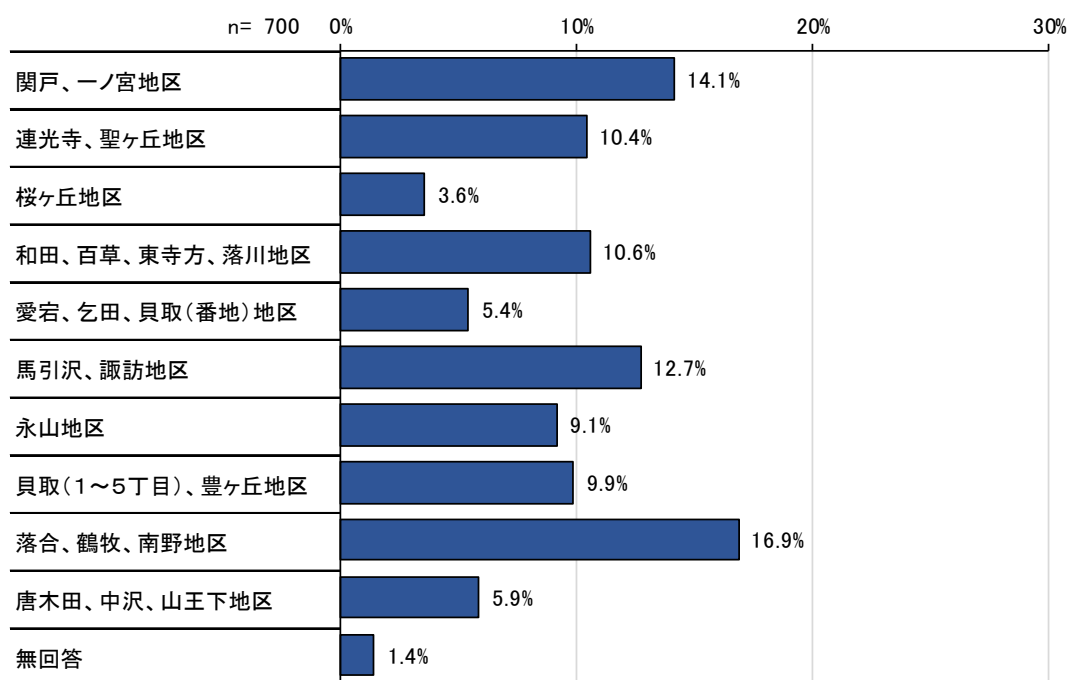


図 居住地区

3. 人との関わりや居場所

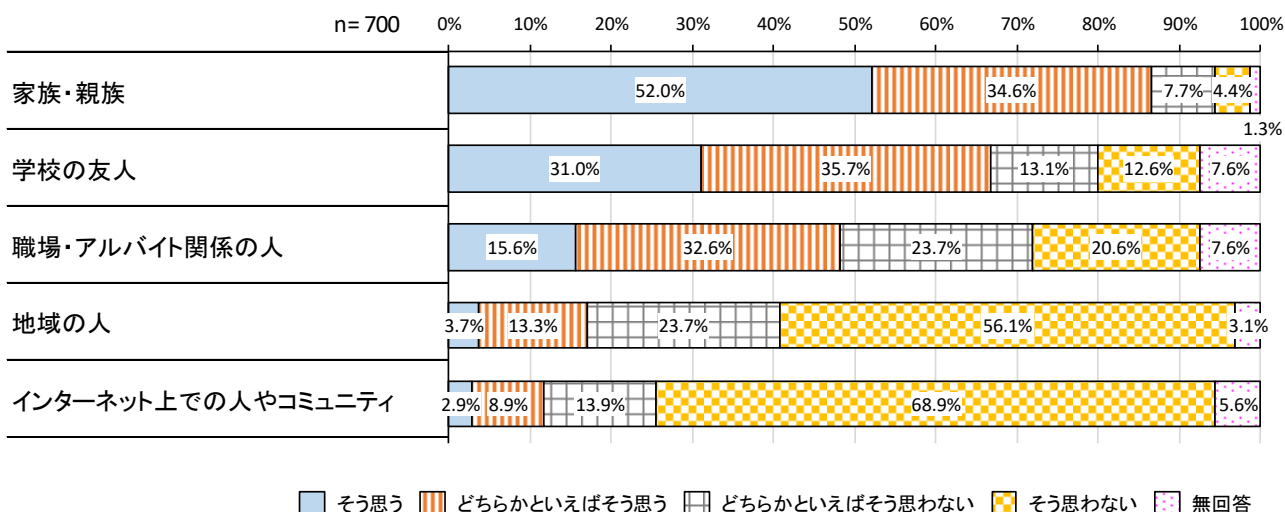
問1 人との関わり

○人との関わりについては、ア～エ全ての項目において、「そう思う」は「家族・親族」が最も高く、次いで「学校の友人」となっている。「そう思わない」は「インターネット上での人やコミュニティ」が最も高く、次いで「地域の人」となっている。

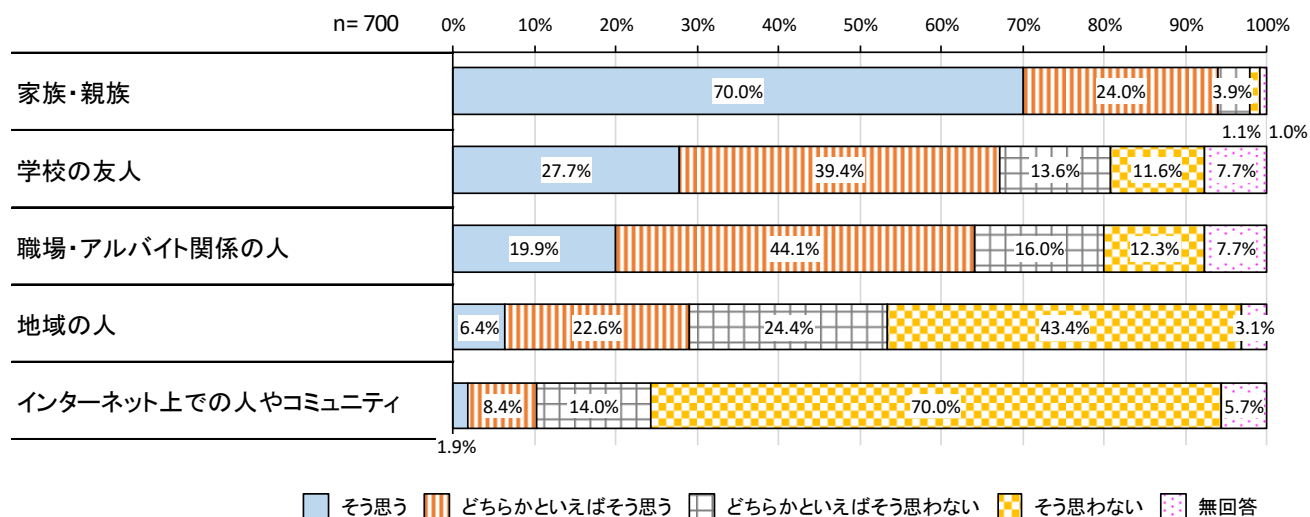
○人との関わりにおいて、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計値が最も高い項目は、「家族・親族」、「学校の友人」、「職場・アルバイト関係の人」、「地域の人」では「困ったときは助けてくれる」、「インターネット上での人やコミュニティ」では「他の人には言えない本音を話せることがある」となっている。

○「どちらかと言えばそう思わない」、「そう思わない」の合計値が最も高い項目は、「家族・親族」と「地域の人」では「他の人には言えない本音を話せることがある」、「学校の友人」、「職場・アルバイト関係の人」、「インターネット上の人やコミュニティ」では「強いつながりを感じている」となっている。

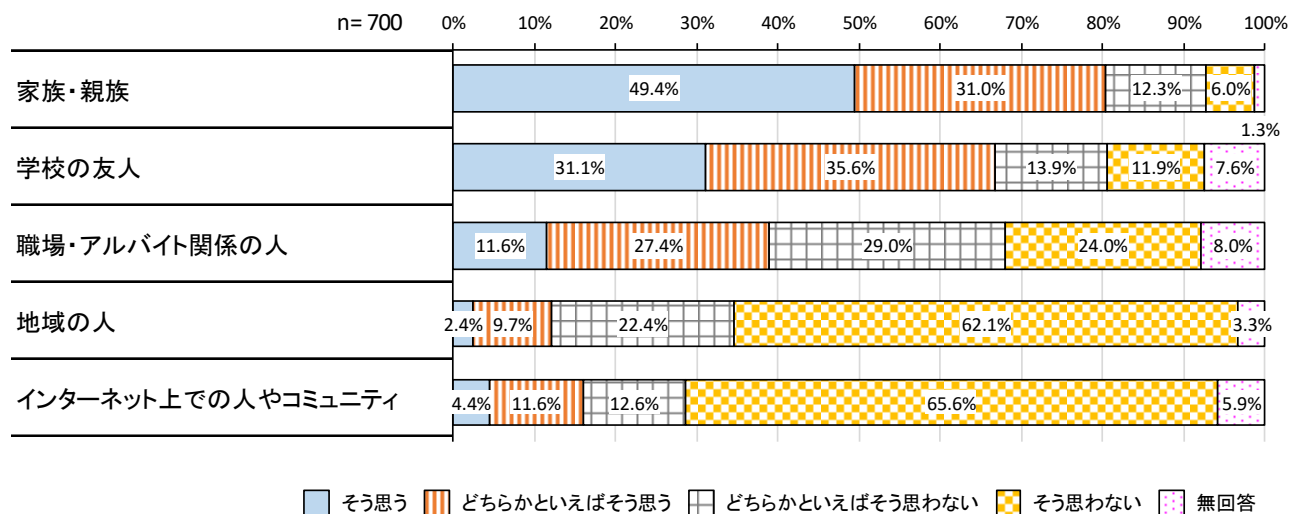
ア 何でも悩みを相談できる人がある



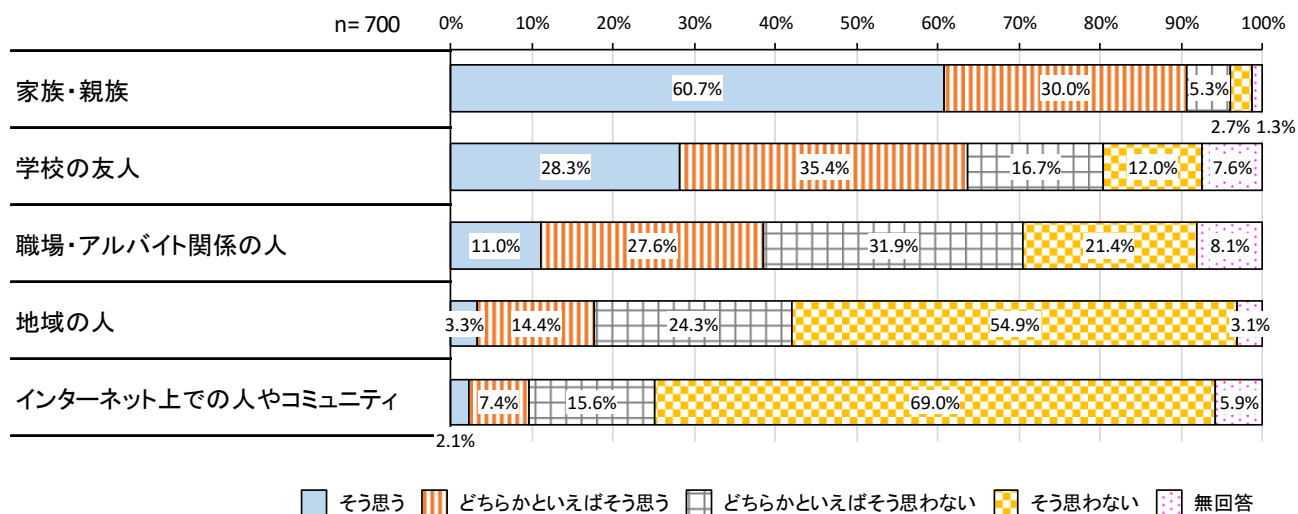
イ 困ったときは助けてくれる



ウ 他の人には言えない本音を話せることがある



エ 強いつながりを感じている



問2 居場所と感ずる場所（複数回答）

○居場所と感ずる場所は、「自分の部屋」が7割強と最も高く、次いで「家族が集まる部屋」、「自宅の風呂などの部屋以外の場所」、「職場・アルバイト先」と続いている。

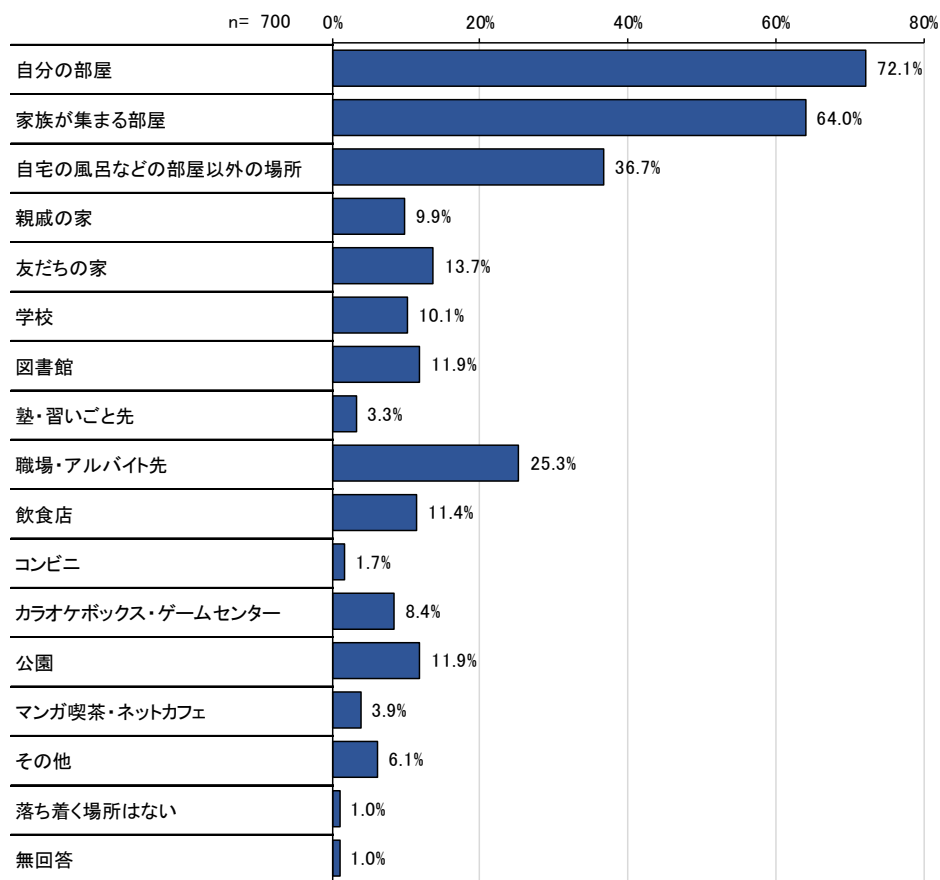


図 居場所と感ずる場所

4. 就労や外出の状況

問3 就労状況・就労形態

○就労形態は、「正社員」が4割台半ばを占めている。

○「失業中」と「無職」の合計は3.4%となっている。

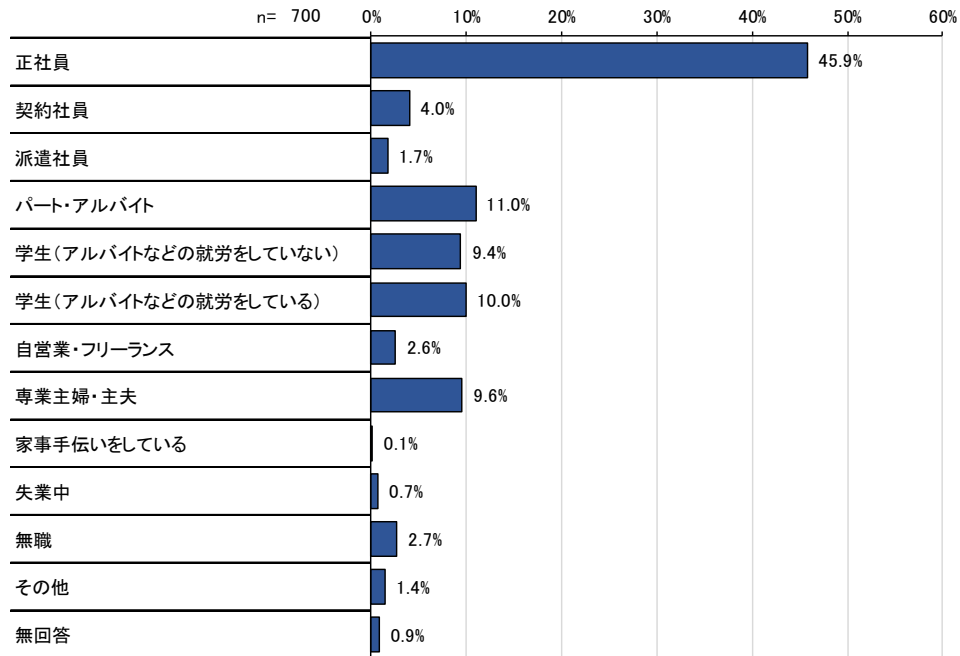


図 就労状況・就労形態

問3-1 失業中・無職の方の就労経験

○失業中・無職の方の就労経験は、「正社員として働いていた」と「パート・アルバイトとして働いていた」が各3割弱、「働いていたことはない」は2割台半ばを超えている。

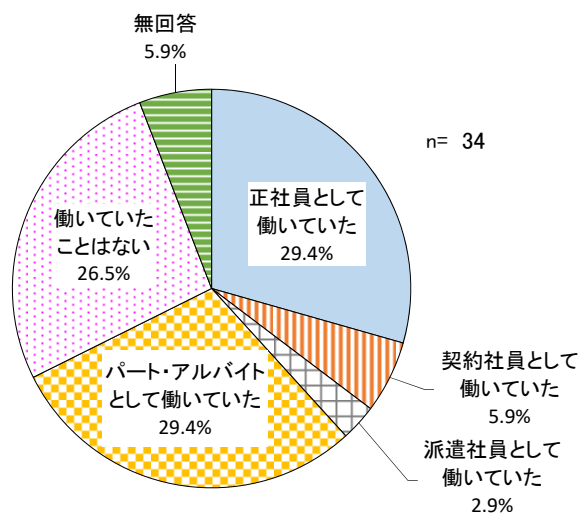


図 失業中・無職の方の就労経験

問 3-2 失業中・無職の方の就労希望・就労を希望しない理由（複数回答）

○就労希望については「就労希望がある」が5割強、「就労希望はない」が3割台半ばとなる。
○就労を希望しない理由は、「健康上の理由」が6割台半ばを超え最も高く、次いで「自分に合った仕事が見つからない」が3割台半ば近くとなっている。

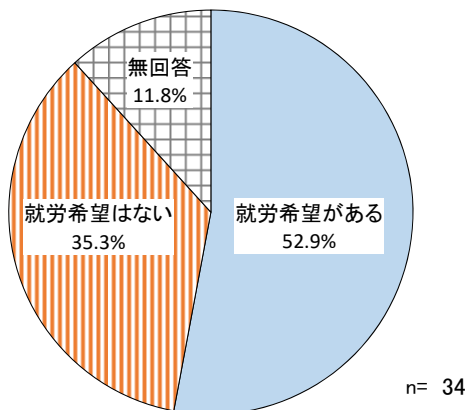


図 失業中・無職の方の就労希望経験

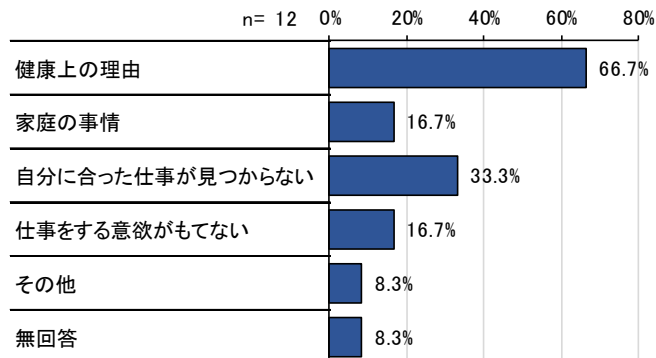


図 失業中・無職の方の就労を希望しない理由

問 4 外出頻度

問 4-1 外出の目的（複数回答）

○外出頻度は、「週5日以上」が8割台半ばを占める。
○外出の目的は、「仕事」が7割弱と最も高く、次いで「遊び」が6割近くとなる。

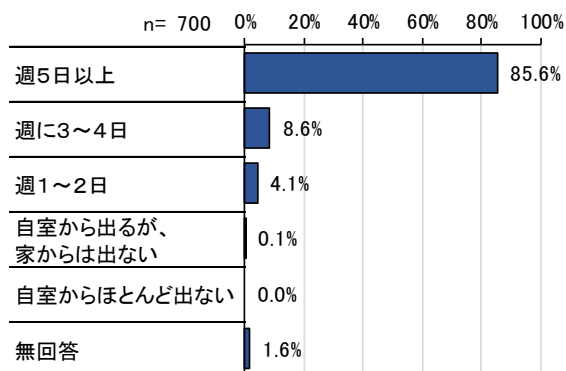


図 外出頻度

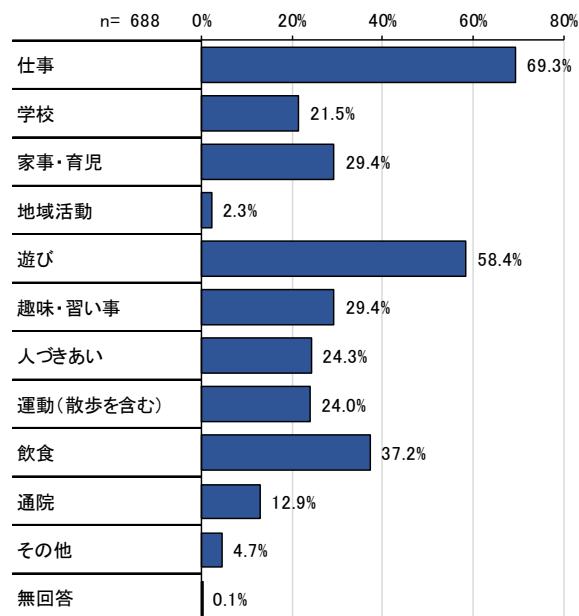


図 外出の目的

問 4-2 外出時のコミュニケーション頻度

- 外出時のコミュニケーション頻度については、「よくとる」が最も高く、次いで「ときどきとる」となっている。
- 「ほとんどとらない」と「まったくとらない」の合計は9.2%となっている。

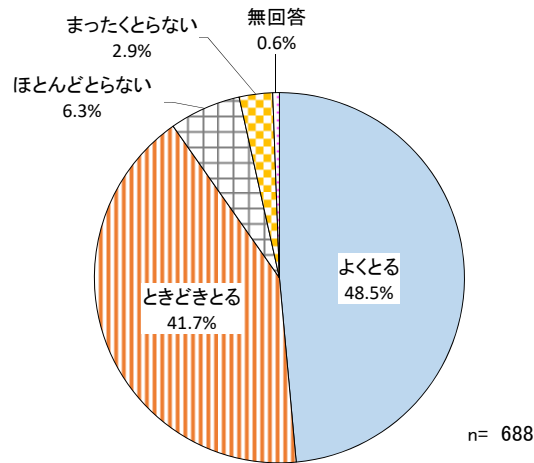


図 外出時のコミュニケーション頻度

問 4-3 家から出ない・他者と交流をとらなくなった時期 問 4-4 期間

- 家から出ない・他者と交流をとらなくなった時期は、「21～25歳」が3割弱を占め、最も高い。
- 期間については、「7年以上」が5割台半ば近くを占め、最も高い。

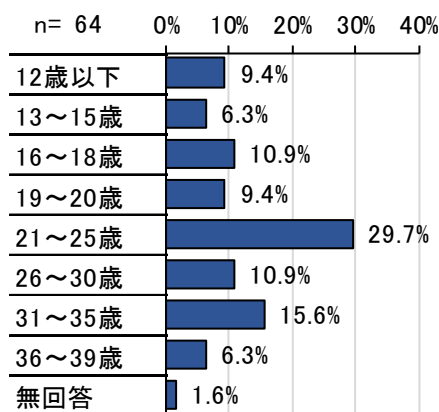


図 家から出ない・他者と交流をとらなくなった時期

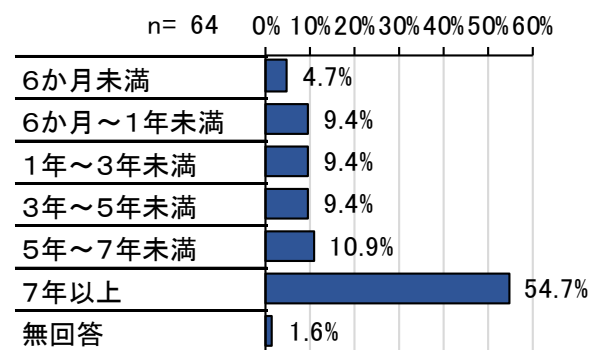


図 期間

問 4-5 家から出ない・他者と交流をとらなくなったきっかけ

○家から出ない・他者と交流をとらなくなったきっかけは、「その他」が3割強で最も高く、次いで「子育て」、「人間関係がうまくいかなかった」、「特に理由はない」と続いている。

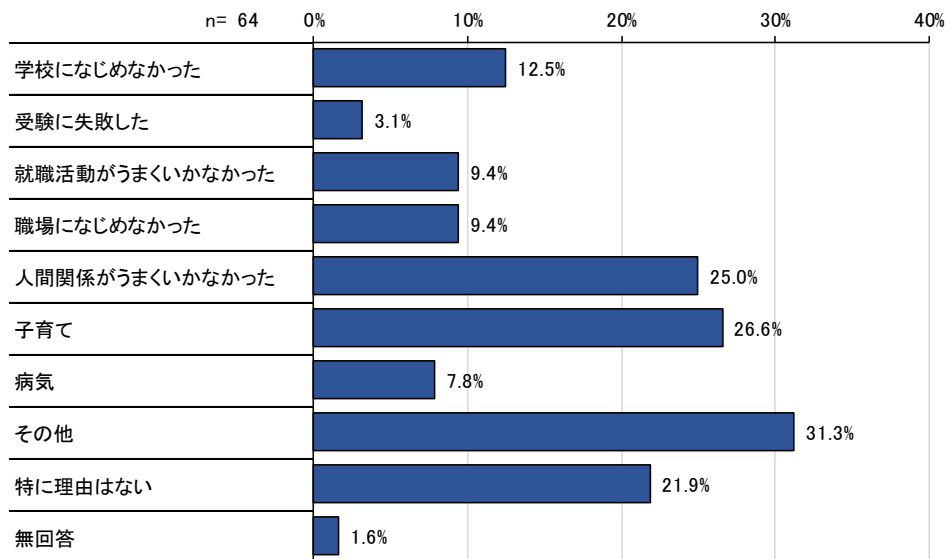


図 家から出ない・他者と交流をとらなくなったきっかけ

問 4-6 関係機関への相談の有無

問 4-7 相談するのに適切と思う相談機関

○家から出ない・他者と交流をとらなくなったことに関しての関係機関への相談の有無は、「ない」が8割近くを占めている。

○相談するのに適切と思う相談機関については、「無料で相談できる」が最も高く、次いで「親身に話をきいてくれる」となっている。

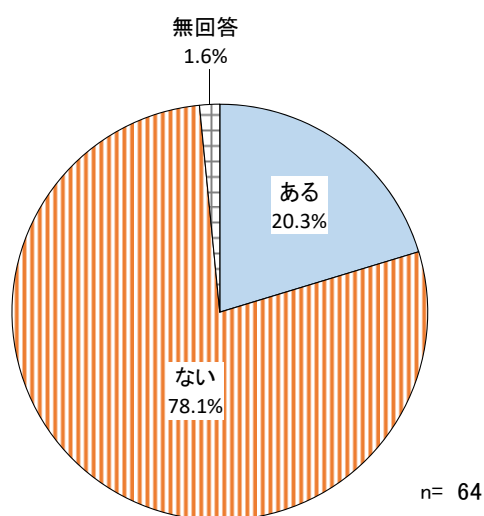


図 関係機関への相談の有無

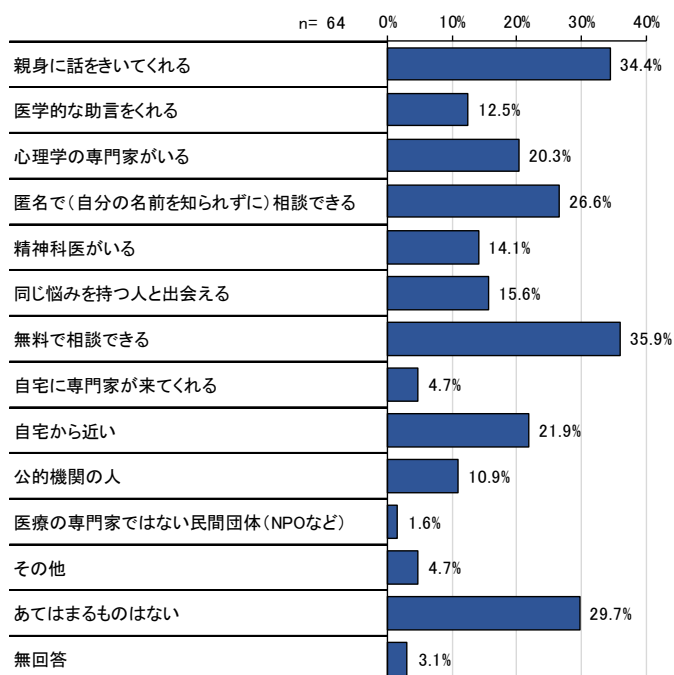


図 相談するのに適切と思う相談機関

問 4-8 関係機関へ相談したいか

問 4-9 相談したくない理由

○関係機関へ相談したいかについては、「相談したくない」が5割台半ば近くと最も高く、次いで「あまり相談したくない」が2割台半ばとなっている。

○相談したくない理由は、「相談しても解決しないと思う」が4割台半ば近くで最も高い。

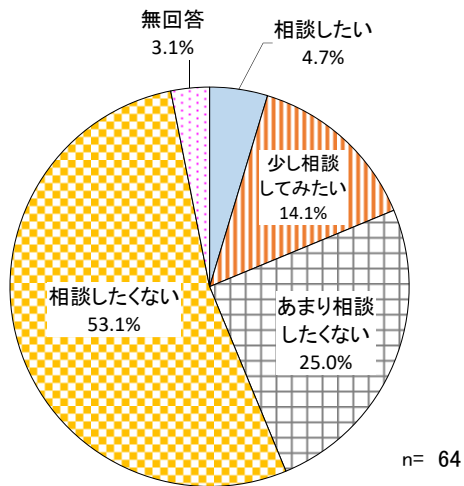


図 関係機関への相談したいか

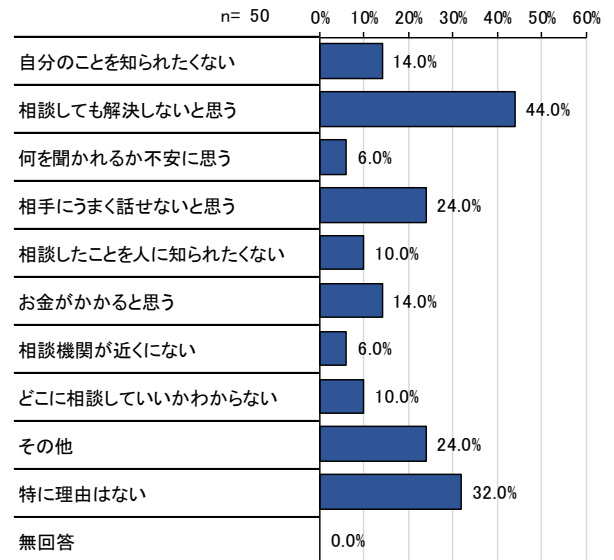


図 相談したくない理由

5. 悩みや困りごと

問5 悩みや困りごと（複数回答）

○悩みや困りごとは、「収入や生活費のこと」が3割台半ばを超え最も高く、次いで「仕事や職場のこと」が3割台半ば近く、「自分の性格や生き方のこと」が3割強と続いている。

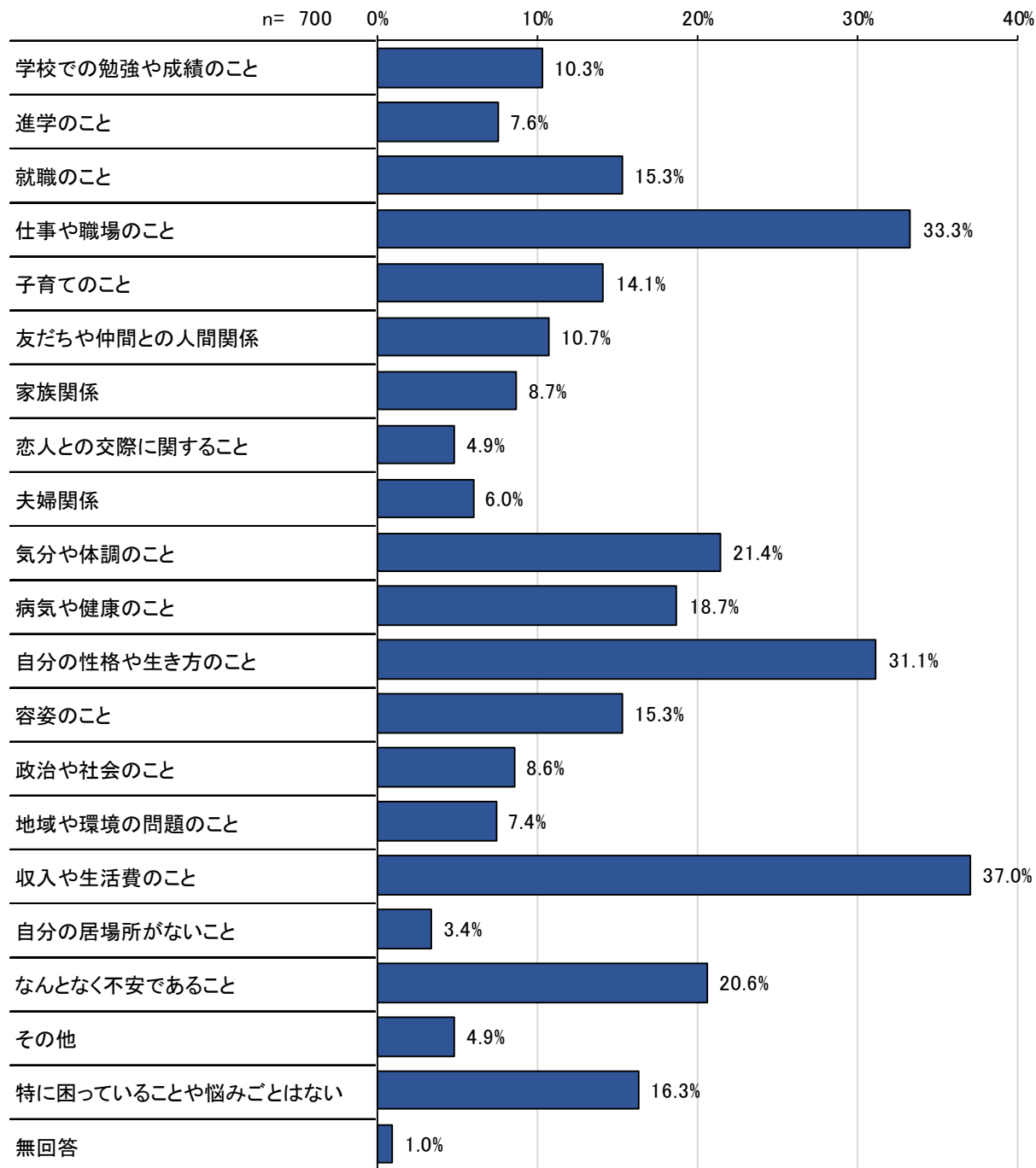


図 悩みや困りごと

6. 健康や自身のことについて

問7 健康のために気をつけていること（複数回答）

○健康のために気をつけていることは、「食事」が6割弱と最も高く、次いで「規則正しい生活をする」が約4割、「運動」が3割台半ば近くとなっている。

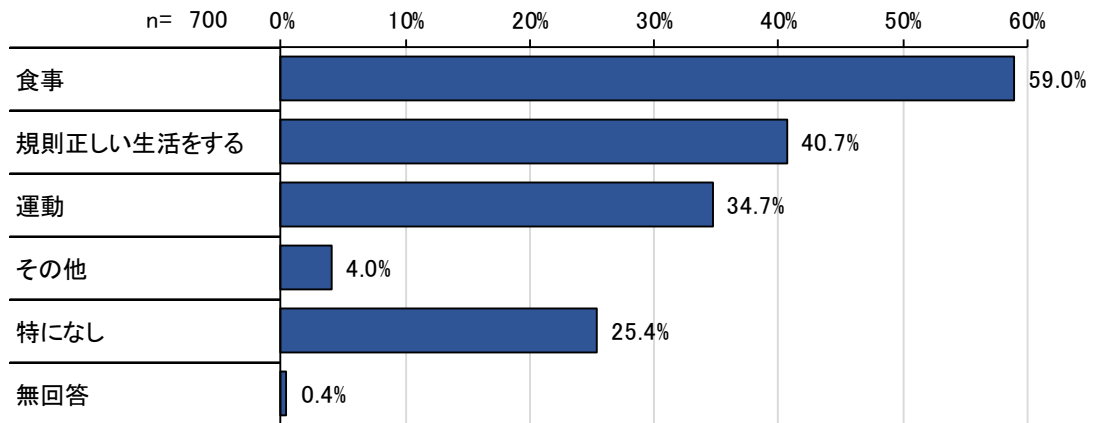
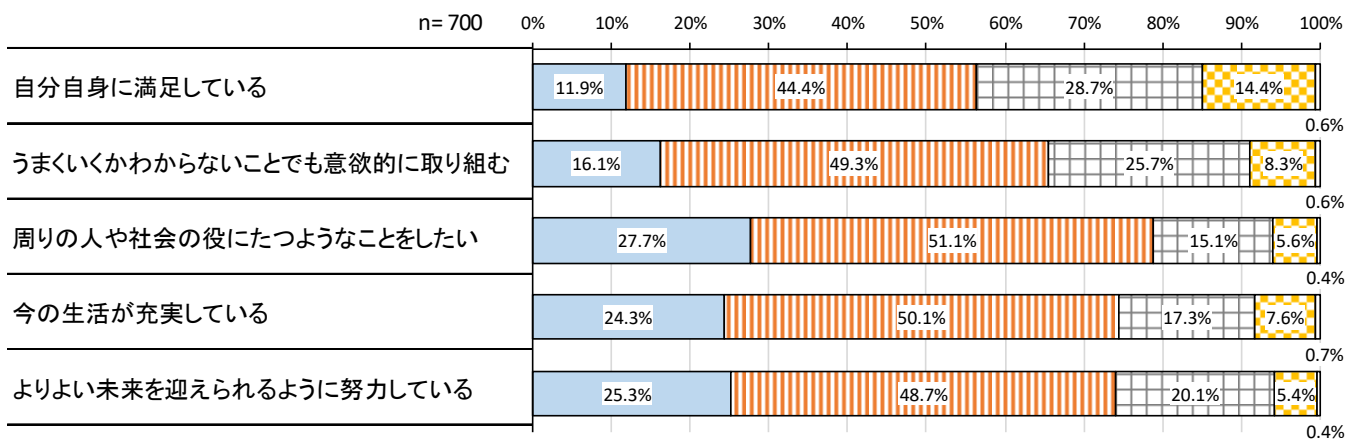


図 健康のために気をつけていること

問8 自分自身についての実感

○自分自身についての実感は、「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計が最も高いのは「周りの人や社会の役にたつようなことをしたい」で 78.8%となっており、次いで「今の生活が充実している」が 74.4%となっている。

○反対に、「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」の合計が最も高いのは「自分自身に満足している」で 43.1%、次いで「うまくいくかわからないことでも意欲的に取り組む」が 34.0%となっている。



■ あてはまる
 ■ どちらかといえばあてはまる
 ■ どちらかといえばあてはまらない
 ■ あてはまらない
 ■ 無回答

図 自分自身についての実感

7. 子ども・若者育成支援機関について

問6 施設・相談機関の認知度（複数回答）

○施設・相談機関の認知度は、「児童館」が7割強で最も高く、次いで「総合体育館」が約5割となっている。

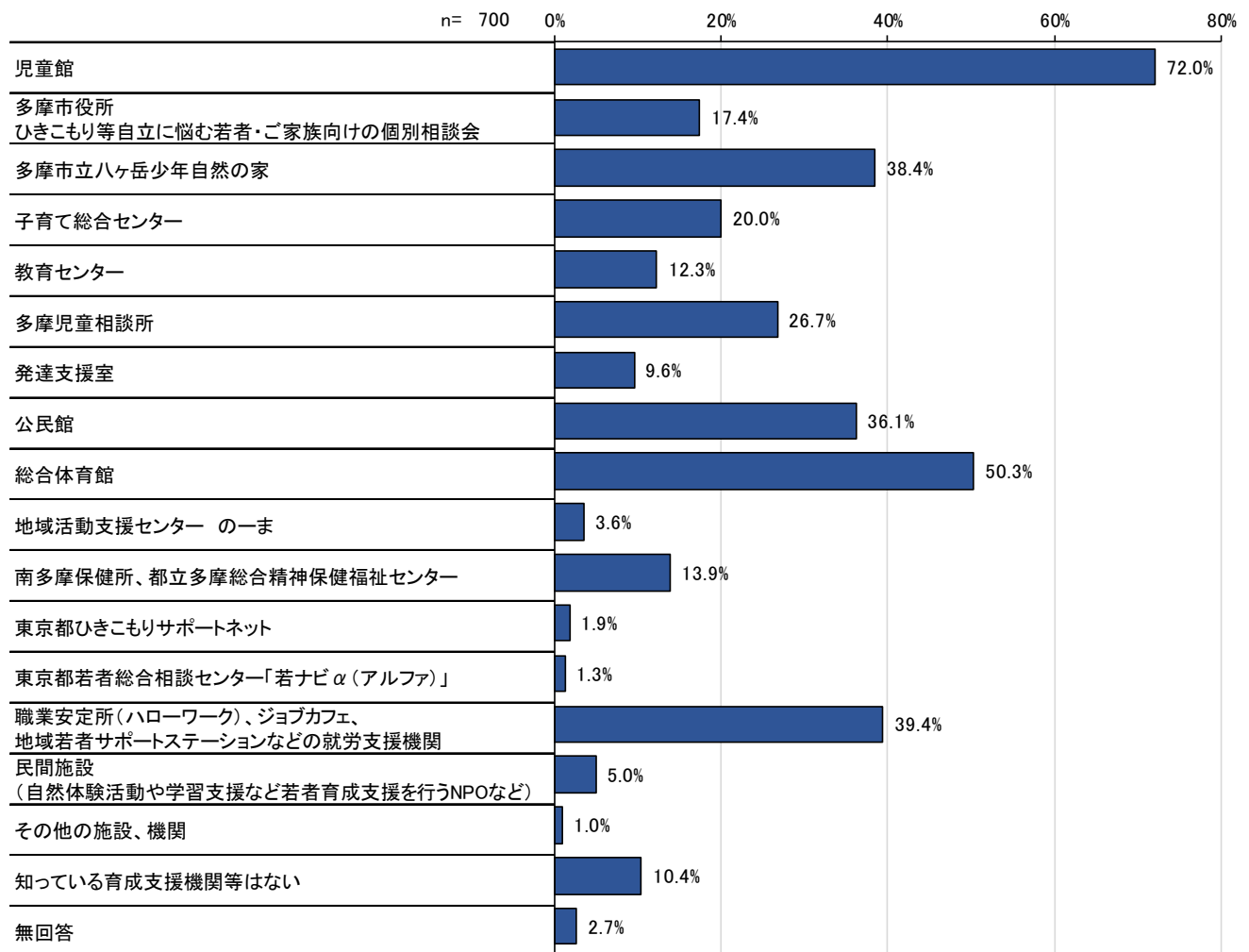


図 施設・相談機関の認知度

第7章 子ども・若者育成支援施策のための支援者調査結果

1. 回答者の属性

問1 回答者の職種

○回答者の職種は、「児童館・学童クラブ職員」が3割台半ばを超え最も高く、次いで「教諭」、「保育士」、「その他」、「保健師」と続いている。

2. 貧困の状況にある子どもや親の状態について

問2 貧困状況にある子どもの特徴（複数回答）

○貧困状況にある子どもの特徴は、1位に「子どもが食事を十分にとれていない（89.9%）」、2位に「子どもの住環境が劣悪である（86.1%）」、3位「子どもが身体の成長や季節に応じた服装をしていない（75.9%）」、4位「子どもが医療にかかるのを控えている（62.0%）」、5位「子どものいる世帯が生活保護を受給している（59.5%）」となっている。

問3 貧困状況にある子どもの状況（複数回答）

○貧困状況にある子どもの状況は、1位に「親から放任（ネグレクト）されている（79.7%）」、次いで2位に「ひとり親家庭である（67.1%）」、3位「親が家庭を顧みていない（60.8%）」、4位「家庭が地域から孤立している（55.7%）」、5位「非行や非行につながる問題行動がある（43.0%）」と続いている。

問4 貧困状況にある子どもに欠如していることがあるもの（複数回答）

○貧困状況にある子どもに欠如していることがあるものは、1位「こころの状態の安定性・心身の健康」と「健全な生活習慣・食習慣」が各86.1%、次いで3位「自己肯定感・自尊心（79.7%）」、4位「他者への信頼感（49.4%）」、5位「読み書き・計算などの基礎的な学力」と「意欲・チャレンジ精神」が各48.1%の順となっている。

問5 貧困状況にある子どもが抱える困難（複数回答）

○貧困状況にある子どもが抱える困難は、1位に「心身の発達に必要なしつけや食事の提供がされていない（62.0%）」が最も高く、次いで2位に「こころの状態が不安である（43.0%）」、3位「自己肯定感・自尊感情が低い（40.5%）」、4位「家庭に居場所がない又は家庭でくつろげない（25.3%）」、5位「親やきょうだいの世話を任される（24.1%）」と続いている。

問6 貧困状況にある家庭や親が抱える困難（複数回答）

○貧困状況にある家庭や親が抱える困難は、1位に「転職を繰り返すなど安定した就労が得られない（48.1%）」、次いで2位に「精神的に不安定な状態にある（45.6%）」、3位「親自身が経済的困窮や複雑な家庭環境で育った（44.3%）」、4位「家事や育児の支援者や協力者がいない（32.9%）」、5位「障害がある又は健康上の問題を抱えている（29.1%）」と続いている。

3. 貧困の状況にある子どもや親に対する支援

問7 他部署・機関との情報交換

○他部署・機関との情報交換については、「ほとんどない（年に1～数回程度）」が43.0%で最も高く、次いで「ときどきある（月1～数回程度）」が35.4%となっている。「まったくない」は10.1%という回答結果となった。

問7-1 他部署・機関との情報交換の機会

○他部署・機関との情報交換の機会は、「通常の業務」では、「子育て総合センター」が66.7%と最も高く、次いで「子育て支援課」、「学童クラブ」、「発達支援室」が各46.7%と続いている。
また、「この部署・機関とやりとりがない」では、「高等学校」が66.7%と最も高く、次いで「市障害福祉課（40.0%）」、「市生活福祉課（33.3%）」と続いている。

問8 連携しにくい部署・機関（複数回答）

○連携しにくい部署・機関は、「特になし」が43.0%を占め最も高く、次いで2位「高等学校」と「NPO等団体」が各21.5%、4位「ハローワーク等就労支援機関（19.0%）」、5位「多摩児童相談所（13.9%）」と続いている。

問9 貧困状況にある家庭への支援で感じる困難

○貧困状況にある家庭への支援で感じる困難は、「保護者との接触、信頼関係づくりが難しい」が51.9%を占め最も高い。次いで「支援に用いることができる制度（資源）が少ない（17.7%）」、「特になし（7.6%）」と続いている。

問10 貧困状況にある家庭への支援で悩んだ際の相談先の有無

○貧困状況にある家庭への支援で悩んだ際の相談先の有無は、「相談先がある」が68.4%を占め、「相談先はない」は16.5%を占めている。

問 11 貧困状況にある家庭に必要と思う支援（複数回答）

○貧困状況にある家庭に必要と思う支援は、1 位に「訪問による早期発見や生活支援（36.7%）」、次いで2 位に「経済的支援（34.2%）」、3 位「親の就労の支援（31.6%）」、4 位「子どもの居場所の提供（25.3%）」、5 位「子どもの進学・就労の支援（20.3%）」と続いている。

4. 支援に関する記述式回答

問 12 あなたは、貧困状態にある家庭への支援に関して、どのような改善が必要だと思いますか。自由に記述してください。

- ・経済的支援や学習支援、支援についての窓口一本化、SOS が気軽に出来る環境づくり、早期対応やアウトリーチができる体制づくり、学校や、地域、関係機関との連携を強化し、社会全体で見守っていくことが必要だという意見が寄せられました。

問 13 あなたは、貧困状態にある子どもや親を支援する際に、工夫していることや心がけていることがありますか。自由に記述してください。

- ・保護者が何かあればいつでも話せるような雰囲気をつくり、信頼関係を築くようにしているという意見が寄せられました。

問 14 あなたのこれまでのご経験の中で、子どもの貧困の状況が改善に向かったケースあれば、そのケースにおいて改善に向かった背景や要因について自由に記述してください。

- ・保護者にとって信頼できる人に出会った場合や他の支援機関と連携したことで改善したという事例が寄せられました。

問 15 他の行政機関や NPO 等の団体と連携したことで良い結果が得られたと思われる事例があれば、連携先と連携内容を差し支えない範囲で具体的にご記入下さい。

- ・民生委員・児童委員や児童相談所、子育て総合センター、NPO、スクールソーシャルワーカー、子ども食堂等と連携をして良い結果が得られたという事例が寄せられました。

問 16 あなたは、貧困の世代間の連鎖を断ち切るためには、どのような対策が重要だと思いますか。自由に記述してください。

- ・保護者に対しては家庭支援や就労支援、精神的なサポートを妊娠時から長期的に行うこと、子どもに対しては教育の機会を得られるための支援として、金銭面のみならず、学習支援の場や自己肯定感を得られるような体験や周囲からの援助、見守りが重要であるという意見が寄せられました。

第8章 各調査の主な自由意見（抜粋）

■未就学児童保護者対象調査

問 28 安心して子どもを生み育て、子どもが健やかに育つことができる環境を整えるために、行政や地域などに対するご意見・ご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

1. 保育園

・好きな保育園（近い保育園）に好きなタイミングで入れるようにしてほしい。子が1歳で職場に戻るのは早すぎる。保育園は0歳児を減らして1歳児を増やしてほしい。	同様意見 17 件
・認可保育園の人数拡大と、今後小学校に入った後の保育の充実を強く要望します。夜 20:00 ごろまでは預かってもらえると独身時と同じようにフルタイムでしっかり働くことができるとおもいます。経済的に安定すれば子どもをうみたい人が増えて少子化も少しは変わる気がします。	同様意見 6 件
・保育園を現在利用中ですが、小学校入学準備の読み書きなど幼稚園とは違って差があり入学後にとっても苦労したという話をよく聞きます。小学校に入ってからでは、遅いのではないかと思います。全体が読み書きはできていてあたりまえの認識です。保育園でも準備学習にもう少し力を入れてほしいと思っています。	同様意見 2 件
・保育園入園時、ダウン症ということもあり、園とコンタクトをとり、訪問したにも関わらず、断わられることが多くあった。23 区の行政では、申し込み後に行政が内部で園と入園可／不可などの調整をしていた。障がいをもつからといって、それを親が確認するのは非常に手間がかかり、そして断わられることで親は傷つきます。これは行政がプロセスを改め、内部で行うべきことと感じます。	
・保育園を増やして待機児童をなくしてほしい。	同様意見 24 件
・保育士、指導員などの質も上げていける様にしてほしい。よく 950 円くらいの時給で保育の補助のパート募集が出ているがその時給では正直安すぎる。責任感のある、プロフェッショナルな人材を本気で集めてほしい。子供は将来の大事な担い手なので、その子供をみる現場を軽視しないでほしい。	
	他 38 件

2. 一時保育／延長保育／休日保育

・子供の預け先（就学前）をもっと確保しやすくしてほしい。一時保育は（3歳まで）本当に取るのが大変でした。週に3日くらいの仕事の人の預け先がないと働くことができません。フルタイムの人以外のことも考えていただきたい！！	
・土日が休みではない職に就いている父母は週末（特に日曜日）の子供の預け先が無く困っている。その受け皿の必要性を知って欲しい。	
・都内に通勤していると延長保育が19時までだと保育園への迎えが困難である。市内に19時以降対応の園は1園のみなので延長時間を長くしてほしい。	
・土曜日曜祝日は、両親共に仕事をしていて、保育園・幼稚園共にみてもらえない時が困るので、近所の保育園など一次利用できる場所を増やして欲しいです。	同様意見 2 件

各調査の主な自由意見

3. 幼稚園

・幼稚園がこども園や新制度になることで、市からの補助金がなくなり、特に第2子以降は出費が多くなり、大変困ります。来年10月から無償化されたとしても、旧制度で補助金があったほうが安くなるのでは。どうかして頂きたい。
・むだに思う幼稚園の制服や雑費類を見直してほしい。
・4年制の市立幼稚園があると、実家が遠方で頼れない核家族の家庭は助かると思います。
・幼稚園の延長保育は利用しやすく助かりました。
他5件

4. 病児保育

・保育園にあずけられても、病気の時にあずけられるところがない。病児、病後児は、ほとんど保育園と登園できる条件がかわらない気がするし、時間も短く、数も少ないし、利用しにくい。
・子どもが病気のときでも、短時間でよいので預けられる施設がほしい。
・駅から遠く利用が困難なので、できれば駅の近くへ配慮してほしい。

5. 経済的負担／助成

・妊娠中、出産時にかかる費用を実質無料にしてほしい。	同様意見 16 件
・子どもが義務教育を終えるまでは教育費を無償化してほしい。これから産まれてくる、新しい命にもっとお金をかけてほしい。地域に関しては、もっと小さい子がいる家庭に理解を示すべき。	同様意見 7 件
・中学生まで子供の医療費負担を¥0にしてほしい。	同様意見 10 件
・子育てに対する経済的支援をもっと増やしてほしいです。	同様意見 11 件
・子供を産むと税負担が軽くなる、サービスを享受できる等の支援を考えてほしい。	同様意見 2 件
・子供3人の世帯が増えるようにサービス、手当てを充実させてほしい。生活レベルを下げて産むのは、厳しい。仕事も続けたい。	同様意見 4 件
・やっぱり、お金がないと何も出来ないと思います。幼稚園、小学校の給食費が無料になるととてもありがたい。	同様意見 3 件
・毎年この時期になると、インフルエンザの予防接種費用を負担に感じます。12歳までの子供達は2回接種しなければなりません。これが、子供2人3人と増えるに連れ、子育て家庭での負担はとて大きいです。全国に先駆けて子育て世帯へのサービスにあふれた、希望ある。そして私達の子供達に引継ぎたくなる街へと前進していつてもらいたいです。	同様意見 1 件
・園児・小・中学生の間は行政のサポートも多く不安はないが、その後の教育費（塾代、大学進学費用）がとても心配。その部分が安心できるなら子育て体制は整っているのもう1人…と考えるかもしれないが現状は困難。	同様意見 9 件
・子供がある程度大きくなるまで、親（母親）が近くで育児が出来るような社会になると良いと感じる。経済的理由で両親共に働かなくてはならないような社会になって欲しくないと感じているので、教育に関する費用などのサポートがあると良いと思います。	同様意見 1 件

・教育費用の補助増額。(幼・保の差を無くしてほしい)
・児童手当の増額。消費税増税など行うのであれば子育て世代にちゃんと還元してほしい(大学まで無償化など)。高齢者も大切だけど未来のある子どもたちに税金を使ってほしい。
他 12 件

6. 公園／子育てしやすい環境

・小学生がすごせる場所少ないです。公園に行けば「ボール遊びはやめましょう」という看板があるし、少しさわげば「うるさい」と言われる。少子高齢化でこれから増える年配の人を支えていく若い人達が安心できる安全にすごせる、自分らしくすごせる場所が、長い目で見て必要な気がします。公園や遊び場の整備、必要だと思います。	同様意見 4 件
・公園が整備されていない。新しいマンション付近の公園はキレイだが古い団地周辺の公園遊具が壊れたり、さびている。トイレも古く暗く、子供が入りたがらない。また、公園の遊具に小さい子供が遊べるものを設置してほしいです。休日・小学校が終わった後など小学生の子供と 2～3 歳の子供が同じ遊具で遊ぶのは大変危険です。	同様意見 12 件
・歩きタバコ、ぼいすてをもっときびしくしてほしいです！！	同様意見 8 件
・ベビーカーで行動しやすい環境にして頂きたいです。エレベーターを使うために、遠まわりをすることも多々あります。	同様意見 6 件
・大きめのショッピングモールが多摩市内に少ないため、どうしても多摩市外へ買い物に出かけることが多くなる。子供連れやベビーカーでの移動がしやすい設備のショッピングモールを誘致してほしい。	同様意見 1 件
・子供が多くいる地域と少ない地域の差が大きい。古い公団が多いので若い家族を呼べるように新しい住宅は必要だと思う。	同様意見 1 件
・子ども、お年寄り、学生が集えるような空間（カフェや遊び場や休憩できるオシャレできれいな場）づくり。緑が多い街なので、特性を生かした建物やスペースがあると、活気づくと思う。気軽に、子どもを預けることができる一時保育所があるとうれしい。予約が不要で、短時間可能など。（小学生でもみてもらえとなお良い）	同様意見 1 件
他 40 件	

7. 防犯・安全対策、交通対策

・街灯を増やし、夜間も安心して歩けるようにして欲しい。	同様意見 7 件
・防犯カメラをもっと充実するべきです。遊歩道など死角も多いので、設置することで犯罪の抑止になると思います。図書館等の公共施設もです。	同様意見 4 件
・地域に緑や公園が多くあるのは悪い事ではないが、夕～夜にかけて、逆に、治安が悪く感じられる。公園の街灯は暗いもしくは充分についているとは言えず、また、緑が多いという事は不審者が潜みやすい箇所が多いとも言える。再整備してほしい。また駅周辺の衛生が良くなく、飲食店周辺の道路をもっと、キレイになるように、してほしい	同様意見 3 件
・事故や事件が少なくなるよう、パトロールしてほしい。	同様意見 3 件

各調査の主な自由意見

・とにかく多摩市は交通が不便と感じます。バスも時間が悪いし、駅まわり以外のコインパーキングがありません。
他 3 件

8. 子育て支援施設

・働く親が使用できるよう、子育て施設を夜間、休日でも使用出来るようにして欲しい。
・初めての子育てではわからない事ばかりで、今までのリズム等も全て変わるし、体も疲れがちだった。すぐそばに実家がある訳ではなく、子供と一緒に歩いて行って楽しめる子育て広場の存在がありが良かった。スタッフや他のママとの会話の中で、相談したり共感したりした経験がとても大きかった。今後続けてほしい。
同様意見 1 件
・支援施設が生活圏内から遠く利用しにくい。駐車場所もない。駅の近くなどの交通のアクセスがよいところにつくるようにしてほしい。
他 3 件

9. 子育て支援サービス

・共働きしやすい環境が必要。仕事から帰ってきて寝かしつけるまでの時間帯にサポートが欲しい。 (家事支援サービス補助など)
同様意見 1 件
・子ども家庭サポーター派遣事業は役に立ったが、利用回数に制限があるため、大事に使わせて頂いた。利用回数を増やしてもらえともっと助かる。また、1 回当たり最長 4 時間利用が出来るが実際は 4 時間も来られる方はなかなかおらず、2 時間利用が主である。
・自身の子育て、子供について客観的に意見を言ってくれる相談相手が欲しいと常に感じており、新生児訪問のような、半強制的な形で定期的に相談出来る機会を作って頂けると嬉しいです。
・産後の母親の体の相談が気軽に相談・診察ができる所があるといい
・ゆりかご TAMA 応援ギフト、うれしいですが、商品券や、多摩市で利用可能な金券チケットなどで、リフレッシュ一時保育などに使えるともっと良いと思います。

10. 子育てしやすい労働環境について

・ワークシェアリングや、労務環境の整備。男性社会の飲み会ありきのビジネス上の付き合いをなくしてほしい。男性が休暇、早帰りしやすい環境を整え、仕事・家事・育児の負担がすべて女性にかかる現在の社会のしくみを変えていただきたいと切に願います。夫と同じ収入があっても、家事・育児の負担が女性にばかりかかるのが納得いかない。
同様意見 2 件
・働き方を社会全体で考えてほしい。正社員で働けても、保育園に 10 時間（それ以上）あずけなければならないと、それで大丈夫なのか心配になる。働き方をかえると、正社員ではなくなり、保育園が難しくなってしまう。子供に、負担なく、働ける社会を考えてほしい。
・お父さんも第一子の際は育休を取ったが、二子目は上の子の保育園が退園になってしまう為断念したので両親共育休が取れる様にして欲しい。三人目も欲しいが、職場の理解が得られる気がしない。地域、会社に理解が得られる様取りくんで欲しい

・夫がサービス業で土日祝はずっと仕事です。休みが少なく家族で出かける時間がないのが悩みで負担です。学校や幼稚園などもっと家族で過ごす時間の為に平日休みやすい環境がほしい
他 7 件

11. イベント・子育て情報の発信について

・夜間、子供が体調をくずした時の相談先が全くわからなくて困った。夜間もみてもらえる病院一覧などの冊子があると便利。
・情報はたくさんあると思うが、必要な時に見つけられない。まずはここに電話すればいい、という総合的な窓口があると助かります。 同様意見 2 件
・子育て支援サービス、情報などを手軽に見やすくネットで確認できるように。現在のHPは文字ばかりでとても見にくいです。(児童館などのイベントもネットにアップしてもらえるとありがたい。イベントカレンダーの集約など) 同様意見 5 件
他 30 件

12. 学童クラブ／児童館／放課後のサポートについて

・学童を全小学校の敷地内に設置してほしい。学区の小学校にはないらしく、わざわざある程度距離を歩いて行くと聞き、不満です。そして心配です。また学童の質について、色々と検討して欲しいです。 同様意見 1 件
・学童保育を6年生までにしたい。長期休みの時など給食やお弁当をたのめるサービスがあると有難いです。 同様意見 1 件
・保育園、学童クラブの希望者が入りやすくなること。保育園、学童クラブの費用が安くなること。 同様意見 5 件
・名古屋市のトワイライトスクールのような放課後教室を小学校に設置してほしい。 同様意見 2 件
・児童館が古くて怖い。 同様意見 1 件
・たくさん児童館があり、スタッフの方も優しく色々イベントもして下さり好感を持っております。
・今の児童館や子育て支援（総合）センターに子供と2人きりでは行きづらい為、友人・知人がいなくても行きやすい環境・イベントがあるといいと思う。定期健診を地域ごとの児童館などで実施する事により、地域の人とコミュニケーションもとりやすく、児童館の雰囲気なども分かるのでは。
・児童館をもっと増やしてほしい。
・幼稚園の延長保育は利用しやすく助かりましたので、小学校でも学童のシステム改善やその他何か週3日位でも気軽に利用できる預かり場所や病時保育等があると働きやすくなるので今後希望したいです。 他 10 件

13. 医療／休日診療について

・多摩市に産婦人科が少なすぎます。まずは、これを何とかすべきかと思います。 同様意見 1 件
・日曜、祝日に子供のケガ、体調が悪い時に受け入れてくれる病院があまりない。ことわれる事の方が多かった。 同様意見 2 件

各調査の主な自由意見

・住んでいる地区は子どもの数のわりに、小児科が少ないので増えると助かります。 同様意見 1 件
・不妊治療をしようと思っても第一子を預けられる場所がないと難しい。妊娠したとしても、体調不良の場合、子どもをみてくれる人がいないと育児・家事がまわらない。預ける場所は数日前から予約が必要なので、当日に預けられると便利。
他 2 件

14. 図書館について

・児童館や図書館の数を今より減らさないでほしいです。近くの気軽に行ける場所がとっても大切です。
・もう少し便利な場所（行きやすい場所）に図書館があるとよい。（数年後中央公園内にできるとのこと、期待しています。）
・中央公園内に図書館を建てると中央公園の遊べる土地が減ってしまうので、考え直してほしい。現在の図書館の場所で良いと思います。

15. 健診について

・多摩市で行っている健診ですが、健康センターのみで 13:00 からだけはやめてほしいです。多摩センター、永山から行きづらい。子供の為の健診なのに昼寝の時間にあてるのは迷惑です。時間もかかりすぎです。2ヶ所に分けたり、時間を分けたり…親子の負担軽減してください。 同様意見 1 件
・3～4 か月児から開始される健診について、人数が多いのに、時間が指定されていないので、順番待ちで、長く待たされるのがとても大変でした。流れ作業の様な感じがあり、一番身近で相談しやすい機会だと思うのですが、毎回、ゆっくり話を聞いてもらえる雰囲気ではなく、とても残念に感じていました。時間指定でじっくり話を聞いてもらえる健診を希望します。
他 2 件

16. 障がい児、医療ケア児への支援

・娘は出産時のトラブルのため、医療ケア（吸引、経管栄養、呼吸器等）が必要です。ケアがあることもあり、気軽に外出できず、日中は孤独感があるときもあります。また、将来「小児」でなくなるとき、診てもらえる病院があるのか、就学は大丈夫なのか、不安はつきません。少数ではあるけれども、ケア児が集まれる場所や情報交換できる場所がほしいです。医療ケア児も普通に就学できるような環境を整えてほしいです。
・1 歳半頃、子供に障がいがあるだろう…との見解で、しかしまだ月齢も幼いからと診断はできませんでした。結果、ほとんどの幼稚園はプレ申込みから断われ、「こんな年からふるいにかけられるのか」と切なく思いました。我が子の様に、受け入れ先がない子が増えないよう、専門施設を作してほしいです。
他 33 件

17. その他

他 10 件

■就学児童保護者対象調査

問 22 安心して子どもを生み育て、子どもが健やかに育つことができる環境を整えるために、行政や地域などに対するご意見・ご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

1. 公園／子どもの遊び場について

・公園の遊具が少ないと思います。ボール使用禁止の所も多く、遊び方が限られてしまいます。様々な体験が出来て、自由に遊べる場所をお願いします。	同様意見 27 件
・子供が安心して遊ぶ事の出来る場所を増やして欲しい。特に雨の時など、公園で遊ぶ事が出来ず、大変困っている。	同様意見 3 件
・公園など子供が安心して遊べる場所の整備。多摩市は緑が多くとても良い環境ですが、雑草やおい茂った木などで、危険が多いと思います。学校の校庭の使用にもお金がかかり、子供のスポーツの普及になっていないと思います。その学校に通う、又は市内の学校に通っている児童が所属する団体はもっと低料金（もしくは無料）にして欲しいです。お金をとるなら、しっかりと整備をお願いします。	同様意見 6 件
・高学年の小学生が体を動かして遊べる施設を整備して欲しい。赤ちゃんや低学年向けはあるが、高学年は遊べる所がない。	同様意見 3 件
・子供たちが安心して安全に過ごせる環境・広場がほしいです。	
	他 21 件

2. 防犯／安全対策／交通対策について

・安心、安全のためのパトロール強化。	同様意見 4 件
・防犯カメラの導入（駅周辺だけでなく、通学路にも）	同様意見 8 件
・地域の安全が守られるよう公園や街灯の整備をもっときちんとおこなってほしい。	同様意見 7 件
・学区内では、登下校の交通整理等の見守り活動がないので、シルバー人材センターの方などで、依頼してやっていただけるのであれば実施してほしい。防犯にもつながるのでより安心できる。	同様意見 11 件
・見通しの悪い場所の樹木の整備・スクールゾーンの設置（通学路にも関わらず細い道をスピードを上げて走る車、すれ違う車が多いため、標識などではっきりと示してほしい）	同様意見 5 件
・交通事故で亡くなるお子さんが最近多いと感じるため、歩車分離、電柱の地下へのうめこみ（車が電柱をよけたりして歩行者に近づくため）等の対策にとりくめないでしょうか。	同様意見 6 件
・予算の問題もあるとは思いますが、街の各所の老朽化が気になっているので（公園、デッキなど）、子どもたちが安心して登下校し、遊べるよう、少しずつでも修繕していただけると安心です。	同様意見 1 件
・集団登校・下校の班を地域で作れるとより安心です。	
	他 21 件

各調査の主な自由意見

3. 行政サービスの情報発信／窓口の対応等について

・保育園、学童以外の子育て支援施設のアナウンスをもっとしてほしい。病児保育の使い方やショートステイ事業の情報をもっと発信してほしい。	同様意見 4 件
・市役所の人への対応をもっと気がるに聞きにいけるような対応にしてほしい。	
	他 23 件

4. 学童クラブ／児童館／放課後子ども教室／放課後の遊び場・学びの場について

・放課後子ども教室が実施されている学校もあるが、我が子の通っている学校にはなく、今後市内全体実施されることを希望します。	同様意見 25 件
・学童クラブに小 6 まで通えるようにしてほしい。	同様意見 14 件
・放課後に、学校の校庭で遊べたら、親としては一番安心できる。（自分たちが子供の頃のように）公園はせまかったりうす暗かったり、ガラスの破片が落ちていたり、不審者がいたり…。あまり安心して行かせられる環境とは思えない。	同様意見 11 件
・パートやアルバイトだとサービス業が多く土・日出勤を求められる事が多い。土・日の預け先の拡充が必要だと思う。（ただし、子供たちが預けっぱなしにならないような工夫が必要	同様意見 7 件
・放課後、少しでも勉強（書道など教養）をみってくれる所があると嬉しいです。	同様意見 5 件
・放課後子ども教室の回数や内容の充実を希望します	同様意見 15 件
・行政として、全体的な学力向上に向けた環境や施設（機会）を増やしてほしい。学校の友人と共に申込みすれば気軽に放課後に学習的な経験（科学実験や英会話 etc.）ができる機会を平等にもうけていけば、片親や共働き、経済的に負担のある家庭の子も居場所ができ、親の負担も減っていくと思う。学校で通知や申込みができる身近な機会を増やしてほしい。	
・安心して子供を育てていくために、経済的なゆとりは必要だと思います。両親共働きでも安心して過ごせるような保育園、幼稚園、学童クラブ等、今後も充実させて下さい。	
・児童館が遠いため、雨の日の遊び場がない。近くに自由に出入りできる室内の遊び場があるといいと思います。	同様意見 4 件
・児童館の数を増やしてほしいです。（幼児が遊べ、小学生も遊べる場所）	同様意見 9 件
・児童館や児童館の庭を広くして欲しい。児童館利用者が多くなっているのに、変わらなくてきゅうくつに見える。「小さい子優先」と言われ、子どもが不満を言うようになってきた。	同様意見 3 件
・一部の児童館だけでなく日曜、祝日の利用ができるようにしてほしい。	同様意見 2 件
・子供達が放課後（休日）に安心して過ごせる児童館の役割は大変大きいと思います。また、児童館の機能と図書館が併設されていると、子供・若者・保護者・高齢者等地域の方の居場所ができ、安心して過ごせる町ができると思います。	同様意見 2 件
	他 80 件

5. 経済的負担／助成について

・ようやく医療費の所得制限がなくなるので助かる。続けてほしい。	同様意見 22 件
・医療費は高校生以降も無料にしてほしい。未成年は全員無料にしてほしい。	同様意見 3 件
・医療費の中学生までの完全無償化をお願いしたい。	同様意見 3 件

・第一に出産費用がかかりすぎる。手当金ではまかなえない部分がある。	同様意見 10 件
・不妊治療の助成金の充実を希望します。(二人目不妊の場合、通院の際上の子を預けられる場所もあると嬉しい)	同様意見 2 件
・教育費がかかりすぎる。塾に行かなければ良い学校に合格できない、といった学校(教育)制度に疑問を感じる。みんな学校だけで勉強しても、受験には成功しないとのこと…もっと学校での勉強を重視して欲しい。	同様意見 8 件
・3人以上子供のいる家庭は教育費も食費もかかるので市・行政から援助・補助などがあって欲しい。子育ての支援があれば少子化が改善されるのではないかな。	同様意見 12 件
・子供の数に限らず、手当てに収入制限がある事が不満。	同様意見 7 件
・ひとり親であっても、収入があれば受けられないサービスが多い。改善を求める。	
・消費税が上がり、増々苦しくなる時代、せめて市民税などは軽減してほしい。税金ばかり持っていかれて、給料が全く増えずに暗い気持ちになります。子どもへの教育の為の援助を充実させてほしいです。	同様意見 1 件
・各種税金の支払いに精一杯で、残りの金額で生活にゆとりが全く生まれない。子供が小さいうちに就労している方々も沢山いるかと思うが、パートナーの協力の理解が得られなければ女性の負担は多大なものになる。	
他 76 件	

6. 保育園／一時預かり／病児保育について

・共働きの家庭が多い中、やはり心配は職場に復帰する際の預け先でした。もっと保育園や学童クラブを増やし待機児童を無くしてほしいです。	同様意見 23 件
・兄弟の在園期間が重なると保育料が安くないのはどうして? この制度理解出来ない。	同様意見 4 件
・保育士さんの給料が上がって、離職率が下がるようになると思います。保育園の数を増やすのと同時に保育の質は下げてはならないと思う。	同様意見 2 件
・近隣の市が運営しているような、登録しておけば気軽に預けられる一時預かり場所があれば良いと思う。	同様意見 5 件
・病児保育の対象年齢の緩和、保育時間の拡大(当日、発病した場合、受診後に預けると勤務できない)	同様意見 3 件
他 15 件	

7. 図書館について

・子どもに図書館に行くことをすすめています。こどもの本のコーナーで大人に舌打ちされたりと嫌な思いをしたことがトラウマのようであまり行きたがらなくなりました。ご老人の方から「ここは私がいつも座ってるから」と言われ椅子を取られたこともあったとのこと。誰でも自由に使える施設で残念な出来事でした。

各調査の主な自由意見

- ・以前、東寺方複合館が、なくなるかもしれないという、話を聞きました。断固反対です。全年齢層で利用できる、こんなに素晴らしい施設をなくすなんて考えられません。4年生ともなると、帰宅するのが16時～16時半位になります。それから、図書館や児童館に行くと本を選ぶ時間、遊ぶ時間が、あまりありません。近くで、気軽に行けるからこそ安心して、行かせることが出来るのです。

8. 障がい児への支援や配慮について

・特別支援教室と学校・教師への理解や充実、連携やサポート、専門の教師（ST・OT・SST）の増員。	同様意見 6 件
・発達支援を受けている子供達の進学の様子とか未来をおしえてほしい。講座でも学校での説明でもいいから、どの様な感じなのか、知りたい。	同様意見 1 件
・発達障がい児を育てる上で、医療の面、教育の面、療養の面などでかなりの費用がかかっています。支援して頂ける環境がないことで子どもをもう一人つくることもあきらめなければなりませんでした。手厚い支援を望みます。	同様意見 2 件
他 4 件	

9. 地域での子育てについて

・子供がのびのび生活できるようにしてもらいたいです。今は、子供が遊んでいる声などで「うるさい」と近所のお年寄りの方に注意されたりして、外で遊びづらく、家の中でも、子供の歩く音がうるさいなど、昔、普通にあった事が今だと何でもダメで子供がいるってだけで肩身がせまく感じます。もっと地域の方の理解があると住みやすいです。	同様意見 13 件
・保育環境を整えるのはもちろん大切だし必須だと思う。一方、本当は子どもを自分で育てたい。しかし、働かざるを得ない人もいると思う。親と子が一緒にいるのはあたり前のことだし、それをサポートできる体制についても考えても良いと思う。（就労のサポート・職場への働きかけなど）	同様意見 3 件
・子供が産まれても何も変わらない男性側の仕事状況。子供が3才くらいになるまで時短勤務などの対処が男女共にあったらいいのと思う。	同様意見 3 件
・親だけでなく、学校、学童、児童館、習い事等色々な大人が関わり地域の中で子育てができるようにしてもらいたい。	同様意見 5 件
・学校以外で子供たちが集まって近所同士、年令に関係なく楽しめる行事をもっと増やして欲しい。子供会がないので近所の方々と関われなくてさみしい。	同様意見 5 件
他 10 件	

10. 市の子育て支援全体について

・「子育てに関する施設などを整備しても、数年後には子どもたちが大きくなり（少なくなり）需要がなくなるのでできません」ではなく、今現在、子育て中の人たちの今抱えている問題を現時点で軽減させようという考えのもと、子育て支援にかかわってほしい。

<ul style="list-style-type: none"> ・末子出産後再就職を考えた時に、会社は「保育園が決まっていなくて雇用できない」と言い、行政は「会社が決まっていなくて求職者ということで緊急度が低い」と待機の順番を下にされた。自分のライフプランも立てられないようでは安心して出産はできないと思います。行政の支援は使いたい時に使えるものであってほしいと思います。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・共働きをし、子供が下校した際に家に親がいないというのは、子供を淋しくさせ、目も行き届かず、1人で育っているような子になっていく気がするので経済的理由で働かなくてはならないというお母さんが減るような支援などがあると良いと思います。 	同様意見 1 件
<ul style="list-style-type: none"> ・子連れで行ける場所（室内遊具場・ショッピングモール）の整備。親が子供を預けて年に1、2回でもリフレッシュできる場所がないと体力、精神的に余裕が生まれず子供を沢山産もうと思えない。 	同様意見 3 件
	他 37 件

11. その他

	他 39 件
--	--------

■中・高生世代調査結果

問 28 あなたが、多摩市になんでも要望できるとすれば、どのようなことを要望しますか。どのようなことでもかまいません。自由にお書きください。

1. 商業施設・飲食店・遊べる場所／イベントについて

・大型ショッピングモールの建設。高齢化が市内で進んでいると思うので、若者が集まって来るような施設を作るべき。	同様意見 27 件
・中高生が気軽に楽しめるような施設（カラオケ、ショッピングセンターなど）を充実させてほしい。	同様意見 11 件
・もっと市民が楽しめるような遊びや集会を開いてほしい。	同様意見 5 件
・駅に中高生に人気があるようなスイーツ店や服屋を増やしてほしい	同様意見 11 件
・コンビニを増やしてほしい。	同様意見 2 件
	他 21 件

2. 公園について

・中央公園に夜間でも使えるライトなどの設備のあるバスケットコートがほしい。又、休日にはそれを活用したイベントなども開催できると思う。	同様意見 4 件
・地域の公園をキレイにしてほしい。多摩市は公園がたくさんあっていいのに、汚れている、遊具やベンチがない等の部分がダメ。せめて、たくさんの人の集まる公園は、もう少しキレイにしてほしい。	同様意見 8 件
・夜間、暗い所（公園）などに街灯を増やしてほしい。	同様意見 1 件
	他 6 件

3. 道路環境について

・歩道にはみでた雑草を刈って、誰でも道を通りやすくする。	同様意見 2 件
・自転車で安全に走れる道路が少ないので、整備してほしい。	同様意見 2 件
・有料の自転車置き場だけでなく、無料の自転車置き場を設置してほしい。	同様意見 7 件
・夜に道が暗いので街灯をもっと設置してほしい。	同様意見 21 件
・道路（せまい道・自動車の通る）にミラーを設置してほしい	
・冬に日陰になる所は凍りやすくて良くすべってしまう。道路に水たまりがしやすい。	
	他 11 件

4. まちづくり／公共施設について

・もっと都会みたいにしてほしい。	同様意見 3 件
・保育園ももっとたくさん作ったら、たくさんの人が多摩市を利用するようになるし、住みやすい町になると思う。	同様意見 1 件
・気軽に立ち寄ることができる勉強場所を、もっと増やしてほしい。	同様意見 9 件

各調査の主な自由意見

・バスケットボールコートを作してほしい。体育館でのバスケットボールを個人でかりられるようにしてほしい。	同様意見 1 件
・総合体育館の個人開放や無料レッスンを定期的にやってほしい。	同様意見 4 件
・図書館を、もう少し長く開けてほしい。	同様意見 6 件
・図書館の本をもっと新しくしてほしい（新書をもっとおいてほしい）。自習できるスペースをもっとつくってほしい。	同様意見 5 件
・公共 Wi-Fi を増やしてほしい。	同様意見 3 件
・市が主体となって老朽化した団地の建て替え、若い家族が住みやすく、移住しやすい町の再建に取り組んでほしいです。	同様意見 3 件
・外国人観光客が増えてきているので、英語の説明や看板を増やした方が良いと思う。	
・避難所の体育館を整備してほしい。（体育館の冷、暖房の設置や、トイレの洋式をふやす等）	
	他 43 件

5. 防犯／安全対策について

・昨年塾の行き帰りの道で居酒屋の客引きに道をふさがれたり怖い思いをしました。上記の様なことがおこらないよう取り返してほしいです。また、小学校、中学校の役員の人が夕方防犯パトロールをしてくれているので犯罪や不審者への抑止力になっていると思うので、深夜の見回りというかパトロールを要望したいです。	
	他 4 件

6. 交通機関について

・多摩市ミニバスを増やしてほしい	同様意見 3 件
・町田までモノレールを通してほしい。	同様意見 1 件
	他 13 件

7. 経済的負担／助成

・医療費補助の拡大。	同様意見 3 件
・子供にもっとお金をかけてほしいです。	
・無料で進学塾に行けるようにすること。	
	他 13 件

8. 環境保護／まちの美化について

・緑を減らさないでください。多摩市の自然環境を守るためにも。	同様意見 5 件
・ポイ捨てを減らしてほしい。	同様意見 1 件
	他 6 件

9. 禁煙／たばこについて

・もっと全面的に公共施設での禁煙をすすめてほしい。レストランなど。路上喫煙も取り締まりを強化してほしい。	同様意見 1 件
--	----------

各調査の主な自由意見

10. 学校給食について

・学校の給食をもっとおいしくしてほしい	同様意見 5 件
	他 2 件

11. 同性パートナーシップ制度について

・パートナーシップ制度の導入	同様意見 2 件
----------------	----------

12. その他

	他 36 件
--	--------

問 29 あなたが今、一番困っていることは何ですか。ご自由にお書きください。

1. 学力／成績について

・学力がないこと。	同様意見 19 件
	他 6 件

2. 受験／学費／進路について

・大学に進学したいが、経済的に難しい。一人親家庭に援助をお願いします。	同様意見 1 件
・受験勉強。	同様意見 13 件
・塾に行きたいが近くにない。経済的にも厳しい。	
	他 8 件

3. 人間関係について

・今の自分の悩みを誰かに相談するとかあまりできないで溜めこんでしまう。	同様意見 5 件
・友達との関係	同様意見 5 件
	他 9 件

4. 心理的な不安感等について

・突然将来について漠然とした強い不安を感じたり、まともに考えられなくなるなど精神的な症状。	
・学校に行けない事（教室に入れない）。自分が分からない、本当の自分を知らない。	同様意見 1 件
	他 8 件

5. 身体的な不安等について

・背が伸びないこと。	同様意見 2 件
・眠気がなかなかとれません。ずっと寝ていたい。	同様意見 3 件
	他 7 件

6. 家族関係について

・家族に負担をかけていないか	
・親（母）にストレスを感じる事が多く、毎日のようにケンカをしている。	
	他 5 件

7. 金銭的なこと／アルバイトについて

・やりたいこと、買いたいものがあるのにお金がない。	同様意見 12 件
・消費税が 10%に上がることです。学生には厳しいです。	

8. 交通の便について

・交通が不便。（バスの本数が少ない）	同様意見 2 件
	他 4 件

各調査の主な自由意見

9. 地域環境／施設について

・路上喫煙者が多い。禁止エリアに指定されている場所でも守っていない人が多い。指定喫煙所は煙が広がらないようにするなどの対策が不十分で、毎回そこを通るたびにけむくていやだ。	
・運動できる施設が少ない。	同様意見 2 件
	他 14 件

10. 商業施設／コンビニ等について

・コンビニが家の近くにない。多摩市全体にコンビニの数が少ないと思う。	同様意見 2 件
	他 5 件

11. 道の暗さ／不審者について

・夜間歩道が暗く不安。	同様意見 6 件
・路上生活者（？）の方が色々な所のごみ箱をあさり、中からごみ袋を持っていって、色々な所をぶらついていて少し恐いです。	

12. その他

	他 28 件
--	--------

■ひとり親世帯保護者調査

問 21 市の施策に関する意見・要望がありましたら、自由に記入してください。

1. 助成／手当／支援について

・住宅への支援が少しあると助かります	同様意見 2 件
・今は大学進学が当たり前の時代で、一番費用もかかるが、高校卒業までしか支援がない。申請しても対象外と通知が来た。受験生の時にチャレンジ支援貸付の申請をしたが、収入は少なかったのに対象外となり支援受けられなかった。	
・子どもの教育費等を 20 才までにしたい。現在成人 20 人なので。また、18 才で社会に出る子、大学に行く子と学生でいる場合の援助を考えてほしい。	同様意見 1 件
・保証人がいないので貸付を利用できない。身内・親戚は頼れない。	
・インフルエンザの注射を無料にしたい。	
	他 12 件

2. 相談窓口／多摩市役所について

・相談・手続等でよくうかがっていましたが、課によっては、前回のお話の内容は記録してあっても、担当者のお名前はなく、話がうまく進まないことがありました。その点についての改善等、ご検討いただければ幸いです。	
・証明書等、市役所でしか取れない書類のために、仕事を休んだり半休を取ったりしなければならないのは、低所得の人にとっては痛手なので、土曜日など、月に 1、2 回でいいので午前中だけでも市役所（出張所）などを開けてもらえると有難い。	同様意見 1 件
	他 10 件

3. 学童／児童館／子どもの預け先について

・現在の行政では小学校に上がると日曜、祭日に利用出来る保育の場がありません。せっかく正社員として働いていても小学校に進学したことで、日曜、祭日に働く事が出来なくなり正社員の道がたたれました。低学年はまだまだ幼く、預かってくれる施設があったら働いていたのにと残念です。早急に検討して頂きたいと願っています。	
・4 年生以降も安心して行ける施設をもっと増やしてほしい。ファミサポではなく、預ける人がいない時に、気軽に預けられる施設がほしい。	
	他 9 件

各調査の主な自由意見

4. 環境整備／施設整備

・一本杉公園及び球場周辺をもっときれいで安全で子供達が安心して遊べる場所にしていきたいです。防犯カメラの設置と木々の伐採を行なって下さい。コンクリートがはげたり、われたりコーティングがはげていて、すべってあぶないです。早急に改善して下さい。	同様意見 1 件
・子供が育てやすい環境作りをしてほしい。緑は多いが暗い所なども多く、子供を 1 人で動かすのに不安を感じる。お年寄りが多いので、お年寄りにも子供にも優しい街作りを望みます。	
	他 9 件

5. 保育園／幼稚園について

・待機児童対策をもっとしてほしいです。母子家庭がなぜ待機児童になり夫婦揃っている家庭が入れるのか、優先する基準を考え直した方がいいと思います。（母子家庭や父子家庭の人が待機児童になった場合、無収入になり路頭に迷うかもしれないなど、先の事も考えてほしいです）	
・保育園は学区でわけて決めてもらえると、小学校にあがる時に、友達がいて安心できると思う。家の近くに保育園があるのに、駅近でニーズがあるからと、車で遠くから送迎してまで入園されてしまうと、駅近の住人が、遠くの保育園に交通費をかけて通わなければならないし、学区の子もいない事になってしまう。遠くの保育園への交通費も負担である。子供にお金をかけられる生活の人は、保育園ではなく幼稚園に行くなどしてもらわないと、本当に働かなければならない人が入園できないのは、おかしいと思う。	
	他 1 件

6. 情報発信について

・どんな制度があるのか、自身が対象になるのかどうかをもっと分かりやすく案内してもらいたい。	
	他 2 件

7. 学習塾について

・一人親家庭の中学生塾費用の支援を受けましたが全く足りず、塾に行かせた事で生活が苦しくなっていました。ほとんどの友人が塾に行く時代で上の子は支援制度を利用して塾に行かせたけど、下の子は経済的に難しい。	
・学習塾へ通わせたいが、高額の為、もっと低額の塾があればよいと思います。	
	他 2 件

8. 不登校／いじめ／障がい等について

・いじめなどで不登校になった子供の為に、ゆーかり教室だけではなく、その子供に合わせた行ける場所、相談場所を視野を広げて作るべきだと思う（いじめ被害者、その他の理由）。現状はあまり、子供の為になっていない気がする。	
	他 2 件

9. 就労について

- ・現在の制度助かっています。就業に関して1年以上転職先を探すのに時間がかかりました。何か支援があるとありがたいです。9:00～17:00の正社員がほぼなく、多摩市内も求人が少ないのがありますが。
- ・ハローワークでさがす仕事ははっきり言ってだめ（決まらない）なことが多い。女性、一人親はパートか派遣の仕事で、個人でさがした方がまし。子供を不安にさせたくないのでは本音は言えないが、将来的にかなり不安。一人親として私はまだマシなくらしですが。

10. その他

- ・児童扶養手当の認定請求には「事実上の婚姻関係を解消した申立書」の提出が必須ですが、この書類の題名は未婚のシングルマザーには対応していません。ひとり親の全てが離婚によるわけではなく、未婚の母子家庭は全国でも8.7%はいるので、多摩市の書類も未婚のひとり親の存在を視野に入れて対応をお願い致します。
- ・所得で家賃を下げてほしい。

他 12 件

■ひとり親世帯 中・高生世代調査

問 28 あなたが、多摩市になんでも要望できるとすれば、どのようなことを要望しますか。
どのようなことでもかまいません。自由にお書きください。

1. 環境整備／施設整備について

・無料の自転車置き場を駅前につくって欲しい。
・多目的コートなどを増やしてほしい。
・娯楽施設を増やしてほしい。
他 16 件

2. 商業施設について

・ショッピングセンター、カフェを増やしてほしい。
・スーパーや商業施設などの店が集まっているようなところの営業時間をのばす（もう少し、おそくまでやってほしい）。
他 4 件

3. 交通機関について

・ミニバスの本数を増やし、運賃を下げたい。階段を減らして緩い坂にしたい。	同様意見 2 件
・中央線をとおしてほしい。もっと都会にすぐいけるようにしてほしい。	同様意見 1 件

4. その他

・費用の心配をせずに自分の行きたい大学に行きたいです。	
・地域の祭り（イベント）を頻繁に多くやってほしい（永フェスなど）。	
・勉強出来る場所を作ってほしい。	同様意見 2 件
	他 8 件

問 29 あなたが今、一番困っていることは何ですか。ご自由にお書きください。

1. 学力／進路について

・学力が身につかない	
・今後の進路について	
	他 4 件

2. 経済的な不安について

・お金が足りない。(自分でアルバイトで稼いでいるのみだと)	同様意見 7 件
・受験生なのに塾に行けず勉強に苦戦していること。	

3. 身体的な悩みについて

・難病で疲れやすく、階段の上り下り、歩行が大変。日常生活が大変なこと。	
	他 2 件

4. 心理的な悩みについて

・まわりの人から、どう思われているか。	
	他 2 件

5. その他

・サッカーを公園ですると高齢者におこられる。	
	他 12 件

■若者の意識・生活に関する調査

問9 市への意見や要望がありましたら、自由に記入してください。

1. 環境整備／公共施設／暮らしやすい市・町づくりについて

・車の通りが多いのに歩行者が安全に通行できるようになってない。ガードレールもないし、道幅がせまくて、子供連れで歩くのが怖いし、今後子供1人で歩かせるのも危ない。	同様意見 5 件
・街灯を増やしてほしいです。川沿いとかが暗くて夜がこわいです。	同様意見 6 件
・歩きたばこの禁止を徹底していただきたいです。条例の立て札などがあると市民も注意しやすいのですが、立て札などもないので掲示していただきたいです。少なくとも幼稚園や保育園、小学校の周辺などは強化していただきたいです。	同様意見 6 件
他 66 件	

2. 商業施設について

・商業施設を増やしてほしい。若者が買い物したくなるような明るく充実した施設。永山も多摩センターも中途半端。街全体が暗く感じる。多摩市民が増えるよう、良い市になってほしいです。	同様意見 4 件
・コンビニが少ない。防犯面でも助かるので、数を増やしてほしい。(習い事の子供が何かあった時にかけこめるように)	同様意見 2 件
他 13 件	

3. 交通機関について

・ミニバスの本数の増加	同様意見 1 件
・循環バスが聖蹟桜ヶ丘駅方面にないし、料金も普通バスと同じで意味がわからない。隣の府中市は一律 100 円で路線も多いし便利だった。多摩市もそういう交通手段を作してほしい。	同様意見 1 件
他 11 件	

4. 多摩市のサービス／情報発信／イベント等について

・多摩市が子育てしやすい環境なのかわからない。また各種助成金等についての情報も不明なことが多い。若者に対して、紙面以外で伝わる、新たな情報提供手段を検討して頂きたい。	同様意見 2 件
・多摩市のイベントで若者対象の講座や時間帯・曜日設定を考慮すべき。	同様意見 2 件
他 17 件	

5. 子育て支援／補助金／助成等について

・子育て支援の更なる充実を希望。	同様意見 7 件
・母子家庭への支援を少しでも向上させてほしい。	同様意見 1 件
他 12 件	

6. 保育園について

・希望の保育園に必ず入れるようにしてほしいです。	同様意見 7 件
・駅近くの保育園をもっと増やして欲しい。1 歳の枠をもっと増やして欲しい。少なすぎる。育休中の人 は、ほとんど 1 才枠で入れたいので。	同様意見 1 件
・認可保育園をふやしてほしい。	同様意見 2 件
	他 11 件

7. 公園について

・子供が楽しんで遊べる遊具の公園が少ない。遊具不足だから子供が外で遊ばなくなる。落川公園の藤棚 はハチが来て危ないので撤去すべき。古いし、砂場 2 ヶ所作るなら、ブランコがほしい。ブランコがな い公園はつまらないと言っている。公園にブランコつけてほしい。	同様意見 2 件
・公園の遊具（アスレチック）や古い遊具の修理	
	他 12 件

8. 医療費／健診／病院について

・不妊治療に対する助成金を充実させてほしいです。	同様意見 3 件
・医療費を高校生以下は無料にして欲しい。	同様意見 2 件
	他 9 件

9. 企業誘致／就業支援等について

・多摩地区は住んでいて心地が良いのでずっと暮してきたいのですが、仕事が少ないので通勤に時間がか かるのが悩みです。都心に出なくても仕事があればいいのにとおもいます。	同様意見 3 件
・有料・無料を問わず、就労のための職業訓練、あるいは技能向上・ステップアップのための教育を充実 し、その情報発信をしてほしい。様々な事情により、多様な働き方を希望する人が増えている中で、企 業とのマッチングサービスのようなものをもうけてほしい。既にある場合、充実させ、その情報をもっ と発信してほしい。	
	他 2 件

10. 税金／年金について

・市民税を安くして欲しい。弱者に優しい町づくりを。	同様意見 5 件
	他 2 件

11. 就労時間中の子どもの預かり場所／児童館／学童／放課後教室について

・放課後子ども教室を全学校で行ってほしいです。子どもたちが安全で親も一番安心して遊ばせられるの は学校なので。	
・小学校に学童がない所があるので、小学校に学童を必ず造ってほしい。学童が 3 年生までではなく、6 年生まで伸ばしてほしい。多摩センター駅付近にも学童をつくってほしい。	
	他 6 件

各調査の主な自由意見

12. 居場所について

- ・生きづらさをもった人が無料で気軽に集えるサロンのようなスペースをたくさんつくってほしい。（学校、職場や家庭とはべつの第3の場所）公民館や児童館は子供や主婦しかいなくて肩身がせまいので行きたくない。（成人男性や、子供・夫のいない女性も行けるスペース）

同様意見 2 件

13. 市指定ゴミ袋／ゴミ出しについて

- ・ごみの有料袋が少し高い

同様意見 4 件

他 3 件

14. 図書館について

- ・中央図書館の移設と充実を早くしてほしいです。

他 4 件

15. 障がい者支援について

- ・私には障がいがあるので、中々一般企業では働けずにいます。A型事業所は1日4時間、B型事業所は短時間で給料がかなり低い。そして移行支援は毎日通勤自腹で通所しなくてははいけないし2年間しかいられない。A型事業所とB型事業所の間をつくって頂けたらもっと働く意欲がわくと思います。心臓病で障がい年金貰えないのはおかしいと思います。A型事業所の給料だけでは生活できません。電車の優先席の広告にヘルプマークをもっと宣伝して欲しいです。

他 1 件

16. 動物保護活動について

- ・野良ネコの保護（捨てネコ・イヌの）と里親募集の活動強化

同様意見 1 件

17. 感謝／肯定的な意見について

- ・過ごしやすい市です。
- ・広い公園が多いので、子育てにはとてもよい環境で、住みやすいです。

他 13 件

18. その他

- ・地方から出てきて多摩市で1人暮らしをしています。災害が起こった時などいざというときに土地勘などが全くないのでどこに避難すべきか分かりません。又、地域とのつながりもないので、これからが少し不安です。
- ・将来的に市内で起業をしたいのでセミナーなど行ってほしい。

他 31 件

Ⅲ 参考資料

- ・子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査 調査票

多摩市子ども・子育て支援に関するニーズ調査（未就学児用）

日頃より市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

多摩市では、第五次多摩市総合計画基本計画に掲げる「子育て・子育てをみんなで支え、子どもたちの明るい声がびくまち」の実現をめざして、様々な子育て支援施策を進めております。

本調査は、多摩市の子育て支援施策を推進する「次期多摩市子ども・子育て支援事業計画」を策定するための基礎資料として、ニーズを把握するため、市民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」をお聞きするものです。なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。

この調査は、多摩市に住民登録をしている方の中から、就学前のお子さんがいらっしゃる 1,150 世帯の皆さんを無作為に選びだし、ご協力をお願いするものです。**回答いただいた個別の調査内容は、個人が特定されたり、回答内容がよそに漏れたりすることはありません。集計した結果については、市の子ども・子育て支援事業計画やその他の施策などの検討及びその説明に使わせていただきます。**ご多用のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 30 年 10 月

多摩市長 阿部 裕行

【 ご記入にあたってのお願い 】

- アンケートは、**封筒のあて名のお子さんの保護者の方が**ご記入ください。
- 特にことわりのない場合は、**封筒のあて名のお子さん**についてご記入ください。
- ご回答は、**選択肢に○印をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合**がございます。
- 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので、注意書きにしたがってください。
- 数字で時刻をご回答いただく場合は、**24 時間制（例：午後 6 時→18 時）でご記入ください。**
- 設問によってご回答いただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印にしたがってご回答ください。
- ご記入が済みしたら、お手数ですが、**同封の返信用封筒（切手はいりません）に入れて 10 月 25 日（木）までに郵便でお送りください。**

●ご不明な点、調査に関するお問い合わせは、こちらにお願いいたします。
多摩市役所 子ども青少年部 子育て支援課 計画推進・保育担当
電話 042(338)6904
FAX 042(372)7988

【①未就学児の保護者対象】

ご回答いただいている方とお子さんの生年月日についておうかがいします

問 1 ご回答いただいているあなたは、あて名のお子さんからみて、次のどの関係にあたりますか。
(○はひとつだけ)

1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. その他 ()

問 2 あて名のお子さんの生年月を数字でご記入ください。(数字を具体的に)

平成 年 月 生まれ

子育てに関する情報についておうかがいします

【 問 1 で「1. 母親」と答えた方におうかがいします 】

→ 該当しない方は問 5（2 ページ）へお進みください。

問 3 多摩市では妊婦さんを対象に、保健師が面接をして体調や気持ち、子育て環境などをうかがい安心して出産を迎えられるようサポートをする妊婦面接「ゆりかご TAMA」を平成 29 年 4 月より始めています。あなたはこのような面接でどのようなことを相談できるといいますか。(○はいくつでも)

1. 妊娠に伴う体やこころの変化・体調等について
2. 妊娠中の食事や薬について
3. 出産準備をするサービス（パパママ学級、妊婦歯科健診など）について
4. 妊娠・出産・育児にかかる費用や、妊婦健康診査・里帰り等妊婦健康診査受診費助成金について
5. 子育て支援サービス（子ども家庭支援サポーター派遣事業、ファミリー・サポート・センター事業、リフレッシュ一時保育事業等）について
6. 仕事との両立（保育園情報等）について
7. 育児方法（授乳方法・スキンケア・健康診査、予防接種情報等）について
8. 子育て支援情報（地域子育て支援拠点、児童館、保育園子育てセンター、育児体験等）について
9. その他 ()

～出産子育て応援事業「ゆりかご TAMA」～

多摩市民で、平成 29 年 4 月 1 日以降に妊娠届出を提出し、母子健康手帳を受け取られたすべての妊婦さんを対象に、保健師が面接を行います。この面接では、妊娠・出産・子育てに関する様々な相談をお受けし、出産までの準備や子育てに必要な情報や子育て支援サービスをお伝えします。面接を受けていただいた妊婦の方には、多摩市から育児に関連した「ゆりかご TAMA 応援ギフト」をプレゼントします。



【 問 1 で「1. 母親」と答えた方におうかがいします 】

→ 該当しない方は問 5 へお進みください。

問 4 あなたが妊娠中や出産後に必要と感じたサポートはどのようなことですか。(○はい/くつても)

1. 家事サポート (子ども家庭サポーター派遣事業等)	
2. 育児サポート (ファミリー・サポート・センター事業、一時保育事業等)	
3. あなたの身体面のケア (産後ボディケアなど)	
4. 発育や発達、離乳食、歯についてなど育児相談	
5. 育児に関する情報提供 (講座・イベント・ひろば)	
6. 経済的な助成 (出産育児一時金、乳幼児医療証、児童手当、妊婦健診)	
7. 産後ケア事業 (育児デイクア、ショートステイ)	
8. 母乳相談	
9. その他 ()	
10. 特にサポートを必要と感じなかった	

問 5 市の発行物または市が発信する情報の中で、子育てに関する情報を得るのに役立ったものはありますか。(○はい/くつても)

1. 多摩市子ども・子育てサービスガイド (子育て支援課発行)	10. 公共施設の掲示板
2. 多摩市の便利な本	11. 市役所の窓口等
3. たま広報	12. 子育て講座、セミナー
4. 市公式ホームページ、公式 twitter	13. 赤ちゃんおはなし会
5. 市公式携帯サイト	※図書館等で実施している絵本の読み聞かせ事業
6. 児童館だより	14. 妊婦面接・新生児訪問事業
7. 多摩のこども (青少年協発行)	15. 乳幼児健康診査
8. のびのび育っ子 (教育委員会発行)	16. 子育てアプリ「マチカゴ」
9. 母子健康手帳	17. その他 ()

あて名のお子さんの保護者の就労状況についておうかがいします

問 6 お子さんの父親、母親の現在の働き方 (自営業、家族従事者を含む) は次のどれにあたりますか。父親、母親それぞれ 1～8 のうちあてはまる番号 1 つに○をつけてください。また【 】に数字 (時間は 9 時～18 時のように 24 時間制) をご記入ください。

(ア) 父親 【母子家庭・両親不在の場合は記入不要です】

1. フルタイムで就労している	※フルタイム：週 5 日・ 1 日 8 時間程度の就労 ※パート・アルバイト等： フルタイム以外の就労
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休暇中	
3. フルタイムで就労予定が決まっている	
4. パート・アルバイト等で就労している	
5. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休暇中	
6. パート・アルバイトで就労予定が決まっている	
7. 以前は就労していたが現在は就労していない	
8. これまで就労したことはない	

【「1」～「6」と答えた方すべてにおうかがいします】

1 週あたりの平均的な「就労日数」、1 日あたりの平均的な「就労時間」をお答えください。
育休・介護休暇中の方は休業に入る前の状況についてお答えください。

・ 1 週あたり【 】日 ・ 家を出る時刻【 】時頃 例) 8 時、20 時
・ 1 日あたり【 】時間働く ・ 平均帰宅時刻【 】時頃 のように、24 時間制でお答えください。

【「4」～「6」と答えた方におうかがいします】

フルタイムへの転換希望はありますか。(○はい/くつても)

- 希望があり、実現できる見込みがある
- 転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

【「7」、「8」と答えた方におうかがいします】

就労したいという希望はありますか。(○はい/くつても)

併せて【 】内に数字をご記入ください

- 子育てや家事などに専念したい (今のところ就労の予定はない)
- 1 年よりも先、一番下の子どもが【 】歳になったところに就労したい
- すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい

希望する 1. フルタイム
就労形態 2. パート・アルバイト → 希望する 1 週あたり【 】日
就労日数 就労時間 1 日【 】時間

(イ) 母親 【父子家庭・両親不在の場合は記入不要です】

1. フルタイムで就労している
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休暇中
3. フルタイムで就労予定が決まっている
4. パート・アルバイト等で就労している
5. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休暇中
6. パート・アルバイトで就労予定が決まっている
7. 以前は就労していたが現在は就労していない
8. これまで就労したことはない

※フルタイム：週5日・
1日8時間程度の就労

※パート・アルバイト等：
フルタイム以外の就労

【「1」～「6」と答えた方すべてにおうかがいします】

1週あたりの平均的な「就労日数」、1日あたりの平均的な「就労時間」をお答えください。
育休・介護休暇中の方は休業に入る前の状況についてお答えください。

- ・1週あたり【 】日 ・家を出る時刻【 】時頃 例) 8時、20時
・1日あたり【 】時間働く ・平均帰宅時刻【 】時頃
のように、24時間制で
お答えください。

【「4」～「6」と答えた方におうかがいします】

フルタイムへの転換希望はありますか。(○はひとつだけ)

1. 希望があり、実現できる見込みがある
2. 転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

【「7」、「8」と答えた方におうかがいします】

就労したいという希望はありますか。(○はひとつだけ)
併せて【 】内に数字をご記入ください

1. 子育てや家事などに専念したい(今のところ就労の予定はない)
2. 1年よりも先、一番下の子どもが【 】歳になったころに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

希望する
就労形態

希望する
就労日数
就労時間

1. フルタイム

2. パート・アルバイト

3. 1週あたり【 】日
1日【 】時間

あて名のお子さんの保護者の育児休業についておうかがいします

問7 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
(母親、父親それぞれ○はひとつだけ)
また、「取得していない」とお答えの方はその理由をご記入ください。

父親 (○は1つ)	母親 (○は1つ)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した (取得中である)	2. 取得した (取得中である)
3. 取得していない	3. 取得していない

問7-1 「3. 取得していない」とお答えの方は、理由をお答えください。(○はいくつでも)

父親	母親	選択肢
1	1	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2	2	仕事で忙しかった
3	3	(産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4	4	仕事に戻るのが難しそうだった
5	5	昇給・昇格などが遅れそうだった
6	6	収入減となり、経済的に苦しくなる
7	7	保育園などに預けることができた
8	8	配偶者が育児休業制度を利用した
9	9	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえらるなど、制度を利用する必要がなかった
10	10	子育てや家事に専念するため退職した
11	11	職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)
12	12	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13	13	育児休業を取得できることを知らなかった
14	14	産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できなかったことを知らず、退職した
15	15	その他 ()

【問7で「2」と答えた方におうかがいします】

→ 該当しない方は問8 (7ページ) へお進みください。

問7-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(○は1つだけ)

父親 (○は1つ)	母親 (○は1つ)
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である	2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した	3. 育児休業中に離職した

問 7-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、希望として、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたいと思いますか。

【 】内に数字でご記入ください。

(1) 父親

実際の復帰時期	【 】 歳	【 】 ヶ月	希望	【 】 歳	【 】 ヶ月まで
---------	-------	--------	----	-------	----------

(2) 母親

実際の復帰時期	【 】 歳	【 】 ヶ月	希望	【 】 歳	【 】 ヶ月まで
---------	-------	--------	----	-------	----------

問 7-3 で希望の復帰時期と実際の復帰時期が異なる方におうかがいます

問 7-4 希望と実際の復帰時期が異なった理由はどのようなことでしたか。(○はいくつでも)

1. 希望する保育所等に入るため

2. 入所申請した保育所等に入れなかったため

3. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため

4. 配偶者や家族の希望があったため

5. 職場の受け入れ体制が整っていないかったため

6. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため

7. その他 ()

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についておうかがいます

問 8 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(○はひとつだけ)

1. 利用している

2. 利用していない

問 8-2 (8 ページ) にお進みください

【 問 8 で「1」と答えた方におうかがいます 】

問 8-1 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(○はいくつでも)

※教育・保育の事業の施設例につきましては、別紙の参考資料をご参考にお答えください。

番号	事業名	概要
1	幼稚園	通常の就園時間の利用
2	幼稚園の預かり保育	通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ
3	認可保育園	国が定める最低基準に適合し都道府県等の認可を受けた保育施設
4	認可保育園の一時保育	家庭での保育が一時的に困難となった場合に、週平均 3 日を限度として保育する事業
5	認定こども園	幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設
6	東京都認証保育所	東京都独自の基準を満たした保育施設
7	家庭的保育事業所 (保育ママ)	市で認定した家庭的保育事業者が、保護者に代わって自宅等で 0 ～ 2 歳児を保育する事業
8	事業所内保育所 ※市の認定あり	企業が従業員用に運営する施設で、市の認定を受け、地域の子どもの保育も行っている施設
9	企業主導型保育所	企業が設置する従業員用の保育施設で、地域の子どもも受け入れ可能
10	小規模保育所	国が定める最低基準に適合した施設で市の認可を受けた定員概ね 6 ～ 19 人の施設
11	夜間保育所	夜間 (22 時まで) 開所している保育施設
12	その他の認可外の保育施設 ※市の認定のない事業所内保育所含む	保育を行うことを目的とするその他の施設
13	居宅訪問型保育 (ベビーシッター)	派遣された保育者が子どもたちの家庭で保育する事業
14	ファミリー・サポート・センター	地域住民が子どもを預かる事業
15	定期利用保育	認可保育所が待機となった 1 ～ 2 歳児について、週 5 日を限度に複数月の保育を行う事業
16	その他 ()	

(A) 選んだ中で最も多く利用しているもの1つを選び数字をご記入ください。また、その利用場所について該当する番号1つに○をつけてください。

最も多く利用しているもの

番号

利用場所

1. 多摩市内 2. 東京都の他市区町村 3. 東京都外

(B) (A) で選んだものは平日どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週あたり何日、1 日あたり何時間（何時から何時まで）かを【 】内に具体的な数字でご記入ください。時間は24 時間制でご記入ください。

(1) 現在

1 週あたり【 】日 1 日あたり【 】時間 (【 】時～【 】時)

(2) 希望

1 週あたり【 】日 1 日あたり【 】時間 (【 】時～【 】時)

(C) (A) で選んだものを利用している理由は何ですか。(○はいくつでも)

～お子さんの身の回りの世話を主に行っている方～

1. 現在働いている（または育児休業中である） 5. 学生である

2. 働く予定がある／求職中である 6. 1～5 までの事情はないが、子どもの教育のため

3. 家族・親族などを介護しなければならない 7. その他（ ）

4. 病気や障がいをもっている

【問8で「2. 利用していない」と答えた方におうかがいします】

問8-2 教育・保育の事業を利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. (子どもの父親か母親が就労していないなど 6. 預けたいが、経済的な理由でサービズを利用できない理由で) 必要がない

2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている 7. 預けたいが、延長・夜間等の場所や時間帯の条件が整わない

3. 近所の人や父母の友人・知人がみている 8. 預けたいが、サービズの質や場所など、納得できるサービズがない

4. 保護者が子どもを預け合う「自主保育」を 9. 子どもがまだ幼いため

5. 預けたいが、教育・保育の事業に空きがない 10. その他（ ）

【すべての方におうかがいします】

問9 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、料金も考慮の上「定期的に」利用したいと考える事業について、表中のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

※これらの事業の利用には、一定の保育料の支払い等の利用者負担が発生します。

※教育・保育の事業の施設例につきましては、別紙の参考資料をご参考にお答えください。

番号	事業名	利用者負担（目安）	概要
1	幼稚園	入園料約100,000円+20,000円～30,000円/月の保育料+教材費等 入園料約10,000円+収入に応じ0～23,000円/月の保育料+教材費等（新制度移行園）	通常の就園時間の利用
2	幼稚園の預かり保育	概ね1,000円/回の保育料	通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的に利用のみ
3	認可保育園	収入・年齢に応じ0～60,000円/月の保育料	国が定める最低基準に適合し都道府県等の認可を受けた施設
4	認可保育園の一時保育	時間に応じ1,000～2,000円/回の保育料	就労や出産などの理由で、家庭での保育が一時的に困難となった場合に、週平均3日を限度として保育する事業
5	認定こども園	入園料約10,000円+収入に応じ0～23,000円/月の保育料+教材費等（幼稚園） 収入・年齢に応じ0～60,000円/月の保育料（保育園）	幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設
6	東京都認証保育所	(月160時間の利用の場合) 入園料20,000～30,000円+45,000～83,000円/月の保育料 収入・年齢に応じ0～60,000円/月の保育料	東京都独自の基準を満たした保育施設
7	家庭的保育事業所 (保育ママ)	収入・年齢に応じ0～60,000円/月の保育料	市で認定した家庭的保育事業者が、保護者に代わって自宅等で保育する事業
8	事業所内保育所 ※市の認定あり	収入・年齢に応じ0～60,000円/月の保育料	企業が従業員用に運営する施設で、市の認定を受け、地域の子どもの保育も行っている施設
9	企業主導型保育所	施設ごとの保育料	企業が設置する従業員用の保育施設で地域の子どもも受け入れ可能
10	小規模保育所	収入・年齢に応じ0～60,000円/月の保育料	国が定める最低基準に適合した施設で市の認可を受けた定員概ね6～19人の施設
11	夜間保育所	施設ごとの保育料	夜間（22時まで）開所している保育施設
12	その他の認可外の保育施設 ※市の認定のない事業所内保育所含む	施設ごとの保育料	保育を行うことを目的とするその他の施設
13	居宅訪問型保育 (ベビーシッター)	保育者ごとの保育料	派遣された保育者が子どもの家庭で保育する事業
14	ファミリー・サポート・センター	登録料500円（初回時）+850円～1,000円/時間・人+実費等	地域住民が子どもを預かる事業
15	その他（ ）		
16	希望なし		

あて名のお子さんが病気になるたときの対応についておうえがいます

【 平日の定期的な教育・保育の事業を利用（幼稚園、保育園、認可外保育施設を利用）している方におうかがいします 】

問12 この1年間に、お子さんが病気やけがで幼稚園、保育園、認可外保育施設（認証保育施設や事業所内保育施設を含む）を休まなければならなかったことはありましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

問 13 (12 ページ) にお進みください

【問12で「1. あった」と答えた方におうかがいします】

問12-1 そのときどう対処しましたか。以下の中から該当する番号すべてに○をつけてください。

また、その年間の日数を数字で記入してください。

1. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	年間およそ	【	】	日
2. 父親が休んだ	年間およそ	【	】	日
3. 母親が休んだ	年間およそ	【	】	日
4. (同居者を含む) 親族・知人に預けた	年間およそ	【	】	日
5. 病児・病後児の保育サービスを利用した ※日額2,000円の費用・登録予約制	年間およそ	【	】	日
6. ベビーシッターを利用した	年間およそ	【	】	日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	年間およそ	【	】	日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間およそ	【	】	日
9. その他 ()	年間およそ	【	】	日

【問12-1で「2. 父親が休んだ」「3. 母親が休んだ」と答えた方におうかがいします】

問12-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

あてはまる番号1つに○をつけ、年間の日数についても数字でご記入ください。

※病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい

2. 利用したいとは思わない

年 間 【 】 日

【問9で「1」～「14」と答えただ方におうかがいします】

↑ 該当しない方は問10へお進みください。

(A) 選んだ中で特に希望するものを1つ選んで、数字をご記入ください。

また、それを利用希望する場所はどこですか。(〇はひとつだけ)

特に希望するもの	番号	利用希望する場所
		1. 多摩市内 2. 東京都の他市区町村 3. 東京都外

(B) (A) で選んだ事業は、1週間あたり何日・1日あたり何時間教育・保育の事業を希望しますか（延長保育なども含めます）。数字をご記入ください。

1週あたり【 】日 1日あたり【 】時間 (【 】時～【 】時)

問10 あて名のお子さんについて、送迎保育ステーションがあれば、利用したいと思いますが。（〇はひとつだけ）※1歳からの利用を想定した場合

「送迎保育ステーション」とは、対象の子どもを一時的に預かる拠点（送迎保育ステーション）を駅前等に設置し、拠点と利用保育所の間でバスを運行し、子どもを送迎を行うサービスです。利用にあたっては保育料とは別に費用がかかります。（多摩市では現在行っておりません）

1. 利用したい

2. 子どもが 歳になったら、
利用したい (□に年齢をご記入ください)

3. 利用したいとは思わない

4. わからない

来年4月にお子さんが就学される方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についておうえんいたします

⇒それ以外の方は問12(11ページ)にお進みください

問11 あて名のお子さんについて、小学校就学後は、平日の放課後に学童クラブ（学童保育）の利用希望がありますか。料金も考慮の上、あてはまる番号に○をつけ、利用を希望する時間も【 】内に数字でご記入ください。 時間は24時間制でご記入ください。

1. 利用したい → 1 週あたり【 】日 下校から【 】時まで

2. 利用希望はない

「学童クラブ」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。(7,000円/月)

あて名のお子さんの子育て支援事業の利用状況についておうかがいします

問13 下記の事業や取り組みについて、「A. 知っているかどうか」「B. 利用したことがあるかどうか」「C. 今後、利用したいかどうか」について、それぞれ1つ○をつけてお答えください。

また、各事業や取り組みについて、「B. 利用したことがある」とお答えの方は、「満足」「不満」のいずれかにも○をつけてください。

※多摩市の事業についてのみお答えください。

事業	A 知っている	B これまでに利用した ことがある	C 今後利用 したい
①パパママ（両親）学級	はい・いいえ	はい(満足・不満)・いいえ	
②妊婦健診事業	はい・いいえ	はい(満足・不満)・いいえ	
③新生児訪問事業	はい・いいえ	はい(満足・不満)・いいえ	
④健康センターの情報発信・相談事業	はい・いいえ	はい(満足・不満)・いいえ	はい・いいえ
⑤保育園の子育てセンター事業	はい・いいえ	はい(満足・不満)・いいえ	はい・いいえ
※ひろば事業や講座を実施している市内3認可保育園			
⑥保育園の一時保育	はい・いいえ	はい(満足・不満)・いいえ	はい・いいえ
⑦保育園の延長保育	はい・いいえ	はい(満足・不満)・いいえ	はい・いいえ
⑧保育園の休日保育	はい・いいえ	はい(満足・不満)・いいえ	はい・いいえ
⑨病児・病後児保育事業	はい・いいえ	はい(満足・不満)・いいえ	はい・いいえ
⑩子育て総合センターの相談窓口	はい・いいえ	はい(満足・不満)・いいえ	はい・いいえ
⑪子育て総合センター「たまっこ」子育てひろば	はい・いいえ	はい(満足・不満)・いいえ	はい・いいえ
⑫子ども家庭サポートセンター派遣事業	はい・いいえ	はい(満足・不満)・いいえ	はい・いいえ
※妊娠中や出産後ご自宅に子ども家庭サポートセンターを派遣する事業			
⑬子どもショートステイ事業	はい・いいえ	はい(満足・不満)・いいえ	はい・いいえ
※保護者が病気や出産等で一時的に養育できないときに、ご家族に代わって地域の養育協力家庭宅等において、お子さんをお預かりし養育する事業			
⑭「たまっこ」のリフレッシュ一時保育事業	はい・いいえ	はい(満足・不満)・いいえ	はい・いいえ
※「たまっこ」においてお子さんを預かる事業			
⑮ファミリー・サポーター・センター	はい・いいえ	はい(満足・不満)・いいえ	はい・いいえ
⑯児童館の0歳児の時間、1歳児の時間、幼児の時間	はい・いいえ	はい(満足・不満)・いいえ	はい・いいえ
⑰教育センター（教育相談）	はい・いいえ	はい(満足・不満)・いいえ	はい・いいえ
⑱発達支援室	はい・いいえ	はい(満足・不満)・いいえ	はい・いいえ
⑲子育て応援とうきょうバスポート事業（東京都）	はい・いいえ	はい(満足・不満)・いいえ	はい・いいえ
※協賛店舗等の善意により、子育て世代や妊娠中の方の世帯に対して、様々なサービスを提供			

問14 あて名のお子さんは、現在、以下にあげる地域子育て支援拠点を利用していますか。それぞれあてはまる番号と記号に○をつけ、【 】内に数字でご記入ください。

地域子育て支援拠点・・・子育て中の親子がゆったり過ごせる「子育てひろば」を設け、親子の交流や相談を行う場所を提供しています

設置場所・・・子育て総合センター、多摩保育園の子育てセンター、一ノ宮児童館、永山児童館、諏訪児童館、落合児童館、唐木田児童館、桜ヶ丘児童館（拠点の連携館）

(ア) 上記の場所に設置している地域子育て支援拠点の「子育てひろば」を利用していますか。

1. 利用している	→ 1 週あたり【 】回	もしくは1月あたり【 】回程度
A. 今後利用日数を増やしたい	→ 1 週あたり【 】回	もしくは1月あたり【 】回程度
B. 今後利用日数を増やしたいとは思わない		
2. 利用していない		
A. 今後利用したい	→ 1 週あたり【 】回	もしくは1月あたり【 】回程度
B. 今後も利用したいと思わない		

(イ) 地域子育て支援拠点の「子育てひろば」で相談を行った、または情報提供を受けたことはありますか。

1. 相談したことがある・情報提供を受けたことがある	→ (ウ) へ
2. 相談したことはない・情報提供を受けたことはない	→ 問 15 (14 ページ) にお進みください
A. 今後相談してみたい・情報提供を受けたい	→ (ウ) へ
B. 相談したいと思わない	→ 問 15 (14 ページ) にお進みください

(ウ) 相談したいこと（これまで相談したこと）または知りたい情報はどんなことですか。

1. 基本的な生活習慣	5. 子育て支援サービス（一時的な預かり等）
2. 教育・しつけ	6. イベント情報
3. 養育への不安	7. 幼稚園・保育園情報
4. 発達・発育	8. その他 ()

あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う「一時預かり」等の利用についておうかがいします

問15 あて名のお子さんについて、且中の定期的な保育や病気のため以外に、保護者の用事や通院、就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（○はひとつだけ）
また、ある場合は1年間の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。

1. 保育園の一時保育 ※1,000円～2,000円/回の保育料	年間【 】日
2. たまごのリフレッシュ一時保育 ※700円/時間・人の利用料 (用事など理由を問わずにたまごで一時的に子どもを保育する事業)	年間【 】日
3. 幼稚園の預かり保育 ※概ね1,000円/回の保育料 (通常の就園時間を延長し預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	年間【 】日
4. ファミリー・サポート・センター ※850～1,000円/時間・人+実費等 (地域住民が地域住民宅で子どもを預かる事業)	年間【 】日
5. 子どもショートステイ事業 ※1回につき6泊まで、1人につき3,000円/泊 (保護者が病気や出産等で一時的に養育できないときに、ご家族に代わって地域の養育協力家庭宅等において、お子さんをお預かりし養育する事業)	年間【 】日
6. ベビーシッター	年間【 】日
7. その他 ()	年間【 】日
8. 利用していない	

問16 あて名のお子さんについて、保護者の用事や通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時的に預かり事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（目的別の内訳の日数を【 】内に数字でご記入ください）。
※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。利用料も考慮の上ご回答ください。

1. 利用したい	<p>ア. 買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事、リフレッシュなどの目的</p> <p>イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等</p> <p>ウ. 不定期の就労</p> <p>エ. その他（ ）</p>	<p>年間【 】日</p> <p>年間【 】日</p> <p>年間【 】日</p> <p>年間【 】日</p>
2. 利用する必要はない		

- 14 -

【①未就学児の保護者対象】

問17 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外（同居者を含む）にみてもらわなければならないことはありましたか【預け先が見つからなかった場合も含みます】。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。それぞれの日数も【 】内に数字でご記入ください。

	1 年間の対処方法	日数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	年間およそ【 】泊
	イ. 子どもショートステイ事業を利用した (1 回につき 6 泊まで、1 人につき 1 泊または 1 日 3,000 円。 保護者が病氣や出産等で一時的に養育できないときに、ご家族に代わって地域の養育協力家庭宅等において、お子さんをお預かりし養育する事業)	年間およそ【 】泊
	ウ. イ以外の保育事業 (ベビーシッター等) を利用した	年間およそ【 】泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	年間およそ【 】泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間およそ【 】泊
	カ. その他	年間およそ【 】泊
2. なかった		

問17で「ア。(同居人を含む)親族・知人にみてもった」と答えた方におうかがいします】

1. 非常に困難だった
2. どちらかと言えば困難だった
3. 特に困難ではなかった

あて名のお子さんの発達や医療的ケアについておうかがいします

質問 18 あて名のお子さんについて、日常的に医療的ケアが必要ですか。(○はひとつだけ)
※医療的ケアとは、病院以外の場所で行う「酸素吸入」や「たんの吸引」「チューブを使って胃に直接栄養を送る経管栄養」など、日常生活上で必要な医療的援助のことです

1. 必要である
2. 必要ではない

問19 あて名のお子さんは、健康センターの乳幼児健診（3～4か月・1歳6か月・3歳児健診）、保育所や通院した医療機関等で「発達に遅れが見られる」または「発達で気になるところが見られる」などと言われたことがありますか。（○はひとつだけ）

1. 言われたことがある
2. 言われたことはない
3. おぼえていない

- 15 -

【①未就学児の保護者対象】

問20 あなたは、お子さんの発達に不安を感じたことがありますか。(○はいくつでも)

1. 不安を感じることは特にはない

2. 落ち着きがない、こたわりが強いなどの気になる行動が見られること

3. 年齢に対して言葉が遅れていること

4. 人に関心がなかったり、友だちと遊べないなど、人見知りが特に強いこと

5. 年齢に対して身体の発達が遅れていたたり、身体の発育に気になるところがあること

6. 食事、排せつ、衣服の着脱など身の回りのことをする力が身についていないこと

7. 乱暴、気持ちの切り替えができないなど、感情のコントロールが苦手

8. 年齢に応じた運動ができないこと

9. 知的な発育が遅れていること

10. その他 ()

【問20で「2～10」のいずれかに○をつけた方におうかがいします】

問20-1 あなたがお子さんの発達に不安を感じたとき、誰(どこ)に相談しましたか。(○はいくつでも)

1. 配偶者・パートナー

2. 自分や配偶者の親族

3. 友人

4. 保育所・幼稚園

5. 子育てセンター (保育園)

6. 保健所

7. 病院・診療所

8. 子育て総合センター

9. 児童相談所

10. 健康センター

11. 市役所の窓口

12. 教育センター (教育相談・就学相談)

13. 発達支援室

14. その他 ()

15. 相談はしなかった

具体的な理由:

あなたの暮らし向きについておうかがいします

問21 昨年 (平成 29 年 1～12 月) 1 年間の、あなたの世帯 (生計を共にする家族の収入も含みます) のおよその手取りの総収入 (養育費や手当等すべての収入を含みます) を教えてください。(○はひとつだけ)

1. 0～99 万円

2. 100～199 万円

3. 200～299 万円

4. 300～399 万円

5. 400～499 万円

6. 500～599 万円

7. 600～699 万円

8. 700～799 万円

9. 800 万円以上

問22 現在の経済的な状況を総合的にみて、どう感じていますか。(○はひとつだけ)

1. 大変ゆとりがある

2. ややゆとりがある

3. 普通

4. やや苦しい

5. 大変苦しい

問23 生活の中で負担に感じる費用はありますか。上位2つをお選びください。(○は2つまで)

1. 教育費

2. 食費

3. 光熱水費

4. 通信費 (携帯電話代含む)

5. 住宅費

6. 衣服費

7. 医療費

8. その他 ()

問24 あなたのご家庭では、過去 1 年間の間にお金が足りずに、家族が必要とする食料や衣類を買いえないことなどがありましたか。(それぞれ○をひとつ)

【ア. 食料】

1. よくあった

2. ときどきあった

3. まれにあった

4. まったくなかった

【イ. 衣類】

1. よくあった

2. ときどきあった

3. まれにあった

4. まったくなかった

【ウ. 光熱水費】

1. よくあった

2. ときどきあった

3. まれにあった

4. まったくなかった

子育ての悩みや相談相手についておうかがいします

問25 子育てについて、不安や負担を感じていますか。(○はひとつだけ)

1. 非常に感じる

2. 何となく感じる

3. 何とも言えない

4. あまり感じない

5. まったく感じない

【問25で「1」、「2」と答えた方におうかがいします】

問25-1 具体的にどのような不安や負担を感じていますか。(○はいくつでも)

1. 心身の疲れ

2. 出費などの経済的不安

3. 自由な時間がない

4. 配偶者・パートナーの理解・協力不足

5. 配偶者・パートナー以外に手伝ってくれる人がいない

6. 職場の無理解

7. 子どもとの接し方、育児の方法がわからない

8. 子どもの友だちづきあい (いじめ等を含む)

9. 登園しづり

10. 子どもの病気や発育・発達

11. 住居が狭いなどの住環境について

12. 近所づきあい、周りの目が気になる

13. 子のほかに面倒をみなければならない人がいる

14. 子どもと接する時間が少ない

15. 子育てに関する情報が少ない

16. その他 ()

問 25-2 子育ての中で次のような経験がありますか。(○はいくつでも)

1. しかっているうちに感情がコントロールできなくなったことがある

2. わざと子どもを無視したり、世話をしなかったことがある

3. 子どもに傷やあざができるほど、たたくようなことをしたことがある

4. 子どもが傷つくような言葉を向けたことがある

5. その他、子どもに対して不適切なことをしたことがある (具体的に)

6. 上記のようなことをしそうになったが、がまんした

問 26 あて名のお子さんの子育て (教育を含む) をする上で、気軽に相談できる人、または相談できる場所はありますか。(○はひとつだけ)

1. いる/ある

2. いない/ない

→

【 問 26 で「1」と答えた方におうかがいします 】

問 26-1 あて名のお子さんの子育て (教育を含む) に関して、気軽に相談できる先は誰 (どこ) ですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者・パートナー	9. 民生委員・児童委員	17. 教育センター (教育相談)
2. 自分や配偶者の親族	10. かかりつけの病院・医師	18. 発達支援室
3. 友人・知人	11. 看護師・栄養士	19. 健康センター
4. 近所の人	12. 児童館・学童クラブ等	20. インターネット・SNS の仲間
5. 職場の人	13. 子育てセンター (保育園)	21. その他
6. 幼稚園教諭・幼稚園	14. 市役所の窓口	()
7. 保育士・保育園	15. 子育て総合センター	
8. 幼稚園・保育園の保護者仲間	16. NPO 団体等の地域の	
	子育て支援者	

市に望む子育て支援策についておうかがいします

問 27 あなたが、子どもを (もつと) もうけたい、育てたいと思えるようになるための必要な条件はどのようなことだと思いますか。(○はひとつ)

1. 職場の理解	5. 公共施設などの子育て環境の充実
2. 住居に関する支援	6. 子どもの教育環境の充実
3. 子育てや教育にかかる経済的負担の軽減	7. 配偶者・パートナーの理解
4. 出産に関する経済的支援	8. その他
	()

問 28 安心して子どもを生み育て、子どもが健やかに育つことができる環境を整えるために、行政や地域などに対するご意見・ご要望がありましたら、ご自由に記入ください。

最後に、回答いただいているあなたの状況についておうかがいします

問 29 ご回答いただいているあなたの現在の年齢をお答えください。(○はひとつだけ)

1. 10 歳代	6. 40 歳～44 歳
2. 20 歳～24 歳	7. 45 歳～49 歳
3. 25 歳～29 歳	8. 50 歳～54 歳
4. 30 歳～34 歳	9. 55 歳～59 歳
5. 35 歳～39 歳	10. 60 歳以上

問 30 ご回答いただいているあなたの配偶関係についてお答えください。(○はひとつだけ)

1. 配偶者がいる	2. 配偶者はいない
-----------	------------

問 31 お子さんは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お 2 人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

子どもの数 人

末子の生年月 平成 年 月 生まれ

問 32 あて名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(○はひとつだけ)

1. 両親ともに	2. 母親	3. 父親	4. 祖父母	5. その他 ()
----------	-------	-------	--------	------------

問 33 お住まいの地区はどちらですか。(○はひとつだけ)

1. 関戸、一ノ宮地区	6. 馬引沢、諏訪地区
2. 連光寺、聖ヶ丘地区	7. 永山地区
3. 桜ヶ丘地区	8. 貝取 (1～5 丁目)、豊ヶ丘地区
4. 和田、百草、東寺方、落川地区	9. 落合、鶴牧、南野地区
5. 愛宕、乞田、貝取 (番地) 地区	10. 唐木田、中沢、山王下地区

ご協力ありがとうございました

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒 (切手はいりません) に入れ、
10 月 25 日 (木) までに郵便でお送りください。

多摩市子ども・子育て支援に関するニーズ調査（小学生用）

日頃より市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。
多摩市では、第五次多摩市総合計画基本計画に掲げる「子育て・子育てをみんなで支え、子どもたちの明るい声がびくまち」の実現をめざして、様々な子育て支援施策を進めております。

本調査は、多摩市の子育て支援施策を推進する「次期多摩市子ども・子育て支援事業計画」を策定するための基礎資料として、ニーズを把握するため、市民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」をお聞きのものです。なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。

この調査は、多摩市内の公立小学校に通う2年生、4年生の保護者の方に、ご協力をお願いするものです。回答いただいた個別の調査内容は、個人が特定されたり、回答内容がよそに漏れたりすることはありません。集計した結果については、市の子ども・子育て支援事業計画やその他の施策などの検討及びその説明に使わせていただきます。

ご多用のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年10月

多摩市長 阿部 裕行

【ご記入にあたってのお願い】

1. アンケートは、保護者の方がご記入ください。

2. 特にことわりのない場合は、調査票を持ち帰ったお子さんについてご記入ください。

3. ご回答は、選択肢に○印をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。

4. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので、注意書きにしたがってください。

5. 数字で時刻をご回答いただく場合は、24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。

6. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印にしたがってご回答ください。

7. ご記入が済みしたら、お手数ですが、配布時と同じ封筒に入れて、必ず封をしてお子さんに各クラスの教室にある回収箱に提出するようお願いください。提出は10月19日（金）までにお願いします。

●ご不明な点、調査に関するお問い合わせは、こちらにお願いいたします。

多摩市役所 子ども青少年部 子育て支援課 計画推進・保育担当

電話042(338)6904

FAX042(372)7988

お子さんとご家族の状況についておうかがいします

問1 ご回答いただいているあなたは、あて名のお子さん（調査票を持ち帰ったお子さん）からみて、次のどの関係にあたりますか。（○はひとつだけ）

1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. その他（ ）

問2 あて名のお子さんの生年月日を数字でご記入ください。（数字を具体的に）

平成 年 月 生まれ

子育てに関する情報についておうかがいします

問3 市の発行物または市が発信する情報の中で子育てに関する情報を得るのにどのようなものが役立つと思われるか。（○はいくつでも）

1. 多摩市子ども・子育てサービスガイド（子育て支援課発行）	7. 多摩のこども（青少協発行）
2. 多摩市の便利な本	8. 母子健康手帳
3. たま広報	9. 公共施設の掲示板
4. 市公式ホームページ、公式twitter	10. 市役所の窓口等
5. 市公式携帯サイト	11. 子育て講座、セミナー
6. 児童館だより	12. 教育委員会だより
	13. その他（ ）

あて名のお子さんの保護者の就業状況についておうかがいします

問 4 お子さんの父親、母親の現在の働き方（自営業、家族従事者を含む）は次のどれに当たりますか。父親、母親それぞれ1～8のうちあてはまる番号1つに○をつけてください。また【 】に数字（時間は9時～18時のように24時間制）をご記入ください。

(ア) 父親 【母子家庭・両親不在の場合は記入不要です】

1. フルタイムで就労している

2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休暇中

3. フルタイムで就労予定が決まっている

4. パート・アルバイト等で就労している

5. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休暇中

6. パート・アルバイトで就労予定が決まっている

7. 以前は就労していたが現在は就労していない

8. これまで就労したことはない

※フルタイム：週5日・1日8時間程度の就労

※パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労

【「1」～「6」と答えた方すべてにおうかがいします】

1 週あたりの平均的な「就労日数」、1日あたりの平均的な「就労時間」をお答えください。

育休・介護休暇中の方は休業に入る前の状況についてお答えください。

・ 1 週あたり【 】日 ・ 家を出る時刻【 】時頃 例) 8 時、20 時

・ 1 日あたり【 】時間働く ・ 平均帰宅時刻【 】時頃 のように、24 時間制でお答えください。

【「4」～「6」と答えた方におうかがいします】

フルタイムへの転換希望はありますか。(○はひとつだけ)

1. 希望があり、実現できる見込みがある

2. 転換希望はあるが、実現できる見込みはない

3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望

4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

【「7」、「8」と答えた方におうかがいします】

就労したいという希望はありますか。(○はひとつだけ)

併せて【 】内に数字をご記入ください

1. 子育てや家事などに専念したい（今のところ就労の予定はない）

2. 1 年よりも先、一番下の子どもが【 】歳になったところに就労したい

3. すぐにも、もしくは1 年以内に就労したい

希望する
就労形態

→

希望する
就労日数
就労時間

→

1. フルタイム 2. パート・アルバイト 1 週あたり【 】日

1 日【 】時間

(イ) 母親 【父子家庭・両親不在の場合は記入不要です】

1. フルタイムで就労している

2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休暇中

3. フルタイムで就労予定が決まっている

4. パート・アルバイト等で就労している

5. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休暇中

6. パート・アルバイトで就労予定が決まっている

7. 以前は就労していたが現在は就労していない

8. これまで就労したことはない

※フルタイム：週5日・1日8時間程度の就労

※パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労

【「1」～「6」と答えた方すべてにおうかがいします】

1 週あたりの平均的な「就労日数」、1日あたりの平均的な「就労時間」をお答えください。

育休・介護休暇中の方は休業に入る前の状況についてお答えください。

・ 1 週あたり【 】日 ・ 家を出る時刻【 】時頃 例) 8 時、20 時

・ 1 日あたり【 】時間働く ・ 平均帰宅時刻【 】時頃 のように、24 時間制でお答えください。

【「4」～「6」と答えた方におうかがいします】

フルタイムへの転換希望はありますか。(○はひとつだけ)

1. 希望があり、実現できる見込みがある

2. 転換希望はあるが、実現できる見込みはない

3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望

4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

【「7」、「8」と答えた方におうかがいします】

就労したいという希望はありますか。(○はひとつだけ)

併せて【 】内に数字をご記入ください

1. 子育てや家事などに専念したい（今のところ就労の予定はない）

2. 1 年よりも先、一番下の子どもが【 】歳になったところに就労したい

3. すぐにも、もしくは1 年以内に就労したい

希望する
就労形態

→

希望する
就労日数
就労時間

→

1. フルタイム 2. パート・アルバイト 1 週あたり【 】日

1 日【 】時間

お子さんの放課後の過ごし方についておうかがいします

問5 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか（過ごさせましたか）。料金も考慮の上、利用を希望する場所についてはそれぞれ希望する週あたり日数の数字をお選びください。（○はそれぞれひとつ）

		利用したい／週あたりの利用希望日数					利用 したい と 思 わ な い
		週 1 日	週 2 日	週 3 日	週 4 日	週 5 日	
A. 自宅中心		1	2	3	4	5	6
B. 祖父母宅や友人・知人宅		1	2	3	4	5	6
C. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）		1	2	3	4	5	6
D. 学童クラブ〔学童保育〕7,000円/月 ※1		1	2	3	4	5	6
E. 児童館 ※2		1	2	3	4	5	6
F. 放課後子ども教室 ※3 一部費用発生有		1	2	3	4	5	6
G. ファミリー・サポート・センター ※4 850～1,000円/時間・人+実費等		1	2	3	4	5	6
H. 放課後等デイサービスセンター※5 （所得に応じた費用負担）		1	2	3	4	5	6
I. その他公共施設（公民館、公園など）		1	2	3	4	5	6
J. その他（	）	1	2	3	4	5	6

※1 「学童クラブ」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、放課後、適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る施設。

※2 「児童館」…地域における子どもたちの交流の場として、スポーツ、文化、創作活動等を通じて、子どもたちが毎日思う存分遊んでいく中で健全育成を図る施設。

※3 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後などに学校施設を活用して、子どもたちが安全・安心に遊ぶことができる「広場」を提供する事業。市内14校で実施（全学年対象）しています。（開催頻度は実施場所によって異なります。）

※4 「ファミリー・サポート・センター」…学童クラブや学校の送迎、その前後の預かりなど、子育てのお手伝いを地域住民が地域住民宅で行なう事業。

※5 「放課後等デイサービスセンター」…障がいのある児童に対し、放課後や休日に、生活能力の向上のために必要な訓練や社会との交流促進を行うとともに、放課後等の居場所を提供している事業。

問 5-1 小学校低学年（1～3年）のうちは放課後を問5で選択した場所で過ごさせたい（過ごさせた）理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 働いているから	6. 兄弟姉妹も利用しているから
2. 利用料などを考慮して	7. 同居家族の看護・介護をしているから
3. 妊娠、出産や病気、けがなどで子どもを見ることができないから	8. 資格の勉強や求職活動等のため
4. 障がいがあり、子どもを見ることができないから	9. 子どもの教育によいと考えたから
5. 子どもが希望しているから	10. 子どもをよく見てもらえるから
	11. その他（

問6 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか（過ごしていますか）。料金も考慮の上、利用を希望する場所についてはそれぞれ希望する週あたり日数の数字をお選びください。（○はそれぞれひとつ）

		利用したい／週あたりの利用希望日数					利用 したい と 思 わ な い
		週 1 日	週 2 日	週 3 日	週 4 日	週 5 日	
A. 自宅中心		1	2	3	4	5	6
B. 祖父母宅や友人・知人宅		1	2	3	4	5	6
C. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）		1	2	3	4	5	6
D. 学童クラブ〔学童保育〕7,000円/月 ※1		1	2	3	4	5	6
E. 児童館 ※2		1	2	3	4	5	6
F. 放課後子ども教室 一部費用発生有		1	2	3	4	5	6
G. ファミリー・サポート・センター 850～1,000円/時間・人+実費等		1	2	3	4	5	6
H. 放課後等デイサービスセンター （所得に応じた費用負担）		1	2	3	4	5	6
I. その他公共施設（公民館、公園など）		1	2	3	4	5	6
J. その他（	）	1	2	3	4	5	6

※1 現在は原則4年生まで

問 6-1 小学校高学年（4～6年）のうちは放課後を問6で選択した場所で過ごさせたい（過ごさせている）理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 働いているから	6. 兄弟姉妹も利用しているから
2. 利用料などを考慮して	7. 同居家族の看護・介護をしているから
3. 妊娠、出産や病気、けがなどで子どもを見ることができないから	8. 資格の勉強や求職活動等のため
4. 障がいがあり、子どもを見ることができないから	9. 子どもの教育によいと考えたから
5. 子どもが希望しているから	10. 子どもをよく見てもらえるから
	11. その他（

あて名のお子さんの「土曜・休日の学童クラブ・児童館利用」についておうかがいします

問 7 あて名のお子さんについて、土曜日や日曜日・祝日に、定期的な学童クラブ・児童館の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を24時間制でご記入ください。
また、現在利用されている方は利用している頻度、時間帯をご記入ください。

※市内の学童クラブ・児童館では土曜日は通常利用できます。

A 学童クラブ

(1) 土曜日 ※現在学童クラブ土曜利用している方もご記入をお願いします

1. 利用する必要はない	} → 利用したい（している）時間帯 【 】時から【 】時まで
2. ほぼ毎週利用したい（している）	
3. 月に1～2回は利用したい（している）	

B 児童館

(1) 土曜日 ※現在児童館を土曜利用している方もご記入をお願いします

1. 利用する必要はない	} → 利用したい（している）時間帯 【 】時から【 】時まで
2. ほぼ毎週利用したい（している）	
3. 月に1～2回は利用したい（している）	

(2) 日曜日・祝日 ※現在一ノ宮児童館、永山児童館、唐木田児童館で実施しています

1. 利用する必要はない	} → 利用したい（している）時間帯 【 】時から【 】時まで
2. ほぼ毎週利用したい（している）	
3. 月に1～2回は利用したい（している）	

問 8 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の学童クラブの利用を希望しますか。

料金も考慮の上、あてはまる番号1つに○をつけてください。

また、希望がある場合は、利用したい時間帯を24時間制でご記入ください。

※多摩市では8月の1か月の一時入所を実施しており、7,000円/月かかります。

1. 利用する必要はない	} → 利用したい（している）時間帯 【 】時から【 】時まで
2. 休みの期間中ほぼ毎日利用したい（している）	
3. 休みの期間中、週に数日利用したい（している）	

→ **【問 8で「3. 週に数日利用したい」と答えた方におうかがいします】**

問 8-1 毎日ではなく、数日利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 週に数回仕事が入るため	4. 息抜きのため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため	5. その他（ ）
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため	

あて名のお子さんが病気になることへの対応についておうかがいします

問 9 この1年間に、お子さんが病気やけがで、学校や学童クラブを休まなければならなかったことはありましたか。（○はひとつだけ）

1. あった	2. なかった	→ 問 10（8ページ）にお進みください
--------	---------	----------------------

【問 9で「1. あった」と答えた方におうかがいします】

問 9-1 そのときどう対処しましたか。以下の中から該当する番号すべてに○をつけてください。

また、その年間の日数を数字で記入してください。

1. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	年間およそ【 】日
2. 父親が休んだ	年間およそ【 】日
3. 母親が休んだ	年間およそ【 】日
4. （同居者を含む）親族・知人に預けた	年間およそ【 】日
5. 病児・病後児の保育サービスを利用した ※日額2,000円の費用・登録予約制	年間およそ【 】日
6. ベビーシッターを利用した	年間およそ【 】日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	年間およそ【 】日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間およそ【 】日
9. その他（ ）	年間およそ【 】日

→ **【問 9-1で「2. 父親が休んだ」「3. 母親が休んだ」を選んだ方におうかがいします】**

問 9-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育事業等を利用したい」と思われましたか。

あてはまる番号1つに○をつけ、年間の日数についても数字でご記入ください。

※病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。多摩市では、学童クラブに通う児童を対象としています。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	年間【 】日
2. 利用したいとは思わない	

問10 この1年間に、緊急の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など、土日に関係なく）やリフレッシュ目的のため、あて名のお子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（○はひとつだけ）

1. あった 2. なかった 問 11 にお進みください

【問10で「1. あった」と答えた方におうかがいします】

問10-1 その理由はどのようなものですか。以下の中から該当する番号すべてに○をつけてください。

また、その年間の日数を数字で記入してください。

1. 買い物、習いごと、リフレッシュ	年間およそ【	】日
2. 冠婚葬祭	年間およそ【	】日
3. 保護者・家族の病気	年間およそ【	】日
4. 仕事	年間およそ【	】日
5. その他（	年間およそ【	】日

問11 あて名のお子さんについて、用事、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（目的別の内訳の日数を【 】内に数字でご記入ください）。

※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	<p>ア. 買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事、リフレッシュなどの目的</p> <p>イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等</p> <p>ウ. 不定期の就労</p> <p>エ. その他（ ）</p>	<p>年間およそ【 】日</p> <p>年間およそ【 】日</p> <p>年間およそ【 】日</p> <p>年間およそ【 】日</p>
2. 利用する必要はない		

問12 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけて家族以外（同居者を含む）にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまるものは何ですか。

(○はいくつでも)それぞれの数も【 】内に数字でご記入ください。

	1 年間の対処方法	日数
1. あった	<p>ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった</p> <p>イ. 子どもショートステイ事業を利用した (1 回につき 6 泊まで、1 人につき 1 泊または 1 日 3,000 円。 保護者が病気や出産等で一時的に養育できないときに、ご家族に代わって地域の養育協力家庭宅等において、お子さんをお預かりし養育する事業)</p> <p>ウ. イ以外の保育事業 (ベビーシッター等) を利用した</p> <p>エ. 仕方なく子どもを同行させた</p> <p>オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた</p> <p>カ. その他</p>	<p>年間およそ【 】泊</p> <p>年間およそ【 】泊</p> <p>年間およそ【 】泊</p> <p>年間およそ【 】泊</p> <p>年間およそ【 】泊</p> <p>年間およそ【 】泊</p>
2. なかった		

【問12で「ア.（同居人を含む）親族・知人にみてもらった」と答えただ方におうかがいします】

問12-1 そのとき、預かってくれる親族・知人を見つけるのは、どの程度困難でしたか。(○はひとつだけ)

1. 非常に困難だった
2. どちらかと言えば困難だった
3. 特に困難ではなかった

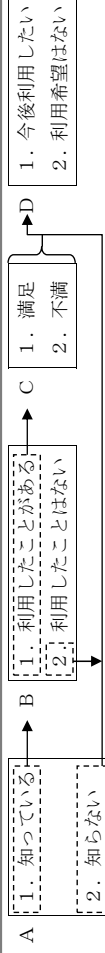
あて名のお子さんの子育て支援事業の利用状況等についてお問い合わせいたします

問13 下記の事業や取り組みについて、「A. 知っているかどうか」「B. 利用したことがあるかどうか」「D.

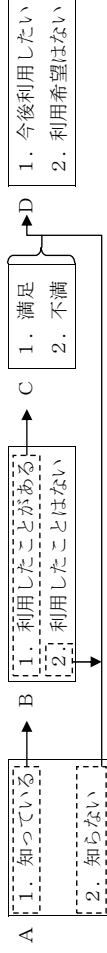
今後、利用したいかどうか1について、それぞれ1つ0をつけてお答えください。

また、各事業や取り組みについて、「B. 利用したことがある」とお答えの方は、「満足」「不満」のいずれかにも○をつけてください。

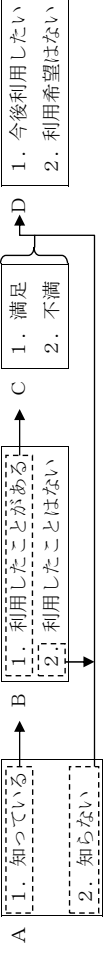
※多摩市の事業についての見をお答えください。



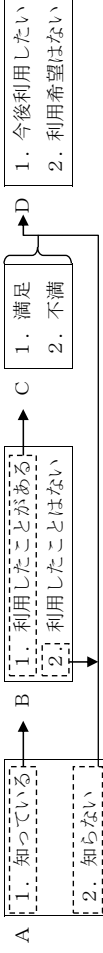
②家庭教育に関する学級・講座



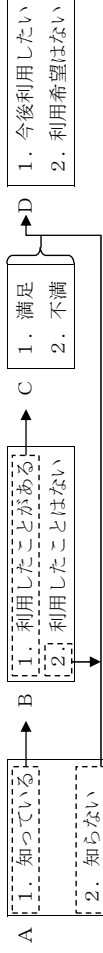
③教育センター（教育相談）



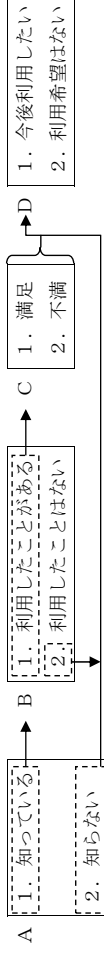
④児童館



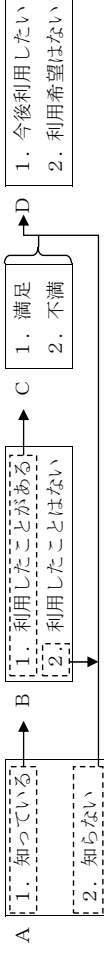
⑤学童クラブ



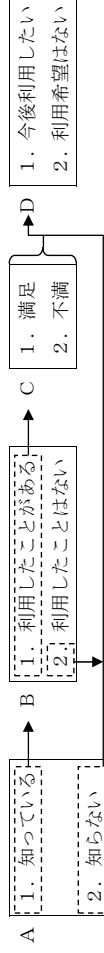
⑥放課後子ども教室



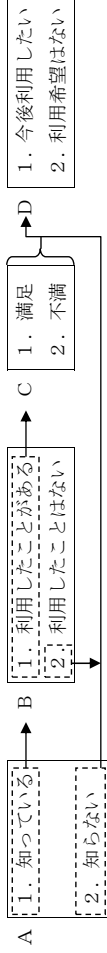
⑦子育て総合センターの相談窓口



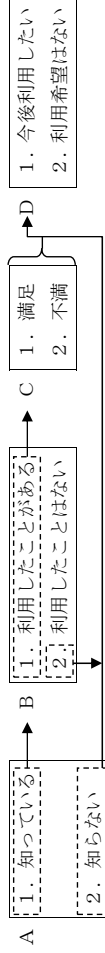
⑧放課後等デイサービスセンター



⑨発達支援室



⑩子育て応援どうきょうバスポート事業



～子育て応援どうきょうバスポート事業～

子育てを応援しようとする社会的機運の醸成を目的として東京都が実施しています。中学生以下のお子さんがいる世帯や妊娠中の方に、企業や店舗が様々なサービスを提供しています。



子育ての悩みや相談相手についておうかがいします

問 14 子育てについて、不安や負担を感じていますか。（○はひとつだけ）

1. 非常に感じる

2. 何となく感じる

3. 何とも言えない

4. あまり感じない

5. まったく感じない

問 15（12 ページ）
にお進みください

→ 【問 14 で「1」、「2」と答えた方におうかがいします】

問 14-1 具体的にどのような不安や負担を感じていますか。（○はいくつでも）

1. 心身の疲れ

2. 出費などの経済的不安

3. 自由な時間がない

4. 配偶者・パートナーの理解・協力不足

5. 配偶者・パートナー以外に手伝ってくれる人がいない

6. 職場の無理解

7. 子どもとの接し方、育児の方法がわからない

8. 子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）

9. 不登校・登校しぶり

10. 子どもの病気や発育・発達

11. 住居が狭いなどの住環境について

12. 近所づきあい、周りの目が気になる

13. 子のほかに面倒をみなければいけない人がいる

14. 子どもと接する時間が少ない

15. 子育てに関する情報が少ない

16. その他（ ）

問 14-2 子育ての中で次のような経験がありますか。(○はいくつでも)

1. しかっているうちに感情がコントロールできなくなったことがある

2. わざと子どもを無視したり、世話をしなかったことがある

3. 子どもに傷やあざができるほど、たたくようなことをしたことがある

4. 子どもが傷つくような言葉を向けたことがある

5. その他、子どもに対して不適切なことをしたことがある (具体的に)

6. 上記のようなことをしそうになったが、がまんした

問 15 あて名のお子さんの子育て (教育を含む) をする上で、気軽に相談できる人、または相談できる場所はありますか。(○はひとつだけ)

1. いる / ある

2. いない / ない

問 16 (13 ページ)
に進みください

【 問 15 で「1」と答えた方におうかがいします 】

問 15-1 あて名のお子さんの子育て (教育を含む) に関して、気軽に相談できる先は誰 (どこ) ですか。
(○はいくつでも)

1. 配偶者・パートナー

2. 自分や配偶者の親族

3. 友人・知人

4. 近所の人

5. 職場の人

6. 同じ学校の保護者仲間

7. NPO団体等の地域の子育て支援者

8. 小学校の先生

9. 医師・保健師・看護師・栄養士

10. 市役所・教育委員会の窓口

11. 児童館・学童クラブ等子育て支援施設

12. 子育て総合センター

13. 教育センター (教育相談)

14. 健康センター

15. 発達支援室

16. 卒園した幼稚園・保育園

17. インターネット・SNS の仲間

18. その他 ()

あて名のお子さんの発達についておうかがいします

問 16 あなたは、お子さんの発達に不安を感じたことがありますか。(○はいくつでも)

1. 不安を感じることは特にない

2. 落ち着かない、こだわりが強いなどの気になる行動が見られること

3. 年齢に対して言葉が遅れていること

4. 人に関心がなかったり、友だちと遊べないなど、人見知りが特に強いこと

5. 年齢に対して身体が発達が遅れていたり、身体が発育に気になるところがあること

6. 食事、排せつ、衣服の着脱など身の回りのことをする力が身についていないこと

7. 乱暴、気持ちの切り替えができないなど、感情のコントロールが苦手

8. 年齢に応じた運動ができないこと

9. 知的な発育が遅れていること

10. 学業不振 (書字・読みの苦手を含む)

11. その他 ()

問 17 (14 ページ)
に進みください

【 問 16 で「2～11」のいずれかに○をつけた方におうかがいします 】

問 16-1 あなたがお子さんの発達に不安を感じたとき、誰 (どこ) に相談しましたか。(○はいくつでも)

1. 配偶者・パートナー

2. 自分や配偶者の親族

3. 友人

4. 通っていた保育所・幼稚園

5. 子育てセンター (保育園)

6. 保健所

7. 病院・診療所

8. 子育て総合センター

9. 児童相談所

10. 健康センター

11. 市役所の窓口

12. 教育センター (就学・転学相談)

13. 発達支援室

14. その他 ()

15. 相談はしなかった

具体的な理由:

あなたの暮らし向きについておうかがいします

問 17 昨年 (平成 29 年 1 ～12 月) 1 年間の、あなたの世帯 (生計を共にする家族の収入も含みます) のおよその手取りの総収入 (養育費や手当等すべての収入を含みます) を教えてください。(○はひとつだけ)

1. 0 ～99 万円

2. 100 ～199 万円

3. 200 ～299 万円

4. 300 ～399 万円

5. 400 ～499 万円

6. 500 ～599 万円

7. 600 ～699 万円

8. 700 ～799 万円

9. 800 万円以上

問 18 現在の経済的な状況を総合的にみて、どう感じていますか。(○はひとつだけ)

1. 大変ゆとりがある	4. やや苦しい
2. ややゆとりがある	5. 大変苦しい
3. 普通	

問 19 生活の中で負担に感じる費用はありますか。上位2つをお選びください。(○は2つまで)

1. 教育費	4. 通信費 (携帯電話代含む)	7. 医療費
2. 食費	5. 住宅費	8. その他
3. 光熱水費	6. 衣服費	()

問 20 あなたのご家庭では、過去1年間の間にお金が足りずに、家族が必要とする食料や衣類を買えないことなどがありましたか。(それぞれ○をひとつ)

【ア. 食料】

1. よくあった	2. ときどきあった	3. まれにあった	4. まったくなかった
----------	------------	-----------	-------------

【イ. 衣類】

1. よくあった	2. ときどきあった	3. まれにあった	4. まったくなかった
----------	------------	-----------	-------------

【ウ. 光熱水費】

1. よくあった	2. ときどきあった	3. まれにあった	4. まったくなかった
----------	------------	-----------	-------------

【エ. 習い事 (学習塾、サッカー、水泳、英会話教室など)】

1. よくあった	2. ときどきあった	3. まれにあった	4. まったくなかった
----------	------------	-----------	-------------

市に望む子育て支援策についてお答えください

問 21 あなたが、子どもを (もっとう) もうけたい、育てたいと思うようになるための必要な条件はどのようなことだと思いますか。(○はひとつ)

1. 職場の理解	5. 公共施設などの子育て環境の充実
2. 住居に関する支援	6. 子どもの教育環境の充実
3. 子育てや教育にかかる経済的負担の軽減	7. 配偶者・パートナーの理解
4. 出産に関する経済的支援	8. その他 ()

問 22 安心して子どもを生み育て、子どもが健やかに育つことができる環境を整えるために、行政や地域などに対するご意見・ご要望がありましたら、ご自由に記入ください。

--

最後に、回答いただいているあなたの状況についてお答えください

問 23 ご回答いただいているあなたの現在の年齢をお答えください。(○はひとつだけ)

1. 20 歳～24 歳	6. 45 歳～49 歳
2. 25 歳～29 歳	7. 50 歳～54 歳
3. 30 歳～34 歳	8. 55 歳～59 歳
4. 35 歳～39 歳	9. 60 歳以上
5. 40 歳～44 歳	

問 24 ご回答いただいているあなたの配偶関係についてお答えください。(○はひとつだけ)

1. 配偶者がいる	2. 配偶者がいない
-----------	------------

問 25 お子さんは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

子どもの数	人	末子の生年月	平成	年	月	生まれ
-------	---	--------	----	---	---	-----

問 26 あて名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(○はひとつだけ)

1. 両親ともに	2. 母親	3. 父親	4. 祖父母	5. その他 ()
----------	-------	-------	--------	------------

問 27 お住まいの地区はどちらですか。(○はひとつだけ)

1. 関戸、一ノ宮地区	6. 馬引沢、諏訪地区
2. 連光寺、聖ヶ丘地区	7. 永山地区
3. 桜ヶ丘地区	8. 貝取 (1～5 丁目)、豊ヶ丘地区
4. 和田、百草、東寺方、落川地区	9. 落合、鶴牧、南野地区
5. 愛宕、乞田、貝取 (番地) 地区	10. 唐木田、中沢、山王下地区

ご協力ありがとうございました
ご記入いただいた調査票は、配布時と同じ封筒に入れ、必ず封をして、10月19日(金)までに
学校の教室に設置してある回収箱にご提出ください。

多摩市子ども・子育て支援に関するニーズ調査（中・高校生代用）

皆さん、毎日いかがお過ごしですか。
このアンケート調査は、多摩市のこれからの子育て支援施策に役立てるため、住民基本台帳に登録されている12歳～17歳の方から、1,200人を無作為に選び、協力をお願いしています。お答えいただいた個別の調査内容は、個人が特定されたり、回答内容がよそに漏れたりすることはありません。集計した結果については、市の子ども・子育て支援事業計画やその他の施策などの検討及びその説明に使わせていただきます。

また、これはテストではありませんので、思ったことをそのままお答えください。また、回答は同封の返信用封筒でお送りください。
多摩市を皆さんにとつてより暮らしやすいまちにするために、お忙しいとは思いますがぜひアンケート調査にご協力をお願いします。

平成30年10月
多摩市長 阿部 裕行

【 ご記入にあたってのお願い 】

- 1. アンケートは、あなた自身がご記入ください。
- 2. ご回答は、選抜紙にO印をつけてお運びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
- 3. 選抜紙の場合、お運びいただく数が設問によって異なりますので、注意書きにしたがってください。
- 4. 設問によってお答えいただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印にしたがってお答えください。
- 5. ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手はいりません）に入れて10月25日（木）までに郵便でお送りください。

●ご不明な点、調査に関するお問い合わせは、こちらにお願いいたします。
多摩市役所 子ども青少年部 子育て支援課 計画推進・保育担当
電話042(338)6904
FAX042(372)7988

あなたの日頃の行動についておうかがいします

問1 あなたは、いつもだいたい何時頃に起床、就寝しますか。平日、休日それぞれについてお答えください。（〇はそれぞれひとつ）

起床時間	
A. 平日	ア. 7時以前 イ. 7時台 ウ. 8時台 エ. 9時～正午 オ. 午後
B. 休日	ア. 7時以前 イ. 7時台 ウ. 8時台 エ. 9時～正午 オ. 午後

就寝時間	
C. 平日	ア. 22時前 イ. 23時前 ウ. 24時前 エ. 25時前 オ. 25時以降
D. 休日（休日前）	ア. 22時前 イ. 23時前 ウ. 24時前 エ. 25時前 オ. 25時以降

問2 あなたは、ふだん、毎日朝ごはんを食えますか。（〇はひとつだけ）

1. いつも食べる

2. 食べる方が多い（週に4～6日）

3. 食べない方が多い（週に1～3日）

4. いつも食べない

問3にお進みください

【問2で「3」、「4」と答えた方におうかがいします】
問2-1 朝食を食べない理由は次のどれにあてはまりますか。（〇はいくつでも）

1. より長く寝ていたいから

2. 食べる時間がとれないから

3. 体調が悪いから

4. 食欲がないから

5. 食べるものがないから

6. 準備、支度が面倒だから

7. 朝食を食べる習慣がないから

8. 食べない方が体調がいいから

9. 太りたくない、ダイエットのため

10. その他（ ）

問3 あなたは、ふだん、朝食・夕食をどなたと食べていますか。（それぞれ〇はいくつでも）

【ア. 朝食】

1. 親

2. 兄弟姉妹

3. 祖父母

4. その他（親戚や友人など）

5. 1人で食べている

【イ. 夕食】

1. 親

2. 兄弟姉妹

3. 祖父母

4. その他（親戚や友人など）

5. 1人で食べている

問4 あなたが放課後（就業後）帰宅した時や休日に、家に大人の方が誰かいますか。（○はひとつだけ）

1. いつも誰かがいる	2. だいたい誰かがいる	3. あまりいない	4. ほとんど誰もいない
-------------	--------------	-----------	--------------

問5にお進みください

【問4で「3」、「4」と答えた方におうかがいします】

問4-1 帰宅時に大人の方が誰もいない時、食事はどうしていますか。（○はひとつだけ）

1. 自分で食事を用意する	5. 食べないで待っている
2. 大人が作ってくれたものを食べる	6. 食べない
3. 外で食べた、買った	7. その他（ ）
4. お菓子を食べる	

問5 あなたは、ふだんのくらくらい外出しますか。（○はひとつだけ）

1. 学校や仕事で週 5 日以上外出する	5. ふだんは家にいるが、自分の趣味に關する用事のと きだけ外出する
2. 学校や仕事で週に 3 ～ 4 日外出する	6. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
3. 遊びなどで頻繁に外出する	7. 家からほとんど出ない
4. 入つきあいのためにと きだけ外出する	

問6 あなたは平日の放課後（就業後）と休日とをどのように過ごしていますか。下から3つまで選んで口の中に数字をご記入ください。

(平日)				(休日)			
------	--	--	--	------	--	--	--

1. 学校のクラブ活動	15. テレビゲーム、携帯ゲーム機で遊ぶ
2. 学校以外のクラブ活動	16. 携帯電話やスマートフォンでSNSを利用したりゲームをする
3. 学習塾、予備校など	17. ビデオ、DVD、マンガ、雑誌などをみる
4. 習いごとやおけいごと	18. マンガ、雑誌以外の本を読む
5. 家で宿題や勉強をする	19. 友達と電話やメールの交換をする
6. 児童館、図書館等地域の施設に行く	20. 音楽を聴いたり楽器を演奏する
7. 友達と遊ぶ	21. カラオケ店、ゲームセンター、映画館に行く
8. 彼氏/彼女と過ごす	22. コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ファーストフード店で過ごす
9. 家族と過ごす	23. 繁華街であそぶ
10. アルバイトをする	24. ぼんやり部屋で過ごすまたはごろごろしている
11. ボランティアなどの地域活動をする	25. 散歩、何もせずぶらぶら出かける
12. 家の手伝いをする	26. その他（ ）
13. テレビをみたりラジオを聴く	
14. パソコンをする、ネットゲームをする	

問7 以下の（1）から（8）のそれぞれの施設の施設の利用状況についておうかがいします。

(1) 児童館

A. 利用状況 (○はひとつだけ)	B. 利用日 (いつ利用していますか) (○はひとつだけ)	C. 利用する理由 (○はいくつでも)
1. よく利用する	1. 平日のみ利用	1. お金がかからないから
2. 利用する	2. 休日のみ利用	2. ほっとするから
	3. 平日・休日の両方利用	3. 楽しいから
3. 利用しない		4. 気軽に利用できるから
4. 知らない	D. 利用しない理由 (○はいくつでも)	5. その他
	1. 身近にない	
	2. つまらない	
	3. 使いたいとき	
	に開いていない ()	
	4. かたくなるしい	

(2) 図書館

A. 利用状況 (○はひとつだけ)	B. 利用日 (いつ利用していますか) (○はひとつだけ)	C. 利用する理由 (○はいくつでも)
1. よく利用する	1. 平日のみ利用	1. お金がかからないから
2. 利用する	2. 休日のみ利用	2. ほっとするから
	3. 平日・休日の両方利用	3. 楽しいから
3. 利用しない		4. 気軽に利用できるから
4. 知らない	D. 利用しない理由 (○はいくつでも)	5. その他
	1. 身近にない	
	2. つまらない	
	3. 使いたいとき	
	に開いていない ()	
	4. かたくなるしい	

(3) 公民館（ヴィータ、ベルブ）、コミュニティセンター

A. 利用状況 (○はひとつだけ)	B. 利用日 (いつ利用していますか) (○はひとつだけ)	C. 利用する理由 (○はいくつでも)
1. よく利用する	1. 平日のみ利用	1. お金がかからないから
2. 利用する	2. 休日のみ利用	2. ほっとするから
	3. 平日・休日の両方利用	3. 楽しいから
3. 利用しない		4. 気軽に利用できるから
4. 知らない	D. 利用しない理由 (○はいくつでも)	5. その他
	1. 身近にない	
	2. つまらない	
	3. 使いたいとき	
	に開いていない ()	
	4. かたくなるしい	

(4) その他の公共施設（体育館、温水プール、公園等）

A. 利用状況 (○はひとつだけ)	B. 利用日 (いつ利用していますか) (○はひとつだけ)	C. 利用する理由 (○はいくつでも)
1. よく利用する 2. 利用する 3. 利用しない 4. 知らない	1. 平日のみ利用 2. 休日のみ利用 3. 平日・休日の両方利用 D. 利用しない理由 (○はいくつでも) 1. 身近にない 5. 関心がない 2. つまらない 6. お金がかかる 3. 使いたいとき 7. その他 に働いていない () 4. かたくなるしい ()	1. お金がかからないから 2. ほっとするから 3. 楽しいから 4. 気軽に利用できるから 5. その他

(5) カラオケ店、ゲームセンター、映画館

A. 利用状況 (○はひとつだけ)	B. 利用日 (いつ利用していますか) (○はひとつだけ)	C. 利用する理由 (○はいくつでも)
1. よく利用する 2. 利用する 3. 利用しない 4. 知らない	1. 平日のみ利用 2. 休日のみ利用 3. 平日・休日の両方利用 D. 利用しない理由 (○はいくつでも) 1. 身近にない 5. 関心がない 2. つまらない 6. お金がかかる 3. 使いたいとき 7. その他 に働いていない () 4. かたくなるしい ()	1. お金がかからないから 2. ほっとするから 3. 楽しいから 4. 気軽に利用できるから 5. その他

(6) マンガ喫茶、ネットカフェ

A. 利用状況 (○はひとつだけ)	B. 利用日 (いつ利用していますか) (○はひとつだけ)	C. 利用する理由 (○はいくつでも)
1. よく利用する 2. 利用する 3. 利用しない 4. 知らない	1. 平日のみ利用 2. 休日のみ利用 3. 平日・休日の両方利用 D. 利用しない理由 (○はいくつでも) 1. 身近にない 5. 関心がない 2. つまらない 6. お金がかかる 3. 使いたいとき 7. その他 に働いていない () 4. かたくなるしい ()	1. お金がかからないから 2. ほっとするから 3. 楽しいから 4. 気軽に利用できるから 5. その他

(7) 衣類、雑貨、書籍などの販売店舗等（ショッピングセンター含む）

A. 利用状況 (○はひとつだけ)	B. 利用日 (いつ利用していますか) (○はひとつだけ)	C. 利用する理由 (○はいくつでも)
1. よく利用する 2. 利用する 3. 利用しない 4. 知らない	1. 平日のみ利用 2. 休日のみ利用 3. 平日・休日の両方利用 D. 利用しない理由 (○はいくつでも) 1. 身近にない 5. 関心がない 2. つまらない 6. お金がかかる 3. 使いたいとき 7. その他 に働いていない () 4. かたくなるしい ()	1. お金がかからないから 2. ほっとするから 3. 楽しいから 4. 気軽に利用できるから 5. その他

(8) コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ファーストフード店

A. 利用状況 (○はひとつだけ)	B. 利用日 (いつ利用していますか) (○はひとつだけ)	C. 利用する理由 (○はいくつでも)
1. よく利用する 2. 利用する 3. 利用しない 4. 知らない	1. 平日のみ利用 2. 休日のみ利用 3. 平日・休日の両方利用 D. 利用しない理由 (○はいくつでも) 1. 身近にない 5. 関心がない 2. つまらない 6. お金がかかる 3. 使いたいとき 7. その他 に働いていない () 4. かたくなるしい ()	1. お金がかからないから 2. ほっとするから 3. 楽しいから 4. 気軽に利用できるから 5. その他

問8 あなたは1週間の中のどのくらい塾や習い事をしていきますか。(○はひとつだけ)

A. 利用状況 (○はひとつだけ)	B. 利用日 (いつ利用していますか) (○はひとつだけ)	C. 利用する理由 (○はいくつでも)
1. よく利用する 2. 利用する 3. 利用しない 4. 知らない	1. 毎日 2. 5～6日 3. 3～4日 4. 1～2日 5. 習い事はしていない	1. お金がかからないから 2. ほっとするから 3. 楽しいから 4. 気軽に利用できるから 5. その他

問8-1 どのような習い事をしていきますか。(○はいくつでも)

問9 (6ページ)にお進みください

1. 学習塾・予備校	4. 絵画、音楽、習字など芸術の習い事
2. 家庭教師	5. スポーツ
3. 英会話、そろばんなど勉強の習い事	6. その他 ()

地域活動やボランティア活動についておうえいがいします

問9 あなたは、地域のグループ活動やボランティア活動に参加したことがありますか。(○はひとつだけ)

1. 参加したことがある

2. 参加したことがない

【問9で「1. 参加したことがある」と答えた方におうえいがいします】

問9-1 参加した地域活動やボランティア活動の種類ごとに、「A. 参加経験」を答えたあと、「B. 参加内容」「C. 参加した理由」それぞれについてもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

	A. 参加経験 (1つだけ○)	B. 参加内容 (1つだけ○)	C. 参加した理由 (1つだけ○)							
	参加したことがある	参加したことがない	参加したことがない							
(ア) 地域スポーツ活動	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
(イ) 地域のおまつり	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
(ウ) 文化・音楽活動	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
(エ) 清掃などの 環境改善美化活動	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
(オ) 赤ちやんや小さい 子どもの世話をする	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
(カ) 保育園、幼稚園 などへの訪問	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
(キ) 高齢者訪問、ふれあ い等の福祉活動	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
(ク) キャンプ等の 野外活動	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
(ケ) 防犯・消防訓練	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
(コ) 障がい者への ボランティアなど	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
(サ) その他()	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7

【問9で「2. 参加したことがない」と答えた方におうえいがいします】

問9-2 参加したことがない理由は何か。(○はいくつでも)

1. そのような活動を知らなかったから

2. 忙しいから

3. 難しそうだから

4. お金がないから

5. やりたい活動がないから

6. 興味や関心がないから

7. 面倒だから

8. その他()

あなたの生活への意識についておうえいがいします

問10 あなたの生活への意識についておうえいがいします。(それぞれ○はひとつ)

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
(ア) 夜更かししないように心がけている	1	2	3	4
(イ) 食事の栄養バランスには、常に気を配っている	1	2	3	4
(ウ) いつも食事を楽しみにしている	1	2	3	4
(エ) 大人になっても喫煙はしないつもりである	1	2	3	4
(オ) 薬物の危険性を理解している	1	2	3	4
(カ) 避妊には気をつけていきたい	1	2	3	4
(キ) 周囲の大人は、自分の気持ちを尊重してくれている	1	2	3	4
(ク) 周囲の大人は、自分を一人の人間として扱ってくれている	1	2	3	4
(ケ) インターネット・携帯サイトでの不意な発言・情報の流出等の怖さを知っている	1	2	3	4
(コ) インターネット・携帯サイトでの個人情報流出に気をつけている	1	2	3	4
(サ) インターネット・携帯サイトで加害者、被害者になったことがある	1	2	3	4

あなたの交友関係や悩み事についておうえいがいします

問11 白頃から遊んだり、一緒に過ごしたりする友人は何人いますか。(○はひとつ)

1. いない

2. 1～5人

3. 5人～10人

4. 10人以上

問12 学校や職場の人間関係で、以下のようなことがありますか。(○は3つまで)

1. 友達から氣にしている事を言われる

2. 仲良しの友達の悪口を言われる

3. 成績などの事で悪口を言われる

4. 家族のことで悪口を言われる

5. 儲やスタイルのことでからかわられる

6. 友達から仲間はずれや無視をされる

7. 友達から暴力を受ける

8. 友達とけんかをしがち

9. 自分がいじめてしまう

10. 先生と合わない

11. 友達に合わせようとして疲れる

12. ネットや携帯・ブログで悪口を書かれる

13. いろいろ強制的にやられる

14. 友達がいらない

15. その他 ()

16. いずれのことではない

問13 悩みや心配事と相談相手についておうかがいします。A、Bの順でお答えください。

- A. あなたはどのような悩みや心配事がありますか。【悩みや心配事】の欄からあてはまる番号すべてに○をつけてください。特に悩みがない場合は「16. いずれの悩みもない」に○をつけてください

B. それぞれの悩みや心配事についてどなたに相談しますか。【悩みなどの相談相手】の数字を【悩みや心配事】の「 」欄に記入してください。

【A. 悩みや心配事】		B. 相談相手	
1. 病氣や健康に關すること	()	1. 父親	【悩みなどの相談相手】
2. 自分の身体や容姿のこと	()	2. 母親	
3. 進路や進学のこと	()	3. 兄弟・姉妹	
4. 親との関係	()	4. 祖父母	
5. 兄弟、姉妹との関係	()	5. 親せき	
6. 学校の先生との関係	()	6. 学校の先生	
7. 友人とのつきあい	()	7. 同性の友人	
8. いじめや嫌がらせなど	()	8. 異性の友人	
9. 恋愛、結婚について	()	9. クラブの先輩、後輩	
10. 性に関する事	()	10. 塾、予備校の先生	
11. クラブ活動・部活動	()	11. 保健室の先生	
12. 近所づきあい	()	12. 医師・医療関係のカウンセラー	
13. お金のこと	()	13. 相談機関	
14. アルバイト先や職場のこと	()	14. スクールカウンセラー	
15. その他 ()	()	15. 職場やアルバイト先	
16. いずれの悩みもない	()	16. インターネット・SNSの友達	
		17. 占いや占い師	
		18. その他 ()	

携帯電話やスマートフォン、インターネットの利用についておうかがいします

問14 あなたは、インターネットに接続できる、自分の携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン等を持っているですか。(○はひとつだけ)

1. 持っている

2. 親や家族共用の機器を使用している

3. 持っていない

問15 (10 ページ) にお進みください

【問14で「1」、「2」とお答えの方におうかがいします】

問14-1 どのような機器を使用してインターネットを利用していますか。(○はいくつでも)

1. 携帯電話、スマートフォン

2. タブレット

3. パソコン

4. ゲーム機、音楽プレイヤー

5. 学習用タブレット機器

6. その他 ()

問14-2 あなたは、具体的にどのような目的でインターネットを利用していますか。(○はいくつでも)

1. メール

2. LINE や Twitter などの SNS

3. ホームページ、ブログの閲覧

4. ホームページ、ブログの作成、更新

5. 掲示板、チャット

6. 音楽や動画の視聴

7. ネットショッピング

8. スマートフォンアプリでのゲーム

9. オンラインゲーム

10. その他 ()

問14-3 スマートフォンやパソコンなどの、あなたがインターネットを利用する機器には、ペアレンタルコントロール（利用時間制限等）やフィルタリング機能（有害サイトアクセス制限サービス）が使用されていますか。(○はひとつだけ)

1. 使用している

2. 以前は使用していたが、今は使用していない

3. 使用していない

4. 使用しているかわからない

問14-4 あなたは、インターネットで買い物をすることがありますか。(○はいくつでも)

1. 音楽やゲームなどを購入している

2. ゲームアプリでの課金（コインの購入など）をしている

3. SNSでのスタンプ等のアイテムを購入している

4. 日用品や雑貨を購入している

5. 飲料や食料品を購入している

6. 洋服を購入している

7. その他のものを購入している（具体的に）

8. インターネットでは何も購入しない

問15 あなたは結婚についてどのように考えていますか。(○はひとつだけ)

1. ある年齢までに結婚したい(同様を含む)

2. 別に結婚しなくてもよい

3. 二生結婚しないつもり

4. すでに結婚している

5. わからない

問16 にお進みください

【問15で「1. ある年齢までに結婚したい(同様を含む)」と答えた方におうえいがいします】

問15-1 あなた自身は尙歳で結婚したいと思いますか。(○はひとつだけ)

1. 16～19歳

2. 20～24歳

3. 25～29歳

4. 30～34歳

5. 35～39歳

6. 40～44歳

7. 45歳以上

問16 あなたは将来何人子どもが欲しいと思いますか。(○はひとつだけ)

1. 1人

2. 2人

3. 3人

4. 4人

5. 5人以上

6. 子どもは欲しくない

7. わからない

問17 あなたが将来、仕事と子育てを両立することになると考えたととき、不安を感じますか。(○はひとつだけ)

1. 不安には感じない

2. あまり不安には感じない

3. 少し不安に思う

4. 不安に感じる

5. わからない

問18 あなたは最近5年間で、赤ちゃんや小さな子どもの世話をしたり、遊んだりしたことがありますか。(○はいくつでも)

1. 弟・妹の世話をしたことがある

2. 親せきの子どもと世話をしたり遊んだことがある

3. 隣近所の子どもと世話をしたり遊んだことがある

4. 授業の一環として保育園、幼稚園を訪問したことがある

5. ベビーシッターなどの経験がある

6. 子育てについての講座などに参加したことがある

7. その他()

8. そのような経験はない

問19 あなたは今後の進路(学校の場合には希望する最終学歴)についてどのように考えていますか。(○はひとつだけ)

1. 高等学校に進みたい

2. 専修・専門学校・短大に進みたい

3. 大学に進みたい

4. 大学院に進みたい

5. 1～4に進まず、就職したい

6. 今と同様、仕事をしたいと思う

7. その他()

8. 未定である

問20 問19で回答した進路について考えた際、実現することが難しいと思うことがありますか。また、その理由は尙ですか。(○はいくつでも)

1. 学力に課題がある

2. 経済的な理由

3. 健康面の理由

4. 家族からの反対

5. 自分に合う仕事はまだわからない

6. その他()

7. 難しいと思うことはない

問21 あなたには将来の夢がありますか。(○はひとつだけ)

1. ある

2. はっきりとしてはいないがある

3. 今のところない

4. まだわからない

問22 (12 ページ) にお進みください

【問21で「1」、「2」とお答えの方におうえいがいします】

問21-1 あなたの将来の夢はどのようなものですか。(○はいくつでも)

1. 自分の好きなことを仕事にする

2. お金持ちになる

3. 社会や人の役に立つ仕事をする

4. あたたかい家庭を築く

5. 素敵な相手と恋愛・結婚をする

6. 安定した毎日を送る

7. 趣味を充実させて生きる

8. 豊富な知識を身につける

9. 科学や技術の分野で活躍する

10. 人に負けない特技を身につける

11. マイペースで自分らしい生活を送る

12. 人から尊敬されるような人間になる

13. その他()

問22 あなたは今熱中していることがありますか。それはどのようなことですか。(○はいくつでも)

1. 学業

2. 部活動

3. 仕事・アルバイト

4. 趣味・習い事

5. 地域での活動

6. その他 ()

7. 特にない

問23 あなたは将来、親と同居または親の近くに住みたいと思いますか。(○はひとつだけ)

1. 思う

2. 少し思う

3. あまり思わない

4. まったく思わない

5. わからない

問24 あなたは将来、多摩市に住みたい (住み続けたい) と思いますか。(○はひとつだけ)

1. 思う

2. 少し思う

3. あまり思わない

4. まったく思わない

5. わからない

問24-1 将来、多摩市に住みたい (住み続けたい) 理由 (○はいくつでも)

1. 都心へのアクセスが良いから

2. 生活環境が良いから

3. 子育て環境が整っているから

4. 行政サービスが良いから

5. 魅力的な商業施設があるから

6. 多摩市に愛着があるから

7. 犯罪が少ないから

8. 地域とのつながりがあるから

9. その他 ()

問24-2 将来、多摩市に住みたい (住み続けたい) 理由 (○はいくつでも)

1. 都心へのアクセスが良くないから

2. 生活環境が良くないから

3. 子育て環境が整っていないから

4. 行政サービスが良くないから

5. 魅力的な商業施設がないから

6. 多摩市に愛着をもっていないから

7. 犯罪が多いから

8. 地域とのつながりがないから

9. その他 ()

問25 (13 ページ) にお進みください

あなたの持ち物についておうかがいます

問25 あなたは、ふだんの生活の中で、お金が足りなくて、必要とする文具や教材が買えないことはありませんか。(○はひとつだけ)

1. よくある

2. ときどきある

3. ほとんどない

4. まったくない

問26 あなたは世の中の出来事や身近な情報を知る際に、荷を利用し、誰にたよりますか。(○はそれぞれひとつ)

	よく利用する (よくたよる)	ときどき利用する (ときどきたよる)	あまり利用しない (あまりたよらない)	まったく利用しない (まったくたよらない)
(ア) テレビ・ラジオ	1	2	3	4
(イ) 新聞	1	2	3	4
(ウ) 週刊誌、雑誌	1	2	3	4
(エ) 電車の車内広告等	1	2	3	4
(オ) インターネット (携帯を含む)	1	2	3	4
(カ) 親	1	2	3	4
(キ) 兄弟・姉妹	1	2	3	4
(ク) その他の親族	1	2	3	4
(ケ) 友人・知人	1	2	3	4
(コ) 学校の先生	1	2	3	4
(サ) 塾、予備校などの先生	1	2	3	4
(シ) その他 ()	1	2	3	4

- 12 -

【③中高生世代対象】

- 13 -

【③中高生世代対象】

問27 あなたは市のまちづくりについて、意見や自分の希望を言えるような機会があるとしたら、参加してみたいと思いますか。(○はひとつだけ)

1. 運営にも参加して積極的にまちづくりに関わりたい

2. 参加者として意見や希望を言いたい

3. 気軽に参加できる雰囲気であれば参加したい

4. 友人などと一緒であれば参加したい

5. あまり参加したいと思わない

6. 参加したくない

問28 あなたが、多摩市になんでも要望できるとすれば、どのようなことを要望しますか。どのようなことでもかまいません。自由にお書きください。

問29 あなたが今、一番困っていることは何ですか。ご自由にお書きください。

問30 あなたの生年月をおえてください。(数字で具体的に)

平成年 月生まれ

問31 あなたの性別をおえてください。(○はひとつだけ)

1. 男性

2. 女性

3. その他

問32 あなたは次のうち、どちらに属していますか。(○はひとつだけ)

1. 公立中学校

2. 私立中学校

3. 全日制高校

4. 高等学校(定時制・単位制)

5. 高等学校(通信制)

6. 高等学校・専修学校(高等課程)

7. 特別支援学校

8. 中学を卒業し、就業している

9. 高校を中退し、就業している

10. 高校等を中退した

11. 高校等には進学していない

12. その他()

問33 あなたと同居されているご家族すべてに○をつけてください。続柄はあなたからみられた関係です。また、あなたを含む同居している家族全員の人数を記入してください。

1. 母親

2. 父親

3. 祖父

4. 祖母

5. 兄弟

6. 姉妹

7. その他

合計()名

問34 あなたのお住まいの地区はどこですか。(○はひとつだけ)

1. 関戸、一ノ宮地区

2. 通光寺、聖ヶ丘地区

3. 桜ヶ丘地区

4. 和田、吉草、東等方、落川地区

5. 菱岩、乞田、貝取(番地)地区

6. 馬引沢、諏訪地区

7. 永山地区

8. 貝取(1～5丁目)、豊ヶ丘地区

9. 落谷、鶴牧、南野地区

10. 唐木田、中沢、山王下地区

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

このアンケート調査の結果は、市の子ども・子育て支援事業計画や施策のための検討資料とさせていただきます。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手はいりません)に入れ、

10月25日(木)までに郵便でお送りください。

多摩市子ども の生活実態調査

(保護者票)

日頃より市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。
このアンケート調査は、これからの子ども・若者育成支援施策に役立てるため、本市の支援制度や事業を利用されている方々から日頃の暮らしやお子さんの様子、充実を期待する支援施策等について、アンケート調査を実施させていただきます。

調査票は、保護者様にご回答いただくもののほか、お子さん自身の学校及びふだんの生活やお考えについておうかがいするアンケート調査も同封しておりますので、中学生、高校生世代のお子さんがあるご家庭につきましては、保護者様から、調査票と水色の封入用封筒をお子さんへお渡しくださいますようお願いいたします。

回答いただいた個別の調査内容は、個人が特定されたり、回答内容がよそに漏れたりすることはありません。集計した結果については、市の子ども・子育て支援事業計画やその他の施策などの検討及びその説明に使わせていただきます。

なお、このアンケートに用いた個人情報については、多摩市個人情報保護条例第14条第2項第5号に基づき、多摩市情報公開・個人情報保護運営審議会の同意を得て、児童扶養手当の受給者の情報を利用しています。

多摩市を皆さんにとってより暮らしやすいまちにするために、ご多忙中とは思いますがぜひアンケート調査にご協力をお願いします。

平成30年10月

多摩市長 阿部 裕行

【 ご記入にあたってのお願い 】

1. アンケートは、封筒のあて名の方がご記入ください。
2. お子さんに関する設問については、高校生世代以下の年長のお子さんについてご記入ください。
3. ご回答は、選択肢に○印をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。
4. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので、注意書きにしたがってください。
5. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印にしたがってご回答ください。
6. ご記入が済みましたら、茶色の封筒に入れ、同様に封をしたお子さんの水色の封筒と一緒に返信用封筒に入れて10月25日（木）までに郵便でお送りください。

【保護者対象】

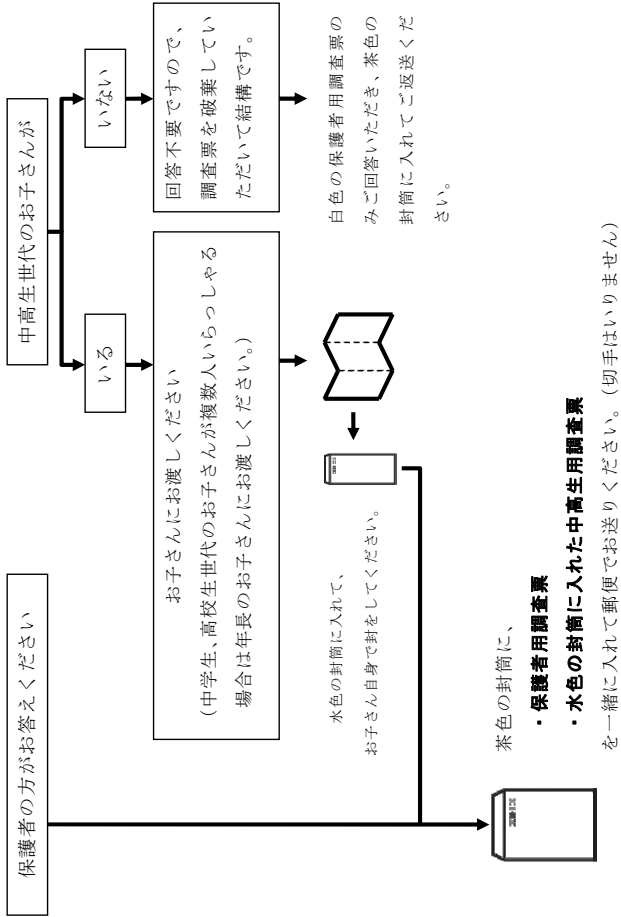
【 調査票について 】



調査票・保護者票
(白色)



調査票・中高生世代票
(水色)



●ご不明な点、調査に関するお問い合わせは、こちらにお願いいたします。
多摩市役所 子ども青少年部 児童青少年課 子ども・若者育成係
電話042(338)6958
FAX042(372)7988

【保護者対象】

問 1 あなたの健康状態について、最も近いものはどれですか。（○はひとつだけ）

健康だと 思う	2. 思う	3. まあ健康だと 思う	4. 普通	5. あまり健康だと 思わない
------------	-------	-----------------	-------	--------------------

問 2 あなたは、ふだん、毎日朝ごはんを食べますか。（○はひとつだけ）

1. いつも食べる	問 3 にお進みください
2. 食べる方が多い（週に 4～6 日）	
3. 食べない方が多い（週に 1～3 日）	
4. いつも食べていない	

【問 2 で「3」、「4」と答えた方におうかがいします】

問 2-1 朝食を食べない理由は次のどれに当てはまりますか。（○はいくつでも）

1. より長く寝ていたいから	6. 準備、支度が面倒だから
2. 食べる時間がとれないから	7. 朝食を食べる習慣がないから
3. 体調が悪いから	8. 食べない方が体調がいいから
4. 食欲がないから	9. 太りたくない、ダイエットのため
5. 食べるものがないから	10. その他（ ）

問 2-2 朝食を食べなくなってきた時期はいつごろからですか。（○はひとつだけ）

1. 小学校の頃から	4. 20 歳以降から
2. 中学、高校生の頃から	5. わからない
3. 高校を卒業した頃から	

問 3 あなたは、お子さん（高校生世代以下の年長の方）と一緒にご飯を食べていますか。（○はそれぞれひとつ）

朝食	1. 毎日食べる	2. 週に 4～6 日程度食べる	3. 週に 1～3 日程度食べる	4. 食べていない
夕食	1. 毎日食べる	2. 週に 4～6 日程度食べる	3. 週に 1～3 日程度食べる	4. 食べていない

問 4 あなたは現在、仕事をしていますか。（○はひとつだけ）

※育児休業・病休休暇などで休業中、休職中の方は「1」に○をつけてください。

1. 仕事をしている	2. 仕事をしていない
------------	-------------

【問 4 で「1」と答えた方におうかがいします】

問 4-1 現在の仕事の就業形態は次のどれに当てはまりますか。2 つ以上の仕事を持つ方は、主な仕事ひとつを選んでください。（○はひとつだけ）

1. 正社員・正規職員	4. 自営業主・家族従業者・フリーランス
2. 派遣社員・嘱託職員・契約社員	5. その他（ ）
3. パート・アルバイト	

問 4-2 あなたは、1 週間に平均何時間、お仕事をされていますか。（枠内に数字で回答してください）※複数のお仕事をもっている場合は合算してください。

週に平均	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間
------	----------------------	----------------------	----

問 4-3 あなたは、平日の日中以外の勤務がありますか。（○はいくつでも）

1. 早朝（5 時～8 時）	5. 日曜・祝日出勤
2. 夜勤（20 時～22 時）	6. その他（ ）
3. 深夜勤務（22 時～5 時）	7. 平日の日中以外の勤務はない
4. 土曜勤務	

【問 4 で「2」と答えた方におうかがいします】

問 4-4 現在、仕事をしていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 仕事が見つからないため	問 5（3 ページ） にお進みください
2. 勉強中（資格取得、在学等）のため	
3. 子育てに専念するため	
4. 自分の健康上の理由	
5. 子どもの健康上の理由	
6. 経済的理由で働く必要がないため	
7. 家族の介護のため	
8. 子どもの預け先がないため	
9. その他（ ）	

【問4-4で「1」と答えた方におうかがいします】

問4-5 仕事をさがすに当たって悩みはありますか。(○はいくつでも)

1. 自分に合う仕事かわからない	8. 家庭の実情にあった就職のアドバイスをしてくれる人がいない
2. 仕事のさがし方がわからない	9. ひとり親であるというだけで不採用になってしまう
3. 履歴書の書き方・面接の仕方がわからない	10. 悩みはない
4. 就職に必要な技能・技術がない	11. その他
5. 就職に必要な学歴がない	
6. 家事や子育てとの両立ができない	()
7. 条件(収入・時間・年齢等)が合う仕事がない	

問5 あなたが日々の生活の中で、もっと減らしたいと思っている時間と、時間をかけたいと思っていることを【選択肢】の欄から上位3つまで数字を記入してください。

【選択肢】	
1. 仕事	それ
2. 学習(職業訓練を含む)	それ
3. 育児	上位
4. 休息・睡眠	3
5. 家族とのコミュニケーション	つ
6. 趣味の時間	ま
7. 家事	で
8. 友だちづきあい	数
9. 美容・健康	字
10. 運動・スポーツ活動	を
11. 学校などの活動	記
12. 地域活動	入
13. 介護	
14. 自身の病気などでの療養	
15. その他	

【A. もっと減らしたいと思っている (負担に感じている) 時間】		
→ 1位	2位	3位
「11. その他」を選択した場合は具体的に ()		

【B. もっと時間をかけたいと思っていること】		
→ 1位	2位	3位
「11. その他」を選択した場合は具体的に ()		

子育ての悩みや相談相手についておうかがいします

問6 あなたには、お子さんに関する悩みを相談できる人がいますか。(○はひとつだけ)

1. 相談できる相手がいる
2. 相談できる相手はいないが、ほしい
3. 必要ない

問6-1 必要ないと感じる理由を教えてください。(具体的に)

【問6で「1」、「2」と答えた方におうかがいします】

問6-2 その相談相手は誰ですか。また、相談相手がほしい方は誰に(どこに)相談しますか。(○はいくつでも)

1. 親戚・親族	7. ネットでのみやりとりしている人
2. 友人・知人	8. 市役所
3. 近所の人	9. 市役所以外の公的機関
4. 職場の人	10. 民生・児童委員
5. 幼稚園、保育園、小中学校などの関係者	11. 町会・自治会
6. 幼稚園、保育園、小中学校などで知り合った保護者	12. その他 ()

あなたの暮らし向きについておうかがいします

問7 昨年(平成29年1～12月)1年間の、あなたの世帯(生計を共にする家族の収入も含みます)のおよその手取りの総収入(養育費や手当等すべての収入を含みます)を教えてください。(○はひとつだけ)

1. 0～99万円	4. 300～399万円	7. 600～699万円
2. 100～199万円	5. 400～499万円	8. 700～799万円
3. 200～299万円	6. 500～599万円	9. 800万円以上

問8 収入の種類を教えてください。(○はいくつでも)

1. 就労収入	4. 年金
2. 養育費	5. 親等の支援
3. 公的手当(児童手当等)	6. その他 ()

問9 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。(○はひとつだけ)

1. 大変ゆとりがある	4. やや苦しい
2. ややゆとりがある	5. 大変苦しい
3. 普通	

問10 ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。(○はひとつだけ)

1. 黒字であり、毎月貯蓄をしている
2. 黒字であるが、貯蓄はしていない(黒字部分は娯楽費や投資等に回している)
3. 赤字であり、借金をして生活している
4. 赤字であり、貯蓄を取り崩している
5. 赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである
6. その他()

問11 生活の中で負担に感じる費用はありますか。上位2つをお選びください。(○は2つまで)

1. 教育費	4. 通信費(携帯電話代含む)	7. 医療費
2. 食費	5. 住宅費	8. その他
3. 光熱水費	6. 衣服費	()

問12 あなたの家族では、過去1年間の間にお金が足りずに、家族が必要とする食料や衣類の購入や支払いができないことなどがありましたか。(それぞれ○はひとつ)

【ア. 食料】

1. よくあった	2. ときどきあった	3. まれにあった	4. まったくなかった
----------	------------	-----------	-------------

【イ. 衣類】

1. よくあった	2. ときどきあった	3. まれにあった	4. まったくなかった
----------	------------	-----------	-------------

【ウ. 光熱水費】

1. よくあった	2. ときどきあった	3. まれにあった	4. まったくなかった
----------	------------	-----------	-------------

問13 次のもののうち、経済的な理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。(○はい/つても)

1. 洗濯機	8. 急な出費のための貯金(5万円以上)
2. 掃除機	9. 子どもが自宅で宿題をすることができるところ
3. 炊飯器	10. 電話(固定電話・携帯電話を含む)
4. 電子レンジ	11. インターネットにつながるパソコン
5. 暖房機器	12. 世帯専用のおふろ
6. 冷房機器	13. 世帯人数分(乳幼児を除く)のベッドまたは布団
7. 子ども用のスポーツや習い事の用品	14. あてはまるものはない

問14 以下の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	利用したことがある	利用したことがない			
		利用するたための要件を満たさなかった	周囲の目や気がなった	利用できる仕方がなかった	制度等について知らなかった
A. 生活保護制度	1	2	3	4	5
B. 生活福祉資金貸付制度	1	2	3	4	5
C. 母子及び父子福祉資金	1	2	3	4	5
D. 児童育成手当	1	2	3	4	5
E. 就学援助費	1	2	3	4	5
F. ひとり親家庭等の医療費助成	1	2	3	4	5
G. ひとり親家庭自立支援給付金	1	2	3	4	5
H. ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金	1	2	3	4	5
I. ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金	1	2	3	4	5

<参考>

A. 生活保護制度	病気や失業などのため、生活費や医療費に困り、ほかに方法がないときは一定の条件により、生活、教育、住宅、医療、介護、出産、生業、葬祭の8種類について援助が受けられる制度。窓口は市の生活福祉課。
B. 生活福祉資金貸付制度	所得が一定水準以下の世帯等を対象とした、低金利または無利子の資金貸付。窓口は市の社会福祉協議会。
C. 母子及び父子福祉資金	ひとり親世帯を対象にした、低利または無利子の資金貸付。窓口は市の子育て支援課。
D. 児童育成手当	所得が一定水準以下のひとり親世帯の支援のための補助金。窓口は市の子育て支援課。
E. 就学援助費	経済的理由により就学が困難と認められる世帯に、教育費の一部を援助する制度。窓口は学校支援課。
F. ひとり親家庭等の医療費助成	ひとり親世帯等を対象に、医療機関を受診した際に支払う医療保険適用内の自己負担分を助成する制度。窓口は市の子育て支援課。
G. ひとり親家庭自立支援給付金	ひとり親世帯の母または父の能力開発、資格取得の取り組みを支援するために給付金を給付する制度。窓口は子育て支援課。
H. ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金	ひとり親世帯の母または父が、対象資格を取得するために修業することを支援する制度。窓口は子育て支援課。
I. ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金	ひとり親世帯の母または父の主体的な能力開発を支援するために、指定教育講座の受講経費の一部を支援する制度。窓口は子育て支援課。

お子さん（高校生世代以下の年長の方）の教育や生活についておうかがいします

問 15 あなたの希望として、お子さんにどの段階の学校まで進学してほしいですか。また、現実的にはどの段階までの進学になると思いますか。（すでに進学、卒業された方は、どの段階まで進学しましたか）（それぞれ○はひとつ）

【理想】

1. 中学校卒業	5. 大学卒業
2. 高等学校卒業	6. 大学院卒業
3. 専門学校卒業	7. わからない
4. 高等専門学校卒業（短期大学を含む）	

【現実的な予想】

1. 中学校卒業	5. 大学卒業
2. 高等学校卒業	6. 大学院卒業
3. 専門学校卒業	7. わからない
4. 高等専門学校卒業（短期大学を含む）	

【問 15 で理想と現実の予想が異なる方におうかがいします】

→ 該当しない方は問 16 へお進みください。

問 15-1 理想と現実的な予想が異なる理由を教えてください。（○はいくつでも）

1. 子どもの学力に課題があるから	4. 家庭に経済的な余裕がないから
2. 一般的な進路だと思いうから	5. 健康面で難しいから
3. 子どもがそう希望しているから	6. その他（ ）

問 16 お子さん（高校生世代以下の年長の方）について、ボランティアなどによる、無料の学習支援制度（学習の手助けなど）や子ども食堂（地域住民や団体等が主体となつて、無料または低料金で子どもたちに食事を提供する場）があった場合、利用したいと思いますか。（それぞれ○はひとつ）

【無料の学習支援】

1. 現在利用している	3. 利用したいと思わない
2. 今後利用したいと思う	4. どちらとも言えない

【子ども食堂】

1. 現在利用している	3. 利用したいと思わない
2. 今後利用したいと思う	4. どちらとも言えない

問 17 住民税非課税世帯の方が大学などへ進学する際、一定の条件の下での返済不要な給付型奨学金の制度が平成 30 年度より本格的に実施されています。あなたはこの制度をご存じですか。（○はひとつだけ）

1. よく知っている	2. 聞いたことはある	3. よく知らない
------------	-------------	-----------

問 18 お子さんは現在習い事等をしていますか。（○はいくつでも）

1. 学習塾	問 19 にお進みください
2. 家庭教師	
3. 通信教育	
4. 英会話、そろばんなど勉強の習い事	
5. 絵画、音楽、習字など芸術の習い事	
6. スポーツ	
7. その他（ ）	
8. 特に行っていない	

【問 18 で「8」と答えた方におうかがいします】

問 18-1 塾や習い事をしていない主な理由を教えてください。（○はいくつでも）

1. 費用の支払いが困難	4. 続けることが難しいと感じるから
2. 子ども自身が興味を持っていないから	5. 時間帯や曜日が合わないから
3. 通学が不便だから	6. その他（ ）

問 19 お子さんが放課後などに、ご自宅以外の居場所とする場合にふさわしいと考える公共施設がありますか。（○はいくつでも）

1. 児童館	4. 総合体育館	7. 公民館
2. 図書館	5. アクアブルー多摩	8. その他（ ）
3. コミュニティセンター	6. 学校	

問 20 あなたは、お子さんの将来（夢、進路、職業など）について、お子さんと一緒に考えたり、話すことがありますか。（○はひとつだけ）

1. よくする	2. たまにする	3. あまりしない	4. これまで特にしたことはない
---------	----------	-----------	------------------

多摩市への意見や要望がありましたらおしえてください

問 21 市の施策に関する意見・要望がありましたら、自由に記入してください。

--

問 22 あなたの現在の年齢をおしえてください。(○はひとつだけ)

1. 10 歳代	6. 40 歳～44 歳
2. 20 歳～24 歳	7. 45 歳～49 歳
3. 25 歳～29 歳	8. 50 歳～54 歳
4. 30 歳～34 歳	9. 55 歳～59 歳
5. 35 歳～39 歳	10. 60 歳以上

問 23 あなたの性別をおしえてください。(○はひとつだけ)

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

問 24 あなたが最後に卒業（中退を含む）した、または現在在学している学校はどれですか。
(それぞれ○はひとつ)

【A】

1. 中学校	↑	1. 在学中
2. 高等学校		2. 中途退学
3. 専門学校		3. 卒業
4. 高等専門学校・短期大学		
5. 4 年制大学・大学院		
6. その他 ()		

【B】

1. 在学中
2. 中途退学
3. 卒業

問 25 あなたの世帯と、同居している人について教えてください。(それぞれ○はひとつ)

【ア. 世帯】

1. 母子世帯	()
2. 父子世帯	
3. 養育者世帯 (子の祖父母等が子を養育)	
4. 配偶者に障がいがある世帯	
5. その他 ()	

【イ. 家族構成】

1. 親と子 1 人	()
2. 親と子 2 人	
3. 親と子 3 人以上	
4. 父母や兄弟姉妹等親族と同居	
5. その他 ()	

【ウ. 世帯人数 (生計を共にする家族)】

()	()	人
-----	-----	---

問 26 あなたの住まいの状況を教えてください。(○はひとつだけ)

1. 持ち家	4. 都市再生機構 (UR)・公社などの賃貸住宅
2. 民間の賃貸住宅	5. 給与住宅 (社宅・公務員住宅など)
3. 都営または市営の賃貸住宅	6. その他 ()

問 27 あなたのお住いの家賃額を教えてください。

()	約	()	万	()	千円
-----	---	-----	---	-----	----

問 28 あなたのお住まいの地区はどこですか。(○はひとつだけ)

1. 関戸、一ノ宮地区	6. 馬引沢、諏訪地区
2. 連光寺、聖ヶ丘地区	7. 永山地区
3. 桜ヶ丘地区	8. 貝取 (1～5 丁目)、豊ヶ丘地区
4. 和田、百草、東寺方、落川地区	9. 落合、鶴牧、南野地区
5. 愛宕、乞田、貝取 (番地) 地区	10. 唐木田、中沢、山王下地区

ご協力ありがとうございます。
同封の封筒に入れて (表紙裏面をご確認の上)、10月25日 (木) までに郵便でお送りください。

多摩市子どもの生活実態調査
(中・高校生世代票)

お願い

○これは多摩市の子どもたちの生活状況や、悩みごとなどを調べるためのアンケートです。
○この調査は、同じご世帯に、中学生、高校生世代のお子さんがいらっしゃる場合、お子さんご自身がご回答ください。ご家族の方に見せる必要はありません。

○名前を書かないでください。

○答えたくない質問は答えなくてもよいです。テストではありませんので、思ったことをそのままお答えください。

○答えていただいた内容が、よそに漏れたり、個人が特定されたりすることはありません。集計した結果については、市の子ども・子育て支援事業計画やその他の施策などの検討及びその説明に使わせていただきます。

○全部書き終わったら、自分で、水色の封筒に入れて、封をしてください。それを保護者専用の返信用封筒(茶色)に同封し、10月25日(木)までに郵便でお送りください。

【ご記入にあたってのお願い】

- 1. アンケートは、お子さん自身がご記入ください。
- 2. 答えは、あてはまる番号に○印をつけるか、数字や文章で書いてください。
- 3. ○印のつけかたは、質問文の終わりに「(○はひとつだけ)」や「(○はいくつでも)」などのように書いてありますので、それにしてください。

●ご不明な点、調査に関するお問い合わせは、こちらにお願いいたします。
多摩市役所 子ども青少年課 児童青少年課 子ども・若者育成係
電話 042(338)6958
FAX 042(372)7988

【中高生世代対象】

あなたの日頃の行動についておうかがいします

問1 あなたは、いつもだいたい何時頃に起床、就寝しますか。平日、休日それぞれについてお答えください。
(○はそれぞれひとつ)

起床時間	
A. 平日	ア. 7時以前 イ. 7時台 ウ. 8時台 エ. 9時～正午 オ. 午後
B. 休日	ア. 7時以前 イ. 7時台 ウ. 8時台 エ. 9時～正午 オ. 午後

就寝時間	
C. 平日	ア. 22時前 イ. 23時前 ウ. 24時前 エ. 25時前 オ. 25時以降
D. 休日(休日前)	ア. 22時前 イ. 23時前 ウ. 24時前 エ. 25時前 オ. 25時以降

問2 あなたは、ふだん、毎日朝ごはんを食べますか。(○はひとつだけ)

1. いつも食べる

2. 食べる方が多い(週に4～6日)

3. 食べない方が多い(週に1～3日)

4. いつも食べない

問3にお進みください

【問2で「3」、「4」と答えた方におうかがいします】

問2-1 朝食を食べない理由は次のどれに当てはまりますか。(○はいくつでも)

1. より長く寝ていたいから	6. 準備、支度が面倒だから
2. 食べる時間がとれないから	7. 朝食を食べる習慣がないから
3. 体調が悪いから	8. 食べない方が体調がいいから
4. 食欲がないから	9. 太りたくない、ダイエットのため
5. 食べるものがないから	10. その他()

問3 あなたは、ふだん、朝食・夕食をどなたと食べていますか。(それぞれ○はいくつでも)

【ア. 朝食】

1. 親	2. 兄弟姉妹	3. 祖父母	4. その他(姉妹や友人など)	5. 1人で食べている
------	---------	--------	-----------------	-------------

【イ. 夕食】

1. 親	2. 兄弟姉妹	3. 祖父母	4. その他(姉妹や友人など)	5. 1人で食べている
------	---------	--------	-----------------	-------------

問4 あなたが放課後（就業後）帰宅した時や休日に、家に大人の方が誰かいますか。（○はひとつだけ）

1. いつも誰かがいる	2. だいたい誰かがいる	3. あまりいない	4. ほとんど誰もいない
-------------	--------------	-----------	--------------

問5にお進みください

【問4で「3」、「4」と答えた方におうかがいします】

問4-1 帰宅時に大人の方が誰もいない時、食事はどうしていますか。（○はひとつだけ）

1. 自分で食事を用意する	5. 食べないで待っている
2. 大人が作ってくれたものを食べる	6. 食べない
3. 外で食べた、買ったりする	7. その他（ ）
4. お菓子を食べる	

問5 あなたは、ふだんのくらくらい外出しますか。（○はひとつだけ）

1. 学校や仕事で週 5 日以上外出する	5. ふだんは家にいるが、自分の趣味に關する用事のと きだけ外出する
2. 学校や仕事で週に 3 ～ 4 日外出する	6. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
3. 遊びなどで頻繁に外出する	7. 家からほとんど出ない
4. 入つきあいのためにと きだけ外出する	

問6 あなたは平日の放課後（終業後）と休日とをどのように過ごしていますか。下から3つまで選んで口の中に数字をご記入ください。

(平日)				(休日)			
------	--	--	--	------	--	--	--

1. 学校のクラブ活動	15. テレビゲーム、携帯ゲーム機で遊ぶ
2. 学校以外のクラブ活動	16. 携帯電話やスマートフォンでSNSを利用したりゲームをする
3. 学習塾、予備校など	17. ビデオ、DVD、マンガ、雑誌などをみる
4. 習いごとやおけいごと	18. マンガ、雑誌以外の本を読む
5. 家で宿題や勉強をする	19. 友達と電話やメールの交換をする
6. 児童館、図書館等地域の施設に行く	20. 音楽を聴いたり楽器を演奏する
7. 友達と遊ぶ	21. カラオケ店、ゲームセンター、映画館に行く
8. 彼氏/彼女と過ごす	22. コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ファーストフード店で過ごす
9. 家族と過ごす	23. 繁華街であそぶ
10. アルバイトをする	24. ぼんやり部屋で過ごすまたはごろごろしている
11. ボランティアなどの地域活動をする	25. 散歩、何もせずぶらぶら出かける
12. 家の手伝いをする	26. その他（ ）
13. テレビをみたりラジオを聴く	
14. パソコンをする、ネットゲームをする	

問7 以下の（1）から（8）のそれぞれの施設の施設の利用状況についておうかがいします。

(1) 児童館

A. 利用状況 (○はひとつだけ)	B. 利用日 (いつ利用していますか) (○はひとつだけ)	C. 利用する理由 (○はいくつでも)
1. よく利用する	1. 平日のみ利用	1. お金がかからないから
2. 利用する	2. 休日のみ利用	2. ほっとするから
	3. 平日・休日の両方利用	3. 楽しいから
3. 利用しない		4. 気軽に利用できるから
4. 知らない	D. 利用しない理由 (○はいくつでも)	5. その他
	1. 身近にない	
	2. つまらない	5. 関心がない
	3. 使いたいとき	6. お金がかかる
	4. 聞いていない	7. その他
		()
		()

(2) 図書館

A. 利用状況 (○はひとつだけ)	B. 利用日 (いつ利用していますか) (○はひとつだけ)	C. 利用する理由 (○はいくつでも)
1. よく利用する	1. 平日のみ利用	1. お金がかからないから
2. 利用する	2. 休日のみ利用	2. ほっとするから
	3. 平日・休日の両方利用	3. 楽しいから
3. 利用しない		4. 気軽に利用できるから
4. 知らない	D. 利用しない理由 (○はいくつでも)	5. その他
	1. 身近にない	
	2. つまらない	5. 関心がない
	3. 使いたいとき	6. お金がかかる
	4. 聞いていない	7. その他
		()
		()

(3) 公民館（ヴィータ、ベルブ）、コミュニティセンター

A. 利用状況 (○はひとつだけ)	B. 利用日 (いつ利用していますか) (○はひとつだけ)	C. 利用する理由 (○はいくつでも)
1. よく利用する	1. 平日のみ利用	1. お金がかからないから
2. 利用する	2. 休日のみ利用	2. ほっとするから
	3. 平日・休日の両方利用	3. 楽しいから
3. 利用しない		4. 気軽に利用できるから
4. 知らない	D. 利用しない理由 (○はいくつでも)	5. その他
	1. 身近にない	
	2. つまらない	5. 関心がない
	3. 使いたいとき	6. お金がかかる
	4. 聞いていない	7. その他
		()
		()

(4) その他の公共施設（体育館、温水プール、公園等）

A. 利用状況 (○はひとつだけ)	B. 利用日 (いつ利用していますか) (○はひとつだけ)	C. 利用する理由 (○はいくつでも)
1. よく利用する 2. 利用する 3. 利用しない 4. 知らない	1. 平日のみ利用 2. 休日のみ利用 3. 平日・休日の両方利用 D. 利用しない理由 (○はいくつでも) 1. 身近にない 5. 関心がない 2. つまらない 6. お金がかかる 3. 使いたいとき 7. その他 に働いていない () 4. かたくなるしい ()	1. お金がかからないから 2. ほっとするから 3. 楽しいから 4. 気軽に利用できるから 5. その他

(5) カラオケ店、ゲームセンター、映画館

A. 利用状況 (○はひとつだけ)	B. 利用日 (いつ利用していますか) (○はひとつだけ)	C. 利用する理由 (○はいくつでも)
1. よく利用する 2. 利用する 3. 利用しない 4. 知らない	1. 平日のみ利用 2. 休日のみ利用 3. 平日・休日の両方利用 D. 利用しない理由 (○はいくつでも) 1. 身近にない 5. 関心がない 2. つまらない 6. お金がかかる 3. 使いたいとき 7. その他 に働いていない () 4. かたくなるしい ()	1. お金がかからないから 2. ほっとするから 3. 楽しいから 4. 気軽に利用できるから 5. その他

(6) マンガ喫茶、ネットカフェ

A. 利用状況 (○はひとつだけ)	B. 利用日 (いつ利用していますか) (○はひとつだけ)	C. 利用する理由 (○はいくつでも)
1. よく利用する 2. 利用する 3. 利用しない 4. 知らない	1. 平日のみ利用 2. 休日のみ利用 3. 平日・休日の両方利用 D. 利用しない理由 (○はいくつでも) 1. 身近にない 5. 関心がない 2. つまらない 6. お金がかかる 3. 使いたいとき 7. その他 に働いていない () 4. かたくなるしい ()	1. お金がかからないから 2. ほっとするから 3. 楽しいから 4. 気軽に利用できるから 5. その他

(7) 衣類、雑貨、書籍などの販売店舗等（ショッピングセンター含む）

A. 利用状況 (○はひとつだけ)	B. 利用日 (いつ利用していますか) (○はひとつだけ)	C. 利用する理由 (○はいくつでも)
1. よく利用する 2. 利用する 3. 利用しない 4. 知らない	1. 平日のみ利用 2. 休日のみ利用 3. 平日・休日の両方利用 D. 利用しない理由 (○はいくつでも) 1. 身近にない 5. 関心がない 2. つまらない 6. お金がかかる 3. 使いたいとき 7. その他 に働いていない () 4. かたくなるしい ()	1. お金がかからないから 2. ほっとするから 3. 楽しいから 4. 気軽に利用できるから 5. その他

(8) コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ファーストフード店

A. 利用状況 (○はひとつだけ)	B. 利用日 (いつ利用していますか) (○はひとつだけ)	C. 利用する理由 (○はいくつでも)
1. よく利用する 2. 利用する 3. 利用しない 4. 知らない	1. 平日のみ利用 2. 休日のみ利用 3. 平日・休日の両方利用 D. 利用しない理由 (○はいくつでも) 1. 身近にない 5. 関心がない 2. つまらない 6. お金がかかる 3. 使いたいとき 7. その他 に働いていない () 4. かたくなるしい ()	1. お金がかからないから 2. ほっとするから 3. 楽しいから 4. 気軽に利用できるから 5. その他

問8 あなたは1週間の中のどのくらい塾や習い事をしていきますか。(○はひとつだけ)

1. 毎日	2. 5～6日	3. 3～4日	4. 1～2日	5. 習い事はしていない
-------	---------	---------	---------	--------------

問9 (6ページ)にお進みください

【問8で「1～4」と答えた方におうかがいします】

問8-1 どのような習い事をしていきますか。(○はいくつでも)

1. 学習塾・予備校 2. 家庭教師 3. 英会話、そろばんなど勉強の習い事 4. 絵画、音楽、習字など芸術の習い事 5. スポーツ 6. その他 ()
--

地域活動やボランティア活動についておうえかがいします

問9 あなたは、地域のグループ活動やボランティア活動に参加したことがありますか。(○はひとつだけ)

1. 参加したことがある

2. 参加したことがない

【問9で「1. 参加したことがある」と答えた方におうえかがいします】

問9-1 参加した地域活動やボランティア活動の種類ごとに、「A. 参加経験」を答えたあと、「B. 参加内容」「C. 参加した理由」それぞれについてもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

	A. 参加経験 (1つだけ○)		B. 参加内容 (1つだけ○)		C. 参加した理由 (1つだけ○)							
	参加したことがある	参加したことがない	参加したことがある	参加したことがない	参加したことがある	参加したことがない						
(ア) 地域スポーツ活動	1	2	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
(イ) 地域のおまつり	1	2	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
(ウ) 文化・音楽活動	1	2	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
(エ) 清掃などの環境改善美化活動	1	2	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
(オ) 赤ちやんや小さい子どもの世話をする	1	2	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
(カ) 保育園、幼稚園などへの訪問	1	2	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
(キ) 高齢者訪問、ふれあい等の福祉活動	1	2	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
(ク) キャンプ等の野外活動	1	2	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
(ケ) 防犯・消防訓練	1	2	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
(コ) 障がい者へのボランティアなど	1	2	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
(サ) その他()	1	2	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7

【問9で「2. 参加したことがない」と答えた方におうえかがいします】

問9-2 参加したことがない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. そのような活動を知らなかったから

2. 忙しいから

3. 難しそうだから

4. お金がないから

5. やりたい活動がないから

6. 興味や関心がないから

7. 面倒だから

8. その他()

あなたの生活への意識についておうえかがいします

問10 あなたの生活への意識についておうえかがいします。(それぞれ○はひとつ)

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
(ア) 夜更かししないように心がけている	1	2	3	4
(イ) 食事の栄養バランスには、常に気を配っている	1	2	3	4
(ウ) いつも食事を楽しみにしている	1	2	3	4
(エ) 大人になっても喫煙はしないつもりである	1	2	3	4
(オ) 薬物の危険性を理解している	1	2	3	4
(カ) 避妊には気をつけていきたい	1	2	3	4
(キ) 周囲の大人は、自分の気持ちを尊重してくれている	1	2	3	4
(ク) 周囲の大人は、自分を一人の人間として扱ってくれている	1	2	3	4
(ケ) インターネット・携帯サイトでの不意な発言・情報の流出等の怖さを知っている	1	2	3	4
(コ) インターネット・携帯サイトでの個人情報流出に気をつけている	1	2	3	4
(サ) インターネット・携帯サイトで加害者、被害者になったことがある	1	2	3	4

あなたの交友関係や悩み事についておうえかがいします

問11 白頃から遊んだり、一緒に過ごしたりする友人は何人いますか。(○はひとつ)

1. いない

2. 1～5人

3. 5人～10人

4. 10人以上

問12 学校や職場の人間関係で、以下のようなことがありますか。(○は3つまで)

1. 友達から氣にしている事を言われる
2. 仲良しの友達の悪口を言われる
3. 成績などの事で悪口を言われる
4. 家族のことで悪口を言われる
5. 飼やスタイルのことでからかわられる
6. 友達から仲間はずれや無視をされる
7. 友達から暴力を受ける
8. 友達とけんかをしがち
9. 自分がいじめてしまう
10. 先生と合わない
11. 友達に合わせようとして疲れる
12. ネットや携帯・ブログで悪口を書かれる
13. いろいろ強制的にやられる
14. 友達がいらない
15. その他 ()
16. いずれのことはない

問13 悩みや心配事と相談相手についておうかがいします。A、Bの順でお答えください。

- A. あなたはどのような悩みや心配事がありますか。【悩みや心配事】の欄からあてはまる番号すべてに○をつけてください。特に悩みがない場合は「16. いずれの悩みもない」に○をつけてください
- B. それぞれの悩みや心配事についてどなたに相談しますか。【悩みなどの相談相手】の数字を【悩みや心配事】の「 」欄に記入してください。

【A. 悩み事や心配事】		B. 相談相手	
1. 病氣や健康に關すること	()	1. 父親	【悩みなどの相談相手】
2. 自分の身体や容姿のこと	()	2. 母親	
3. 進路や進学のこと	()	3. 兄弟・姉妹	
4. 親との関係	()	4. 祖父母	
5. 兄弟、姉妹との関係	()	5. 親せき	
6. 学校の先生との関係	()	6. 学校の先生	
7. 友人とのつきあい	()	7. 同性の友人	
8. いじめや嫌がらせなど	()	8. 異性の友人	
9. 恋愛、結婚について	()	9. クラブの先輩、後輩	
10. 性に關すること	()	10. 塾、予備校の先生	
11. クラブ活動・部活動	()	11. 保健室の先生	
12. 近所づきあい	()	12. 医師・医療関係のカウンセラー	
13. お金のこと	()	13. 相談機関	
14. アルバイト先や職場のこと	()	14. スクールカウンセラー	
15. その他 ()	()	15. 職場やアルバイト先	
16. いずれの悩みもない	()	16. インターネット・SNSの友達	
		17. 占いや占い師	
		18. その他 ()	

問14 携帯電話やスマートフォン、インターネットの利用についておうかがいします

- あなたは、インターネットに接続できる、自分の携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン等を持っているですか。(○はひとつだけ)
1. 持っている
2. 親や家族共用の機器を使用している
3. 持っていない

問15 (10 ページ) にお進みください

【問14で「1」、「2」とお答えの方におうかがいします】

問14-1 どのような機器を使用してインターネットを利用していますか。(○はいくつでも)

1. 携帯電話、スマートフォン
2. タブレット
3. パソコン
4. ゲーム機、音楽プレイヤー
5. 学習用タブレット機器
6. その他 ()

問14-2 あなたは、具体的にどのような目的でインターネットを利用していますか。(○はいくつでも)

1. メール
2. LINE や Twitter などの SNS
3. ホームページ、ブログの閲覧
4. ホームページ、ブログの作成、更新
5. 掲示板、チャット
6. 音楽や動画の視聴
7. ネットショッピング
8. スマートフォンアプリでのゲーム
9. オンラインゲーム
10. その他 ()

問14-3 スマートフォンやパソコンなどの、あなたがインターネットを利用する機器には、ペアレンタルコントロール（利用時間制限等）やフィルタリング機能（有害サイトアクセス制限サービス）が使用されていますか。(○はひとつだけ)

1. 使用している
2. 以前は使用していたが、今は使用していない
3. 使用していない
4. 使用しているかわからない

問14-4 あなたは、インターネットで買い物をすることがありますか。(○はいくつでも)

1. 音楽やゲームなどを購入している
2. ゲームアプリでの課金（コインの購入など）をしている
3. SNSでのスタンプ等のアイテムを購入している
4. 日用品や雑貨を購入している
5. 飲料や食料品を購入している
6. 洋服を購入している
7. その他のものを購入している（具体的に）
8. インターネットでは何も購入しない

問15 あなたは結婚についてどのように考えていますか。(○はひとつだけ)

1. ある年齢までに結婚したい (同様を含む)

2. 別に結婚しなくてもよい

3. 二生結婚しないつもり

4. すでに結婚している

5. わからない

問16 にお進みください

【問15で「1. ある年齢までに結婚したい (同様を含む)」と答えた方におうかがいします】

問15-1 あなた自身は何歳で結婚したいと思いますか。(○はひとつだけ)

1. 16～19歳

2. 20～24歳

3. 25～29歳

4. 30～34歳

5. 35～39歳

6. 40～44歳

7. 45歳以上

問16 あなたは将来何人子どもが欲しいと思いますか。(○はひとつだけ)

1. 1人

2. 2人

3. 3人

4. 4人

5. 5人以上

6. 子どもは欲しくない

7. わからない

問17 あなたが将来、仕事と子育てを両立することになると考えたとき、不安を感じますか。(○はひとつだけ)

1. 不安には感じない

2. あまり不安には感じない

3. 少し不安に思う

4. 不安に感じる

5. わからない

問18 あなたは最近5年間で、赤ちゃんや小さな子どもの世話をしたり、遊んだりしたことがありますか。(○はいくつでも)

1. 弟・妹の世話をしたことがある

2. 親せきの子どもと世話をしたり遊んだことがある

3. 隣近所の子どもと世話をしたり遊んだことがある

4. 授業の一環として保育園、幼稚園を訪問したことがある

5. ベビーシッターなどの経験がある

6. 子育てについての講座などに参加したことがある

7. その他 ()

8. そのような経験はない

問19 あなたは今後の進路 (学校の場合には希望する最終学歴) についてどのように考えていますか。(○はひとつだけ)

1. 高等学校に進みたい

2. 専修・専門学校・短大に進みたい

3. 大学に進みたい

4. 大学院に進みたい

5. 1～4に進まず、就職したい

6. 今と同様、仕事をしたいと思う

7. その他 ()

8. 未定である

問20 問19で回答した進路について考えた際、実現することが難しいと思うことがありますか。また、その理由は何か。(○はいくつでも)

1. 学力に課題がある

2. 経済的な理由

3. 健康面の理由

4. 家族からの反対

5. 自分に合う仕事はまだわからない

6. その他 ()

7. 難しいと思うことはない

問21 あなたには将来の夢がありますか。(○はひとつだけ)

1. ある

2. はっきりとしてはいないがある

3. 今のところない

4. まだわからない

問22 (12 ページ) にお進みください

【問21で「1」、「2」とお答えの方におうかがいします】

問21-1 あなたの将来の夢はどのようなものですか。(○はいくつでも)

1. 自分の好きなことを仕事にする

2. お金持ちになる

3. 社会や人の役に立つ仕事をする

4. あたたかい家庭を築く

5. 素敵な相手と恋愛・結婚をする

6. 安定した毎日を送る

7. 趣味を充実させて生きる

8. 豊富な知識を身につける

9. 科学や技術の分野で活躍する

10. 人に負けない特技を身につける

11. マイペースで自分らしい生活を送る

12. 人から尊敬されるような人間になる

13. その他 ()

問22 あなたは今熱中していることがありますか。それはどのようなことですか。(○はいくつでも)

1. 学業

2. 部活動

3. 仕事・アルバイト

4. 趣味・習い事

5. 地域での活動

6. その他 ()

7. 特になし

問23 あなたは将来、親と同居または親の近くに住みたいと思いますか。(○はひとつだけ)

1. 思う

2. 少し思う

3. あまり思わない

4. まったく思わない

5. わからない

問24 あなたは将来、多摩市に住みたい (住み続けたい) と思いますか。(○はひとつだけ)

1. 思う

2. 少し思う

3. あまり思わない

4. まったく思わない

5. わからない

問24-1 将来、多摩市に住みたい (住み続けたい) 理由 (○はいくつでも)

1. 都心へのアクセスが良いから

2. 生活環境が良いから

3. 子育て環境が整っているから

4. 行政サービスが良いから

5. 魅力的な商業施設があるから

6. 多摩市に愛着があるから

7. 犯罪が少ないから

8. 地域とのつながりがあるから

9. その他 ()

問24-2 将来、多摩市に住みたい (住み続けたい) 理由 (○はいくつでも)

1. 都心へのアクセスが良くないから

2. 生活環境が良くないから

3. 子育て環境が整っていないから

4. 行政サービスが良くないから

5. 魅力的な商業施設がないから

6. 多摩市に愛着をもっていないから

7. 犯罪が多いから

8. 地域とのつながりがないから

9. その他 ()

問25 (13 ページ) にお進みください

あなたの持ち物についておうかがいます

問25 あなたは、ふだんの生活の中で、お金が足りなくて、必要とする文具や教材が買えないことはありませんか。(○はひとつだけ)

1. よくある

2. ときどきある

3. ほとんどない

4. まったくない

問26 あなたは世の中の出来事や身近な情報を知る際に、荷を利用し、誰にたよりますか。(○はそれぞれひとつ)

	よく利用する (よくたよる)	ときどき利用する (ときどきたよる)	あまり利用しない (あまりたよらない)	まったく利用しない (まったくたよらない)
(ア) テレビ・ラジオ	1	2	3	4
(イ) 新聞	1	2	3	4
(ウ) 週刊誌、雑誌	1	2	3	4
(エ) 電車の車内広告等	1	2	3	4
(オ) インターネット (携帯を含む)	1	2	3	4
(カ) 親	1	2	3	4
(キ) 兄弟・姉妹	1	2	3	4
(ク) その他の親族	1	2	3	4
(ケ) 友人・知人	1	2	3	4
(コ) 学校の先生	1	2	3	4
(サ) 塾、予備校などの先生	1	2	3	4
(シ) その他 ()	1	2	3	4

- 12 -

【中高生世代対象】

- 13 -

【中高生世代対象】

問27 あなたは市のまちづくりについて、意見や自分の希望を言えるような機会があるとしたら、参加してみたいと思いますか。(○はひとつだけ)

1. 運営にも参加して積極的にまちづくりに関わりたい

2. 参加者として意見や希望を言いたい

3. 気軽に参加できる雰囲気であれば参加したい

4. 友人などと一緒であれば参加したい

5. あまり参加したいと思わない

6. 参加したくない

問28 あなたが、多摩市になんでも要望できるとすれば、どのようなことを要望しますか。どのようなことでもかまいません。自由にお書きください。

問29 あなたが今、一番困っていることは何ですか。ご自由にお書きください。

問30 あなたの生年月をおえてください。(数字で具体的に)

平成 年 月 生まれ

問31 あなたの性別をおえてください。(○はひとつだけ)

1. 男性

2. 女性

3. その他

問32 あなたは次のうち、どちらに属していますか。(○はひとつだけ)

1. 公立中学校

2. 私立中学校

3. 全日制高校

4. 高等学校(定時制・単位制)

5. 高等学校(通信制)

6. 高等学校・専修学校(高等課程)

7. 特別支援学校

8. 中学を卒業し、就業している

9. 高校を中退し、就業している

10. 高校等を中退した

11. 高校等には進学していない

12. その他()

問33 あなたと同居されているご家族すべてに○をつけてください。続柄はあなたから見た関係です。また、あなたを含む同居している家族全員の人数を記入してください。

1. 母親

2. 父親

3. 祖父

4. 祖母

5. 兄弟

6. 姉妹

7. その他

合計()名

問34 あなたのお住まいの地区はどこですか。(○はひとつだけ)

1. 関戸、一ノ宮地区

2. 通光寺、壺ヶ丘地区

3. 桜ヶ丘地区

4. 和田、吉草、東等方、落川地区

5. 菱岩、乞田、貝取(番地)地区

6. 馬引沢、諏訪地区

7. 永山地区

8. 貝取(1～5丁目)、壺ヶ丘地区

9. 落谷、鶴牧、南野地区

10. 唐木田、中沢、山王下地区

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
このアンケート調査の結果は、市の子ども・子育て支援事業計画や施策のための検討資料とさせていただきます。

ご記入いただいた調査票は、水色の封筒に入れて、封をしてください。それを保護者票用
返信用封筒(茶色)に同封し、10月25日(木)までに郵便でお送りください。

多摩市若者の意識・生活に関する調査

日頃より市政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

このアンケート調査は、皆さんの生活状況や困りごとなどについてお答えいただき、これらの子ども・若者育成支援施策に役立てるため、住民基本台帳に登録されている15歳～39歳の人から、2,500人を無作為に抽出し、協力をお願いしています。

また、これはテストではありませんので、思ったことをそのままお答えください。また、回答は同封の返信用封筒にてお送りください。

回答いただいた個別の調査内容は、個人が特定されたり、回答内容がよそに漏れたりすることはありません。集計した結果については、市の子ども・子育て支援事業計画やその他の施策などの検討及びその説明に使わせていただきます。

多摩市を皆さんにとつてより暮らしやすいまちにするために、ご多忙中とは思いますがぜひアンケート調査にご協力をお願いします。

平成30年10月
多摩市長 阿部 裕行

【 ご記入にあたってのお願い 】

- 1. アンケートは、あなた自身がご記入ください。
- 2. ご回答は、選抜校に〇印をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
- 3. 選抜校の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので、注意書きにしたがってください。
- 4. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印にしたがってご回答ください。
- 5. ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて10月25日（木）までに郵便でお送りください。

●ご不明な点、調査に関するお問い合わせは、こちらにお願いいたします。

多摩市役所 子ども青少年部 児童青少年課 子ども・若者育成係

電話042(338)6958
FAX042(372)7988

あなたの人との関わりや居場所についておうかがいます

簡 1 次 にごあげる人たとあなたとの関わりはどのようなものですか。（それぞれ○はひとつ）

A	家族・親族	
B	学校の友人	現在通っている学校、かつての同級生など
C	職場・アルバイト関係の人	現在及び過去の職場の同僚、上司、部下、その他仕事の関係で知り合った人など
D	地域の人	近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加しているNPO法人など
E	インターネット上での人やコミュニティ	面識がない、あるいは数回会ったことがあるが基本的にはネット中心の付き合いの人

		そう思う	どちらかといえは	どちらかといえは	どちらかといえは	そう思わない
A 家族・親族	ア. 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4	
	イ. 困ったときは助けてくれる	1	2	3	4	
	ウ. 他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4	
	エ. 強いつながりを感じている	1	2	3	4	
B 学校の友人	ア. 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4	
	イ. 困ったときは助けてくれる	1	2	3	4	
	ウ. 他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4	
	エ. 強いつながりを感じている	1	2	3	4	
C 職場・アルバイト	ア. 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4	
	イ. 困ったときは助けてくれる	1	2	3	4	
	ウ. 他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4	
	エ. 強いつながりを感じている	1	2	3	4	
D 地域の人	ア. 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4	
	イ. 困ったときは助けてくれる	1	2	3	4	
	ウ. 他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4	
	エ. 強いつながりを感じている	1	2	3	4	
E ネット上の知人	ア. 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4	
	イ. 困ったときは助けてくれる	1	2	3	4	
	ウ. 他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4	
	エ. 強いつながりを感じている	1	2	3	4	

問2 今のあなたは現在、働いていますか。働いている場合は、就業形態を教えてください。(○はひとつだけ)
は次の場所のうちどこですか。(○はいくつでも)

1. 自分の部屋	9. 職場・アルバイト先
2. 家族が集まる部屋	10. 飲食店
3. 自宅の風呂などの部屋以外の場所	11. コンビニ
4. 親戚の家	12. カラオケボックス・ゲームセンター
5. 友だちの家	13. 公園
6. 学校	14. マンガ喫茶・ネットカフェ
7. 図書館	15. その他 ()
8. 塾・習いごと先	16. 落ち着く場所はない

あなたのお仕事や外出の状況について教えてください

問3 あなたは現在、働いていますか。働いている場合は、就業形態を教えてください。(○はひとつだけ)

1. 正社員	問4 (3ページ) に進みください
2. 契約社員	
3. 派遣社員	
4. パート・アルバイト	
5. 学生 (アルバイトなどの就労をしていない)	
6. 学生 (アルバイトなどの就労をしている)	
7. 自営業・フリーランス	
8. 専業主婦・主夫	
9. 家事手伝いをしている	
10. 失業中	
11. 無職	
12. その他 ()	

【問3で「10～12」と答えた方におかけします】

問3-1 あなたは今までに働いていたことはありますか。(○はひとつだけ)

1. 正社員として働いていた
2. 契約社員として働いていた
3. 派遣社員として働いていた
4. パート・アルバイトとして働いていた (学生時代の経験は含めません)
5. 働いていたことはない

問3-2 就労希望や就労を希望しない場合は理由をお書きください。

【就労希望】

(○はひとつだけ)

1. ある	【就労を希望しない理由】 (○はいくつでも)
2. ない	
1. 健康上の理由	
2. 家庭の事情	
3. 自分に合った仕事が見つからない	
4. 仕事をする意欲がもてない	
5. その他 ()	

問4 あなたは、ふだんどのくらい外出しますか。平均した外出日数を教えてください。(○はひとつだけ)

1. 週5日以上	問4-1、4-2 に進みください	4. 自室から出るが、家からは出ない
2. 週に3～4日		5. 自室からほとんど出ない
3. 週1～2日		

【問4で「1～3」と答えた方におかけします】

問4-1 外出の目的は何ですか。(○はいくつでも)

1. 仕事	5. 遊び	9. 飲食
2. 学校	6. 趣味・習い事	10. 通院
3. 家事・育児	7. 人づきあい	11. その他 ()
4. 地域活動	8. 運動 (散歩を含む)	

問4-2 外出した際、友人や知人とコミュニケーションをとりますか。(○はひとつだけ)

1. よくとる	問5 (5ページ) に進みください
2. とまじきとる	
3. ほとんどとらない	
4. まったくとらない	

【問4で「4」、「5」、問4-2で「3」、「4」と答えた方におかけします】

問4-3 現在の状態になったのはあなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

□□ 歳頃から

問4-4 現在の状態になってどのくらい経ちますか。(○はひとつだけ)

1. 6か月未満	4. 3年～5年未満
2. 6か月～1年未満	5. 5年～7年未満
3. 1年～3年未満	6. 7年以上

問4-5 現在の状態になったきっかけについて思いあたることはありますか。(○はいくつでも)

1. 学校になじめなかった	6. 子育て
2. 受験に失敗した	7. 病氣
3. 就職活動がうまくいかなかった	8. その他 ()
4. 職場になじめなかった	9. 特に理由はない
5. 人間関係がうまくいかなかった	

問4-6 現在の状態について、関係機関に相談したことはありますか。(○はひとつだけ)

1. ある	2. ない
-------	-------

問4-7 現在の状態について、関係機関に相談するとすれば、どのような機関なら相談するのが適切だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 親身に話をきいてくれる	8. 自宅に専門家が来てくれる
2. 医学的な助言をくれる	9. 自宅から近い
3. 心理学的な専門家がいます	10. 公的機関の人
4. 匿名で (自分の名前を知らず) に相談できる	11. 医療の専門家ではない民間団体 (NPO など)
5. 精神科医がいる	12. その他 ()
6. 同じ悩みを持つ人と出会う	13. あてはまるものはない
7. 無料で相談できる	

問4-8 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いますか。(○はひとつだけ)

1. 相談したい	2. 少し相談してみたい	3. あまり相談したくない	4. 相談したくない
----------	--------------	---------------	------------



ご希望される方はQRコードからお問い合わせいただければ、ご連絡のうえ相談機関をご紹介します。
問合せ先：多摩市子ども青少年児童青少年課子ども・若者育成係

【問4-8で「3」、「4」と答えた方におうかがいます】

問4-9 相談したくないと思う理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 自分のことを知られたくない	6. お金がかかると思う
2. 相談しても解決しないと思う	7. 相談機関が近くにない
3. 何を聞かれるか不安に思う	8. どこに相談していいかわからない
4. 相手にうまく話せないと思う	9. その他 ()
5. 相談したことを人に知られたくない	10. 特に理由はない

あなたの悩みや困りごとについてうかがいます

問5 あなたは現在、困っていることや悩んでいることがありますか。(○はいくつでも)

1. 学校での勉強や成績のこと	12. 自分の性格や生き方のこと
2. 進学のこと	13. 容姿のこと
3. 就職のこと	14. 政治や社会のこと
4. 仕事や職場のこと	15. 地域や環境の問題のこと
5. 子育てのこと	16. 収入や生活費のこと
6. 友だちや仲間との人間関係	17. 自分の居場所がないこと
7. 家族関係	18. なんとなく不安であること
8. 恋人との交際に関すること	19. その他
9. 夫婦関係	[]
10. 気分や体調のこと	
11. 病氣や健康のこと	20. 特に困っていることや悩みごとはない

子ども・若者育成支援機関についてうかがいます

問6 以下の子ども・若者を対象とした施設や相談機関の中で、知っているものをお選びください。(○はいくつでも)

1. 児童館
2. 多摩市役所 ひきこもり等自立に悩む若者・ご家族向けの個別相談会
3. 多摩市立八ヶ岳少年自然の家
4. 子育て総合センター
5. 教育センター
6. 多摩児童相談所
7. 発達支援室
8. 公民館
9. 総合体育館
10. 地域活動支援センター のーま
11. 南多摩保健所、都立多摩総合精神保健福祉センター
12. 東京都ひきこもりサポートネット
13. 東京都若者総合相談センター「若ナビα (アルファ)」
14. 職業安定所 (ハローワーク)、ジョブカフェ、地域若者サポートステーションなどの就労支援機関
15. 民間施設 (自然体験活動や学習支援など若者育成支援を行うNPOなど)
16. その他の施設、機関 ()
17. 知っている若者育成支援機関等はない

あなた自身のことについてうかがいます

あなた自身の健康のために、紙を使っていることはありますか。(○はいくつでも)

1. 食事

2. 規則正しい生活をする

3. 運動 (内容)

4. その他 ()

5. 特になし

次

にあげられたことの中で、あなた自身にあてはまると感じるものをお答えください。
(それぞれ○はひとつ)

	あてはまる	あてはまる といえ	あてはまる といえ	あてはまる といえ	あてはまる といえ
A. 自分自身に満足している	1	2	3	4	
B. うまくいくかわからないことでも意欲的に取り組む	1	2	3	4	
C. 周りの人や社会の役にたつようなことをしたい	1	2	3	4	
D. 今の生活が充実している	1	2	3	4	
E. よりよい未来を迎えられるように努力している	1	2	3	4	

多摩市への意見や要望がありましたらおしえてください

市への意見や要望がありましたら、自由に記入してください。

最後に、あなたとご家族、お住まいについておうかがいます

あなたの現在の年齢をおしえてください。(○はひとつだけ)

1. 15歳～19歳

2. 20歳～24歳

3. 25歳～29歳

4. 30歳～34歳

5. 35歳～39歳

あなたの性別をおしえてください。(○はひとつだけ)

1. 男性

2. 女性

3. その他

子ども・若者対象

あなたが最後に卒業 (中退を含む) した、または現在在学している学校はどれですか。
(それぞれ○はひとつ)

【A】

1. 中学校

2. 高等学校

3. 専門学校

4. 高等専門学校・短期大学

5. 4年制大学・大学院

6. その他 ()

【B】

1. 在学中

2. 中途退学

3. 卒業

あなたと同居している人すべてに○をつけてください。続柄はあなたから見た関係です。

1. 父親	5. 祖父	9. 恋人
2. 母親	6. 孫	10. ご自身のお子さん
3. 配偶者またはそれに準じる	7. 他の家族や親戚	11. その他の人 ()
4. 兄弟姉妹	8. 友人	12. 同居家族はいない (単身世帯)

あなたは結婚していますか。(○はひとつだけ)

1. 結婚している (事実婚を含む)

2. 結婚していない

あなたのお住まいの地区はどこですか。(○はひとつだけ)

1. 関戸、一ノ宮地区	6. 鳥引沢、諏訪地区
2. 蓮光寺、聖ヶ丘地区	7. 永山地区
3. 桜ヶ丘地区	8. 貝取 (1～5丁目)、豊ヶ丘地区
4. 和田、百草、東寺方、落川地区	9. 落合、鶴牧、南野地区
5. 愛宕、乞田、貝取 (番地) 地区	10. 唐木田、中沢、山王下地区

悩みや、就労に向けて不安などがある方はひとりで抱え込まず、まずは専門機関にご相談ください。

ご希望される方はQRコードからお問い合わせいただければ、ご連絡のうえ相談機関をご紹介します。

問合先：多摩市子ども青少年部児童青少年課子ども・若者育成係

電話：042 (338) 6958 F AX：042 (372) 7988

ご協力ありがとうございます

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒 (切手はいりません) に入れ、10月25日 (木) までに郵便でお送りください。

子ども・若者対象

- 7 -

多摩市子ども・若者育成支援施策のための支援者調査

このアンケート調査は、これからの子ども・若者育成支援施策を検討するため、子どもに係る支援や相談等に携わる方を対象に、経済的に困窮する子どもの状況、その子どもや保護者が抱えている困難な状況、必要とする支援の内容や支援者間の連携のあり方等についてお伺いいたします。

ご多忙の中大変恐縮ですが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記入にあたってのお願い

- 部署・機関（団体）で、貧困状況に置かれた子どもとその親に対する支援について、最も関わっておられる方 1 名に回答をお願いいたします。
- 特にことわり書きがない限り、全ての質問にお答えください。
- お答えは、あてはまる選択肢の番号に○印をつけていただく場合と、お答えの内容を具体的に記入いただく場合があります。
- 「その他」に○印をつけられた場合には、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ご記入は、黒や青のボールペンまたは鉛筆で、はっきりとわかりやすくお願いします。

●ご不明な点、調査に関するお問い合わせは、こちらにお願い致します。

多摩市役所 子ども青少年部 児童青少年課 子ども・若者育成係
電 話 042（338）6958
FAX 042（372）7988

■ あなた自身のことについてうかがいます

問 1. あなたはどのような立場でお仕事をなさっていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。なお、複数ある場合は、主なものに1つだけ○をつけてください。

1. 事務職	7. 教諭	12. スクールカウンセラー
2. 保健師	8. 指導員	(SC)
3. 家庭児童相談員	9. NPO スタッフ	13. その他
4. 母子・父子自立支援員	10. スクールソーシャルワーカー (SSW)	()
5. 児童福祉司	11. 児童館・学童クラブ職員	
6. 保育士		

■ 貧困の状況にある子どもや親の状態について

問 2. あなたは、どのような状況にある子どもを「貧困状況にある」と考えますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どものいる世帯（以下、「世帯」という）が生活保護を受給している
2. 世帯が児童扶養手当（ひとり親家庭に対する手当）を受給している
3. 世帯が就学援助費（子どもの学用品費等に対する援助）を受給している
4. 子どもが食事を十分にとれていない
5. 子どもの教育に十分にお金がかけていない
6. 子どもが身体の成長や季節に合った服装をしていない
7. 子どもが医療にかかるのを控えている
8. 子どもが住環境が劣悪である
9. 相談できる大人がいない
10. その他（あれば具体的に：)
11. わからない

問 3. これまでのあなたのこれまでの経験から見て、貧困状況にある子どもは、併せてどのような状況にあることがよくあるでしょうか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

1. 両親が不仲である	13. 学校や職場に友人がいない
2. ひとり親家庭である	14. 学校や職場でいじめをうけている
3. 家庭が地域から孤立している	15. 不登校を経験している
4. 親から必要以上に干渉されている	16. 学校を中退している
5. 親から過度の期待をかけられている	17. 進学を断念している
6. 親から放任（ネグレクト）されている	18. 就職後 1 年以内に離職している
7. 親から身体的虐待を受けている	19. 自傷行為をしたことがある
8. 親から心理的虐待を受けている	20. DV を含む家庭内暴力がある
9. 親から性的虐待を受けている	21. 非行や非行につながる問題行動がある
10. 親が家庭を顧みていない	22. その他（ ）
11. 引越しや転校が多い	23. わからない
12. 学校の授業が理解できていない	

問 4. あなたのこれまでの経験から見て、貧困状況にある子どもはどのような項目において欠如かみられると思いますか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

1. 読み書き・計算などの基礎的な学力	9. 周囲からの評価への適切な反応
2. ころの状態の安定性・心身の健康	10. 認知（ものの見方・考え方・価値観）
3. 健全な生活習慣・食習慣	11. 生活自立能力
4. コミュニケーション能力	12. 意欲・チャレンジ精神
5. 他者への共感性	13. 夢や希望
6. 他者への信頼感	14. その他（ ）
7. 自己表現力	15. わからない
8. 自己肯定感・自尊心	16. 特に欠如は見られない

問 5. 貧困の状況にある子どもは、現在、どのような面で困難を抱えていることが多いと感じていますか。あてはまるものを**3つ選択**し、○をつけてください。

- 1. 心身の発達に必要なしつけや食事の提供がされていない
- 2. 学習についていけない
- 3. 自己肯定感・自尊感情が低い
- 4. 将来に目標が持てない
- 5. こころの状態が不安である
- 6. 家庭に居場所がない又は家庭でくつろげない
- 7. 家族や社会など周囲への信頼感が低い
- 8. 学校で友人と良好な関係を築くのが難しい
- 9. 親やきょうだいの世話をなされる
- 10. 親又は子どもが日本語や日本の習慣になじめない
- 11. その他（ ）
- 12. わからない

問 6. 貧困の状況にある子どもは、どのような困難を抱えていることが多いと感じていますか。あてはまるものを**3つ選択**し、○をつけてください。

- 1. 親自身が経済的困窮や複雑な家庭環境で育った
- 2. 精神的に不安定な状態にある（障害がある又は健康上の問題を抱えている以外）
- 3. 再婚相手や同居するパートナーが何度が替わっている
- 4. 転職を繰り返すなど安定した就労が得られない
- 5. 障害がある又は健康上の問題を抱えている
- 6. 家事や育児の支援者や協力者がいない
- 7. 家族全体が社会的に孤立している
- 8. 家庭を顧みない又は関心がうすい
- 9. 初産年齢が 10 代である
- 10. 親が日本語や日本の習慣になじめない
- 11. その他（ ）
- 12. わからない

■ 貧困の状況にある子どもや親に対する支援について

問 7. あなたは普段、他の部署・機関の人と、貧困状況にある子どもについて情報をやり取りする機会がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1	2	3	4
よくある (週1回以上)	ときどきある (月1～数回程度)	ほとんどない (年に1～数回程度)	まったくない

問 7-1 へ

問 8 へ

問 7-1. 問 7 で「1.よくある」または「2.ときどきある」とお答えの方におたずねします。
どの部署・機関の人とどのような機会でも情報やり取りすることが多いですか。
次の A から O について、あてはまる番号に○をそれぞれ1つつけてください。
※やり取りがない部署・機関については、「6 この部署・機関とやり取りがない」に○をつけてください。

	通常の業務	連絡会議などの会合	その他の会合	個人的な付き合い	その他	この部署・機関とやり取りがない
A. 市 子育て支援課	1	2	3	4	5	6
B. 市 生活福祉課	1	2	3	4	5	6
C. 市 障害福祉課	1	2	3	4	5	6
D. 子育て総合センター	1	2	3	4	5	6
E. 保育所	1	2	3	4	5	6
F. 幼稚園	1	2	3	4	5	6
G. 児童館	1	2	3	4	5	6
H. 学童クラブ	1	2	3	4	5	6
I. 健康センター	1	2	3	4	5	6
J. 発達支援室	1	2	3	4	5	6
K. 教育センター	1	2	3	4	5	6
L. 公立小学校	1	2	3	4	5	6
M. 公立中学校	1	2	3	4	5	6
N. 多摩児童相談所	1	2	3	4	5	6
O. 高等学校	1	2	3	4	5	6
P. その他 ()	1	2	3	4	5	6

問 8. 支援を行う上で、連携がしにくいと感じている部署・機関等はどこですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 市 子育て支援課	11. 教育センター
2. 市 生活福祉課	12. 公立小学校
3. 市 障害福祉課	13. 公立中学校
4. 子育て総合センター	14. 多摩児童相談所
5. 保育所	15. 高等学校
6. 幼稚園	16. 民生委員・児童委員
7. 児童館	17. NPO 等団体
8. 学童クラブ	18. ハローワーク等就労支援機関
9. 健康センター	19. その他 ()
10. 発達支援室	20. 特になし

問 9. あなたは、貧困状況にある家庭への支援にあたって、どのような点が困難だと感じていますか。もっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 保護者との接触、信頼関係づくりが難しい
- 2. 子どもとの関わり方が難しい
- 3. 支援に用いることができる制度（資源）が少ない
- 4. 支援者間での連携が難しい
- 5. その他 ()
- 6. 特になし
- 7. わからない

問 10. あなたが、貧困家庭への支援における問題について、困ったり、悩んだりした場合、相談先はありますか。

1. 相談先がある

2. 相談先はない

相談先場所を出来れば具体的に教えて下さい。

()

問 11. あなたは、(自分が所属する機関で実際に取り組まれている支援にかかわらず)一般的に、貧困状況に置かれた子どもや親に対し、どのような支援がもっと必要だと思いますか。特に必要だと思う番号**3つを選択し、○をつけてください。**

1. 経済的支援
2. 相談担当者の質的向上
3. 相談担当者の増員
4. 総合相談窓口の設定
5. 訪問による早期発見や生活支援
6. 保育サービスの提供（病児保育、送迎支援等も含む）
7. 子どもの居場所（遊び・読書等の場）の提供
8. 学校での専門家（SSW等）による支援
9. 親以外の信頼できる大人との活動
10. 子どもへの学校以外での学習機会の提供
11. 子どもへの文化的活動（自然体験学習、スポーツ等）の機会の提供
12. 子どもへの食事の提供
13. 親の就労の支援
14. 親の受診勧奨
15. 子どもの進学・就労の支援
16. その他（
17. わからない）

問 12. あなたは、貧困状況にある家庭への支援に関して、どのような改善が必要だと
思いますか。自由に記述して下さい。

問 13. あなたは、貧困状況にある子どもや親を支援する際に、工夫していることや心がけていることはありますか。自由に記述して下さい。

問 14. あなたのこれまでのご経験の中で、子どもの貧困の状況が改善に向かったケースがあれば、そのケースにおいて改善に向かった背景や要因について自由に記述して下さい。

問 15. 他の行政機関や NPO 等の団体と連携したことで良い結果が得られたと思われる事例があれば、連携先の連携内容を差し支えない範囲で具体的に記して下さい。

問 16. あなたは、貧困の世代間の連鎖を断ち切るためには、どのような対策が重要だと
思いますか。自由に記述してください。

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

多摩市 子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査報告書

平成 31 年 3 月発行

編 集：多摩市子ども青少年部

〒206-8666

東京都多摩市関戸 6 丁目 12 番地 1

Tel042-375-8111（代表）

印刷物番号

3 0 - 5 8

販売価格

7 7 0 円